

平成 2 6 年 度

埼 玉 県 政 世 論 調 査
報 告 書

彩の国

埼 玉 県

は じ め に

この冊子は、平成26年7月に実施した県政世論^{よろん}調査の結果をまとめたものです。

本県では、県民参加の行政を一層推進するため、昭和43年度から毎年度「埼玉県政世論調査」を実施してまいりました。

今年度は、「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」、「治水対策」、「食品ロスの削減」の3つのテーマと、時系列項目である「生活意識」、「日常生活」、「県政への要望」について調査を行いました。

この調査結果が、県及び市町村の施策立案や諸事業の実施に有効に利用されるとともに、県内外の方にも幅広く活用されることを願ってやみません。

終わりに、このたび調査に御協力いただきました県民の皆様をはじめ、御支援いただきました関係市町村の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成26年11月

埼玉県県民生活部長 福島 勤

目 次

I	調査の方法	1
1	調査のあらまし	3
2	標本抽出方法	4
3	標本構成	6
4	調査結果の見方	9
II	調査結果の解説	11
1	生活意識	13
(1)	昨年と比べた暮らし向き	15
(1-1)	暮らし向きが苦しくなった理由	20
(2)	生活程度	23
(3)	生活全体の満足度	28
(4)	住みよさ	33
2	日常生活	59
(1)	地域社会活動への参加経験	61
(1-1)	地域社会活動への不参加の理由	64
(2)	文化芸術活動の経験	67
(3)	文化芸術活動の鑑賞	70
(4)	文化芸術活動の機会や環境の満足度	73
(5)	スポーツをする機会	76
(5-1)	スポーツをする機会がなかった理由	79
(6-1)	訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害	82
(6-2)	消費生活センターの認知度	85
(7-1)	「わがまち防犯隊」の認知度	88
(7-2)	「青パト」の認知度	91
(8)	食品の安全性に対する意識	94
(9)	外国人増加に対する感想	97
(9-1)	外国人増加をよいことだと思う理由	100
(9-2)	外国人増加をよいことだと思わない理由	102
(10)	埼玉県に関する情報の入手先	104
(11)	県広報紙「彩の国だより」の閲読状況	107
(11-1)	「彩の国だより」の入手先	110
3	県政への要望	113

4	埼玉版ウーマノミクスプロジェクト	129
(1)	女性の活躍を応援する風潮の広がり	131
(2)	女性の活躍する場の広がり	134
(3)	女性が活躍する場が広がってきたと思う理由	137
(4)	女性が活躍する場が広がっていないと思う理由	140
(5)	女性の活躍推進に取り組んでいる企業のイメージ	142
(6)	女性がいきいきと働くために必要なこと	145
5	治水対策	147
(1)	埼玉県内の水害発生状況の認知度	149
(2)	田畑や森林による保水・遊水機能の認知度	152
(3)	「埼玉県雨水流出抑制施設の設置等に関する条例」の認知度	155
(4)	土地が低く水がはけにくい地域での浸水被害対策の必要性	158
(5)	保水・遊水機能を有する田畑や森林等の保全の必要性	161
(6)	保水・遊水地域を保全するために必要な方策	164
6	食品ロスの削減	167
(1)	「消費期限」と「賞味期限」の認知度	169
(2)	「食品ロス」の認知度	172
(3)	日本で1年間に発生する食品ロスの量の認知度	175
(4)	食品ロスの削減のために取り組んでいること	178
(5)	賞味期限・消費期限の考慮の程度	181
(6)	外食における食品ロス削減のために効果的だと思うこと	184
(7)	フードバンクの活動の認知度	186
Ⅲ	調査票・単純集計結果	189
	(参考資料) 世論調査実施状況	207

I 調査の方法

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進のための資料とする。

(2) 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- (ア) 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、住みよさ）
- (イ) 日常生活
- (ウ) 県政への要望
- (エ) 埼玉版ウーマノミクスプロジェクト
- (オ) 治水対策
- (カ) 食品ロスの削減

(3) 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- | | |
|--------------|---------------------|
| (ア) 調査地域 | 埼玉県全域 |
| (イ) 調査対象 | 満20歳以上の男女個人 |
| (ウ) 標本数 | 3,000 |
| (エ) 抽出方法 | 住民基本台帳による層化2段無作為抽出法 |
| (オ) 調査方法 | 調査員による個別面接聴取法 |
| (カ) 調査時期 | 平成26年7月4日～7月27日 |
| (キ) 調査実施委託機関 | 株式会社 サーベイリサーチセンター |

(4) 回収結果

- | | |
|--------------|--------------|
| (ア) 有効回収数（率） | 2,123（70.8%） |
| (イ) 調査不能数（率） | 877（29.2%） |

〔調査不能の内訳〕

転居	64（7.3%）	長期不在	59（6.7%）
一時不在	308（35.1%）	住所不明	32（3.6%）
拒否	296（33.8%）	病気・入院	59（6.7%）
その他	59（6.7%）		

2 標本抽出方法

母集団：埼玉県内の市町村に居住する満20歳以上の男女個人

標本数：3,000

地点数：市部 153地点 郡部（町村）12地点 合計 165地点

抽出方法：層化2段無作為抽出法

（１）地域・市郡規模区分

ア 県内を次の3ゾーン10地域に分類した。（本表及び下の「地域区分図」は、平成26年4月1日現在の市町村名により表示している。）

地 域		該 当 市 町 村 名
県南	南 部 地 域	川口市、蕨市、戸田市
	南 西 部 地 域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東 部 地 域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま地域	さいたま市
圏央道	県 央 地 域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川 越 比 企 地 域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西 部 地 域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利 根 地 域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
県北	北 部 地 域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
	秩 父 地 域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町

地域区分図



イ 各地域においては、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。

人口10万以上の市／人口10万未満の市／郡部（町村）

（注）ここでいう市とは、平成26年4月1日現在市制施行の地域をいう。

（２）標本の配分

各地域・市郡規模別の層における満20歳以上の人口（平成26年1月1日現在の推定数）により、3,000の標本を比例配分した。

（３）抽出

ア 第1次抽出単位となる調査地点として、平成22年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が19程度になるように、各層に割り当てられた標本数から算出した。

調査地点抽出は、

抽出間隔＝ $\frac{\text{層における満20歳以上人口の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}}$ を算出し、等間隔抽出法によって

該当人数番目の者が含まれる基本単位区を抽出し、抽出の基点とした。

ウ 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の「市町村コード」の配列順序に従った。

エ 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

オ 以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のとおりとなった。

地 域		市郡規模	人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡部（町村）	計
県南	南 部 地 域		583,294 292(16)	61,366 31(2)		644,660 323(18)
	南 西 部 地 域		418,061 209(12)	124,277 62(3)	31,057 16(1)	573,395 287(16)
	東 部 地 域		780,485 392(21)	123,572 62(3)	24,840 12(1)	928,897 466(25)
	さ い た ま 地 域		1,020,081 511(28)			1,020,081 511(28)
	県 央 地 域		285,984 143(8)	119,669 60(3)	34,109 17(1)	439,762 220(12)
圏央道	川 越 比 企 地 域		369,375 185(10)	131,638 66(4)	160,170 80(4)	661,183 331(18)
	西 部 地 域		536,689 269(15)	115,433 58(3)		652,122 327(18)
	利 根 地 域		225,319 113(6)	257,629 129(7)	66,883 34(2)	549,831 276(15)
	北 部 地 域		286,528 143(8)	65,658 33(2)	76,594 38(2)	428,780 214(12)
県北	秩 父 地 域			55,369 28(2)	33,737 17(1)	89,106 45(3)
	計		4,505,816 2,257(124)	1,054,611 529(29)	427,390 214(12)	5,987,817 3,000(165)

（注）上段…推定母集団数（満20歳以上人口） 下段左方…標本数 下段右方（カッコ内）…地点数

3 標本構成

(上段：人、下段：％、以下同)

(1) 地域別 (3 区分)

総 数	県 南	圏 央 道	県 北
2,123	1,110	832	181
100.0	52.3	39.2	8.5

(2) 地域別

総 数	南 部 地 域	南 西 部 地 域	東 部 地 域	さいたま地域
2,123	224	187	321	378
100.0	10.6	8.8	15.1	17.8

県 央 地 域	川越比企地域	西 部 地 域	利 根 地 域
142	243	224	223
6.7	11.4	10.6	10.5

北 部 地 域	秩 父 地 域
154	27
7.3	1.3

(3) 市郡規模別

総 数	人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡 部 (町 村)
2,123	1,610	354	159
100.0	75.8	16.7	7.5

(4) 性 別

総 数	男 性	女 性
2,123	1,127	996
100.0	53.1	46.9

(5) 年代別

総 数	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70歳以上
2,123	187	268	421	380	433	434
100.0	8.8	12.6	19.8	17.9	20.4	20.4

(6) 職業別

自営業・家族従業 (計)

雇用者 (計)

無職 (計)

総 数	自 営 業 主	家 族 従 業 (家 業 手 伝 い)	勤 め (全 日)	勤め(パートタイム)	無職の主 婦・主夫	学 生	そ の 他 の 無 職	無 回 答
2,123	179	44	791	315	400	35	355	4
100.0	8.4	2.1	37.3	14.8	18.8	1.6	16.7	0.2

(7) 県内居住年数別

総 数	5 年 未 満	5 年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年～ 30年未満	30年以上	無 回 答
2,123 100.0	97 4.6	93 4.4	243 11.4	403 19.0	1,280 60.3	7 0.3

(8) 出生地別

総 数	埼 玉 県	埼 玉 県 外	無 回 答
2,123 100.0	936 44.1	1,185 55.8	2 0.1

(9) 家族人数別

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7人以上	無 回 答
2,123 100.0	165 7.8	621 29.3	558 26.3	454 21.4	207 9.8	75 3.5	39 1.8	4 0.2

(10) 未既婚別

総 数	未 婚	既婚・有配偶	既婚・離死別	無 回 答
2,123 100.0	414 19.5	1483 69.9	216 10.2	10 0.5

(10-1) 子供の有無・人数別（既婚者）

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	い な い	無 回 答
1,699 100.0	340 20.0	859 50.6	306 18.0	27 1.6	10 0.6	155 9.1	2 0.1

(10-2) 子供の段階

総 数	0 ～ 3 歳	4 歳 以上で 小学校入学前	小 学 生	中 学 生	高 校 生
1,542 100.0	129 8.4	93 6.0	228 14.8	153 9.9	153 9.9

短大生・ 専門学校生	大 学 生 ・ 大 学 院 生	学 校 教 育 終了・未 婚	学 校 教 育 終了・既 婚	そ の 他	無 回 答
32 2.1	136 8.8	560 36.3	678 44.0	18 1.2	8 0.5

(11) 家族形態別

総 数	単 身	夫 婦 の み	二世世代世帯	三世世代世帯	そ の 他	無 回 答
2, 123 100.0	168 7.9	474 22.3	1, 202 56.6	241 11.4	30 1.4	8 0.4

・二世世代世帯とは「親と子がいる」世帯を指す。

・三世世代世帯とは「親と子と孫がいる」世帯を指す。

(12) 居住形態別

総 数	持 家 （一戸建）	持 家 （集合住宅）	民間の借家（賃貸マンション、一戸建の借家など）	都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅
2, 123 100.0	1, 491 70.2	246 11.6	235 11.1	99 4.7

社宅・公務員住宅 など給与住宅	住み込み、寮、 寄宿舎など	そ の 他	無 回 答
43 2.0	2 0.1	3 0.1	4 0.2

(13) ライフステージ別

総 数	独 身 期	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 期	高 齢 期	そ の 他
2, 123 100.0	236 11.1	154 7.3	216 10.2	196 9.2	470 22.1	528 24.9	323 15.2

※ ライフステージの分類

「年齢」「結婚」「子供の有無」「子供の成長段階」の組み合わせにより分類した。

ライフステージ	構 成 内 容
① 独 身 期	●本人が40歳未満で未婚
② 家 族 形 成 期	●本人が40歳未満で、かつ、子供がいない夫婦 ●第一子が小学校入学前の親
③ 家 族 成 長 前 期	●第一子が小・中学生の親
④ 家 族 成 長 後 期	●高校・大学生（院生含む）の子供がおり、かつ、学校教育を終えた子供はいない親
⑤ 家 族 成 熟 期	●学校教育を終えた子供がおり、かつ、既婚の子供がいない親 ●本人が男性の場合65歳未満、女性の場合60歳未満で、子供全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子供がいる親
⑥ 高 齢 期	●本人が男性の場合65歳以上、女性の場合60歳以上で、子供全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子供がいる親
⑦ そ の 他	●上記①～⑥以外（40歳以上の独身者、子供のいない40歳以上の夫婦など）

4 調査結果の見方

(1) 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、層化2段抽出の場合、経験的に95%の信頼度で、

$$2\sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \div 2\sqrt{2 \frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=2,123であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$2\sqrt{2 \frac{0.2 \times 0.8}{2,123}} \div 0.025$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±2.5の範囲内にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

[標本誤差早見表（主なもの）]

区 分		基 数	回 答 率				
			90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
全 体		2, 123	±1.8%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
性 別	男性	1, 127	±2.5%	±3.4%	±3.9%	±4.1%	±4.2%
	女性	996	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
年 代 別	20歳代	187	±6.2%	±8.3%	±9.5%	±10.1%	±10.3%
	30歳代	268	±5.2%	±6.9%	±7.9%	±8.5%	±8.6%
	40歳代	421	±4.1%	±5.5%	±6.3%	±6.8%	±6.9%
	50歳代	380	±4.4%	±5.8%	±6.7%	±7.1%	±7.3%
	60歳代	433	±4.1%	±5.4%	±6.2%	±6.7%	±6.8%
	70歳以上	434	±4.1%	±5.4%	±6.2%	±6.7%	±6.8%
地 域 別	南部	224	±5.7%	±7.6%	±8.7%	±9.3%	±9.5%
	南西部	187	±6.2%	±8.3%	±9.5%	±10.1%	±10.3%
	東部	321	±4.7%	±6.3%	±7.2%	±7.7%	±7.9%
	さいたま	378	±4.4%	±5.8%	±6.7%	±7.1%	±7.3%
	県央	142	±7.1%	±9.5%	±10.9%	±11.6%	±11.9%
	川越比企	243	±5.4%	±7.3%	±8.3%	±8.9%	±9.1%
	西部	224	±5.7%	±7.6%	±8.7%	±9.3%	±9.5%
	利根	223	±5.7%	±7.6%	±8.7%	±9.3%	±9.5%
	北部	154	±6.8%	±9.1%	±10.4%	±11.2%	±11.4%
	秩父	27	±16.3%	±21.8%	±21.0%	±22.5%	±27.2%

(2) 調査結果の見方

ア 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。

イ 図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果0.0%となったものである。

ウ 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者（n）で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.

（Multiple Totalの略）として表示した。

エ 調査票上のFはFace Sheetの略で、回答者の基本的属性についての質問である。

Ⅱ 調査結果の解説

1 生活意識

(問1～問4)

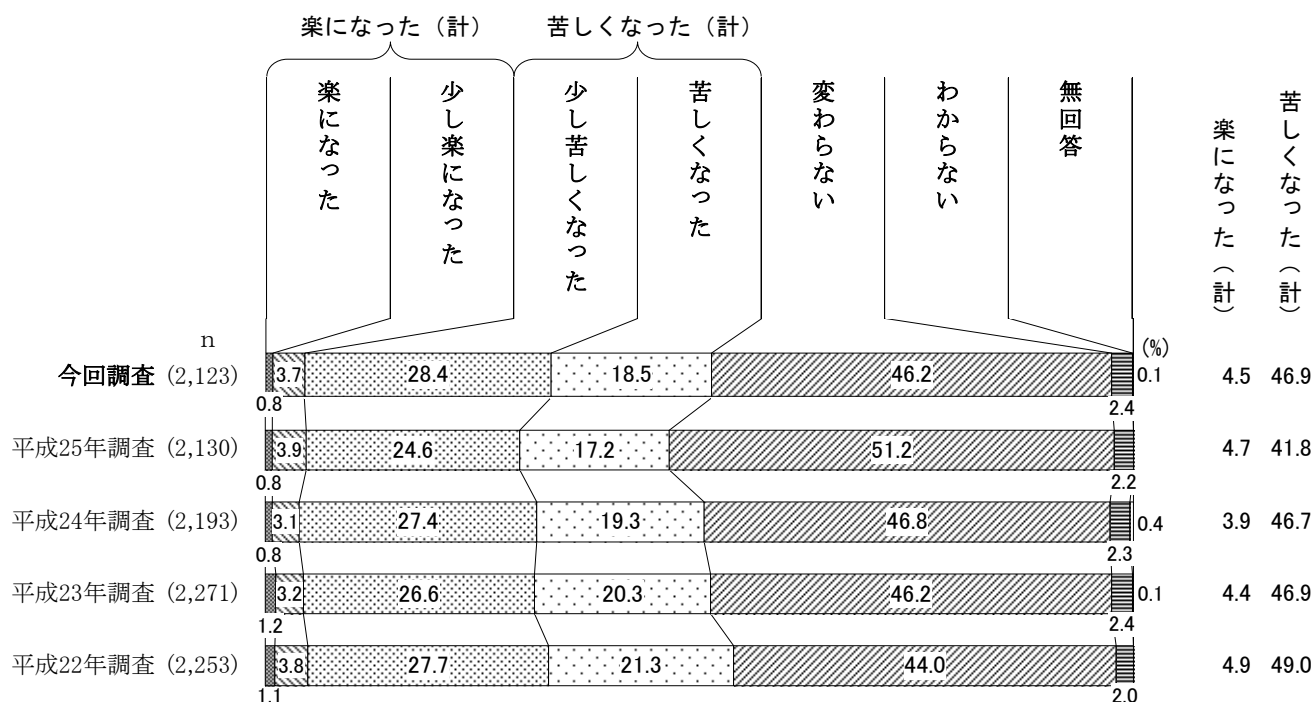
- 問1「昨年と比べた暮らし向き」、問2「生活程度」、問3「生活全体の満足度」は、昭和56年度から毎年度実施しています。
- 問1－1「暮らし向きが苦しくなった理由」は、平成20年度から実施しており、今回が7回目となります。
- 問4「住みよさ」は、平成5年度以降は3年ごとに実施しています。

1 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇『苦しくなった（計）』が46.9%と前年より5.1ポイント増加

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。



暮らし向きが「楽になった」(0.8%)と「少し楽になった」(3.7%)を合わせた『楽になった(計)』は4.5%となっている。一方、「苦しくなった」(18.5%)と「少し苦しくなった」(28.4%)を合わせた『苦しくなった(計)』は46.9%となっている。「変わらない」については46.2%となっている。

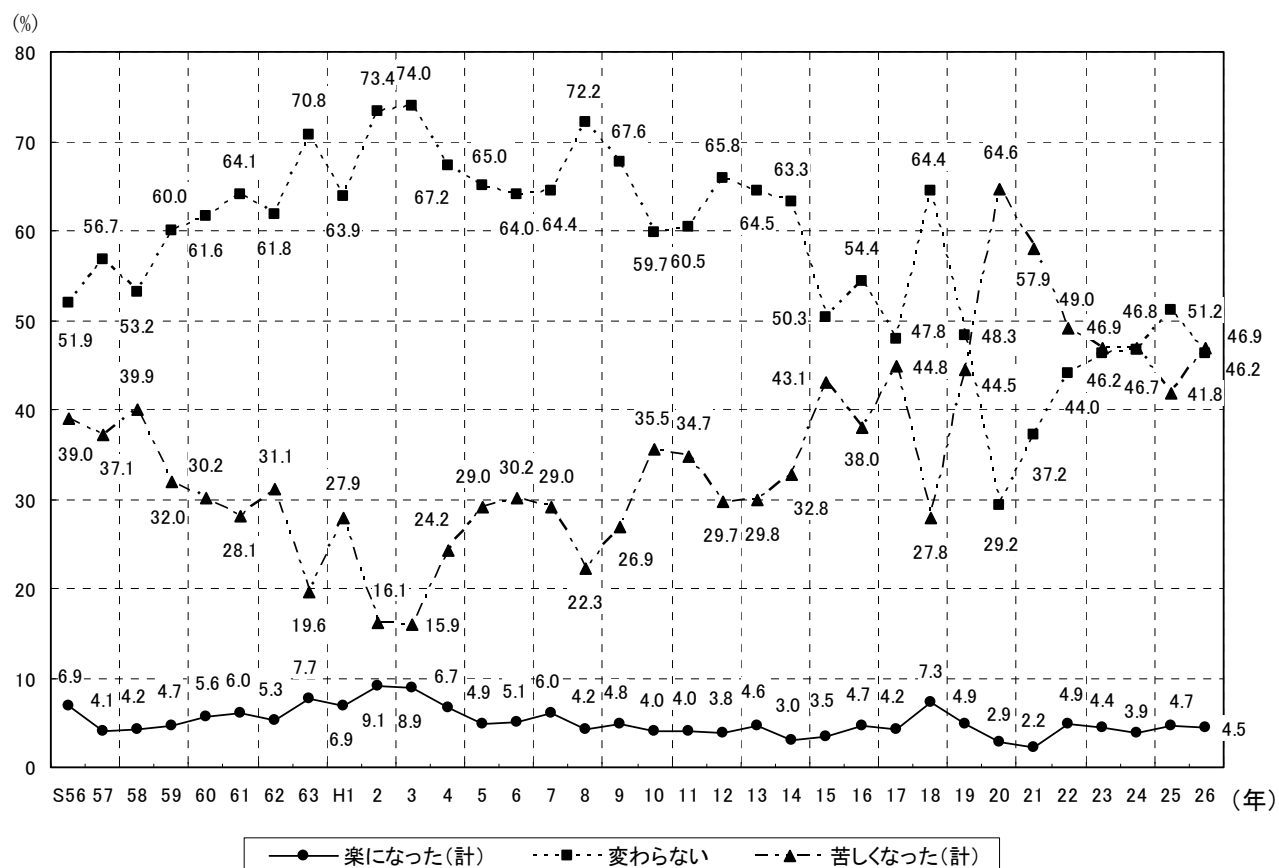
【過去調査との比較】

『苦しくなった(計)』は近年減少傾向にあったが、今回調査では前年の平成25年調査より5.1ポイント増加している。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年以降の推移をみると、『苦しくなった（計）』は最も高かった平成20年（64.6%）から減少傾向にあったが、今回調査では前年より5.1ポイント増加し、平成23年と平成24年の調査と同等の水準になっている。

○昨年と比べた暮らし向き・昭和56年以降の推移



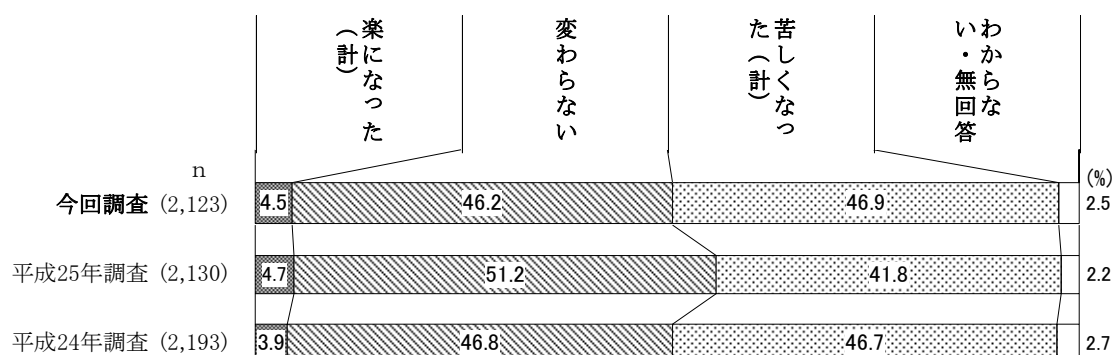
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『楽になった（計）』は生活程度が上（計）で20.0%と前年より16.3ポイント増加している。一方、中（計）では5.6%、下（計）では1.3%と1割を下回っており、前年からやや減少している。『苦しくなった（計）』は生活程度が下（計）で最も高く76.3%、中（計）で41.9%、上（計）で4.0%と差がみられる。

【生活満足度別】

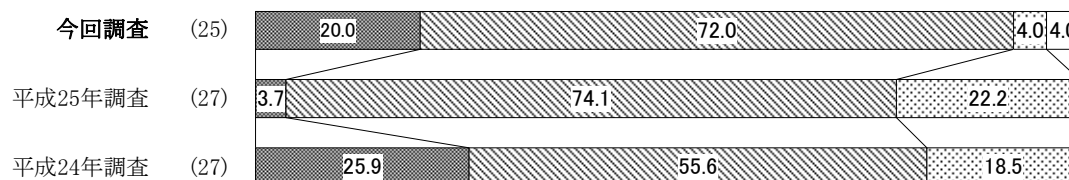
問3の生活全体の満足度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は、満足している（計）で25.1%と2割台半ばであるのに対して、不満である（計）では67.4%と6割台半ばを超えており、著しい差がある。一方、「変わらない」は、満足している（計）で65.0%と不満である（計）の29.7%を大きく上回っている。

○昨年と比べた暮らし向き・生活程度別／生活満足度別

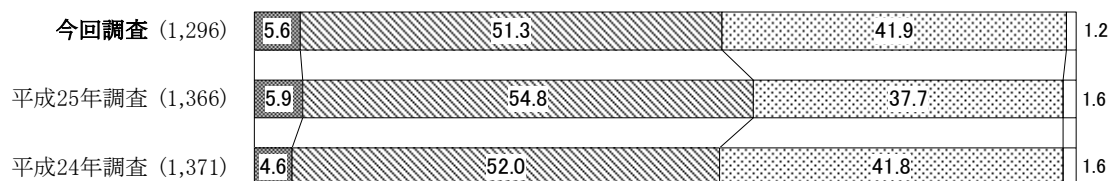


【生活程度別】

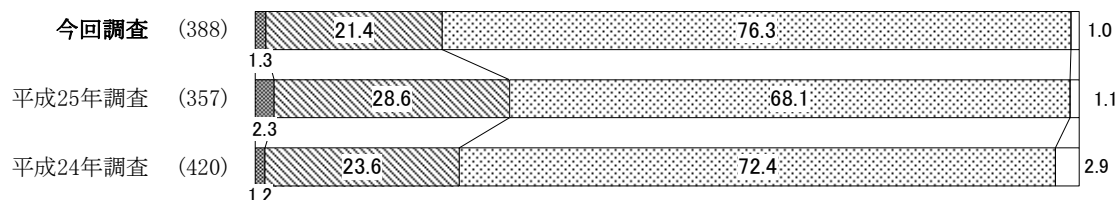
<上（計）>



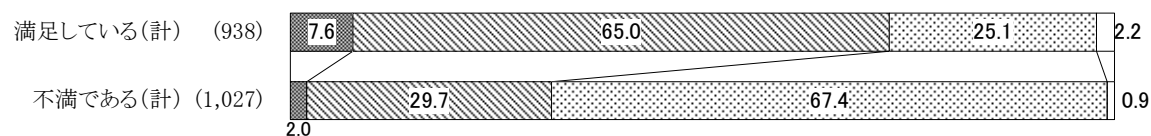
<中（計）>



<下（計）>



【生活満足度別】



【属性別比較】

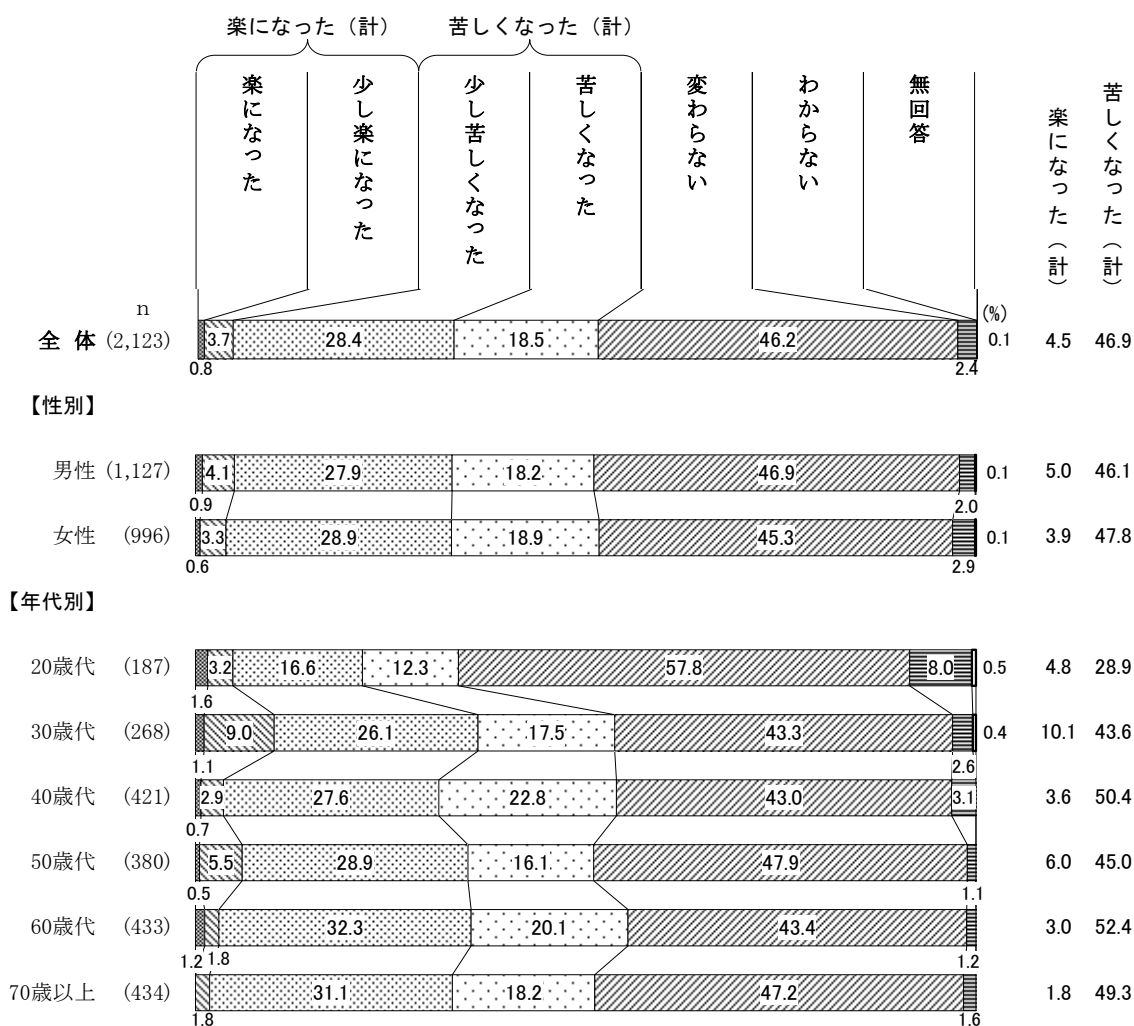
①性別

性別による大きな違いはみられない。

②年代別

『苦しくなった（計）』は40歳代（50.4%）、60歳代（52.4%）で5割台となっている。

○昨年と比べた暮らし向き・性別／年代別



③地域別

『楽になった（計）』は南西部地域（8.6％）で他に比べて高くなっている。一方、『苦しくなった（計）』は秩父地域（33.3％）以外では4割台となっている。

④性・年代別

『苦しくなった（計）』は女性60歳代（54.0％）で最も高くなっている。一方、『楽になった（計）』は男性30歳代（12.5％）が他の年代に比べて高くなっている。

⑤職業別

『苦しくなった（計）』は無職（計）（50.8％）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『苦しくなった（計）』は家族成長後期（54.1％）で最も高くなっている。一方、『楽になった（計）』は家族形成期（11.0％）で他に比べて高くなっている。

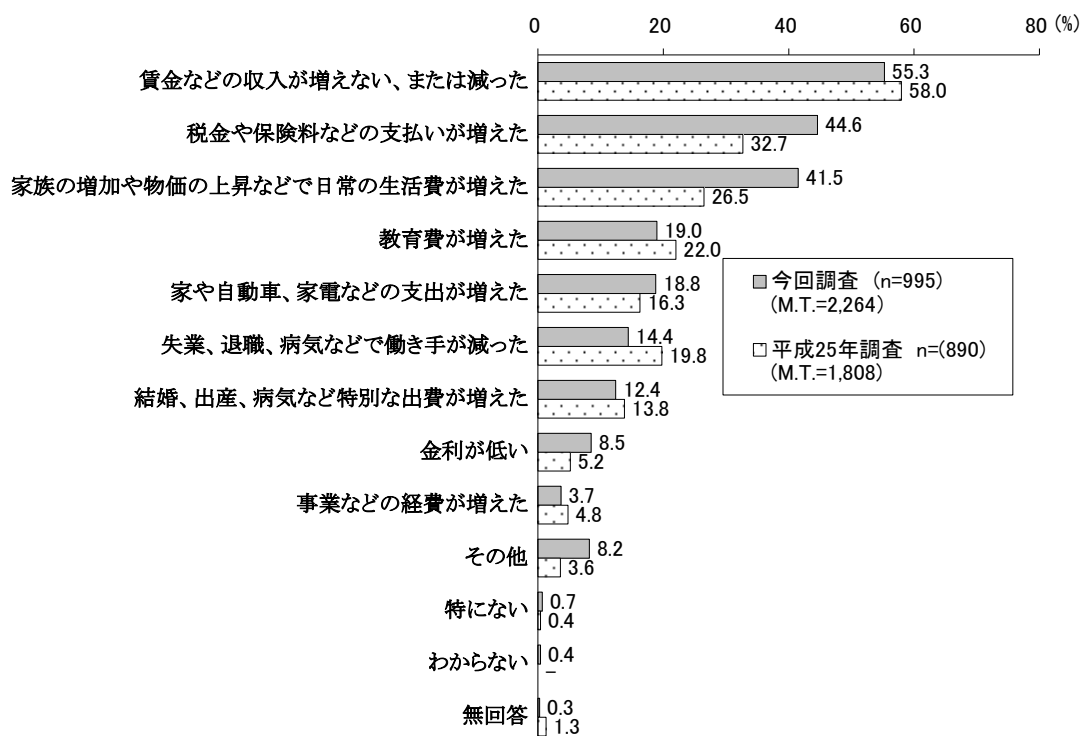
○昨年と比べた暮らし向き・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	楽になった	少し楽になった	少し苦しくなった	苦しくなった	変わらない	わからない	無回答	（％）	
									楽になった（計）	苦しくなった（計）
全 体	2,123	0.8	3.7	28.4	18.5	46.2	2.4	0.1	4.5	46.9
地域別										
南部地域	224	0.9	4.9	28.6	17.4	47.8	0.4	-	5.8	46.0
南西部地域	187	1.1	7.5	28.3	16.0	42.8	4.3	-	8.6	44.3
東部地域	321	0.9	3.1	28.3	21.5	43.9	2.2	-	4.0	49.8
さいたま地域	378	0.5	3.7	30.4	18.8	43.9	2.4	0.3	4.2	49.2
県央地域	142	0.7	2.1	23.9	22.5	47.9	2.8	-	2.8	46.4
川越比企地域	243	0.8	4.1	32.1	15.6	45.7	1.6	-	4.9	47.7
西部地域	224	0.9	3.6	26.3	16.5	49.6	2.7	0.4	4.5	42.8
利根地域	223	0.4	2.7	28.3	19.7	45.7	3.1	-	3.1	48.0
北部地域	154	0.6	1.3	24.7	20.1	50.6	2.6	-	1.9	44.8
秩父地域	27	-	3.7	25.9	7.4	59.3	3.7	-	3.7	33.3
性・年代別										
男性・20歳代	102	2.0	2.9	17.6	12.7	54.9	8.8	1.0	4.9	30.3
30歳代	144	1.4	11.1	25.0	14.6	45.8	2.1	-	12.5	39.6
40歳代	214	0.5	3.3	25.7	21.5	47.2	1.9	-	3.8	47.2
50歳代	216	0.9	5.6	28.2	15.7	48.1	1.4	-	6.5	43.9
60歳代	220	1.4	2.3	28.2	22.7	44.5	0.9	-	3.7	50.9
70歳以上	231	-	1.3	35.5	17.7	45.0	0.4	-	1.3	53.2
女性・20歳代	85	1.2	3.5	15.3	11.8	61.2	7.1	-	4.7	27.1
30歳代	124	0.8	6.5	27.4	21.0	40.3	3.2	0.8	7.3	48.4
40歳代	207	1.0	2.4	29.5	24.2	38.6	4.3	-	3.4	53.7
50歳代	164	-	5.5	29.9	16.5	47.6	0.6	-	5.5	46.4
60歳代	213	0.9	1.4	36.6	17.4	42.3	1.4	-	2.3	54.0
70歳以上	203	-	2.5	26.1	18.7	49.8	3.0	-	2.5	44.8
職業別										
自営業・家族従業（計）	223	1.8	3.1	21.5	17.0	51.1	4.9	0.4	4.9	38.5
雇用者（計）	1,106	0.9	4.8	27.6	18.2	46.5	2.0	0.1	5.7	45.8
無職（計）	790	0.3	2.4	31.4	19.4	44.4	2.2	-	2.7	50.8
ライフステージ別										
独身期	236	0.4	4.2	18.2	13.1	57.6	5.5	0.8	4.6	31.3
家族形成期	154	1.9	9.1	30.5	15.6	40.3	2.6	-	11.0	46.1
家族成長前期	216	1.9	4.2	22.2	22.7	44.4	4.6	-	6.1	44.9
家族成長後期	196	0.5	3.6	26.5	27.6	39.3	2.6	-	4.1	54.1
家族成熟期	470	1.1	4.0	32.3	17.4	44.0	1.1	-	5.1	49.7
高齢期	528	0.2	1.9	32.2	18.4	46.2	1.1	-	2.1	50.6
その他	323	0.3	3.1	27.9	17.3	48.9	2.5	-	3.4	45.2

（１－１）暮らし向きが苦しくなった理由

◇「賃金などの収入が増えない、または減った」が55.3%と最も高い

（問１で「少し苦しくなった」、「苦しくなった」のいずれかを答えた方に）
問１－１ その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



暮らし向きが苦しくなった理由は、「賃金などの収入が増えない、または減った」（55.3%）が5割台半ばで最も高く、次いで、「税金や保険料などの支払いが増えた」（44.6%）、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」（41.5%）、「教育費が増えた」（19.0%）、「家や自動車、家電などの支出が増えた」（18.8%）などとなっている。

【過去調査との比較】

平成25年調査と比べて、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」（15.0ポイント増）、「税金や保険料などの支払いが増えた」（11.9ポイント増）などが増加し、「失業、退職、病気などで働き手が減った」（5.4ポイント減）、「教育費が増えた」（3.0ポイント減）、「賃金などの収入が増えない、または減った」（2.7ポイント減）などが減少している。

【属性別比較】

①地域別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は西部地域（66.7%）で最も高くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は川越比企地域（52.6%）で最も高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は南西部地域（51.8%）で最も高く、5割を超えている。

②性別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性（58.4%）のほうが女性（51.9%）よりも6.5ポイント高くなっている。一方、「失業、退職、病気などで働き手が減った」の割合は、女性（18.5%）のほうが男性（10.6%）よりも7.9ポイント、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」や「教育費が増えた」の割合は女性のほうが男性よりもそれぞれ5ポイント程度高くなっている。

③年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は50歳代（65.5%）で最も高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は30歳代（57.3%）で最も高く、5割を大きく超えて高くなっている。

④性・年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性40歳代（71.3%）で7割を超えて最も高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は女性30歳代（61.7%）で6割台と最も高く、「教育費が増えた」は女性40歳代（52.3%）で5割を超えて最も高くなっている。

⑤職業別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は雇用者（計）（65.8%）で6割台半ばと最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は独身期（63.5%）で最も高く、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は家族形成期（73.2%）が7割を超えて最も高くなっている。「教育費が増えた」は家族成長後期（71.7%）が7割を超えて最も高くなっている。

【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、暮らし向きが苦しくなった理由の「賃金などの収入が増えない、または減った」は下（計）（57.4%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は中（計）（44.5%）で4割台半ばと最も高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は中（計）（43.0%）で4割強と最も高くなっている。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、暮らし向きが苦しくなった理由の「賃金などの収入が増えない、または減った」は不満である（計）（58.1％）のほうに満足している（計）（48.3％）よりも9.8ポイント高くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は不満である（計）（46.0％）のほうに満足している（計）（40.3％）よりも5.7ポイント高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常生活費が増えた」は不満である（計）（42.5％）のほうに満足している（計）（39.0％）よりも3.5ポイント高くなっている。

一方で、「教育費が増えた」、「結婚、出産、病気など特別な出費が増えた」は満足している（計）のほうに不満である（計）よりもそれぞれ4ポイント程度高くなっている。

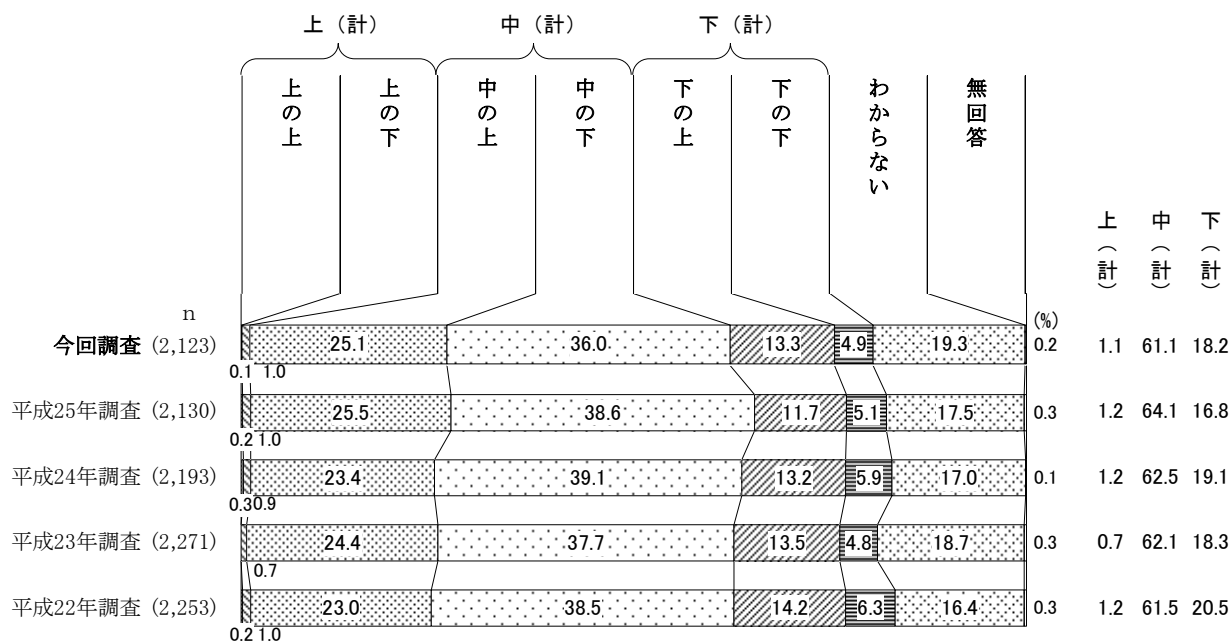
○暮らし向きが苦しくなった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	賃金などの収入が増えない、または減った	税金や保険料などの支払いが増えた	家族の増加や物価の上昇などで日常生活費が増えた	教育費が増えた	家や自動車、家電などの支出が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別な出費が増えた	金利が低い	事業などの経費が増えた	その他	特にない	わからない	無回答
全 体	995	55.3	44.6	41.5	19.0	18.8	14.4	12.4	8.5	3.7	8.2	0.7	0.4	0.3
地域別														
南部地域	103	50.5	35.9	41.7	12.6	16.5	18.4	13.6	11.7	4.9	5.8	-	1.0	-
南西部地域	83	60.2	45.8	51.8	28.9	13.3	4.8	10.8	4.8	4.8	10.8	1.2	-	1.2
東部地域	160	50.6	42.5	40.0	13.8	17.5	12.5	12.5	6.9	4.4	10.6	0.6	-	0.6
さいたま地域	186	57.0	43.0	39.2	19.9	15.1	15.1	9.7	3.2	10.2	1.1	0.5	-	-
県央地域	66	51.5	47.0	37.9	19.7	16.7	12.1	16.7	7.6	6.1	12.1	-	1.5	-
川越比企地域	116	51.7	52.6	41.4	26.7	20.7	10.3	9.5	4.3	0.9	5.2	0.9	0.9	-
西部地域	96	66.7	44.8	35.4	21.9	19.8	19.8	11.5	7.3	3.1	4.2	-	-	1.0
利根地域	107	57.0	50.5	44.9	18.7	27.1	16.8	9.3	12.1	3.7	5.6	0.9	-	-
北部地域	69	58.0	43.5	46.4	11.6	26.1	21.7	10.1	13.0	2.9	5.8	1.4	-	-
秩父地域	9	22.2	22.2	33.3	-	22.2	-	22.2	11.1	11.1	33.3	-	-	-
性別														
男性	519	58.4	47.4	39.3	16.6	19.1	10.6	10.6	9.8	5.6	7.7	0.8	0.4	0.4
女性	476	51.9	41.6	43.9	21.6	18.5	18.5	14.3	7.1	1.7	8.8	0.6	0.4	0.2
年代別														
20歳代	54	51.9	44.4	35.2	16.7	18.5	13.0	14.8	3.7	1.9	3.7	-	-	-
30歳代	117	57.3	44.4	57.3	32.5	16.2	8.5	16.2	3.4	2.6	2.6	0.9	-	0.9
40歳代	212	61.8	43.4	49.1	47.6	28.3	7.1	9.0	6.1	4.2	3.3	-	-	-
50歳代	171	65.5	39.8	41.5	17.5	20.5	17.5	15.8	8.2	4.7	4.1	0.6	-	-
60歳代	227	52.0	44.5	34.4	3.5	16.7	26.9	12.3	12.3	4.4	11.5	0.9	0.9	-
70歳以上	214	43.9	50.0	34.6	1.4	11.7	9.3	10.3	11.2	2.8	17.3	1.4	0.9	0.9
性・年代別														
男性・20歳代	31	58.1	45.2	32.3	16.1	22.6	9.7	12.9	6.5	3.2	3.2	-	-	-
30歳代	57	56.1	54.4	52.6	21.1	15.8	3.5	7.0	7.0	3.5	1.8	-	-	1.8
40歳代	101	71.3	47.5	40.6	42.6	27.7	5.0	6.9	3.0	7.9	2.0	-	-	-
50歳代	95	69.5	44.2	43.2	22.1	21.1	9.5	13.7	9.5	7.4	3.2	1.1	-	-
60歳代	112	56.3	42.0	30.4	4.5	16.1	24.1	9.8	14.3	6.3	9.8	0.9	1.8	-
70歳以上	123	42.3	52.0	39.0	-	13.8	7.3	13.0	13.8	3.3	17.9	1.6	-	0.8
女性・20歳代	23	43.5	43.5	39.1	17.4	13.0	17.4	17.4	-	-	4.3	-	-	-
30歳代	60	58.3	35.0	61.7	43.3	16.7	13.3	25.0	-	1.7	3.3	1.7	-	-
40歳代	111	53.2	39.6	56.8	52.3	28.8	9.0	10.8	9.0	0.9	4.5	-	-	-
50歳代	76	60.5	34.2	39.5	11.8	19.7	27.6	18.4	6.6	1.3	5.3	-	-	-
60歳代	115	47.8	47.0	38.3	2.6	17.4	29.6	14.8	10.4	2.6	13.0	0.9	-	-
70歳以上	91	46.2	47.3	28.6	3.3	8.8	12.1	6.6	7.7	2.2	16.5	1.1	2.2	1.1
職業別														
自営業・家族従業（計）	86	57.0	43.0	33.7	9.3	19.8	5.8	15.1	7.0	30.2	8.1	1.2	1.2	1.2
雇用者（計）	506	65.8	46.8	44.7	27.5	23.1	10.9	11.7	7.3	1.6	4.3	0.2	-	0.2
無職（計）	401	41.6	42.4	38.9	10.5	13.2	20.7	12.7	10.2	0.7	13.2	1.2	0.7	0.2
ライフステージ別														
独身期	74	63.5	40.5	29.7	10.8	9.5	16.2	6.8	6.8	1.4	4.1	1.4	-	-
家族形成期	71	40.8	43.7	73.2	31.0	28.2	7.0	32.4	1.4	4.2	4.2	-	-	1.4
家族成長前期	97	59.8	49.5	57.7	60.8	24.7	2.1	6.2	3.1	5.2	1.0	-	-	-
家族成長後期	106	54.7	37.7	46.2	71.7	20.8	5.7	8.5	5.7	1.9	0.9	-	-	-
家族成熟期	234	61.1	41.9	37.2	7.3	22.2	20.9	11.1	9.4	6.0	7.3	0.4	0.4	-
高齢期	267	46.1	48.3	36.3	1.5	13.9	16.9	14.2	12.0	2.6	15.7	1.5	0.4	0.7
その他	146	63.0	46.6	34.2	2.1	17.1	16.4	11.0	11.0	3.4	10.3	0.7	1.4	-
生活程度別														
上（計）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
中（計）	544	54.8	44.5	43.0	21.3	20.2	13.2	12.3	9.0	3.7	7.4	0.6	0.2	0.4
下（計）	296	57.4	43.9	37.8	13.5	15.9	16.2	12.8	6.8	3.7	11.1	0.7	0.7	0.3
生活満足度別														
満足している（計）	236	48.3	40.3	39.0	22.5	16.1	11.9	15.3	5.9	2.1	6.4	1.3	0.4	-
不満である（計）	692	58.1	46.0	42.5	18.5	20.2	15.6	11.4	9.4	4.3	8.4	0.6	0.1	0.4

(2) 生活程度

◇『中（計）』が61.1%、『下（計）』は18.2%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。



世間一般からみた生活程度は、「中の下」（36.0%）が最も高く、次いで、「中の上」（25.1%）となっている。両者を合わせた『中（計）』（61.1%）は6割強となっている。同様に「下の上」（13.3%）と「下の下」（4.9%）を合わせた『下（計）』は18.2%、「上の上」（0.1%）と「上の下」（1.0%）を合わせた『上（計）』は1.1%となっている。

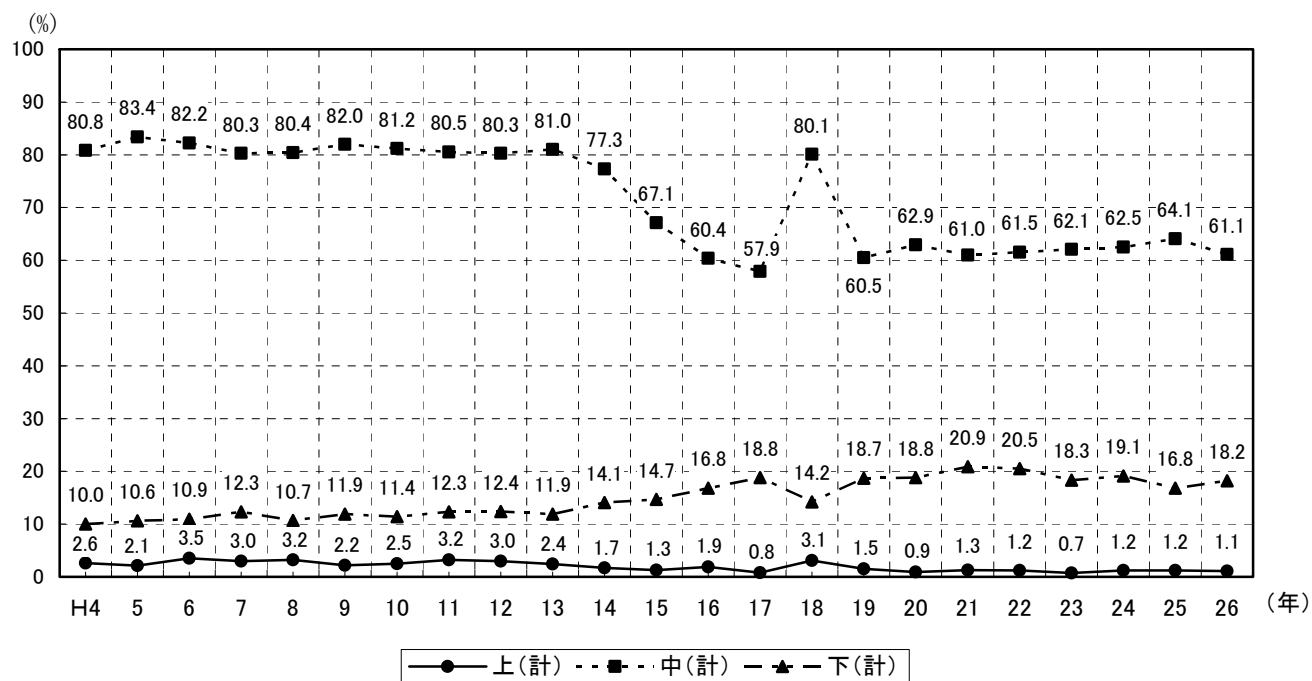
【過去調査との比較】

平成25年調査と比べて、『中（計）』が3.0ポイント減少し、『下（計）』が1.4ポイント増加している。

【経年比較】

平成19年以降、『中（計）』が6割台前半で推移している。

○生活程度・平成4年以降の推移



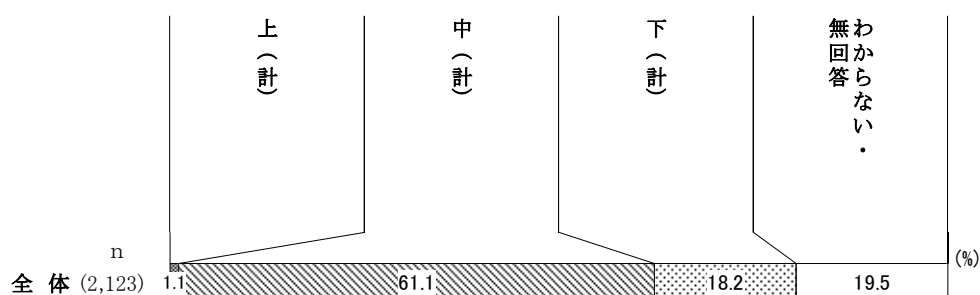
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、いずれの層でも生活程度を『中（計）』と回答した人が半数以上となっているが、楽になった（計）では75.8%であるのに対して、変わらないでは67.9%、苦しくなった（計）では54.7%と割合に差が出ている。また、苦しくなった（計）では『下（計）』（29.7%）の割合が高くなっている。

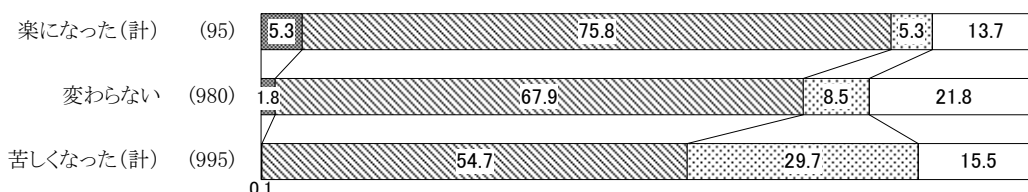
【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、生活程度を『中（計）』と回答した割合は満足している（計）では75.3%、不満である（計）では53.7%と満足している（計）のほうが21.6ポイント高くなっている。一方、『下（計）』と回答した割合は不満である（計）では30.5%、満足している（計）では4.3%と不満である（計）が26.2ポイント高くなっている。

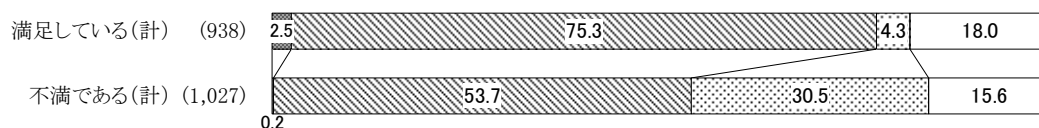
○生活程度・昨年と比べた暮らし向き別／生活満足度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

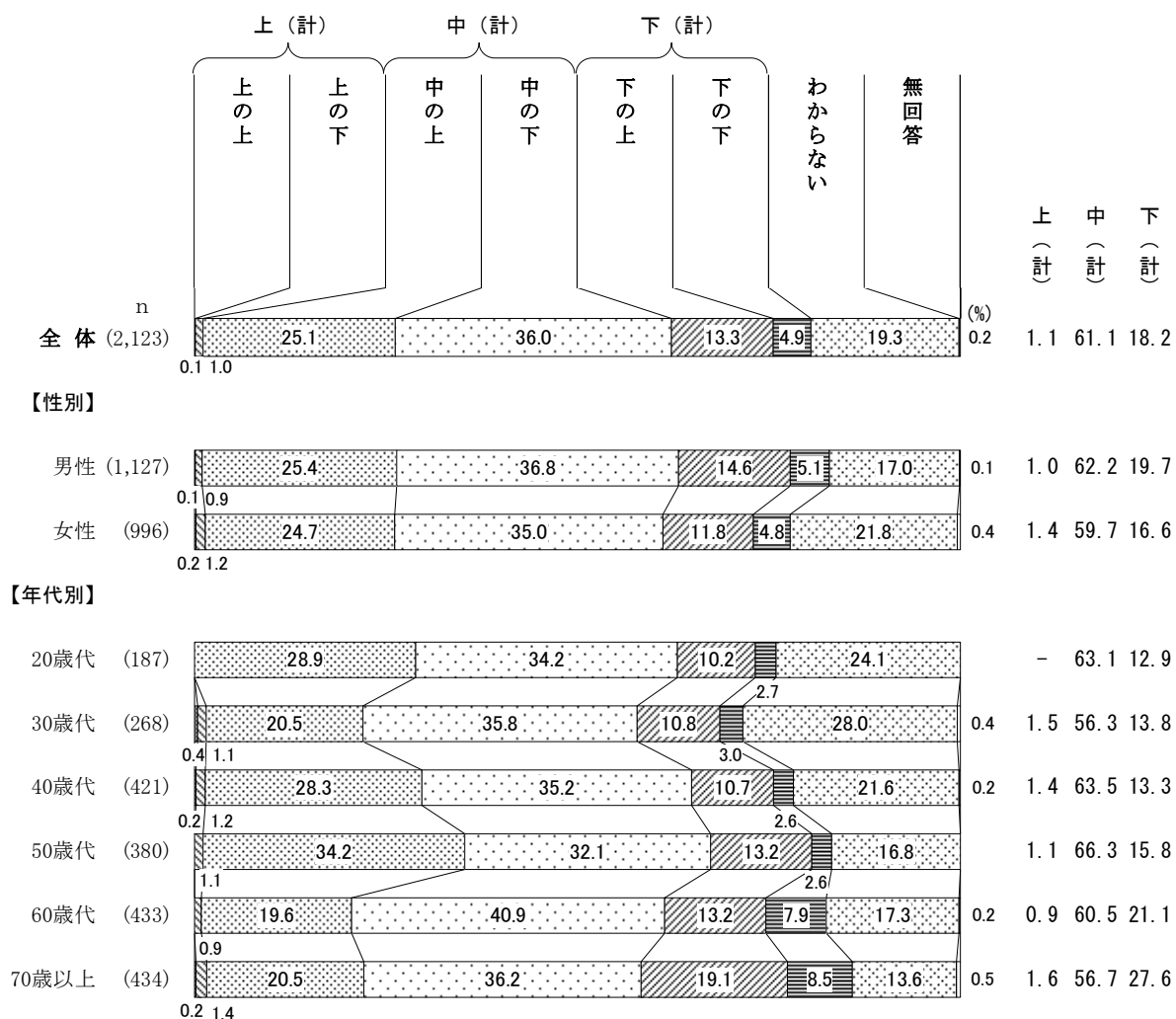
①性別

男女ともに『中（計）』の割合が最も高く、男性（62.2%）のほうが女性（59.7%）よりも2.5ポイント高くなっている。

②年代別

『中（計）』は50歳代（66.3%）、40歳代（63.5%）、20歳代（63.1%）の順で高くなっている。
『下（計）』は20歳代（12.9%）で最も低く、60歳代以上で2割を超えて高くなっている。

○生活程度・性別／年代別



③地域別

『中（計）』は南西部地域（65.8%）や北部地域（65.6%）で高くなっている。一方、『下（計）』は秩父地域（22.2%）、県央地域（21.1%）で2割台と他の地域よりやや高くなっている。

④性・年代別

『下（計）』は男性70歳以上（32.5%）が3割を超えて最も高くなっている。

⑤職業別

『中（計）』は雇用者（計）（64.2%）において6割台半ばと最も高くなっている。一方、『下（計）』は無職（計）（22.4%）で2割を超えて最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『中（計）』は家族成長後期（67.4%）で最も高くなっている。

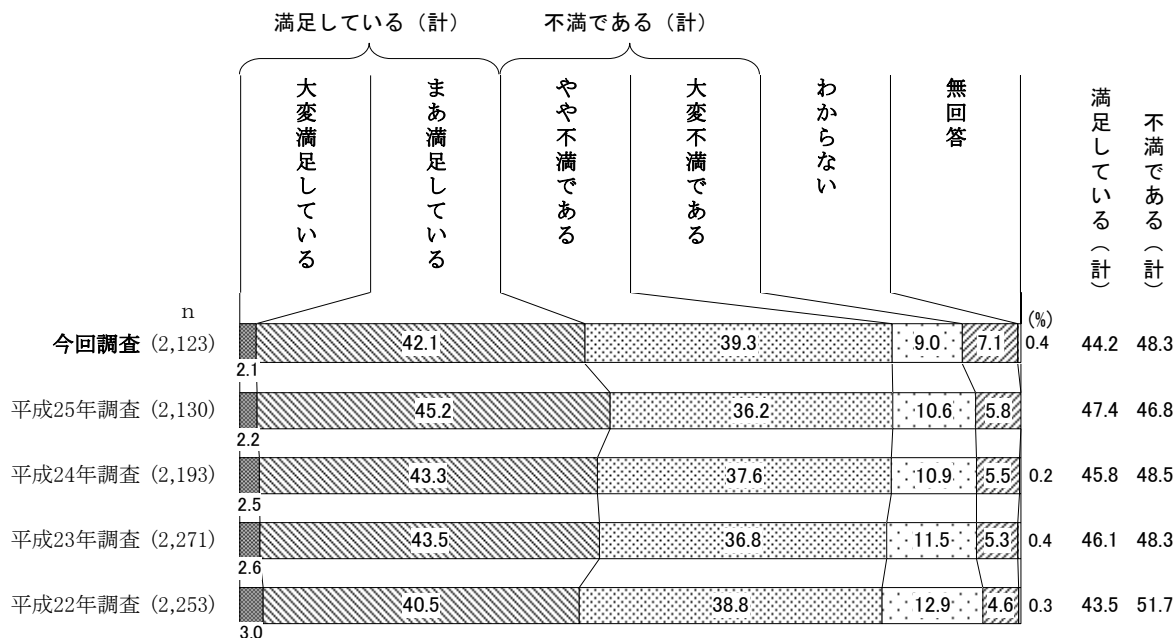
○生活程度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない	無回答	（％）		
	n									上（計）	中（計）	下（計）
全 体	2,123	0.1	1.0	25.1	36.0	13.3	4.9	19.3	0.2	1.1	61.1	18.2
地域別												
南部地域	224	-	1.3	23.7	36.6	13.4	6.3	18.3	0.4	1.3	60.3	19.7
南西部地域	187	-	1.6	24.1	41.7	11.8	3.2	16.6	1.1	1.6	65.8	15.0
東部地域	321	-	1.6	24.3	37.1	13.4	5.0	18.7	-	1.6	61.4	18.4
さいたま地域	378	0.3	1.1	27.2	32.8	13.2	4.8	20.6	-	1.4	60.0	18.0
県央地域	142	-	0.7	26.8	33.1	16.9	4.2	17.6	0.7	0.7	59.9	21.1
川越比企地域	243	-	0.4	26.3	34.2	14.0	5.3	19.8	-	0.4	60.5	19.3
西部地域	224	-	1.8	24.6	36.2	12.5	4.0	20.5	0.4	1.8	60.8	16.5
利根地域	223	0.4	0.4	24.7	33.2	11.2	7.2	22.9	-	0.8	57.9	18.4
北部地域	154	0.6	-	21.4	44.2	13.6	4.5	15.6	-	0.6	65.6	18.1
秩父地域	27	-	-	29.6	29.6	22.2	-	18.5	-	-	59.2	22.2
性・年代別												
男性・20歳代	102	-	-	28.4	34.3	11.8	2.0	23.5	-	-	62.7	13.8
30歳代	144	-	1.4	22.9	36.1	11.1	2.1	26.4	-	1.4	59.0	13.2
40歳代	214	0.5	1.4	27.6	38.3	10.3	2.8	19.2	-	1.9	65.9	13.1
50歳代	216	-	0.5	34.3	31.9	14.4	3.2	15.7	-	0.5	66.2	17.6
60歳代	220	-	0.9	21.4	40.9	12.3	9.5	14.5	0.5	0.9	62.3	21.8
70歳以上	231	-	0.9	19.0	37.7	24.7	7.8	10.0	-	0.9	56.7	32.5
女性・20歳代	85	-	-	29.4	34.1	8.2	3.5	24.7	-	-	63.5	11.7
30歳代	124	0.8	0.8	17.7	35.5	10.5	4.0	29.8	0.8	1.6	53.2	14.5
40歳代	207	-	1.0	29.0	31.9	11.1	2.4	24.2	0.5	1.0	60.9	13.5
50歳代	164	-	1.8	34.1	32.3	11.6	1.8	18.3	-	1.8	66.4	13.4
60歳代	213	-	0.9	17.8	40.8	14.1	6.1	20.2	-	0.9	58.6	20.2
70歳以上	203	0.5	2.0	22.2	34.5	12.8	9.4	17.7	1.0	2.5	56.7	22.2
職業別												
自営業・家族従業（計）	223	0.4	1.8	25.6	32.7	10.3	4.0	24.7	0.4	2.2	58.3	14.3
雇用者（計）	1,106	0.1	0.7	27.2	37.0	12.6	3.5	18.9	-	0.8	64.2	16.1
無職（計）	790	0.1	1.3	21.9	35.6	15.3	7.1	18.2	0.5	1.4	57.5	22.4
ライフステージ別												
独身期	236	-	0.4	26.3	33.5	8.9	3.8	27.1	-	0.4	59.8	12.7
家族形成期	154	-	1.3	26.6	38.3	12.3	-	20.8	0.6	1.3	64.9	12.3
家族成長前期	216	0.5	1.9	31.0	31.9	6.9	3.2	24.1	0.5	2.4	62.9	10.1
家族成長後期	196	-	-	34.2	33.2	12.2	1.5	18.9	-	-	67.4	13.7
家族成熟期	470	0.2	1.1	27.7	35.7	13.4	4.3	17.7	-	1.3	63.4	17.7
高齢期	528	0.2	1.1	21.0	39.2	16.3	7.6	14.2	0.4	1.3	60.2	23.9
その他	323	-	1.2	16.7	36.2	17.0	8.0	20.4	0.3	1.2	52.9	25.0

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は44.2%、『不満である（計）』は48.3%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。



生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」が42.1%で最も高く、次いで、「やや不満である」が39.3%となっている。「大変満足している」(2.1%)と「まあ満足している」(42.1%)を合わせた『満足している(計)』は44.2%、「大変不満である」(9.0%)と「やや不満である」(39.3%)を合わせた『不満である(計)』は48.3%となっている。

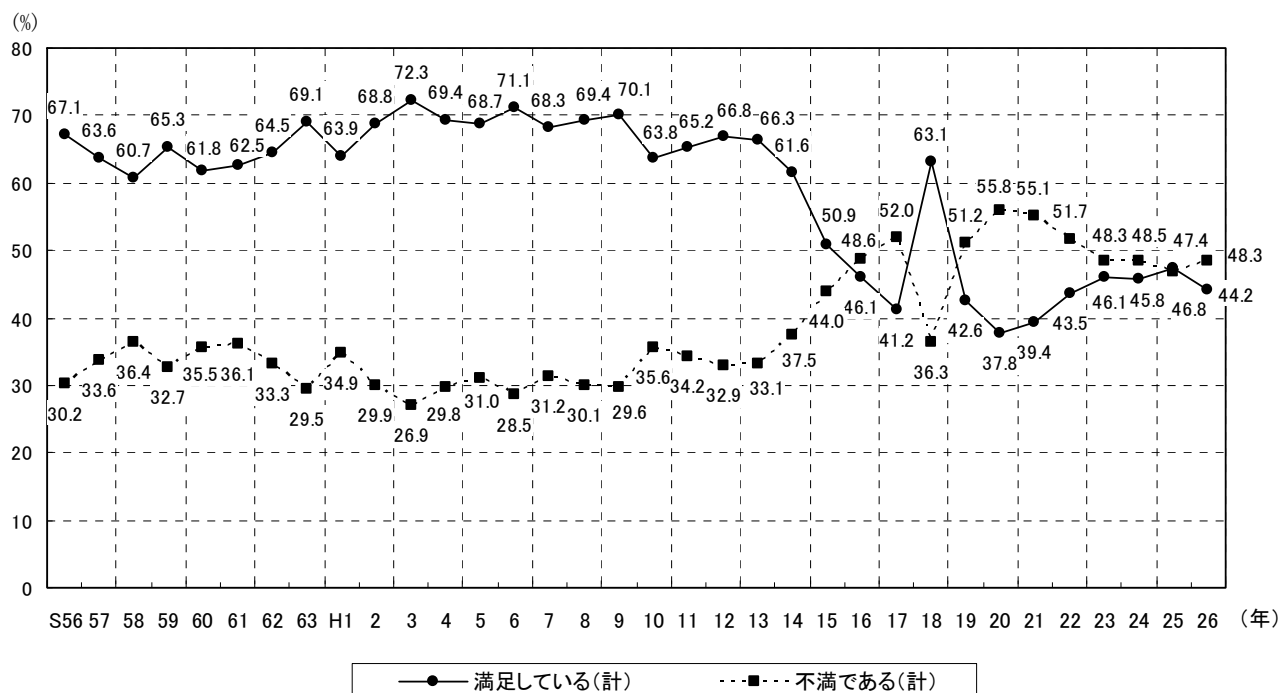
【過去調査との比較】

平成25年調査と比べて『満足している(計)』は3.2ポイント減少し、『不満である(計)』は1.5ポイント増加している。

【経年比較】

昭和56年以降の推移をみると、平成16年以降『不満である（計）』の割合が『満足している（計）』を上回る傾向にあったが、近年では年々その差は小さくなる傾向となり、平成25年調査では『満足している（計）』（47.4%）が『不満である（計）』（46.8%）を7年ぶりに若干上回った。しかし、今回は再び、『不満である（計）』（48.3%）の割合が『満足している（計）』（44.2%）を上回る結果となった。

○生活全体の満足度・昭和56年以降の推移



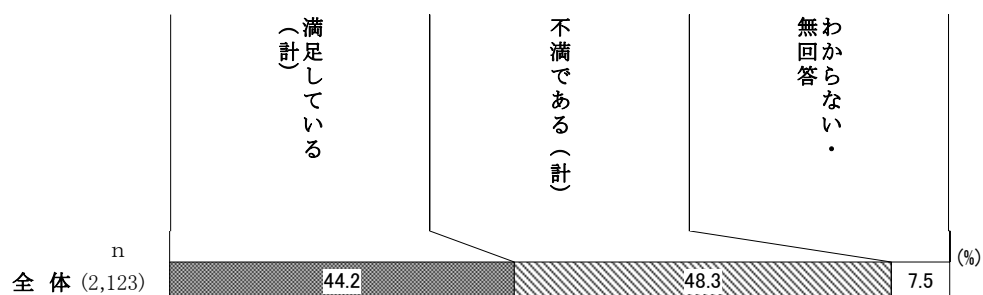
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は楽になった（計）では74.7%、変わらないでは62.2%と高くなっている。一方、苦しくなった（計）では23.7%と低くなっている。

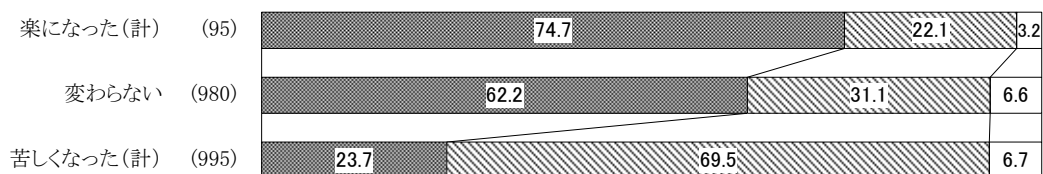
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は上（計）では92.0%と高く、中（計）でも54.5%と半数を超えている。下（計）では10.3%と低くなっている。

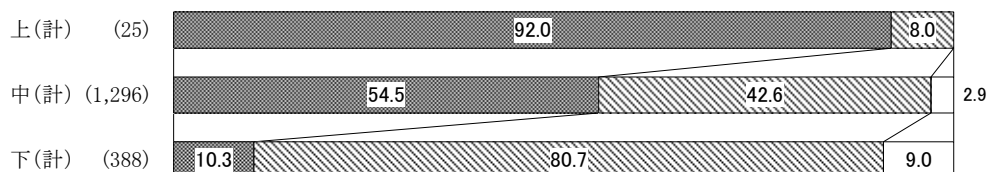
○生活全体の満足度・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【属性別比較】

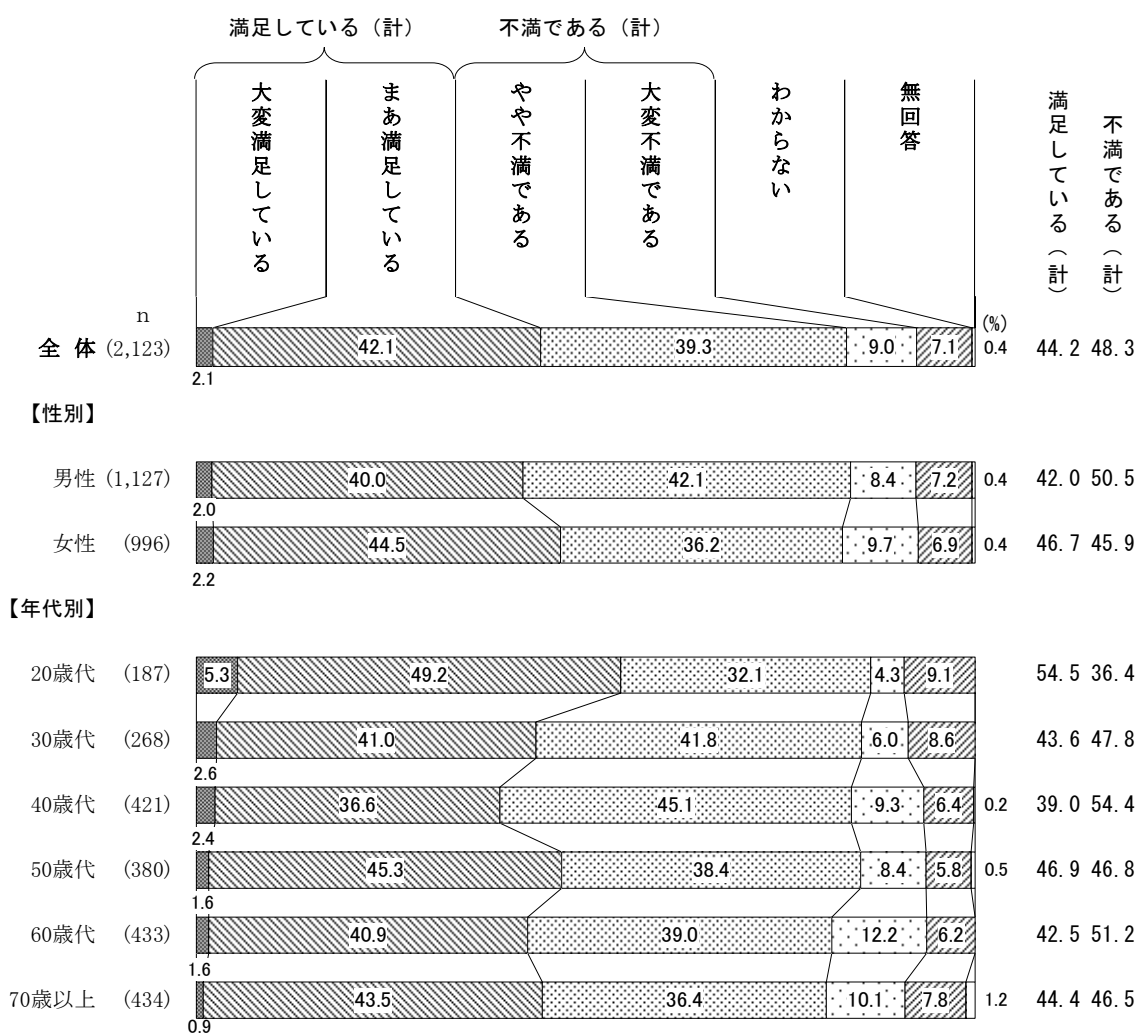
①性別

『満足している（計）』は女性（46.7%）が男性（42.0%）よりも4.7ポイント高くなっている。男性は『不満である（計）』（50.5%）が『満足している（計）』（42.0%）を8.5ポイント上回っている。

②年代別

『満足している（計）』は20歳代（54.5%）で最も高く、40歳代（39.0%）で最も低くなっている。『不満である（計）』は40歳代（54.4%）で最も高くなっている。

○生活全体の満足度・性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は秩父地域（74.1％）で7割台半ばと最も高くなっている。一方、『不満である（計）』は川越比企地域（53.9％）、北部地域（51.9％）、南部地域（50.4％）で5割台と高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は女性20歳代（62.4％）で6割を超えて最も高くなっている。一方、『不満である（計）』は男性40歳代（56.5％）で最も高くなっている。

⑤職業別

『満足している（計）』は自営業・家族従業（計）（47.1％）で最も高くなっている。一方、『不満である（計）』は雇用者（計）（51.4％）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（57.1％）で最も高くなっている。

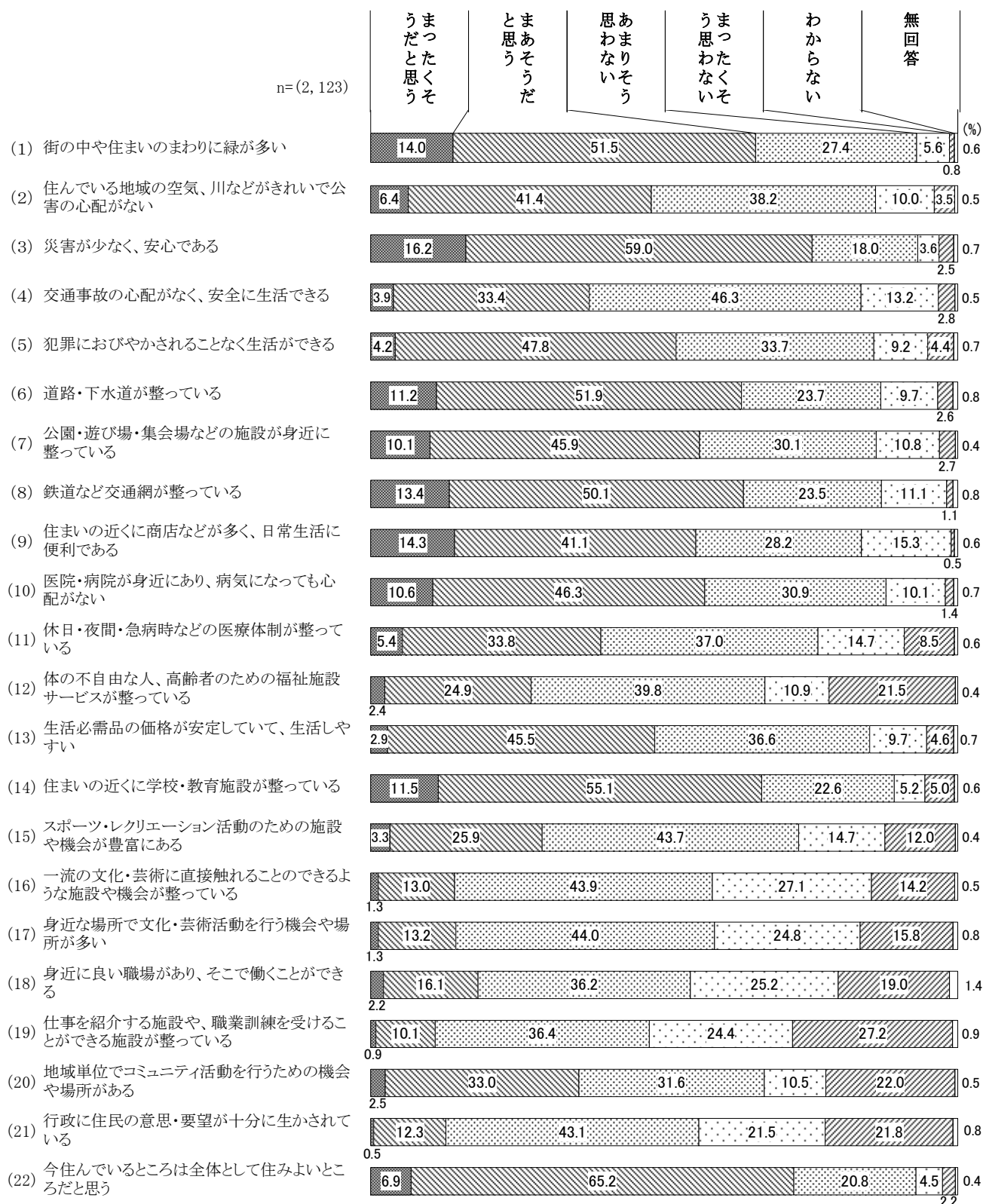
○生活全体の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	（％）	
								満足している（計）	不満である（計）
全 体	2,123	2.1	42.1	39.3	9.0	7.1	0.4	44.2	48.3
地域別									
南部地域	224	1.3	42.4	38.8	11.6	5.4	0.4	43.7	50.4
南西部地域	187	1.1	39.6	43.9	5.9	9.1	0.5	40.7	49.8
東部地域	321	2.5	40.8	39.3	10.3	7.2	-	43.3	49.6
さいたま地域	378	2.1	44.7	37.6	7.7	7.7	0.3	46.8	45.3
県央地域	142	2.1	47.9	35.9	7.0	5.6	1.4	50.0	42.9
川越比企地域	243	1.6	37.9	46.1	7.8	6.6	-	39.5	53.9
西部地域	224	1.8	43.3	34.8	12.5	6.7	0.9	45.1	47.3
利根地域	223	1.3	41.3	37.2	11.2	9.0	-	42.6	48.4
北部地域	154	3.9	38.3	44.8	7.1	5.2	0.6	42.2	51.9
秩父地域	27	11.1	63.0	18.5	-	7.4	-	74.1	18.5
性・年代別									
男性・20歳代	102	7.8	40.2	37.3	3.9	10.8	-	48.0	41.2
30歳代	144	2.1	38.2	45.1	6.9	7.6	-	40.3	52.0
40歳代	214	0.9	35.5	46.7	9.8	7.0	-	36.4	56.5
50歳代	216	1.9	44.9	39.8	6.9	6.0	0.5	46.8	46.7
60歳代	220	1.8	41.4	40.5	10.9	5.5	-	43.2	51.4
70歳以上	231	0.4	39.4	41.6	9.1	8.2	1.3	39.8	50.7
女性・20歳代	85	2.4	60.0	25.9	4.7	7.1	-	62.4	30.6
30歳代	124	3.2	44.4	37.9	4.8	9.7	-	47.6	42.7
40歳代	207	3.9	37.7	43.5	8.7	5.8	0.5	41.6	52.2
50歳代	164	1.2	45.7	36.6	10.4	5.5	0.6	46.9	47.0
60歳代	213	1.4	40.4	37.6	13.6	7.0	-	41.8	51.2
70歳以上	203	1.5	48.3	30.5	11.3	7.4	1.0	49.8	41.8
職業別									
自営業・家族従業（計）	223	3.6	43.5	36.8	6.3	9.4	0.4	47.1	43.1
雇用者（計）	1,106	1.4	41.6	42.4	9.0	5.4	0.2	43.0	51.4
無職（計）	790	2.5	42.7	35.8	9.6	8.7	0.6	45.2	45.4
ライフステージ別									
独身期	236	5.1	43.2	36.4	5.5	9.7	-	48.3	41.9
家族形成期	154	3.2	53.9	35.7	3.2	3.9	-	57.1	38.9
家族成長前期	216	1.4	40.3	37.5	8.8	11.6	0.5	41.7	46.3
家族成長後期	196	2.0	42.9	44.9	6.1	4.1	-	44.9	51.0
家族成熟期	470	1.3	41.1	42.8	8.5	6.0	0.4	42.4	51.3
高齢期	528	1.3	44.5	35.6	11.0	7.0	0.6	45.8	46.6
その他	323	2.2	34.1	42.1	13.9	7.1	0.6	36.3	56.0

(4) 住みよさ

◇同意率が最も高いのは「災害が少なく、安心である」(75.2%)

問4 あなたは、日ごろの生活の中で今お住まいの地域について、どのように感じていますか。
(1) から (22) のそれぞれについて、そう思うものをお選びください。



日ごろの生活の中で、今住んでいる地域の評価を22の項目（個別評価項目21、全体評価項目1）に分けて聞いた。分析に当たっては、『そうだと思う（計）』（「まったくそうだと思う」＋「まあそうだと思う」）と『そう思わない（計）』（「まったくそう思わない」＋「あまりそう思わない」）の分類と、平均点（「まったくそうだと思う」にプラス2、「まあそうだと思う」にプラス1、「あまりそう思わない」にマイナス1、「まったくそう思わない」にマイナス2、「わからない」に0の得点）の算出を行った。

【個別評価の21項目について】

①同意率・不同意率の比較

『そうだと思う（計）』（以下「同意率」という。）の高い項目

1位	災害が少なく、安心である	75.2%
2位	住まいの近くに学校・教育施設が整っている	66.6%
3位	街の中や住まいのまわりに緑が多い	65.5%
4位	鉄道など交通網が整っている	63.5%
5位	道路・下水道が整っている	63.1%

『そう思わない（計）』（以下「不同意率」という。）の高い項目

1位	一流の文化・芸術に直接触れることのできるような施設や機会が整っている	71.0%
2位	身近な場所で文化・芸術活動を行う機会や場所が多い	68.8%
3位	行政に住民の意思・要望が十分に生かされている	64.6%
4位	身近に良い職場があり、そこで働くことができる	61.4%
5位	仕事を紹介する施設や、職業訓練を受けることができる施設が整っている	60.8%

②平均点の比較

平均点は、プラス評価が9項目で、マイナス評価が12項目となっている。

順位	プラス評価項目	平均点	順位	マイナス評価項目	平均点
1位	災害が少なく、安心である	0.66	10位	住んでいる地域の空気、川などがきれいで公害の心配がない	-0.04
2位	住まいの近くに学校・教育施設が整っている	0.45	11位	生活必需品の価格が安定していて、生活しやすい	-0.05
3位	街の中や住まいのまわりに緑が多い	0.41	12位	地域単位でコミュニティ活動を行うための機会や場所がある	-0.15
4位	鉄道など交通網が整っている	0.32	13位	休日・夜間・急病時などの医療体制が整っている	-0.22
5位	道路・下水道が整っている	0.31	14位	交通事故の心配がなく、安全に生活できる	-0.32
6位	医院・病院が身近にあり、病気になっても心配がない	0.16	16位	体の不自由な人、高齢者のための福祉施設サービスが整っている	-0.32
7位	公園・遊び場・集会場などの施設が身近に整っている	0.14	17位	スポーツ・レクリエーション活動のための施設や機会が豊富にある	-0.41
8位	住まいの近くに商店などが多く、日常生活に便利である	0.11	18位	身近に良い職場があり、そこで働くことができる	-0.67
9位	犯罪におびやかされることなく生活ができる	0.04	19位	行政に住民の意思・要望が十分に生かされている	-0.73
(注) 平均点＝「まったくそうだと思う」にプラス2、 「まあそうだと思う」にプラス1、 「あまりそう思わない」にマイナス1、 「まったくそう思わない」にマイナス2、 「わからない」を0とした。			20位	仕事を紹介する施設や、職業訓練を受けることができる施設が整っている	-0.74
			21位	身近な場所で文化・芸術活動を行う機会や場所が多い	-0.79
			21位	一流の文化・芸術に直接触れることのできるような施設や機会が整っている	-0.83

□全体評価項目について

「今住んでいるところは全体として住みよいところだと思う」は同意率72.1%、平均点0.49点で、同意率は個別評価項目の「災害が少なく、安心である」以外のすべての項目を上回っている。

同意率の高い順

	同意率 (%)	不同意率 (%)	平均点
【全体評価項目】 今住んでいるところは全体として住みよいところだと思う	72.1	25.3	0.49
【個別評価21項目】 (3) 災害が少なく、安心である	75.2	21.6	0.66
(14) 住まいの近くに学校・教育施設が整っている	66.6	27.8	0.45
(1) 街の中や住まいのまわりに緑が多い	65.5	33.0	0.41
(8) 鉄道など交通網が整っている	63.5	34.6	0.32
(6) 道路・下水道が整っている	63.1	33.4	0.31
(10) 医院・病院が身近にあり、病気になっても心配がない	56.9	41.0	0.16
(7) 公園・遊び場・集会場などの施設が身近に整っている	56.0	40.9	0.14
(9) 住まいの近くに商店などが多く、日常生活に便利である	55.4	43.5	0.11
(5) 犯罪におびやかされることなく生活ができる	52.0	42.9	0.04
(13) 生活必需品の価格が安定していて、生活しやすい	48.4	46.3	-0.05
(2) 住んでいる地域の空気、川などがきれいで公害の心配がない	47.8	48.2	-0.04
(11) 休日・夜間・急病時などの医療体制が整っている	39.2	51.7	-0.22
(4) 交通事故の心配がなく、安全に生活できる	37.3	59.5	-0.32
(20) 地域単位でコミュニティ活動を行うための機会や場所がある	35.5	42.1	-0.15
(15) スポーツ・レクリエーション活動のための施設や機会が豊富にある	29.2	58.4	-0.41
(12) 体の不自由な人、高齢者のための福祉施設サービスが整っている	27.3	50.7	-0.32
(18) 身近に良い職場があり、そこで働くことができる	18.3	61.4	-0.67
(17) 身近な場所で文化・芸術活動を行う機会や場所が多い	14.5	68.8	-0.79
(16) 一流の文化・芸術に直接触れることのできるような施設や機会が整っている	14.3	71.0	-0.83
(21) 行政に住民の意思・要望が十分に生かされている	12.8	64.6	-0.73
(19) 仕事を紹介する施設や、職業訓練を受けることができる施設が整っている	11.0	60.8	-0.74

(1) 街の中や住まいのまわりに緑が多い

◇同意率 65.5%（個別評価21項目中3位）／不同意率 33.0%／平均点 0.41（21項目中3位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より1.6ポイント増加し、不同意率は前回より1.5ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

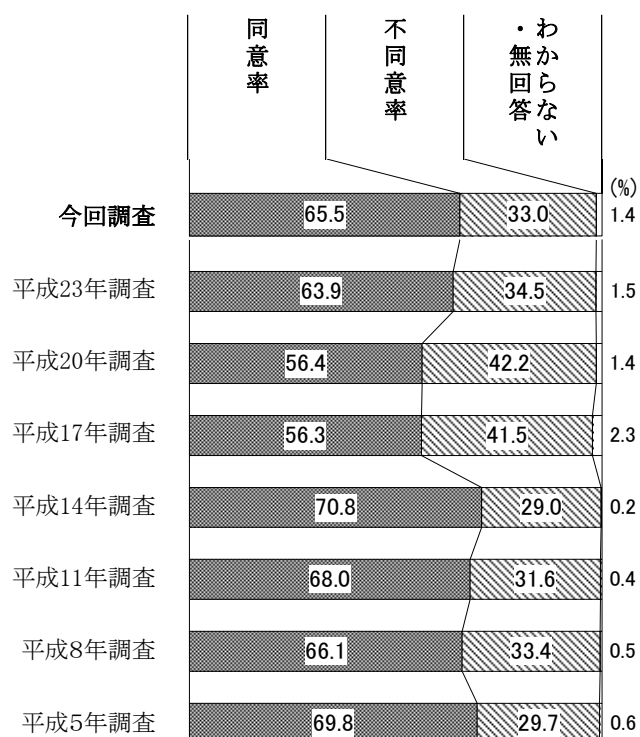
同意率は西部地域（87.5%）で8割台半ばを超えて最も高く、不同意率は南部地域（53.1%）で5割を超えて最も高くなっている。平均点は秩父地域で1.11と最も高く、南部地域で-0.09と最も低くなっている。

②性別

性別による大きな違いはみられない。

③年代別

同意率は20歳代（69.0%）で7割弱、平均点でも0.49と最も高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	14.0	51.5	27.4	5.6	0.8	0.6
地域別							
南部地域	224	6.3	40.2	44.6	8.5	0.4	-
南西部地域	187	10.2	51.9	29.4	5.3	1.1	2.1
東部地域	321	7.2	48.9	36.4	6.5	0.6	0.3
さいたま地域	378	7.9	54.0	29.6	7.4	1.1	-
県央地域	142	19.0	52.8	19.0	6.3	0.7	2.1
川越比企地域	243	19.3	56.4	19.8	4.1	0.4	-
西部地域	224	28.1	59.4	11.2	0.9	-	0.4
利根地域	223	13.5	51.1	26.5	5.8	2.2	0.9
北部地域	154	21.4	49.4	23.4	3.2	1.3	1.3
秩父地域	27	44.4	40.7	11.1	3.7	-	-
性別							
男性	1,127	12.6	52.4	27.6	5.7	1.1	0.6
女性	996	15.7	50.5	27.2	5.4	0.6	0.6
年代別							
20歳代	187	12.3	56.7	25.7	3.7	0.5	1.1
30歳代	268	13.4	50.4	28.0	7.5	0.4	0.4
40歳代	421	16.9	49.4	28.5	4.0	0.7	0.5
50歳代	380	14.2	52.6	26.6	5.3	0.8	0.5
60歳代	433	12.5	51.5	27.9	6.7	1.2	0.2
70歳以上	434	13.8	51.2	27.0	5.8	1.2	1.2

同意率 (%)			不同意率 (%)	平均点
65.5	33.0	0.41		
46.5	53.1	-0.09		
62.1	34.7	0.33		
56.1	42.9	0.14		
61.9	37.0	0.25		
71.8	25.3	0.60		
75.7	23.9	0.67		
87.5	12.1	1.03		
64.6	32.3	0.40		
70.8	26.6	0.63		
85.1	14.8	1.11		
65.0	33.3	0.39		
66.2	32.6	0.44		
69.0	29.4	0.49		
63.8	35.5	0.34		
66.3	32.5	0.47		
66.8	31.9	0.44		
64.0	34.6	0.35		
65.0	32.8	0.41		

(2) 住んでいる地域の空気、川などがきれいで公害の心配がない

◇同意率 47.8%（個別評価21項目中11位）／不同意率 48.2%／平均点 -0.04（21項目中10位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より5.6ポイント増加し、不同意率は前回より5.2ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

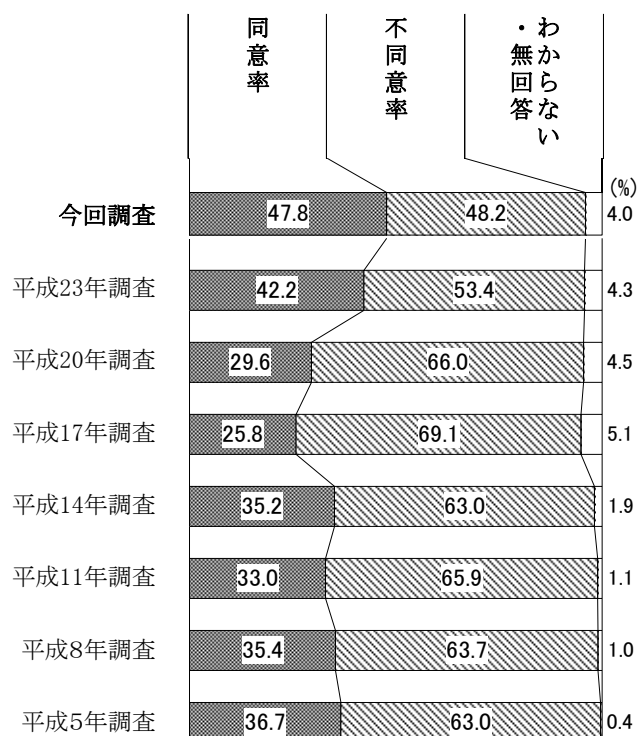
同意率は秩父地域（81.5%）で8割強と最も高く、不同意率は南部地域（68.8%）で7割弱と最も高くなっている。平均点は秩父地域で0.96と最も高く、南部地域で-0.56と最も低くなっている。

②性別

同意率は男性（49.1%）が女性（46.2%）を2.9ポイント上回っている。

③年代別

同意率は70歳以上（59.2%）で6割弱と最も高く、不同意率は40歳代（58.0%）で6割弱と最も高くなっている。平均点は70歳以上で0.27と最も高く、40歳代で-0.29と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	6.4	41.4	38.2	10.0	3.5	0.5
地域別							
南部地域	224	3.6	24.1	50.0	18.8	3.6	-
南西部地域	187	4.3	41.7	41.7	7.0	3.2	2.1
東部地域	321	4.7	37.4	39.3	16.2	2.5	-
さいたま地域	378	5.0	37.6	44.4	7.9	4.8	0.3
県央地域	142	9.9	40.8	35.9	9.2	2.8	1.4
川越比企地域	243	8.6	55.6	28.8	4.5	2.5	-
西部地域	224	11.2	50.0	28.6	6.3	4.0	-
利根地域	223	4.9	41.7	36.8	11.2	4.5	0.9
北部地域	154	5.2	46.1	37.0	8.4	3.2	-
秩父地域	27	22.2	59.3	11.1	-	3.7	3.7
性別							
男性	1,127	6.2	42.9	37.3	9.8	3.3	0.4
女性	996	6.5	39.7	39.3	10.2	3.8	0.5
年代別							
20歳代	187	4.3	37.4	42.8	9.6	4.8	1.1
30歳代	268	5.2	38.4	39.9	12.7	3.4	0.4
40歳代	421	3.3	35.2	45.6	12.4	3.3	0.2
50歳代	380	5.3	41.3	41.6	8.7	2.9	0.3
60歳代	433	7.9	43.6	35.1	10.2	3.0	0.2
70歳以上	434	10.4	48.8	28.1	7.4	4.4	0.9

同意率 (%)			平均点
同意率	不同意率	平均点	
47.8	48.2	-0.04	
27.7	68.8	-0.56	
46.0	48.7	-0.05	
42.1	55.5	-0.25	
42.6	52.3	-0.13	
50.7	45.1	0.06	
64.2	33.3	0.35	
61.2	34.9	0.31	
46.6	48.0	-0.08	
51.3	45.4	0.03	
81.5	11.1	0.96	
49.1	47.1	-0.02	
46.2	49.5	-0.07	
41.7	52.4	-0.16	
43.6	52.6	-0.16	
38.5	58.0	-0.29	
46.6	50.3	-0.07	
51.5	45.3	0.04	
59.2	35.5	0.27	

(3) 災害が少なく、安心である

◇同意率 75.2%（個別評価21項目中1位）／不同意率21.6%／平均点 0.66（21項目中1位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より3.4ポイント増加し、不同意率は前回より3.2ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

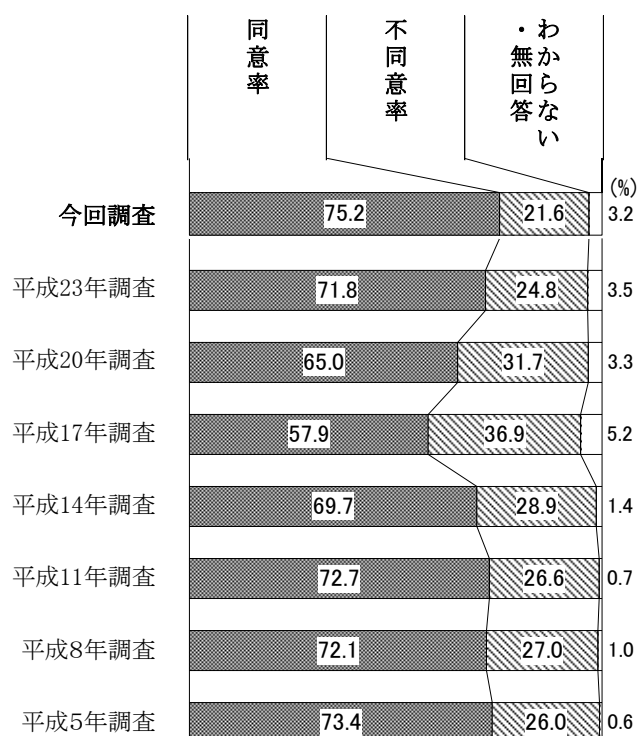
同意率は北部地域（87.0%）で8割台半ばを超えて最も高く、不同意率は南部地域（38.0%）で4割弱と最も高くなっている。平均点は北部地域で0.95、秩父地域で0.93と高く、南部地域で0.23と最も低くなっている。

②性別

性別による大きな違いはみられない。

③年代別

同意率は20歳代（77.5%）と70歳以上（77.2%）で7割台半ばを超えて高く、不同意率は40歳代（23.7%）と50歳代（24.2%）で高くなっている。平均点は70歳以上で0.76、20歳代で0.74と高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	16.2	59.0	18.0	3.6	2.5	0.7
地域別							
南部地域	224	8.0	50.9	31.3	6.7	2.2	0.9
南西部地域	187	11.8	58.8	20.3	4.3	2.1	2.7
東部地域	321	10.6	58.9	22.1	5.3	3.1	-
さいたま地域	378	18.3	59.0	16.9	2.6	2.6	0.5
県央地域	142	21.8	61.3	10.6	2.8	2.1	1.4
川越比企地域	243	20.2	61.3	14.8	2.5	1.2	-
西部地域	224	23.7	58.9	12.9	2.2	2.2	-
利根地域	223	13.5	58.3	18.4	4.5	4.5	0.9
北部地域	154	18.8	68.2	9.1	1.3	1.9	0.6
秩父地域	27	29.6	51.9	18.5	-	-	-
性別							
男性	1,127	16.2	59.1	17.7	3.6	2.8	0.6
女性	996	16.1	58.9	18.5	3.6	2.2	0.7
年代別							
20歳代	187	15.5	62.0	15.0	2.7	3.2	1.6
30歳代	268	14.2	60.4	18.7	3.4	2.2	1.1
40歳代	421	14.5	58.9	19.7	4.0	2.6	0.2
50歳代	380	13.2	60.5	19.2	5.0	1.6	0.5
60歳代	433	16.9	58.7	17.3	3.5	3.2	0.5
70歳以上	434	21.2	56.0	17.1	2.8	2.3	0.7

同意率 (%)			平均点
同意率	不同意率	平均点	
75.2	21.6	0.66	
58.9	38.0	0.23	
70.6	24.6	0.55	
69.5	27.4	0.47	
77.3	19.5	0.74	
83.1	13.4	0.90	
81.5	17.3	0.82	
82.6	15.1	0.89	
71.8	22.9	0.58	
87.0	10.4	0.95	
81.5	18.5	0.93	
75.3	21.3	0.67	
75.0	22.1	0.66	
77.5	17.7	0.74	
74.6	22.1	0.64	
73.4	23.7	0.60	
73.7	24.2	0.58	
75.6	20.8	0.68	
77.2	19.9	0.76	

（４）交通事故の心配がなく、安全に生活できる

◇同意率 37.3%（個別評価21項目中13位）／不同意率 59.5%／平均点 -0.32（21項目中14位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査よりわずかに増加している。

【属性別比較】

①地域別

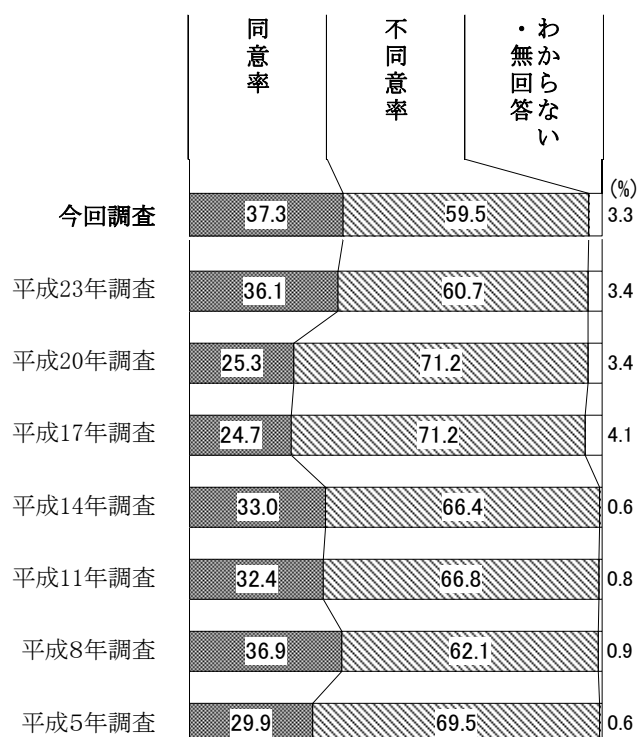
同意率は秩父地域（51.8%）で5割強と最も高く、不同意率は南部地域（67.9%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。平均点は秩父地域で0.07と最も高く、南部地域で-0.54と最も低くなっている。

②性別

性別による大きな違いはみられない。

③年代別

同意率は70歳以上（48.9%）で5割弱と最も高く、不同意率は30歳代（70.5%）で約7割と最も高くなっている。平均点は70歳以上で0.02と最も高く、30歳代で-0.57と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	3.9	33.4	46.3	13.2	2.8	0.5
地域別							
南部地域	224	3.1	27.2	48.7	19.2	1.8	-
南西部地域	187	3.2	29.4	50.3	12.8	2.1	2.1
東部地域	321	4.0	34.6	44.9	14.3	1.9	0.3
さいたま地域	378	2.6	33.6	46.3	13.5	4.0	-
県央地域	142	5.6	34.5	43.0	11.3	4.2	1.4
川越比企地域	243	4.1	37.0	47.3	10.3	1.2	-
西部地域	224	6.7	36.2	46.0	9.8	1.3	-
利根地域	223	2.7	33.2	43.5	15.2	4.5	0.9
北部地域	154	2.6	32.5	47.4	11.7	5.2	0.6
秩父地域	27	11.1	40.7	40.7	7.4	-	-
性別							
男性	1,127	3.5	33.5	45.9	13.8	2.9	0.4
女性	996	4.3	33.3	46.7	12.6	2.6	0.5
年代別							
20歳代	187	3.2	31.6	47.6	15.0	1.6	1.1
30歳代	268	1.9	25.4	55.2	15.3	1.5	0.7
40歳代	421	1.4	28.3	48.0	17.8	4.3	0.2
50歳代	380	2.1	33.4	48.7	13.2	2.1	0.5
60歳代	433	4.8	37.0	43.4	12.0	2.8	-
70歳以上	434	8.3	40.6	39.2	8.1	3.2	0.7

同意率 (%)			不同意率 (%)	平均点
37.3	59.5	-0.32		
30.3	67.9	-0.54		
32.6	63.1	-0.41		
38.6	59.2	-0.31		
36.2	59.8	-0.34		
40.1	54.3	-0.20		
41.1	57.6	-0.23		
42.9	55.8	-0.16		
35.9	58.7	-0.36		
35.1	59.1	-0.33		
51.8	48.1	0.07		
37.0	59.7	-0.33		
37.6	59.3	-0.30		
34.8	62.6	-0.40		
27.3	70.5	-0.57		
29.7	65.8	-0.53		
35.5	61.9	-0.38		
41.8	55.4	-0.21		
48.9	47.3	0.02		

（５）犯罪におびやかされることなく生活ができる

◇同意率 52.0%（個別評価21項目中9位）／不同意率 42.9%／平均点 0.04（21項目中9位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より3.1ポイント増加し、不同意率は4.2ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

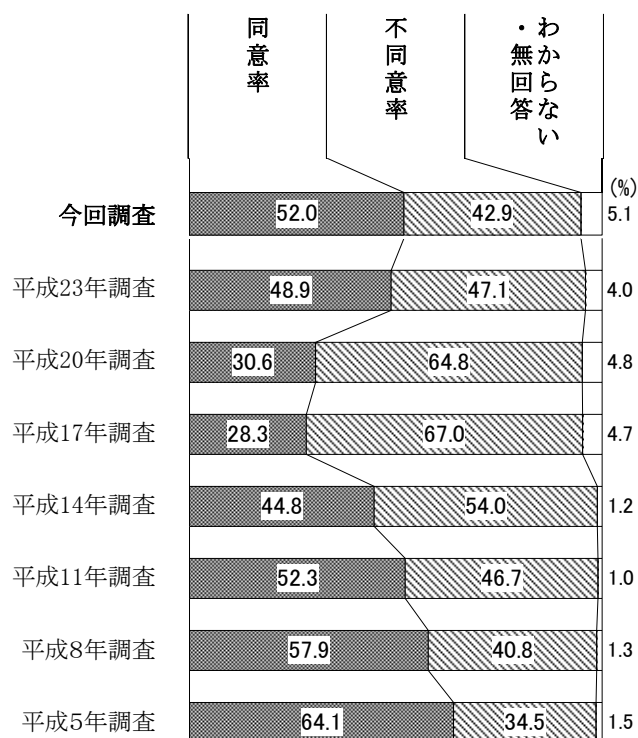
同意率は秩父地域（77.8%）で7割台半ばを超えて最も高く、不同意率は南部地域（57.6%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。平均点は秩父地域で0.67と最も高く、南部地域で-0.30と最も低くなっている。

②性別

同意率は男性（53.1%）が女性（50.7%）を2.4ポイント上回っている。

③年代別

同意率は70歳以上（62.4%）で6割を超えて最も高く、不同意率は40歳代（50.4%）で約5割と最も高くなっている。平均点は70歳以上で0.32と最も高く、40歳代で-0.18と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	4.2	47.8	33.7	9.2	4.4	0.7
地域別							
南部地域	224	4.0	36.2	40.6	17.0	1.8	0.4
南西部地域	187	1.1	43.9	41.2	8.0	3.2	2.7
東部地域	321	4.7	46.7	32.1	11.5	4.7	0.3
さいたま地域	378	4.0	51.1	29.1	9.3	6.3	0.3
県央地域	142	6.3	52.8	28.9	4.9	4.9	2.1
川越比企地域	243	4.5	51.4	33.7	5.8	4.5	-
西部地域	224	6.7	50.0	33.0	7.6	2.7	-
利根地域	223	1.8	45.3	36.3	9.9	5.4	1.3
北部地域	154	2.6	51.9	33.8	5.8	5.2	0.6
秩父地域	27	18.5	59.3	14.8	7.4	-	-
性別							
男性	1,127	4.4	48.7	32.6	9.2	4.4	0.6
女性	996	3.9	46.8	34.9	9.2	4.3	0.8
年代別							
20歳代	187	6.4	42.2	37.4	6.4	6.4	1.1
30歳代	268	3.0	44.0	39.6	9.0	4.1	0.4
40歳代	421	1.4	43.2	37.1	13.3	4.3	0.7
50歳代	380	2.1	48.9	35.8	10.0	2.6	0.5
60歳代	433	5.1	49.0	33.3	7.9	4.8	-
70歳以上	434	7.6	54.8	23.7	7.4	4.8	1.6

同意率 (%)			不同意率 (%)	平均点	
52.0	42.9	0.04			
40.2	57.6	-0.30			
45.0	49.2	-0.12			
51.4	43.6	0.01			
55.1	38.4	0.11			
59.1	33.8	0.27			
55.9	39.5	0.15			
56.7	40.6	0.15			
47.1	46.2	-0.07			
54.5	39.6	0.12			
77.8	22.2	0.67			
53.1	41.8	0.07			
50.7	44.1	0.01			
48.6	43.8	0.05			
47.0	48.6	-0.07			
44.6	50.4	-0.18			
51.0	45.8	-0.03			
54.1	41.2	0.10			
62.4	31.1	0.32			

(6) 道路・下水道が整っている

◇同意率 63.1%（個別評価21項目中5位）／不同意率 33.4%／平均点 0.31（21項目中5位）

【経年比較】

同意率、不同意率とも前回の平成23年調査とほぼ同じ水準となっている。

【属性別比較】

①地域別

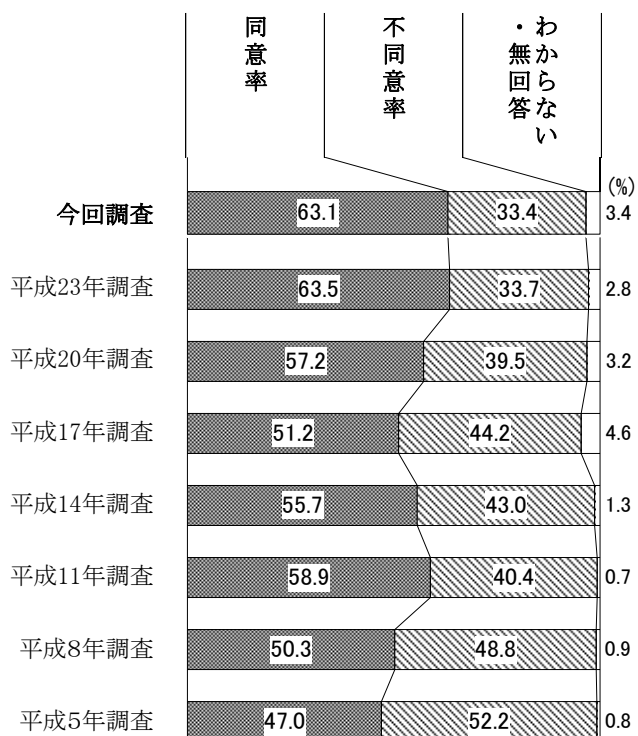
同意率は秩父地域（77.8%）で7割台半ばを超えて最も高く、不同意率は川越比企地域（43.2%）、利根地域（41.3%）、北部地域（40.3%）で4割を超えて高くなっている。平均点は秩父地域で0.67と最も高く、利根地域で0.03と最も低くなっている。

②性別

性別による大きな違いはみられない。

③年代別

同意率は70歳以上（67.8%）で6割台半ばを超えて最も高く、不同意率は40歳代（37.8%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。平均点は70歳以上で0.50と最も高く、40歳代で0.20と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	11.2	51.9	23.7	9.7	2.6	0.8
地域別							
南部地域	224	13.4	60.3	18.3	5.4	2.7	-
南西部地域	187	7.5	57.2	21.4	6.4	4.8	2.7
東部地域	321	7.5	53.6	23.7	12.8	2.2	0.3
さいたま地域	378	17.2	52.1	20.6	7.7	2.1	0.3
県央地域	142	12.0	47.9	21.1	14.8	2.1	2.1
川越比企地域	243	9.9	44.0	33.3	9.9	2.1	0.8
西部地域	224	17.4	51.8	24.6	4.9	1.3	-
利根地域	223	4.5	48.9	27.8	13.5	4.0	1.3
北部地域	154	7.1	48.1	24.7	15.6	3.2	1.3
秩父地域	27	14.8	63.0	11.1	7.4	3.7	-
性別							
男性	1,127	12.6	50.7	22.6	10.6	2.8	0.7
女性	996	9.6	53.3	25.0	8.7	2.4	0.9
年代別							
20歳代	187	11.2	52.9	18.7	9.1	6.4	1.6
30歳代	268	12.7	52.2	22.8	9.7	1.9	0.7
40歳代	421	7.4	52.0	28.5	9.3	2.4	0.5
50歳代	380	8.7	53.4	22.9	11.3	2.6	1.1
60歳代	433	9.5	52.0	24.7	11.3	2.3	0.2
70歳以上	434	18.0	49.8	21.7	7.4	2.1	1.2

同意率 (%)			平均点
同意率	不同意率	平均点	
63.1	33.4	0.31	
73.7	23.7	0.58	
64.7	27.8	0.39	
61.1	36.5	0.19	
69.3	28.3	0.51	
59.9	35.9	0.22	
53.9	43.2	0.11	
69.2	29.5	0.52	
53.4	41.3	0.03	
55.2	40.3	0.07	
77.8	18.5	0.67	
63.3	33.2	0.32	
62.9	33.7	0.30	
64.1	27.8	0.39	
64.9	32.5	0.36	
59.4	37.8	0.20	
62.1	34.2	0.26	
61.5	36.0	0.24	
67.8	29.1	0.50	

(7) 公園・遊び場・集会場などの施設が身近に整っている

◇同意率 56.0%（個別評価21項目中7位）／不同意率 40.9%／平均点 0.14（21項目中7位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より1.5ポイント増加し、不同意率は1.2ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

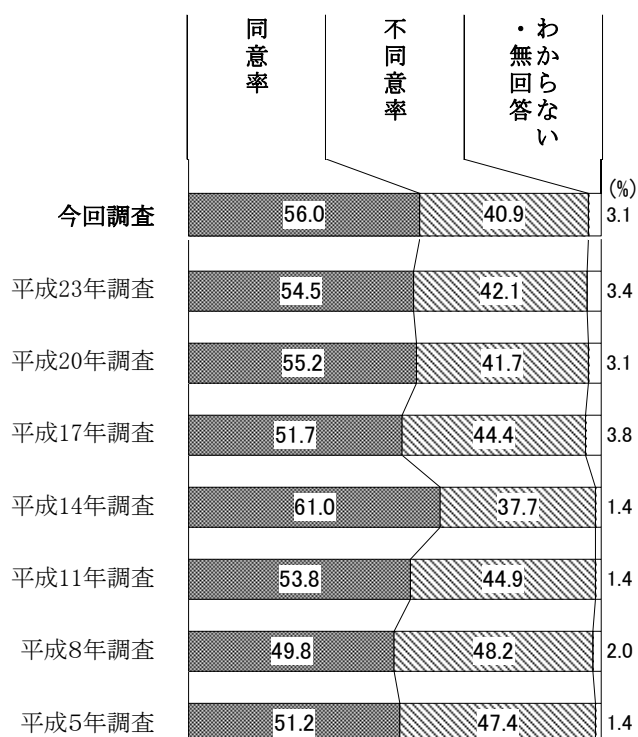
同意率は西部地域（66.1%）、さいたま地域（64.8%）、南部地域（63.8%）、県央地域（62.0%）で6割を超えて高く、不同意率は秩父地域（70.3%）で約7割と最も高くなっている。平均点は西部地域で0.46と最も高く、秩父地域で-0.59と最も低くなっている。

②性別

性別による大きな違いはみられない。

③年代別

同意率は70歳以上（60.3%）で約6割と最も高く、不同意率は40歳代（44.9%）と50歳代（44.5%）で4割台半ばと高くなっている。平均点は70歳以上で0.33と最も高く、40歳代と50歳代でそれぞれ0.05と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	10.1	45.9	30.1	10.8	2.7	0.4
地域別							
南部地域	224	12.5	51.3	27.7	6.7	1.8	-
南西部地域	187	7.5	48.1	26.7	13.4	2.7	1.6
東部地域	321	9.0	43.6	31.2	12.8	3.4	-
さいたま地域	378	13.2	51.6	25.9	7.4	1.9	-
県央地域	142	10.6	51.4	26.8	7.7	2.1	1.4
川越比企地域	243	4.9	36.2	43.6	11.9	2.9	0.4
西部地域	224	18.8	47.3	24.1	7.6	2.2	-
利根地域	223	5.4	43.9	31.4	12.6	5.4	1.3
北部地域	154	7.1	40.3	31.2	19.5	1.9	-
秩父地域	27	3.7	25.9	48.1	22.2	-	-
性別							
男性	1,127	9.9	46.1	31.1	9.8	2.7	0.4
女性	996	10.2	45.6	28.9	12.0	2.7	0.5
年代別							
20歳代	187	12.8	44.9	23.0	13.4	4.3	1.6
30歳代	268	11.6	44.4	28.4	13.8	1.9	-
40歳代	421	9.7	43.2	31.6	13.3	1.9	0.2
50歳代	380	7.1	46.3	33.2	11.3	1.6	0.5
60歳代	433	8.5	47.3	32.3	9.7	2.1	-
70歳以上	434	12.4	47.9	27.9	6.2	4.8	0.7

同意率 (%)			平均点
同意率	不同意率	平均点	
56.0	40.9	0.14	
63.8	34.4	0.35	
55.6	40.1	0.10	
52.6	44.0	0.05	
64.8	33.3	0.37	
62.0	34.5	0.31	
41.1	55.5	-0.21	
66.1	31.7	0.46	
49.3	44.0	-0.02	
47.4	50.7	-0.16	
29.6	70.3	-0.59	
56.0	40.9	0.15	
55.8	40.9	0.13	
57.7	36.4	0.21	
56.0	42.2	0.12	
52.9	44.9	0.05	
53.4	44.5	0.05	
55.8	42.0	0.13	
60.3	34.1	0.33	

(8) 鉄道など交通網が整っている

◇同意率 63.5%（個別評価21項目中4位）／不同意率 34.6%／平均点 0.32（21項目中4位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より3.0ポイント増加し、不同意率は前回より2.6ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

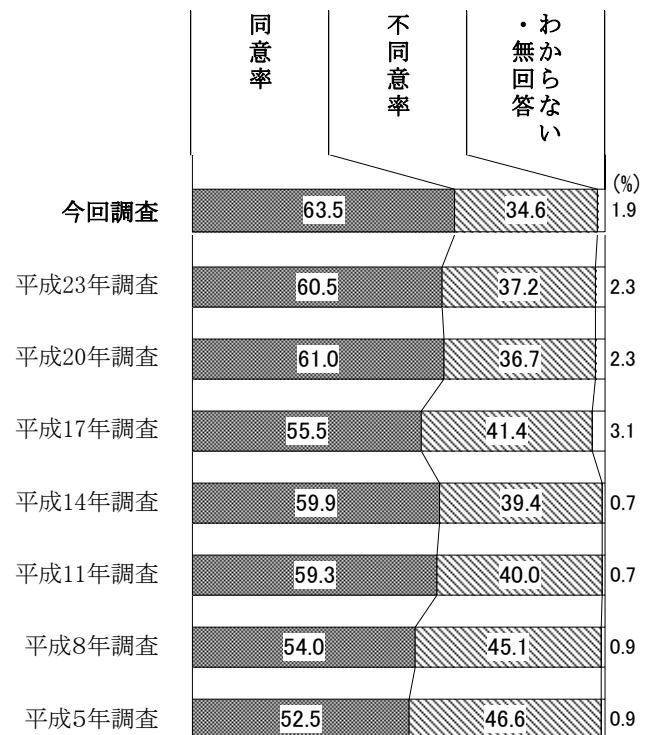
同意率はさいたま地域（79.9%）で約8割と最も高く、不同意率は利根地域（55.6%）で5割台半ばと最も高くなっている。平均点はさいたま地域で0.78と最も高く、利根地域で-0.33と最も低くなっている。

②性別

性別による大きな違いはみられない。

③年代別

同意率は30歳代（69.4%）で約7割と最も高く、不同意率は50歳代（34.0%）で約4割と最も高くなっている。平均点は30歳代で0.48と最も高く、50歳代で0.19と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答	同意率 (%)	不同意率 (%)	平均点 (%)
全 体	2,123	13.4	50.1	23.5	11.1	1.1	0.8	63.5	34.6	0.32
地域別										
南部地域	224	17.0	50.0	22.3	8.9	1.3	0.4	67.0	31.2	0.44
南西部地域	187	12.8	52.4	18.7	12.8	1.1	2.1	65.2	31.5	0.34
東部地域	321	13.7	53.0	22.7	7.8	1.9	0.9	66.7	30.5	0.42
さいたま地域	378	23.3	56.6	14.8	5.0	0.3	-	79.9	19.8	0.78
県央地域	142	14.1	41.5	25.4	16.2	-	2.8	55.6	41.6	0.12
川越比企地域	243	6.2	53.9	28.8	10.7	0.4	-	60.1	39.5	0.16
西部地域	224	16.1	53.6	20.5	9.4	0.4	-	69.7	29.9	0.46
利根地域	223	3.6	37.2	34.5	21.1	2.2	1.3	40.8	55.6	-0.33
北部地域	154	7.8	41.6	30.5	16.2	2.6	1.3	49.4	46.7	-0.06
秩父地域	27	-	48.1	33.3	18.5	-	-	48.1	51.8	-0.22
性別										
男性	1,127	13.7	49.1	24.7	10.9	0.9	0.8	62.8	35.6	0.30
女性	996	13.2	51.3	22.2	11.2	1.3	0.8	64.5	33.4	0.33
年代別										
20歳代	187	14.4	48.1	16.6	16.6	2.7	1.6	62.5	33.2	0.28
30歳代	268	18.3	51.1	20.9	9.3	0.4	-	69.4	30.2	0.48
40歳代	421	15.4	49.2	21.6	12.4	1.0	0.5	64.6	34.0	0.34
50歳代	380	11.1	48.7	27.4	12.1	0.3	0.5	59.8	39.5	0.19
60歳代	433	11.3	48.5	27.0	11.5	0.9	0.7	59.8	38.5	0.21
70歳以上	434	12.2	54.1	23.0	7.1	1.8	1.6	66.3	30.1	0.42

(9) 住まいの近くに商店などが多く、日常生活に便利である

◇同意率 55.4% (個別評価21項目中8位) / 不同意率 43.5% / 平均点 0.11 (21項目中8位)

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より3.9ポイント増加し、不同意率は前回より3.9ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

同意率は南部地域 (63.4%) で6割強と最も高く、不同意率は利根地域 (61.9%) で6割強と最も高くなっている。平均点は南部地域で0.36と最も高く、利根地域で-0.46と最も低くなっている。

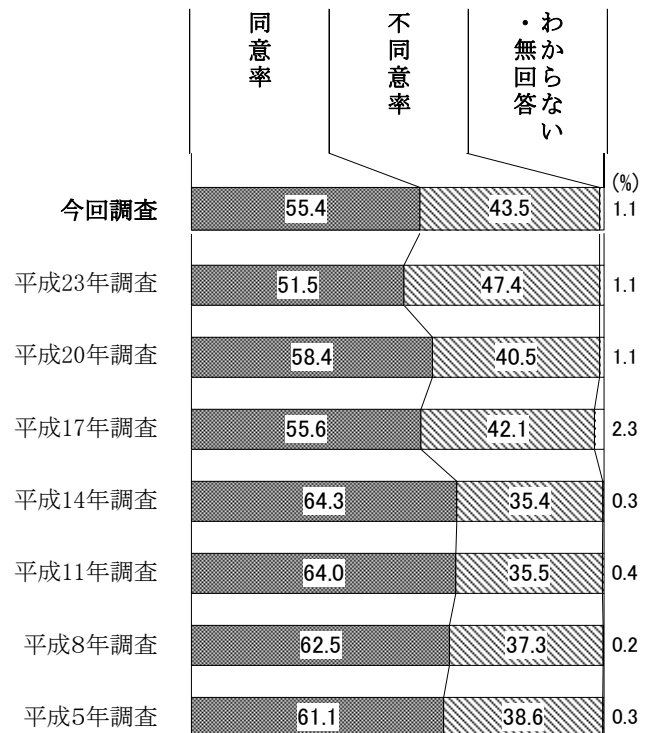
②性別

同意率は女性 (58.8%) が男性 (52.4%) を6.4ポイント上回っている。

③年代別

同意率は30歳代 (59.7%) で約6割と最も高く、不同意率は60歳代 (46.9%) と50歳代

(46.0%) で4割台半ばを超えて高くなっている。平均点は30歳代で0.24、20歳代で0.23と高く、50歳代で0.02、60歳代で0.03と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	14.3	41.1	28.2	15.3	0.5	0.6
地域別							
南部地域	224	19.6	43.8	25.9	10.7	-	-
南西部地域	187	10.7	40.1	33.7	12.3	-	3.2
東部地域	321	15.9	42.4	24.9	15.9	0.9	-
さいたま地域	378	19.8	43.1	22.0	14.0	0.5	0.5
県央地域	142	19.7	40.1	22.5	16.2	-	1.4
川越比企地域	243	7.4	44.9	32.5	14.4	0.4	0.4
西部地域	224	17.0	43.3	29.5	10.3	-	-
利根地域	223	4.0	31.8	38.1	23.8	1.3	0.9
北部地域	154	12.3	35.7	29.2	21.4	1.3	-
秩父地域	27	7.4	40.7	29.6	22.2	-	-
性別							
男性	1,127	13.2	39.2	31.0	15.4	0.5	0.7
女性	996	15.6	43.2	25.1	15.2	0.5	0.5
年代別							
20歳代	187	17.6	39.6	26.7	12.8	2.1	1.1
30歳代	268	14.6	45.1	30.2	10.1	-	-
40歳代	421	15.9	42.0	23.3	18.1	0.2	0.5
50歳代	380	11.3	42.4	29.2	16.8	-	0.3
60歳代	433	13.2	39.0	31.2	15.7	0.5	0.5
70歳以上	434	15.0	39.2	28.6	15.0	0.9	1.4

同意率 (%)			平均点
同意率	不同意率	平均点	
55.4	43.5	0.11	
63.4	36.6	0.36	
50.8	46.0	0.03	
58.3	40.8	0.17	
62.9	36.0	0.33	
59.8	38.7	0.25	
52.3	46.9	-0.02	
60.3	39.8	0.27	
35.8	61.9	-0.46	
48.0	50.6	-0.12	
48.1	51.8	-0.19	
52.4	46.4	0.04	
58.8	40.3	0.19	
57.2	39.5	0.23	
59.7	40.3	0.24	
57.9	41.4	0.15	
53.7	46.0	0.02	
52.2	46.9	0.03	
54.2	43.6	0.11	

(10) 医院・病院が身近にあり、病気になっても心配がない

◇同意率 56.9%（個別評価21項目中6位）／不同意率 41.0%／平均点 0.16（21項目中6位）

【経年比較】

同意率、不同意率とも前回の平成23年調査とほぼ同じ水準となっている。

【属性別比較】

①地域別

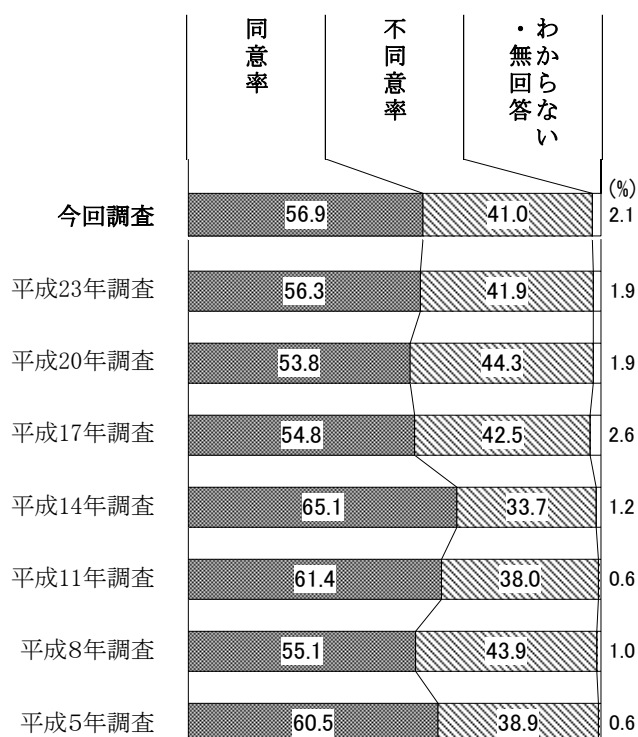
同意率はさいたま地域（64.8%）で6割台半ばと最も高く、不同意率は秩父地域（59.2%）で約6割と最も高くなっている。平均点はさいたま地域で0.40と最も高く、秩父地域で-0.41と最も低くなっている。

②性別

同意率は女性（59.3%）が男性（54.8%）を4.5ポイント上回っている。

③年代別

同意率は30歳代（62.6%）と20歳代（62.0%）で6割を超えて高く、不同意率は50歳代（44.7%）と60歳代（44.6%）で4割台半ばと高くなっている。平均点は20歳代で0.36、30歳代で0.35と高く、50歳代で0.04、60歳代で0.05と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2, 123	10. 6	46. 3	30. 9	10. 1	1. 4	0. 7
地域別							
南部地域	224	14. 7	49. 1	27. 7	7. 6	0. 4	0. 4
南西部地域	187	6. 4	52. 9	32. 1	4. 8	1. 6	2. 1
東部地域	321	9. 3	53. 3	26. 2	9. 7	1. 2	0. 3
さいたま地域	378	15. 1	49. 7	27. 0	6. 6	1. 3	0. 3
県央地域	142	11. 3	40. 8	31. 7	14. 8	-	1. 4
川越比企地域	243	7. 8	47. 7	35. 8	7. 4	0. 8	0. 4
西部地域	224	13. 8	46. 4	28. 6	8. 5	2. 7	-
利根地域	223	5. 4	31. 8	39. 9	17. 9	3. 1	1. 8
北部地域	154	9. 1	36. 4	35. 1	18. 2	1. 3	-
秩父地域	27	3. 7	37. 0	33. 3	25. 9	-	-
性別							
男性	1, 127	9. 8	45. 0	32. 9	9. 8	1. 6	0. 9
女性	996	11. 5	47. 8	28. 6	10. 4	1. 2	0. 4
年代別							
20歳代	187	17. 6	44. 4	26. 2	9. 1	1. 6	1. 1
30歳代	268	11. 9	50. 7	31. 0	4. 5	1. 1	0. 7
40歳代	421	9. 0	47. 3	29. 9	11. 2	1. 7	1. 0
50歳代	380	7. 6	46. 3	31. 8	12. 9	1. 1	0. 3
60歳代	433	9. 0	44. 3	31. 4	13. 2	1. 8	0. 2
70歳以上	434	12. 4	45. 4	32. 5	7. 6	1. 2	0. 9

同意率			不同意率			平均点		
同意率			不同意率			平均点		
56. 9			41. 0			0. 16		
63. 8			35. 3			0. 36		
59. 3			36. 9			0. 25		
62. 6			35. 9			0. 27		
64. 8			33. 6			0. 40		
52. 1			46. 5			0. 02		
55. 5			43. 2			0. 13		
60. 2			37. 1			0. 29		
37. 2			57. 8			-0. 34		
45. 5			53. 3			-0. 17		
40. 7			59. 2			-0. 41		
54. 8			42. 7			0. 12		
59. 3			39. 0			0. 21		
62. 0			35. 3			0. 36		
62. 6			35. 5			0. 35		
56. 3			41. 1			0. 13		
53. 9			44. 7			0. 04		
53. 3			44. 6			0. 05		
57. 8			40. 1			0. 23		

(11) 休日・夜間・急病時などの医療体制が整っている

◇同意率 39.2%（個別評価21項目中12位）／不同意率 51.7%／平均点 -0.22（21項目中13位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より2.1ポイント増加し、不同意率は前回より2.0ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

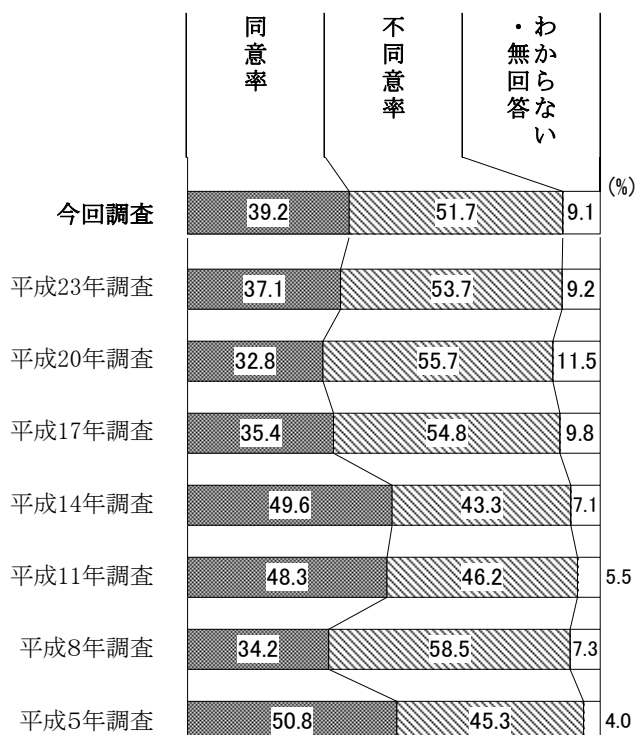
同意率は南部地域（54.4%）で5割台半ばと最も高く、不同意率は北部地域（66.9%）、秩父地域（66.6%）、利根地域（66.4%）で6割台半ばを超えて高くなっている。平均点は南部地域で0.14と最も高く、秩父地域で-0.78と最も低くなっている。

②性別

同意率は女性（40.6%）が男性（37.9%）を2.7ポイント上回っている。

③年代別

同意率は70歳以上（43.5%）で4割強と最も高く、不同意率は50歳代（57.4%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。平均点は70歳以上で-0.08と最も高く、50歳代で-0.36と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	5.4	33.8	37.0	14.7	8.5	0.6
地域別							
南部地域	224	8.0	46.4	29.9	9.4	5.4	0.9
南西部地域	187	3.2	31.0	43.3	8.0	12.3	2.1
東部地域	321	5.6	34.9	38.0	13.1	8.4	-
さいたま地域	378	7.1	34.7	33.1	13.2	11.6	0.3
県央地域	142	5.6	32.4	28.9	23.2	8.5	1.4
川越比企地域	243	4.5	34.2	46.1	9.9	4.9	0.4
西部地域	224	8.0	39.7	29.5	13.4	9.4	-
利根地域	223	0.9	23.3	42.6	23.8	8.5	0.9
北部地域	154	4.5	24.0	43.5	23.4	4.5	-
秩父地域	27	-	18.5	37.0	29.6	14.8	-
性別							
男性	1,127	5.1	32.8	38.6	13.9	8.9	0.7
女性	996	5.8	34.8	35.2	15.6	8.1	0.4
年代別							
20歳代	187	7.0	30.5	34.8	13.4	13.4	1.1
30歳代	268	3.7	36.2	33.6	13.8	11.9	0.7
40歳代	421	4.8	33.5	38.2	16.2	7.1	0.2
50歳代	380	3.4	31.1	40.8	16.6	7.6	0.5
60歳代	433	6.0	34.2	35.8	16.2	7.4	0.5
70歳以上	434	7.6	35.9	36.9	11.3	7.6	0.7

同意率 (%)			不同意率 (%)			平均点		
同意率	不同意率	平均点	同意率	不同意率	平均点	同意率	不同意率	平均点
39.2	51.7	-0.22	54.4	39.3	0.14	34.2	51.3	-0.22
			40.5	51.1	-0.18	41.8	46.3	-0.11
			38.0	52.1	-0.32	38.7	56.0	-0.23
			47.7	42.9	-0.00	24.2	66.4	-0.66
			28.5	66.9	-0.57	18.5	66.6	-0.78
			37.9	52.5	-0.24	40.6	50.8	-0.20
			37.5	48.2	-0.17	39.9	47.4	-0.18
			38.3	54.4	-0.28	34.5	57.4	-0.36
			40.2	52.0	-0.22	43.5	48.2	-0.08

(12) 体の不自由な人、高齢者のための福祉施設サービスが整っている

◇同意率 27.3%（個別評価21項目中16位）／不同意率 50.7%／平均点 -0.32（21項目中14位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より1.6ポイント増加し、不同意率は前回より1.5ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

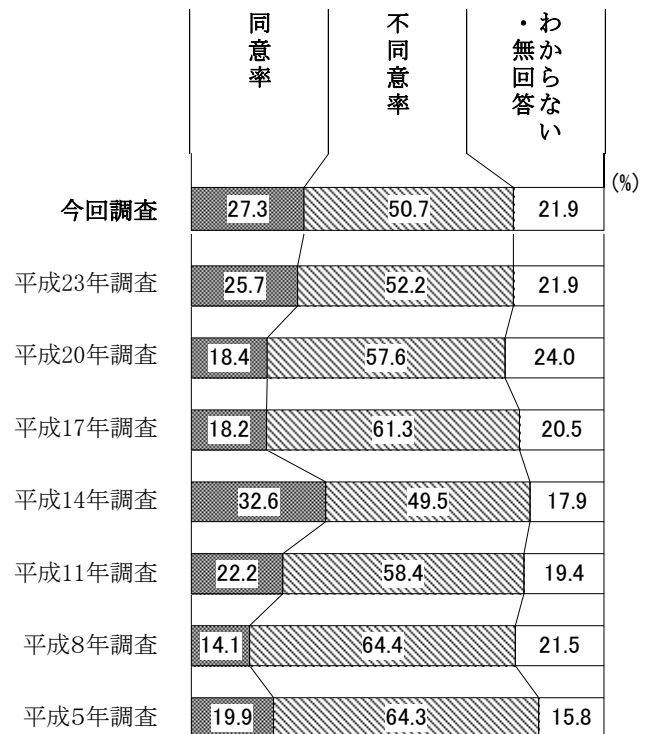
同意率は南部地域（32.6%）と県央地域（31.0%）で3割を超えて最も高く、不同意率は北部地域（58.4%）で6割弱と最も高くなっている。平均点は南西部地域で-0.15と最も高く、利根地域で-0.43、北部地域で-0.42、川越比企地域で-0.41と低くなっている。

②性別

不同意率は男性（52.6%）が女性（48.6%）を4.0ポイント上回っている。

③年代別

同意率は70歳以上（33.9%）で3割強と最も高く、不同意率は60歳代（57.5%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。平均点は20歳代で-0.19と最も高く、60歳代で-0.43と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	2.4	24.9	39.8	10.9	21.5	0.4
地域別							
南部地域	224	2.7	29.9	42.0	9.4	16.1	-
南西部地域	187	1.6	26.2	36.9	3.7	29.4	2.1
東部地域	321	3.4	22.4	36.4	13.1	24.6	-
さいたま地域	378	3.2	23.0	39.9	9.5	24.1	0.3
県央地域	142	2.8	28.2	35.2	15.5	16.2	2.1
川越比企地域	243	2.1	23.0	44.4	11.9	18.5	-
西部地域	224	1.3	25.4	42.0	6.3	25.0	-
利根地域	223	1.3	22.9	40.8	13.9	20.6	0.4
北部地域	154	3.2	26.6	42.2	16.2	11.7	-
秩父地域	27	-	29.6	25.9	18.5	25.9	-
性別							
男性	1,127	2.8	23.6	42.0	10.6	20.7	0.4
女性	996	2.1	26.3	37.4	11.2	22.4	0.5
年代別							
20歳代	187	3.7	23.0	34.8	7.5	29.9	1.1
30歳代	268	2.2	20.9	36.2	7.5	33.2	-
40歳代	421	1.7	23.5	38.5	10.9	24.9	0.5
50歳代	380	1.1	26.3	42.9	11.3	18.2	0.3
60歳代	433	2.8	22.9	44.1	13.4	16.6	0.2
70歳以上	434	3.7	30.2	38.7	11.8	15.0	0.7

同意率 (%)			不同意率 (%)	平均点	
27.3	50.7	-0.32			
32.6	51.4	-0.25			
27.8	40.6	-0.15			
25.8	49.5	-0.33			
26.2	49.4	-0.30			
31.0	50.7	-0.33			
25.1	56.3	-0.41			
26.7	48.3	-0.26			
24.2	54.7	-0.43			
29.8	58.4	-0.42			
29.6	44.4	-0.33			
26.4	52.6	-0.34			
28.4	48.6	-0.30			
26.7	42.3	-0.19			
23.1	43.7	-0.26			
25.2	49.4	-0.34			
27.4	54.2	-0.37			
25.7	57.5	-0.43			
33.9	50.5	-0.25			

(13) 生活必需品の価格が安定していて、生活しやすい

◇同意率 48.4%（個別評価21項目中10位）／不同意率 46.3%／平均点 -0.05（21項目中11位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より2.8ポイント減少し、不同意率は前回より3.3ポイント増加している。

【属性別比較】

①地域別

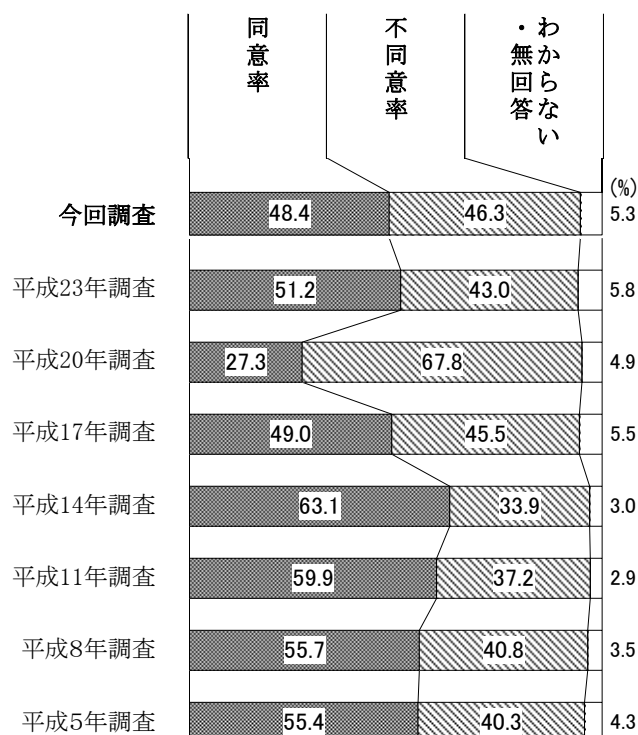
同意率はさいたま地域（53.7%）で5割強と最も高く、不同意率は北部地域（55.2%）、川越比企地域（54.3%）で5割台半ばと高くなっている。平均点は東部地域で0.07と最も高く、北部地域で-0.23と最も低くなっている。

②性別

不同意率は男性（47.6%）が女性（44.8%）を2.8ポイント上回っている。

③年代別

同意率は20歳代（60.9%）で6割強と最も高く、不同意率は60歳代（57.0%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。平均点は20歳代で0.30と最も高く、60歳代で-0.31と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	2.9	45.5	36.6	9.7	4.6	0.7
地域別							
南部地域	224	6.3	43.3	37.5	9.8	2.7	0.4
南西部地域	187	1.6	49.2	38.0	5.3	2.7	3.2
東部地域	321	3.7	48.9	32.4	8.7	6.2	-
さいたま地域	378	2.6	51.1	31.0	10.3	5.0	-
県央地域	142	2.8	43.0	33.1	15.5	2.8	2.8
川越比企地域	243	0.8	41.2	47.3	7.0	3.7	-
西部地域	224	3.6	47.8	33.0	9.4	6.3	-
利根地域	223	0.9	40.4	41.3	10.8	5.4	1.3
北部地域	154	4.5	36.4	42.2	13.0	3.9	-
秩父地域	27	-	48.1	33.3	11.1	7.4	-
性別							
男性	1,127	3.0	44.2	38.3	9.3	4.4	0.7
女性	996	2.8	47.0	34.7	10.1	4.7	0.6
年代別							
20歳代	187	5.3	55.6	23.5	6.4	8.0	1.1
30歳代	268	6.3	42.9	37.3	7.8	5.6	-
40歳代	421	3.1	52.3	32.1	9.5	2.9	0.2
50歳代	380	1.1	50.8	34.5	8.7	3.4	1.6
60歳代	433	3.0	35.8	41.8	15.2	3.5	0.7
70歳以上	434	1.2	41.2	43.1	7.8	6.2	0.5

同意率 (%)			平均点
同意率	不同意率	平均点	
48.4	46.3	-0.05	
49.6	47.3	-0.01	
50.8	43.3	0.04	
52.6	41.1	0.07	
53.7	41.3	0.05	
45.8	48.6	-0.16	
42.0	54.3	-0.19	
51.4	42.4	0.03	
41.3	52.1	-0.21	
40.9	55.2	-0.23	
48.1	44.4	-0.07	
47.2	47.6	-0.07	
49.8	44.8	-0.02	
60.9	29.9	0.30	
49.2	45.1	0.03	
55.4	41.6	0.07	
51.9	43.2	0.01	
38.8	57.0	-0.31	
42.4	50.9	-0.15	

(14) 住まいの近くに学校・教育施設が整っている

◇同意率 66.6%（個別評価21項目中2位）／不同意率 27.8%／平均点 0.45（21項目中2位）

【経年比較】

同意率、不同意率とも前回の平成23年調査とほぼ同じ水準となっている。

【属性別比較】

①地域別

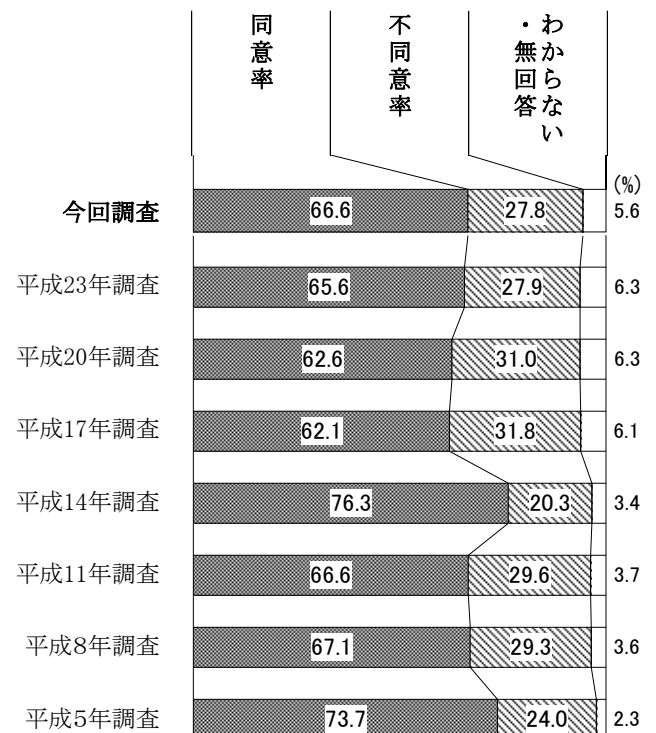
同意率はさいたま地域（76.4%）で7割台半ばを超えて最も高く、不同意率は秩父地域（48.1%）で5割弱と最も高くなっている。平均点はさいたま地域で0.69、南部地域で0.67と高く、秩父地域で-0.19と最も低くなっている。

②性別

不同意率は男性（29.0%）が女性（26.4%）を2.6ポイント上回っている。

③年代別

同意率は20歳代（76.4%）で7割台半ばを超えて最も高く、不同意率は60歳代（32.8%）と50歳代（32.7%）で3割を超えて高くなっている。平均点は20歳代で0.73と最も高く、60歳代で0.27と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったく そう だと思 う	まあ そう だと思 う	あまり そう 思わ ない	ま つ た く そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	2,123	11.5	55.1	22.6	5.2	5.0	0.6
地域別							
南部地域	224	16.5	57.1	18.8	2.7	4.0	0.9
南西部地域	187	8.0	57.2	20.9	2.1	9.1	2.7
東部地域	321	8.1	61.7	19.3	4.7	6.2	-
さいたま地域	378	16.9	59.5	14.3	5.0	3.7	0.5
県央地域	142	9.2	55.6	25.4	4.9	2.8	2.1
川越比企地域	243	8.6	49.0	34.2	5.8	2.5	-
西部地域	224	17.4	54.9	16.5	5.4	5.8	-
利根地域	223	5.4	49.3	30.0	6.7	8.1	0.4
北部地域	154	10.4	43.5	34.4	7.8	3.9	-
秩父地域	27	3.7	48.1	22.2	25.9	-	-
性別							
男性	1,127	10.6	55.1	24.1	4.9	4.7	0.6
女性	996	12.6	55.0	20.8	5.6	5.4	0.6
年代別							
20歳代	187	21.9	54.5	13.4	6.4	2.7	1.1
30歳代	268	16.0	56.3	17.5	4.9	5.2	-
40歳代	421	14.0	58.2	19.0	4.5	3.1	1.2
50歳代	380	7.6	55.8	28.2	4.5	3.7	0.3
60歳代	433	7.4	52.0	26.1	6.7	7.4	0.5
70歳以上	434	9.2	53.9	24.7	4.8	6.7	0.7

同意率 (%)			平均点
同意率	不同意率	平均点	
66.6	27.8	0.45	
73.6	21.5	0.67	
65.2	23.0	0.49	
69.8	24.0	0.49	
76.4	19.3	0.69	
64.8	30.3	0.40	
57.6	40.0	0.21	
72.3	21.9	0.63	
54.7	36.7	0.17	
53.9	42.2	0.14	
51.8	48.1	-0.19	
65.7	29.0	0.43	
67.6	26.4	0.48	
76.4	19.8	0.73	
72.3	22.4	0.61	
72.2	23.5	0.59	
63.4	32.7	0.34	
59.4	32.8	0.27	
63.1	29.5	0.38	

(15) スポーツ・レクリエーション活動のための施設や機会が豊富にある

◇同意率 29.2%（個別評価21項目中15位）／不同意率 58.4%／平均点 -0.41（21項目中16位）

【経年比較】

同意率、不同意率とも前回の平成23年調査とほぼ同じ水準となっている。

【属性別比較】

①地域別

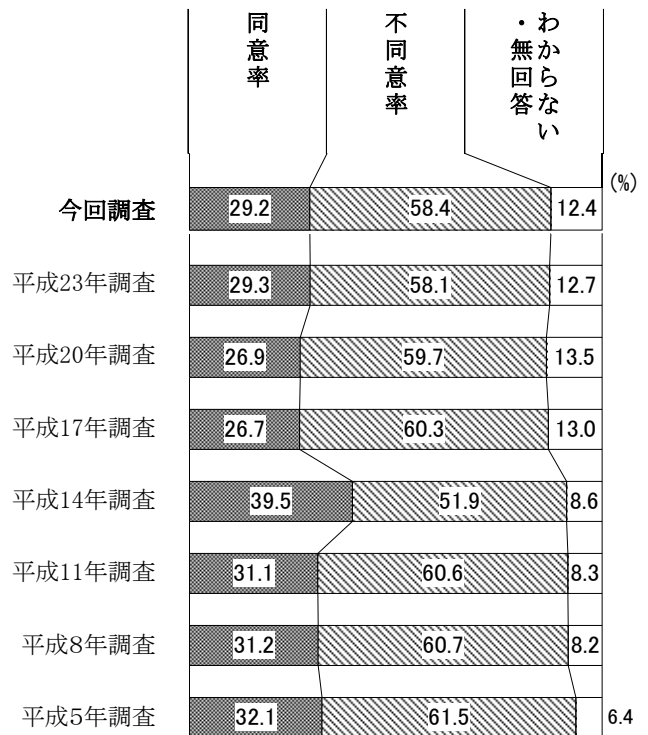
同意率は南部地域（38.9%）で4割弱と最も高く、不同意率は秩父地域（85.2%）で8割台半ばと最も高くなっている。平均点は南部地域で-0.17と最も高く、秩父地域で-1.04と最も低くなっている。

②性別

不同意率は男性（60.1%）が女性（56.6%）を3.5ポイント上回っている。

③年代別

同意率は30歳代（33.2%）で3割強と最も高く、不同意率は60歳代（64.2%）で6割台半ばと最も高くなっている。平均点は30歳代で-0.27と最も高く、60歳代で-0.56と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	3.3	25.9	43.7	14.7	12.0	0.4
地域別							
南部地域	224	5.4	33.5	43.8	8.9	8.5	-
南西部地域	187	2.1	26.2	41.7	12.3	16.0	1.6
東部地域	321	3.1	26.2	41.4	13.7	15.6	-
さいたま地域	378	4.5	28.6	44.2	11.9	10.8	-
県央地域	142	2.8	33.8	43.0	13.4	4.9	2.1
川越比企地域	243	2.5	18.5	50.2	17.3	11.5	-
西部地域	224	3.1	29.0	41.1	12.1	14.3	0.4
利根地域	223	1.8	16.1	44.8	19.7	17.0	0.4
北部地域	154	3.2	24.0	39.6	26.6	5.8	0.6
秩父地域	27	-	11.1	55.6	29.6	3.7	-
性別							
男性	1,127	3.1	25.9	45.1	15.0	10.6	0.4
女性	996	3.4	25.9	42.1	14.5	13.7	0.5
年代別							
20歳代	187	4.8	27.3	39.6	14.4	13.4	0.5
30歳代	268	4.1	29.1	39.2	12.7	14.6	0.4
40歳代	421	3.6	26.1	43.0	14.5	12.4	0.5
50歳代	380	2.6	25.8	47.9	15.0	8.4	0.3
60歳代	433	2.1	21.2	47.1	17.1	12.5	-
70歳以上	434	3.5	27.9	41.7	13.8	12.2	0.9

同意率			不同意率			平均点		
同意率 (%)			不同意率 (%)			平均点		
29.2			58.4			-0.41		
38.9			52.7			-0.17		
28.3			54.0			-0.36		
29.3			55.1			-0.36		
33.1			56.1			-0.30		
36.6			56.4			-0.31		
21.0			67.5			-0.61		
32.1			53.2			-0.30		
17.9			64.5			-0.65		
27.2			66.2			-0.63		
11.1			85.2			-1.04		
29.0			60.1			-0.43		
29.3			56.6			-0.38		
32.1			54.0			-0.32		
33.2			51.9			-0.27		
29.7			57.5			-0.39		
28.4			62.9			-0.47		
23.3			64.2			-0.56		
31.4			55.5			-0.35		

(16) 一流の文化・芸術に直接触れることのできるような施設や機会が整っている

◇同意率 14.3%（個別評価21項目中19位）／不同意率 71.0%／平均点 -0.83（21項目中21位）

【経年比較】

同意率、不同意率とも前回の平成23年調査とほぼ同じ水準となっている。

【属性別比較】

①地域別

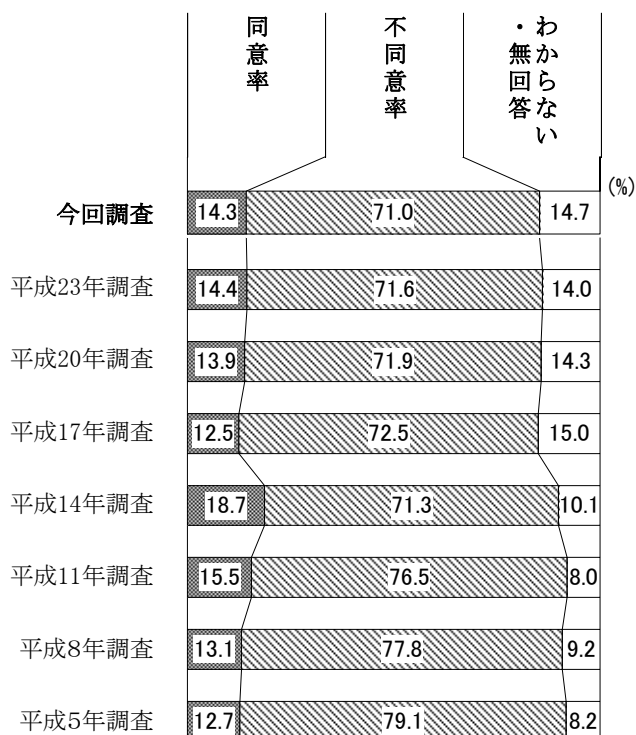
同意率はさいたま地域（22.7%）で2割を超えて最も高く、不同意率は秩父地域（88.9%）で9割弱と最も高くなっている。平均点はさいたま地域で-0.60と最も高く、秩父地域で-1.26と最も低くなっている。

②性別

不同意率は男性（72.2%）が女性（69.6%）を2.6ポイント上回っている。

③年代別

同意率は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、60歳代と70歳以上ではそれぞれ15.9%となっている。不同意率は50歳代（76.0%）で7割台半ばを超えて最も高くなっている。平均点は70歳以上で-0.69と最も高く、20歳代で-0.91と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	1.3	13.0	43.9	27.1	14.2	0.5
地域別							
南部地域	224	1.3	17.9	46.4	22.8	11.6	-
南西部地域	187	1.1	8.0	47.6	23.5	17.1	2.7
東部地域	321	1.2	11.5	43.3	26.8	17.1	-
さいたま地域	378	2.1	20.6	42.6	20.9	13.5	0.3
県央地域	142	0.7	11.3	47.9	33.8	4.9	1.4
川越比企地域	243	1.6	9.5	39.5	32.9	16.5	-
西部地域	224	1.8	16.1	44.2	23.7	14.3	-
利根地域	223	0.4	7.2	39.9	31.8	19.7	0.9
北部地域	154	0.6	10.4	47.4	34.4	7.1	-
秩父地域	27	-	-	51.9	37.0	11.1	-
性別							
男性	1,127	1.5	12.4	44.5	27.7	13.5	0.4
女性	996	1.1	13.8	43.2	26.4	15.0	0.6
年代別							
20歳代	187	1.6	7.0	40.6	29.9	19.8	1.1
30歳代	268	0.7	9.3	43.7	24.3	21.6	0.4
40歳代	421	1.7	13.5	42.0	29.7	12.6	0.5
50歳代	380	1.1	14.7	47.1	28.9	7.9	0.3
60歳代	433	0.7	15.2	41.6	30.7	11.8	-
70歳以上	434	2.1	13.8	46.8	19.8	16.6	0.9

同意率 (%)			不同意率 (%)	平均点	
14.3	71.0	-0.83			
19.2	69.2	-0.71			
9.1	71.1	-0.87			
12.7	70.1	-0.83			
22.7	63.5	-0.60			
12.0	81.7	-1.04			
11.1	72.4	-0.93			
17.9	67.9	-0.72			
7.6	71.7	-0.96			
11.0	81.8	-1.05			
-	88.9	-1.26			
13.9	72.2	-0.85			
14.9	69.6	-0.81			
8.6	70.5	-0.91			
10.0	68.0	-0.82			
15.2	71.7	-0.85			
15.8	76.0	-0.88			
15.9	72.3	-0.86			
15.9	66.6	-0.69			

(17) 身近な場所で文化・芸術活動を行う機会や場所が多い

◇同意率 14.5%（個別評価21項目中18位）／不同意率 68.8%／平均点 -0.79（21項目中20位）

【経年比較】

同意率、不同意率とも前回の平成23年調査とほぼ同じ水準となっている。

【属性別比較】

①地域別

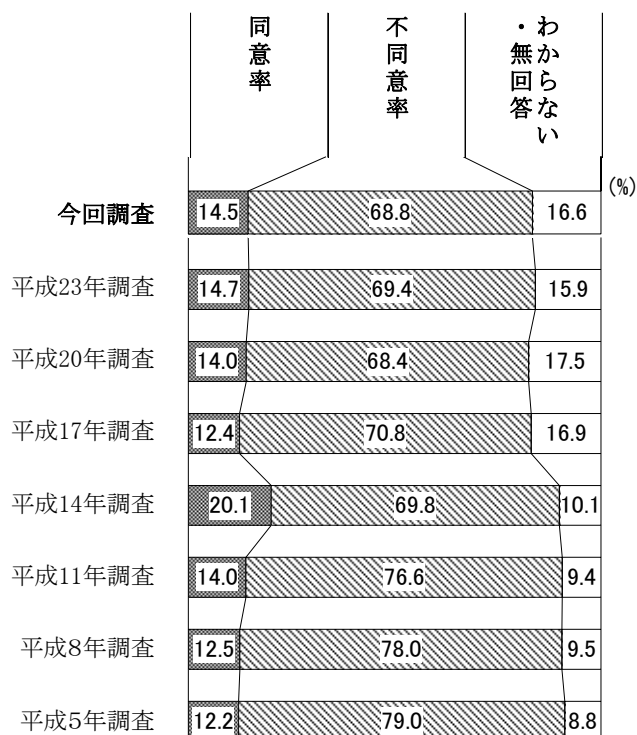
同意率はさいたま地域（19.6%）、南部地域（19.2%）で約2割と高く、不同意率は秩父地域（81.4%）で8割強と最も高くなっている。平均点はさいたま地域で-0.63と最も高く、秩父地域で-1.27と最も低くなっている。

②性別

不同意率は男性（70.8%）が女性（66.7%）を4.1ポイント上回っている。

③年代別

同意率は70歳以上（18.9%）で2割弱と最も高く、不同意率は50歳代（75.8%）で7割台半ばと最も高くなっている。平均点は70歳以上で-0.60と最も高く、50歳代で-0.94と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	1.3	13.2	44.0	24.8	15.8	0.8
地域別							
南部地域	224	1.3	17.9	44.6	22.8	12.5	0.9
南西部地域	187	0.5	10.2	41.2	25.1	18.7	4.3
東部地域	321	1.2	10.9	46.7	21.5	18.7	0.9
さいたま地域	378	2.1	17.5	45.0	19.6	15.6	0.3
県央地域	142	-	12.7	49.3	27.5	9.2	1.4
川越比企地域	243	1.2	9.9	42.0	28.8	18.1	-
西部地域	224	1.8	16.1	41.5	23.7	17.0	-
利根地域	223	-	11.2	41.3	28.3	18.8	0.4
北部地域	154	2.6	11.0	46.1	31.8	8.4	-
秩父地域	27	-	3.7	37.0	44.4	11.1	3.7
性別							
男性	1,127	1.7	12.2	44.7	26.1	14.6	0.8
女性	996	0.8	14.5	43.3	23.4	17.2	0.9
年代別							
20歳代	187	2.1	9.1	40.1	27.3	20.3	1.1
30歳代	268	1.1	9.3	42.9	24.3	22.4	-
40歳代	421	1.4	14.5	44.4	25.7	13.3	0.7
50歳代	380	0.3	12.9	45.0	30.8	10.3	0.8
60歳代	433	0.9	12.9	43.4	25.9	15.9	0.9
70歳以上	434	2.1	16.8	45.9	17.1	16.8	1.4

同意率 (%)			不同意率 (%)	平均点
14.5	68.8	-0.79		
19.2	67.4	-0.70		
10.7	66.3	-0.84		
12.1	68.2	-0.77		
19.6	64.6	-0.63		
12.7	76.8	-0.93		
11.1	70.8	-0.87		
17.9	65.2	-0.69		
11.2	69.6	-0.87		
13.6	77.9	-0.94		
3.7	81.4	-1.27		
13.9	70.8	-0.82		
15.3	66.7	-0.75		
11.2	67.4	-0.82		
10.4	67.2	-0.80		
15.9	70.1	-0.79		
13.2	75.8	-0.94		
13.8	69.3	-0.81		
18.9	63.0	-0.60		

(18) 身近に良い職場があり、そこで働くことができる

◇同意率 18.3%（個別評価21項目中17位）／不同意率 61.4%／平均点 -0.67（21項目中17位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より2.0ポイント増加し、不同意率は前回より2.9ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

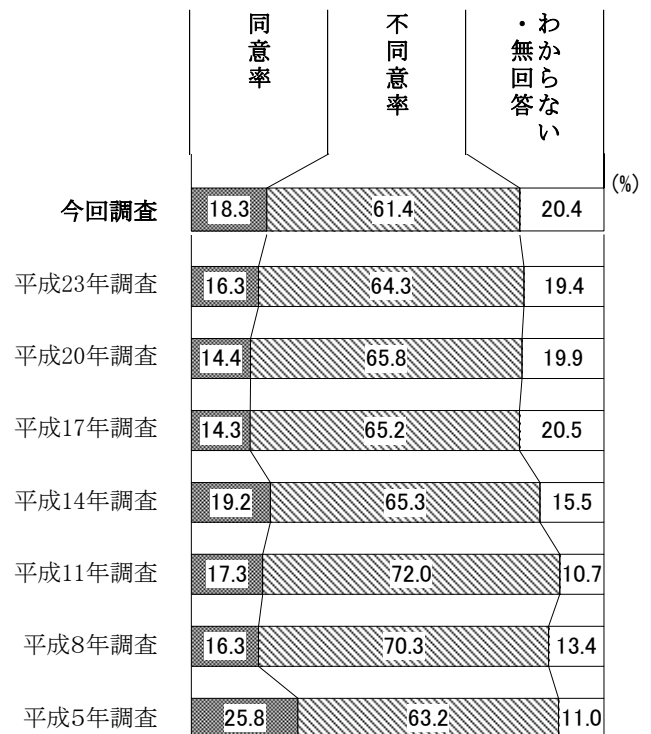
同意率は西部地域（21.5%）、南部地域（21.4%）、川越比企地域（21.4%）で2割強と高く、不同意率は秩父地域（85.1%）で8割台半ばと最も高くなっている。平均点は西部地域で-0.59と最も高く、秩父地域で-1.30と最も低くなっている。

②性別

不同意率は男性（65.6%）が女性（56.6%）を9.0ポイント上回っている。

③年代別

同意率は40歳代（24.7%）で2割台半ばと最も高く、不同意率は50歳代（69.7%）で約7割と最も高くなっている。平均点は40歳代で-0.56と最も高く、60歳代で-0.78と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	2.2	16.1	36.2	25.2	19.0	1.4
地域別							
南部地域	224	3.1	18.3	39.3	25.0	13.4	0.9
南西部地域	187	1.1	14.4	35.8	21.4	21.9	5.3
東部地域	321	2.2	14.0	34.3	26.5	23.1	-
さいたま地域	378	2.9	14.3	31.5	24.1	25.9	1.3
県央地域	142	2.1	14.1	37.3	26.8	16.2	3.5
川越比企地域	243	1.2	20.2	37.9	23.5	16.9	0.4
西部地域	224	2.7	18.8	36.2	23.2	18.8	0.4
利根地域	223	1.8	17.5	34.5	28.3	17.0	0.9
北部地域	154	1.9	14.9	46.8	25.3	8.4	2.6
秩父地域	27	-	3.7	37.0	48.1	11.1	-
性別							
男性	1,127	1.8	13.0	37.6	28.0	18.1	1.6
女性	996	2.6	19.6	34.6	22.0	20.0	1.2
年代別							
20歳代	187	3.2	15.5	35.8	23.0	20.9	1.6
30歳代	268	3.4	19.4	36.6	25.0	15.7	-
40歳代	421	3.3	21.4	34.7	24.5	14.7	1.4
50歳代	380	1.6	18.2	45.5	24.2	10.0	0.5
60歳代	433	1.8	12.7	34.2	29.8	20.1	1.4
70歳以上	434	0.7	10.6	31.6	23.0	31.1	3.0

同意率			不同意率			平均点		
同意率	不同意率	平均点	同意率	不同意率	平均点	同意率	不同意率	平均点
18.3	61.4	-0.67	21.4	64.3	-0.65	15.5	57.2	-0.66
			16.2	60.8	-0.69	17.2	55.6	-0.60
			16.2	64.1	-0.75	21.4	61.4	-0.62
			21.5	59.4	-0.59	19.3	62.8	-0.71
			16.8	72.1	-0.81	3.7	85.1	-1.30
			14.8	65.6	-0.78	22.2	56.6	-0.54
			18.7	58.8	-0.61	22.8	61.6	-0.60
			24.7	59.2	-0.56	19.8	69.7	-0.73
			14.5	64.0	-0.78	11.3	54.6	-0.68

(19) 仕事を紹介する施設や、職業訓練を受けることができる施設が整っている

◇同意率 11.0%（個別評価21項目中21位）／不同意率 60.8%／平均点 -0.74（21項目中19位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査とほぼ同じ水準で、不同意率は前回より3.0ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

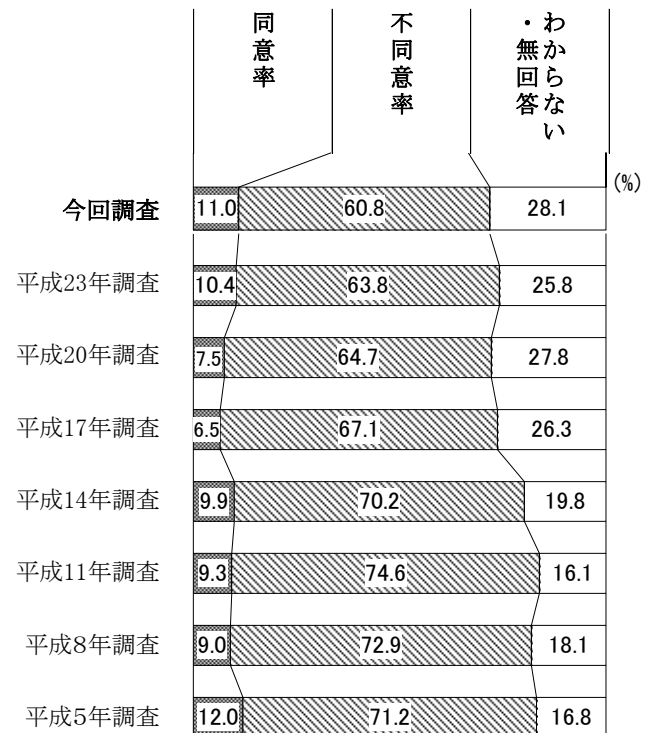
同意率はさいたま地域（14.8%）、南部地域（14.7%）で1割台半ばと高く、不同意率は北部地域（72.1%）、秩父地域（70.3%）で7割を超えて高くなっている。平均点はさいたま地域で-0.58と最も高く、秩父地域で-1.11と最も低くなっている。

②性別

不同意率は男性（62.8%）が女性（58.5%）を4.3ポイント上回っている。

③年代別

同意率は40歳代（13.3%）で1割強と最も高く、不同意率は50歳代（69.8%）で約7割と最も高くなっている。平均点は30歳代で-0.62と最も高く、50歳代で-0.88と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	0.9	10.1	36.4	24.4	27.2	0.9
地域別							
南部地域	224	0.9	13.8	43.8	21.9	19.6	-
南西部地域	187	-	7.5	35.8	20.9	31.6	4.3
東部地域	321	1.2	11.2	33.3	22.7	31.5	-
さいたま地域	378	1.6	13.2	31.7	21.2	31.7	0.5
県央地域	142	0.7	9.9	34.5	33.8	18.3	2.8
川越比企地域	243	0.4	9.9	38.3	24.7	26.3	0.4
西部地域	224	0.4	8.5	39.7	21.0	30.4	-
利根地域	223	1.3	4.5	35.4	28.3	29.1	1.3
北部地域	154	1.3	11.0	40.9	31.2	14.3	1.3
秩父地域	27	-	-	29.6	40.7	29.6	-
性別							
男性	1,127	1.2	9.1	38.6	24.2	25.8	1.1
女性	996	0.7	11.2	33.9	24.6	28.7	0.8
年代別							
20歳代	187	0.5	9.6	34.2	21.4	33.2	1.1
30歳代	268	1.9	10.1	38.1	18.7	31.3	-
40歳代	421	1.4	11.9	38.0	21.4	26.8	0.5
50歳代	380	0.5	11.3	39.5	30.3	17.9	0.5
60歳代	433	1.2	7.4	38.6	27.5	24.7	0.7
70歳以上	434	0.2	10.4	30.0	24.0	32.9	2.5

同意率			不同意率			平均点		
同意率	不同意率	平均点	同意率	不同意率	平均点	同意率	不同意率	平均点
11.0	60.8	-0.74	11.0	60.8	-0.74	11.0	60.8	-0.74
14.7	65.7	-0.72	14.7	65.7	-0.72	14.7	65.7	-0.72
7.5	56.7	-0.73	7.5	56.7	-0.73	7.5	56.7	-0.73
12.4	56.0	-0.65	12.4	56.0	-0.65	12.4	56.0	-0.65
14.8	52.9	-0.58	14.8	52.9	-0.58	14.8	52.9	-0.58
10.6	68.3	-0.93	10.6	68.3	-0.93	10.6	68.3	-0.93
10.3	63.0	-0.77	10.3	63.0	-0.77	10.3	63.0	-0.77
8.9	60.7	-0.72	8.9	60.7	-0.72	8.9	60.7	-0.72
5.8	63.7	-0.86	5.8	63.7	-0.86	5.8	63.7	-0.86
12.3	72.1	-0.91	12.3	72.1	-0.91	12.3	72.1	-0.91
-	70.3	-1.11	-	70.3	-1.11	-	70.3	-1.11
10.3	62.8	-0.76	10.3	62.8	-0.76	10.3	62.8	-0.76
11.9	58.5	-0.71	11.9	58.5	-0.71	11.9	58.5	-0.71
10.1	55.6	-0.67	10.1	55.6	-0.67	10.1	55.6	-0.67
12.0	56.8	-0.62	12.0	56.8	-0.62	12.0	56.8	-0.62
13.3	59.4	-0.66	13.3	59.4	-0.66	13.3	59.4	-0.66
11.8	69.8	-0.88	11.8	69.8	-0.88	11.8	69.8	-0.88
8.6	66.1	-0.84	8.6	66.1	-0.84	8.6	66.1	-0.84
10.6	54.0	-0.69	10.6	54.0	-0.69	10.6	54.0	-0.69

(20) 地域単位でコミュニティ活動を行うための機会や場所がある

◇同意率 35.5%（個別評価21項目中14位）／不同意率 42.1%／平均点 -0.15（21項目中12位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査とほぼ同じ水準で、不同意率は前回より3.9ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

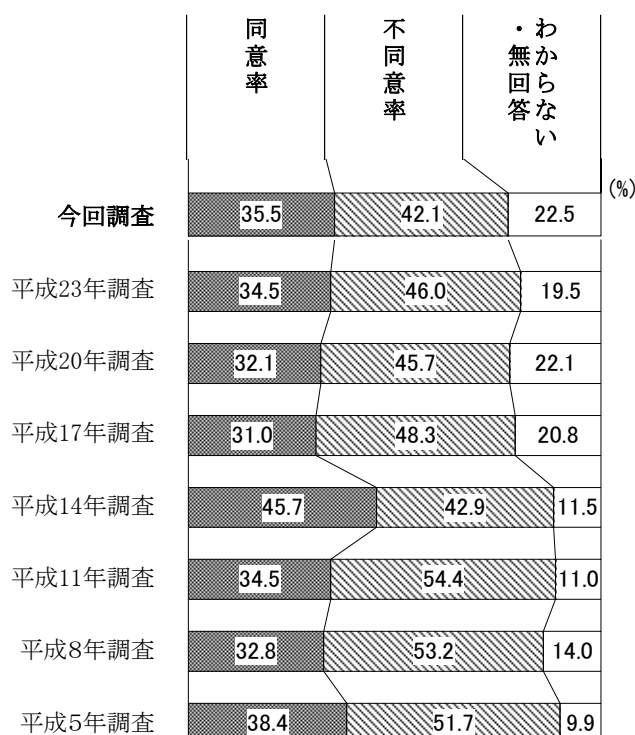
同意率は南部地域（41.5%）、さいたま地域（40.7%）、北部地域（40.3%）で4割を超えて高く、不同意率は川越比企地域（50.6%）で約5割と最も高くなっている。平均点はさいたま地域で-0.03と最も高く、川越比企地域で-0.35と最も低くなっている。

②性別

不同意率は男性（45.0%）が女性（38.6%）を6.4ポイント上回っている。

③年代別

同意率は70歳以上（41.3%）で4割強と最も高く、不同意率は50歳代（49.2%）で約5割と最も高くなっている。平均点は70歳以上で-0.06と最も高く、50歳代で-0.25と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	2.5	33.0	31.6	10.5	22.0	0.5
地域別							
南部地域	224	1.8	39.7	32.1	9.4	17.0	-
南西部地域	187	2.1	28.9	30.5	11.2	24.6	2.7
東部地域	321	3.7	31.5	29.0	12.1	23.7	-
さいたま地域	378	3.4	37.3	28.3	9.5	21.2	0.3
県央地域	142	2.8	35.9	35.2	7.7	16.2	2.1
川越比企地域	243	0.4	24.7	40.7	9.9	24.3	-
西部地域	224	2.2	35.3	29.0	8.0	25.0	0.4
利根地域	223	1.8	26.5	29.6	13.0	28.7	0.4
北部地域	154	3.9	36.4	33.8	12.3	13.6	-
秩父地域	27	-	37.0	33.3	14.8	14.8	-
性別							
男性	1,127	2.1	31.1	33.9	11.1	21.3	0.5
女性	996	2.9	35.1	28.9	9.7	22.8	0.5
年代別							
20歳代	187	3.2	27.3	28.3	11.2	28.9	1.1
30歳代	268	1.9	31.0	27.6	7.5	32.1	-
40歳代	421	3.3	34.0	29.9	10.5	22.1	0.2
50歳代	380	1.1	32.4	39.5	9.7	16.8	0.5
60歳代	433	2.8	30.7	32.6	12.5	21.2	0.2
70歳以上	434	2.8	38.5	29.0	10.6	18.0	1.2

同意率 (%)			平均点
同意率	不同意率	平均点	
35.5	42.1	-0.15	
41.5	41.5	-0.08	
31.0	41.7	-0.20	
35.2	41.1	-0.14	
40.7	37.8	-0.03	
38.7	42.9	-0.09	
25.1	50.6	-0.35	
37.5	37.0	-0.05	
28.3	42.6	-0.26	
40.3	46.1	-0.14	
37.0	48.1	-0.26	
33.2	45.0	-0.21	
38.0	38.6	-0.07	
30.5	39.5	-0.17	
32.9	35.1	-0.08	
37.3	40.4	-0.10	
33.5	49.2	-0.25	
33.5	45.1	-0.21	
41.3	39.6	-0.06	

(21) 行政に住民の意思・要望が十分に生かされている

◇同意率 12.8%（個別評価21項目中20位）／不同意率 64.6%／平均点 -0.73（21項目中18位）

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査とほぼ同じ水準で、不同意率は前回より2.8ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

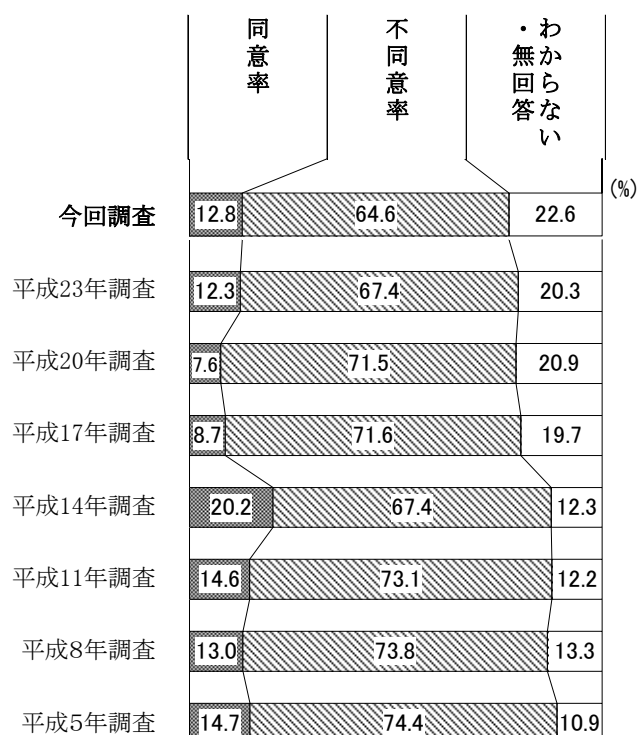
同意率は南部地域（19.2%）で約2割と最も高く、不同意率は北部地域（70.1%）と川越比企地域（70.0%）で7割と高くなっている。平均点は南部地域で-0.61と最も高く、利根地域で-0.87と最も低くなっている。

②性別

不同意率は男性（66.0%）が女性（63.1%）を2.9ポイント上回っている。

③年代別

同意率は70歳以上（17.8%）で1割台半ばを超えて最も高く、不同意率は50歳代（62.5%）で約7割と最も高くなっている。平均点は20歳代で-0.58と最も高く、50歳代で-0.83と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	0.5	12.3	43.1	21.5	21.8	0.8
地域別							
南部地域	224	1.3	17.9	44.6	18.3	17.9	-
南西部地域	187	-	12.8	40.1	20.3	23.0	3.7
東部地域	321	-	12.5	41.7	22.4	23.1	0.3
さいたま地域	378	0.5	10.8	41.8	20.4	26.2	0.3
県央地域	142	0.7	12.0	39.4	23.2	22.5	2.1
川越比企地域	243	0.8	10.7	51.9	18.1	18.5	-
西部地域	224	0.4	12.5	45.1	19.2	21.9	0.9
利根地域	223	0.4	8.1	38.1	28.7	23.8	0.9
北部地域	154	0.6	16.2	44.8	25.3	12.3	0.6
秩父地域	27	-	11.1	40.7	18.5	29.6	-
性別							
男性	1,127	0.7	12.7	43.6	22.4	20.1	0.6
女性	996	0.3	11.9	42.6	20.5	23.7	1.0
年代別							
20歳代	187	0.5	12.3	36.9	16.6	32.1	1.6
30歳代	268	0.4	7.5	41.8	20.9	29.5	-
40歳代	421	0.5	13.5	37.8	24.7	22.3	1.2
50歳代	380	-	12.1	46.3	24.5	16.8	0.3
60歳代	433	0.5	10.2	44.1	23.8	20.8	0.7
70歳以上	434	1.2	16.6	47.9	15.9	17.3	1.2

同意率 (%)			不同意率 (%)	平均点
12.8	64.6	-0.73		
19.2	62.9	-0.61		
12.8	60.4	-0.71		
12.5	64.1	-0.74		
11.3	62.2	-0.71		
12.7	62.6	-0.74		
11.5	70.0	-0.76		
12.9	64.3	-0.71		
8.5	66.8	-0.87		
16.8	70.1	-0.78		
11.1	59.2	-0.67		
13.4	66.0	-0.75		
12.2	63.1	-0.72		
12.8	53.5	-0.58		
7.9	62.7	-0.75		
14.0	62.5	-0.74		
12.1	70.8	-0.83		
10.7	67.9	-0.81		
17.8	63.8	-0.62		

(22) 今住んでいるところは全体として住みよいところだと思う

◇同意率 72.1%／不同意率 25.3%／平均点 0.49

【経年比較】

同意率は前回の平成23年調査より2.1ポイント増加し、不同意率は前回より1.8ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

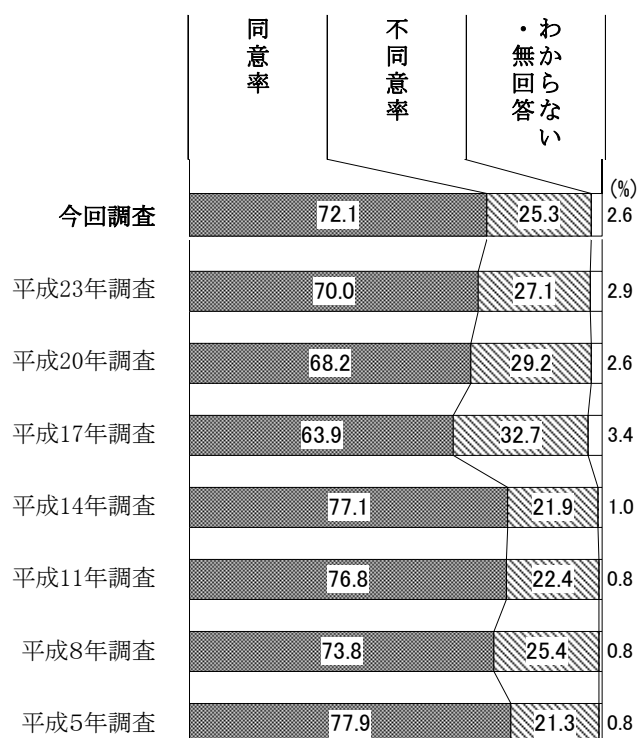
同意率はさいたま地域（81.4%）で8割強と最も高く、不同意率は利根地域（35.0%）と北部地域（35.0%）でそれぞれ3割台半ばと高くなっている。平均点はさいたま地域で0.70と最も高く、利根地域で0.20と最も低くなっている。

②性別

性別による大きな違いはみられない。

③年代別

同意率は40歳代（74.8%）で最も高く、不同意率は50歳代（29.8%）で約3割と最も高くなっている。平均点は70歳以上で0.60と最も高く、50歳代で0.39と最も低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数 n	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2,123	6.9	65.2	20.8	4.5	2.2	0.4
地域別							
南部地域	224	7.6	67.0	20.5	3.1	1.8	-
南西部地域	187	5.3	63.1	21.9	3.2	3.2	3.2
東部地域	321	7.8	63.6	19.9	6.5	2.2	-
さいたま地域	378	7.9	73.5	14.0	2.9	1.6	-
県央地域	142	8.5	61.3	21.8	4.2	2.8	1.4
川越比企地域	243	6.2	65.8	23.9	3.7	0.4	-
西部地域	224	8.0	69.2	17.0	2.7	3.1	-
利根地域	223	2.2	58.3	26.9	8.1	4.0	0.4
北部地域	154	8.4	55.2	27.9	7.1	1.3	-
秩父地域	27	7.4	63.0	25.9	3.7	-	-
性別							
男性	1,127	6.7	65.2	21.9	3.8	2.0	0.4
女性	996	7.1	65.2	19.5	5.3	2.4	0.5
年代別							
20歳代	187	8.0	65.8	14.4	8.0	2.7	1.1
30歳代	268	7.8	65.7	22.0	2.2	2.2	-
40歳代	421	5.7	69.1	17.8	4.5	2.6	0.2
50歳代	380	5.5	63.2	24.5	5.3	1.3	0.3
60歳代	433	4.4	64.4	22.6	5.5	2.8	0.2
70歳以上	434	10.8	63.4	20.5	2.8	1.6	0.9

同意率 (%)			平均点
同意率	不同意率	平均点	
72.1	25.3	0.49	
74.6	23.6	0.55	
68.4	25.1	0.47	
71.4	26.4	0.46	
81.4	16.9	0.70	
69.8	26.0	0.49	
72.0	27.6	0.47	
77.2	19.7	0.63	
60.5	35.0	0.20	
63.6	35.0	0.30	
70.4	29.6	0.44	
71.9	25.7	0.49	
72.3	24.8	0.50	
73.8	22.4	0.52	
73.5	24.2	0.55	
74.8	22.3	0.54	
68.7	29.8	0.39	
68.8	28.1	0.40	
74.2	23.3	0.60	

2 日常生活 (問5～問11)

○ 問5について

(1)と(2)は平成13年の「県民意識調査」における調査項目を県政世論調査で継続実施しているものです。県政世論調査では、平成14年度から毎年度実施しており、今回が13回目となります。

(1)－1は、平成21年度から実施しており、今回が6回目となります。(3)と(4)は、平成22年度から実施しており、今回が5回目となります。

* 県民意識調査

「彩の国5か年計画21」の策定に当たり、平成13年に埼玉県が実施した県民意識調査

○ 問6について

問6は平成14年度から毎年実施していますが、平成17年度に選択肢の見直しを行ったため、平成17年度以降の調査結果との比較を掲載しています。

問6－1は平成21年度における調査項目を継続実施したもので、今回が6回目となります。

○ 問7について

(1)は平成24年度から実施しており、今回が3回目となります。

(2)は平成22年度における課題調査項目を継続実施したもので、今回が5回目となります。

○ 問8について

(1)と(2)ともに今回初めて調査を実施したものです。

○ 問9について

平成15年度における課題調査項目を継続実施したもので、今回が12回目となります。

○ 問10について

問10と問10－2は、平成18年度における課題調査項目を継続実施したもので、今回が9回目となります。

問10－1は平成20年度から実施しており、今回が7回目となります。

○ 問11と問12について

問11と問12は、平成21年度から実施しており、今回が6回目となります。

問12－1は今回初めて調査を実施したものです。

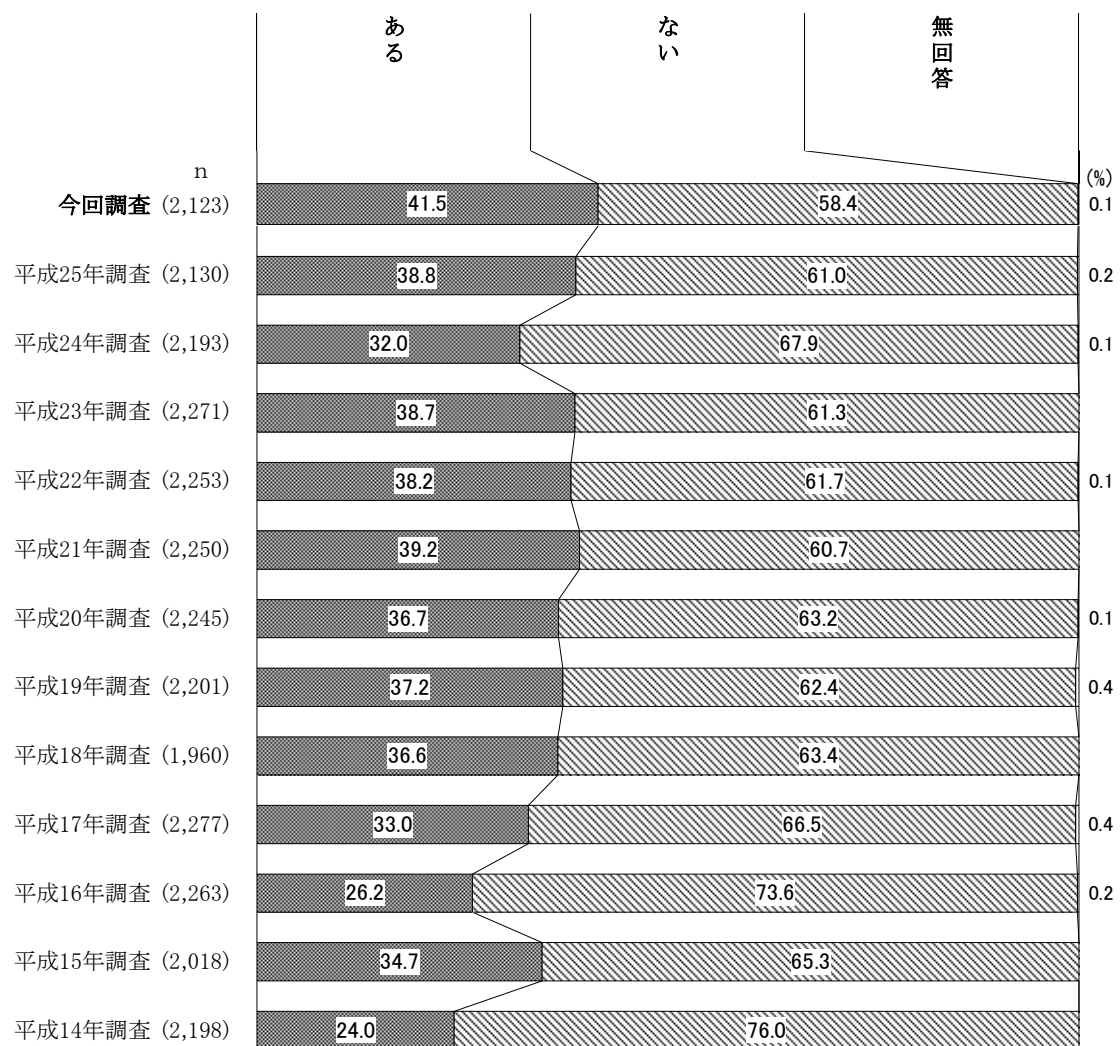
2 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇参加経験が「ある」41.5%、「ない」58.4%

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

(1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など）やPTA活動、子ども会活動、学校応援団（読み聞かせボランティアなど）、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、みどりと川の再生活動など、地域活動やNPO・ボランティア活動に参加したことがありますか。



過去1年間に地域活動やNPO・ボランティア活動に参加したことが「ある」（41.5%）は4割強となっている。

【過去調査との比較】

平成25年調査と比べて、「ある」は2.7ポイント増加している。

【属性別比較】

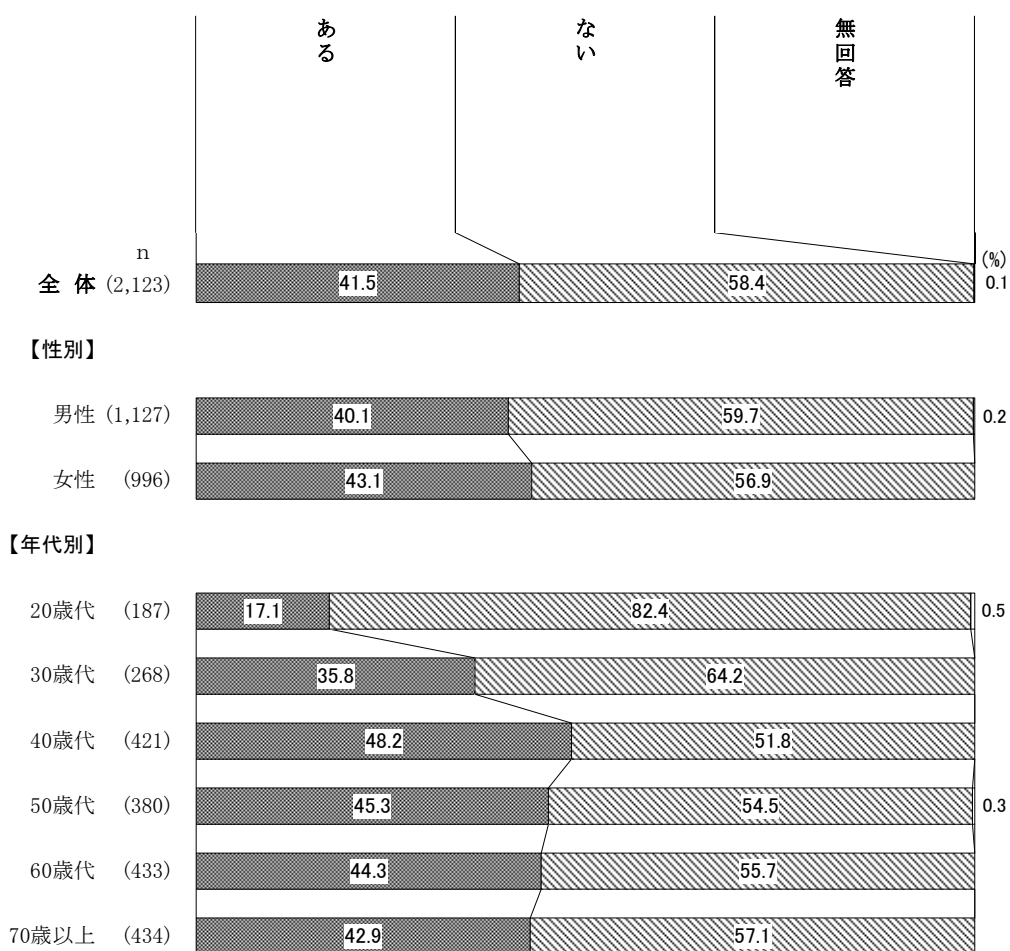
①性別

「ある」は女性（43.1%）が男性（40.1%）よりも3.0ポイント高くなっている。

②年代別

「ある」は、40歳代（48.2%）が最も高くなっている一方で、20歳代（17.1%）が最も低くなっている。

○地域社会活動への参加経験・性別／年代別



③地域別

「ある」は川越比企地域（52.3%）、北部地域（51.3%）で5割を超えて高くなっている。

④性・年代別

「ある」は女性40歳代（57.5%）で最も高くなっている。また、「ある」は男女とも20歳代（男性17.6%、女性16.5%）で低く、それぞれ2割に満たない。

⑤職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（47.1%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「ある」は独身期（13.6%）から家族成長前期（72.7%）にかけて増加し、そこから高齢期（44.9%）にかけて減少している。

○地域社会活動への参加経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

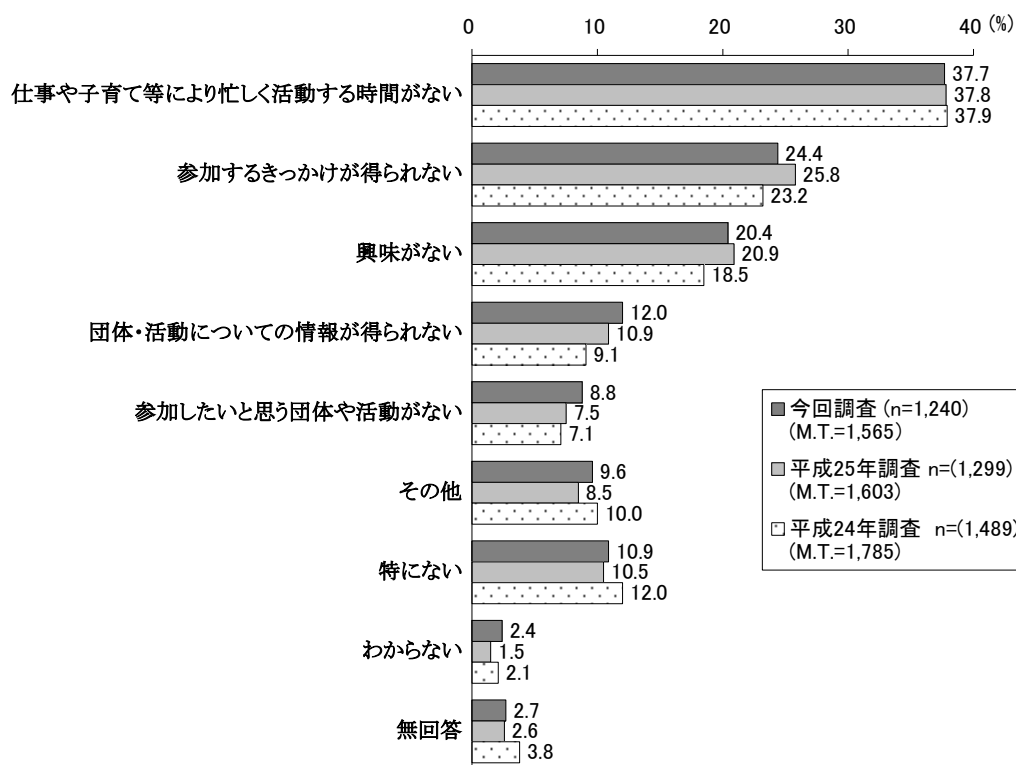
	調査数	ある	ない	無回答
	n			
全 体	2,123	41.5	58.4	0.1
地域別				
南部地域	224	30.4	69.6	－
南西部地域	187	32.6	67.4	－
東部地域	321	37.7	62.3	－
さいたま地域	378	38.6	61.4	－
県央地域	142	49.3	50.0	0.7
川越比企地域	243	52.3	47.3	0.4
西部地域	224	42.9	57.1	－
利根地域	223	44.8	55.2	－
北部地域	154	51.3	48.7	－
秩父地域	27	48.1	51.9	－
性・年代別				
男性・20歳代	102	17.6	81.4	1.0
30歳代	144	29.9	70.1	－
40歳代	214	39.3	60.7	－
50歳代	216	40.7	58.8	0.5
60歳代	220	47.7	52.3	－
70歳以上	231	49.4	50.6	－
女性・20歳代	85	16.5	83.5	－
30歳代	124	42.7	57.3	－
40歳代	207	57.5	42.5	－
50歳代	164	51.2	48.8	－
60歳代	213	40.8	59.2	－
70歳以上	203	35.5	64.5	－
職業別				
自営業・家族従業（計）	223	47.1	52.5	0.4
雇用者（計）	1,106	39.4	60.6	－
無職（計）	790	42.7	57.2	0.1
ライフステージ別				
独身期	236	13.6	86.0	0.4
家族形成期	154	26.6	73.4	－
家族成長前期	216	72.7	27.3	－
家族成長後期	196	52.0	47.4	0.5
家族成熟期	470	46.0	54.0	－
高齢期	528	44.9	55.1	－
その他	323	29.7	70.3	－

（１－１）地域社会活動への不参加の理由

◇「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が37.7%

（問５（１）で「ない」と答えた方に）

問５（１）－１ その理由は何ですか。次の中から２つまでお選びください。



地域活動やNPO・ボランティア活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」（37.7%）が最も高く、次いで、「参加するきっかけが得られない」（24.4%）、「興味がない」（20.4%）、「団体・活動についての情報が得られない」（12.0%）、「参加したいと思う団体や活動がない」（8.8%）などとなっている。

【過去調査との比較】

平成25年調査と比較して、「参加するきっかけが得られない」（1.4ポイント減）などが減少し、「参加したいと思う団体や活動がない」（1.3ポイント増）、「団体・活動についての情報が得られない」（1.1ポイント増）などが増加している。

【属性別比較】

①地域別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は県央地域（42.3%）で最も高くなっている。

「参加するきっかけが得られない」は南部地域（34.6%）が3割台半ばで最も高くなっている。

②性別

「興味がない」は男性（26.7%）のほうが女性（12.9%）よりも13.8ポイント高くなっている。

③年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は30歳代（55.8%）、40歳代（53.2%）で5割を超えて高くなっている。

④性・年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は女性30歳代（64.8%）が6割台半ばで最も高くなっている。「参加するきっかけが得られない」は女性20歳代（39.4%）で約4割と最も高くなっている。

⑤職業別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は雇用者（計）（52.2%）が最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は家族成長前期（71.2%）で最も高くなっている。「参加するきっかけが得られない」は家族形成期（37.2%）で最も高くなっている。

○地域社会活動への不参加の理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	忙しい仕事や活動する等により	参加するきっかけが得られない	興味がない	団体・活動情報・活動について	や参加したいと思う団体活動がない	その他	特にな	わからない	無回答
	n									(%)
全 体	1,240	37.7	24.4	20.4	12.0	8.8	9.6	10.9	2.4	2.7
地域別										
南部地域	156	41.0	34.6	21.8	10.9	9.0	7.7	6.4	0.6	1.9
南西部地域	126	38.9	27.0	22.2	14.3	9.5	7.9	6.3	1.6	4.0
東部地域	200	33.5	17.0	23.5	9.5	10.5	8.5	12.5	3.5	5.5
さいたま地域	232	37.1	22.0	18.1	15.1	7.3	12.5	14.2	1.7	0.4
県央地域	71	42.3	23.9	18.3	11.3	9.9	11.3	12.7	2.8	-
川越比企地域	115	35.7	25.2	20.0	9.6	8.7	7.0	11.3	2.6	2.6
西部地域	128	41.4	25.0	14.1	14.8	10.2	10.2	8.6	1.6	4.7
利根地域	123	37.4	22.0	25.2	11.4	5.7	9.8	13.0	2.4	1.6
北部地域	75	36.0	29.3	17.3	9.3	8.0	9.3	9.3	8.0	2.7
秩父地域	14	28.6	21.4	28.6	7.1	14.3	21.4	21.4	-	-
性別										
男性	673	39.8	22.4	26.7	11.1	9.7	7.7	10.0	2.4	1.6
女性	567	35.1	26.8	12.9	13.1	7.8	11.8	12.0	2.5	3.9
年代別										
20歳代	154	41.6	31.2	25.3	16.9	5.8	3.9	8.4	1.9	1.9
30歳代	172	55.8	26.2	19.8	11.0	8.1	2.3	7.0	2.3	0.6
40歳代	218	53.2	23.9	22.5	9.6	9.2	6.9	7.3	1.4	3.2
50歳代	207	46.9	23.7	18.8	10.6	9.7	6.3	10.1	2.4	-
60歳代	241	25.7	21.6	20.7	13.7	5.8	13.3	14.1	2.9	2.5
70歳以上	248	12.9	23.0	16.9	11.3	12.9	19.8	15.7	3.2	6.5
性・年代別										
男性・20歳代	83	37.3	24.1	31.3	8.4	8.4	3.6	10.8	2.4	1.2
30歳代	101	49.5	27.7	26.7	10.9	7.9	1.0	7.9	2.0	-
40歳代	130	54.6	23.1	30.0	8.5	11.5	4.6	6.2	1.5	1.5
50歳代	127	50.4	21.3	25.2	12.6	9.4	4.7	7.9	2.4	-
60歳代	115	29.6	14.8	27.8	12.2	4.3	11.3	18.3	2.6	-
70歳以上	117	15.4	24.8	20.5	13.7	15.4	19.7	9.4	3.4	6.8
女性・20歳代	71	46.5	39.4	18.3	26.8	2.8	4.2	5.6	1.4	2.8
30歳代	71	64.8	23.9	9.9	11.3	8.5	4.2	5.6	2.8	1.4
40歳代	88	51.1	25.0	11.4	11.4	5.7	10.2	9.1	1.1	5.7
50歳代	80	41.3	27.5	8.8	7.5	10.0	8.8	13.8	2.5	-
60歳代	126	22.2	27.8	14.3	15.1	7.1	15.1	10.3	3.2	4.8
70歳以上	131	10.7	21.4	13.7	9.2	10.7	19.8	21.4	3.1	6.1
職業別										
自営業・家族従業（計）	117	47.0	15.4	27.4	11.1	6.8	7.7	7.7	2.6	2.6
雇用者（計）	670	52.2	25.4	20.3	12.5	7.3	3.9	8.2	1.8	1.6
無職（計）	452	13.7	25.4	18.8	11.5	11.5	18.6	15.7	3.3	4.0
ライフステージ別										
独身期	203	40.4	28.1	25.1	14.8	7.9	3.0	10.3	2.5	2.0
家族形成期	113	64.6	37.2	19.5	14.2	5.3	2.7	1.8	0.9	-
家族成長前期	59	71.2	15.3	13.6	10.2	8.5	6.8	3.4	3.4	-
家族成長後期	93	57.0	20.4	12.9	8.6	7.5	9.7	7.5	1.1	1.1
家族成熟期	254	37.8	24.0	17.3	11.8	9.8	10.6	13.8	3.1	1.2
高齢期	291	15.1	24.7	18.2	12.4	9.6	16.2	14.1	3.1	5.8
その他	227	33.9	18.9	27.8	10.1	9.7	10.1	11.9	1.8	3.5

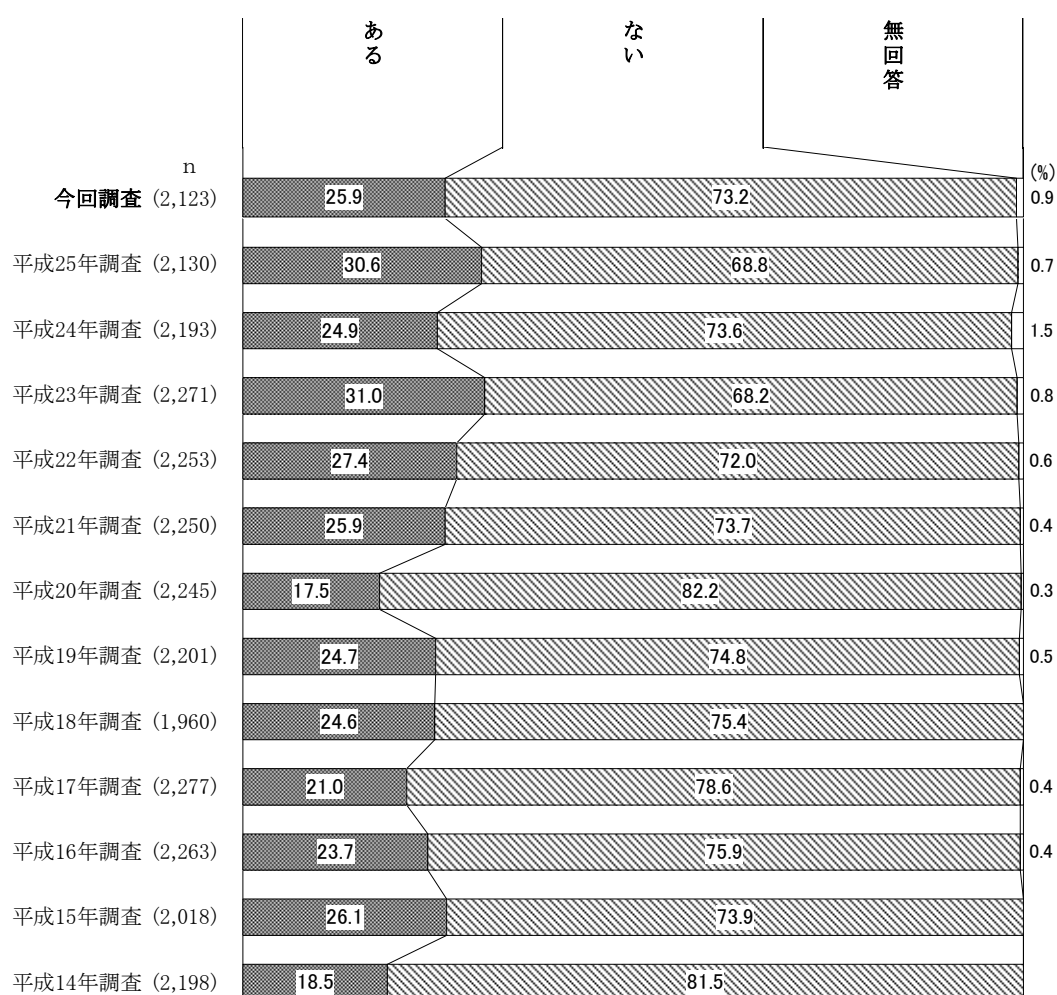
(2) 文化芸術活動の経験

◇文化芸術活動の経験が「ある」25.9%、「ない」73.2%

問5 (2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を行ったことがありますか。

※文化芸術活動とは、以下のような分野での活動です。

- ・音楽（クラシック、ロック、ポピュラー、コーラス、演歌など）
- ・美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）
- ・写真（ポートレート、風景、スナップ写真など）
- ・文芸（小説、詩、俳句、短歌など）
- ・生活文化（書道、華道、盆栽など）
- ・国民娯楽（囲碁、将棋など）
- ・舞踊（バレエ、ダンスなど）
- ・伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、和太鼓、箏曲、神楽、獅子舞など）
- ・演劇（現代劇、ミュージカルなど）
- ・演芸（落語、漫談、漫才など）
- ・映画・漫画・アニメ・コンピューターグラフィックス



※ 平成22年調査までは、設問文を「現在、自主的な文化芸術活動を行っていますか」とし、選択肢を「行っている」と「行っていない」としていた。

この1年間に文化芸術活動を行ったことが「ある」(25.9%)は2割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

平成25年調査と比較して、「ある」は4.7ポイント減少した。

【属性別比較】

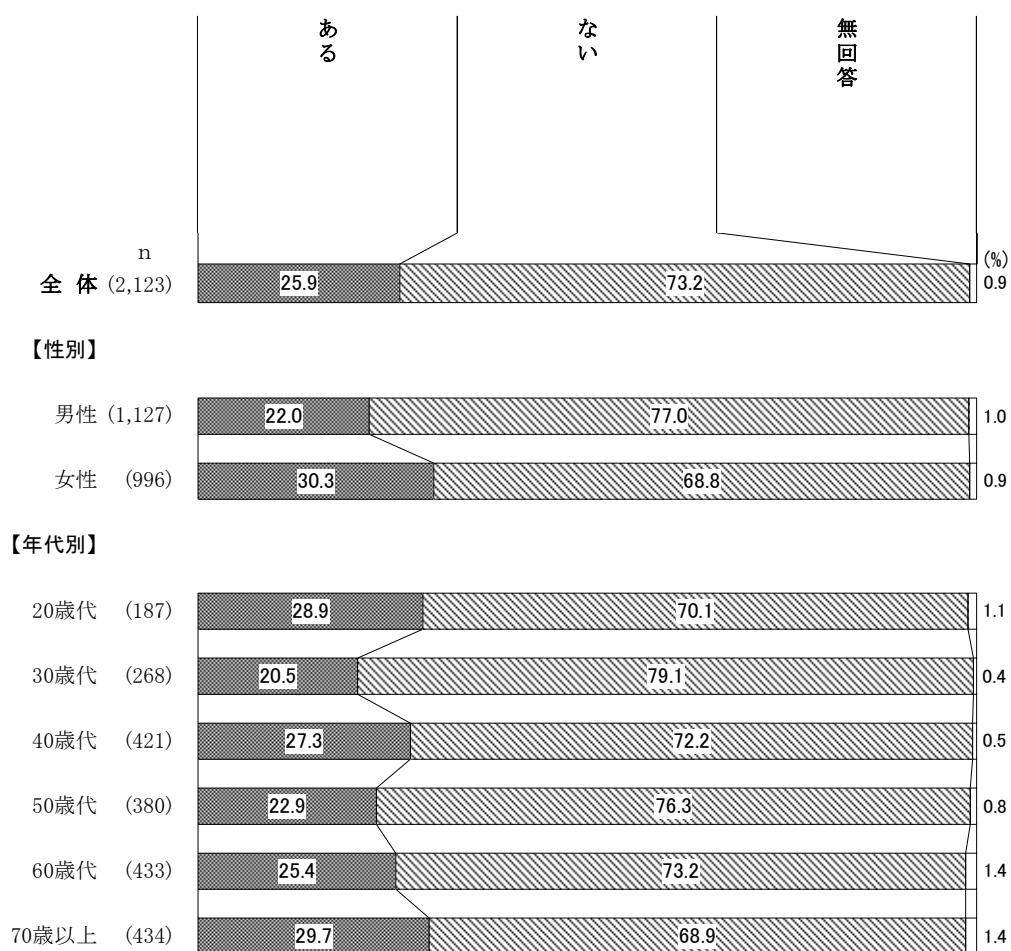
①性別

「ある」は女性（30.3%）が男性（22.0%）を8.3ポイント上回っている。

②年代別

「ある」は70歳以上（29.7%）では約3割と最も高く、30歳代（20.5%）では約2割と最も低くなっている。

○文化芸術活動の経験・性別／年代別



③地域別

「ある」は北部地域（32.5％）で最も高く、秩父地域（11.1％）では1割強と最も低くなっている。

④性・年代別

「ある」は女性20歳代（34.1％）で最も高くなっている。一方、「ない」は男性50歳代（82.4％）で8割強と最も高くなっている。

⑤職業別

「ある」は『無職（計）』（29.7％）で約3割と最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「ある」は高齢期（32.2％）で3割を超えて最も高くなっている。

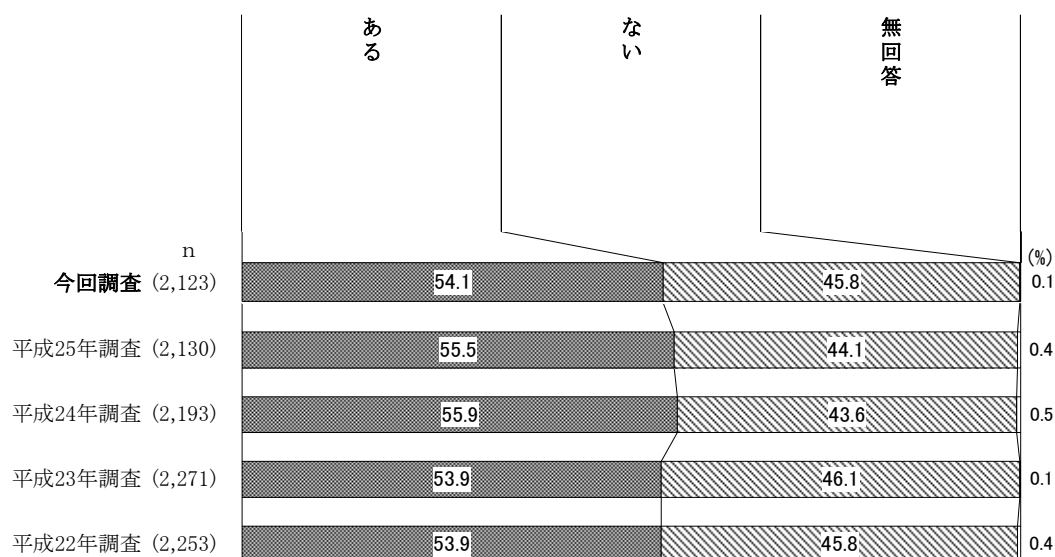
○文化芸術活動の経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	ある	ない	無回答
	n			
全 体	2,123	25.9	73.2	0.9
地域別				
南部地域	224	29.5	69.6	0.9
南西部地域	187	28.9	69.5	1.6
東部地域	321	24.6	74.1	1.2
さいたま地域	378	23.8	75.9	0.3
県央地域	142	24.6	74.6	0.7
川越比企地域	243	25.9	72.8	1.2
西部地域	224	22.8	76.3	0.9
利根地域	223	26.5	72.6	0.9
北部地域	154	32.5	66.2	1.3
秩父地域	27	11.1	88.9	—
性・年代別				
男性・20歳代	102	24.5	74.5	1.0
30歳代	144	19.4	79.9	0.7
40歳代	214	26.2	73.8	—
50歳代	216	16.2	82.4	1.4
60歳代	220	19.1	79.1	1.8
70歳以上	231	26.8	72.3	0.9
女性・20歳代	85	34.1	64.7	1.2
30歳代	124	21.8	78.2	—
40歳代	207	28.5	70.5	1.0
50歳代	164	31.7	68.3	—
60歳代	213	31.9	67.1	0.9
70歳以上	203	33.0	65.0	2.0
職業別				
自営業・家族従業（計）	223	22.9	75.8	1.3
雇用者（計）	1,106	23.8	75.7	0.5
無職（計）	790	29.7	69.0	1.3
ライフステージ別				
独身期	236	27.5	71.6	0.8
家族形成期	154	22.7	77.3	—
家族成長前期	216	25.5	74.1	0.5
家族成長後期	196	21.4	77.6	1.0
家族成熟期	470	22.1	76.8	1.1
高齢期	528	32.2	67.0	0.8
その他	323	24.5	73.7	1.9

（３）文化芸術活動の鑑賞

◇文化芸術活動の鑑賞は「ある」54.1%、「ない」45.8%

問５（３）あなたは、この１年間に、文化芸術活動を鑑賞するためにホール・劇場、映画館、美術館、博物館などに出かけたことがありますか。



この１年間で、文化芸術活動を鑑賞するためにホール・劇場、映画館、美術館、博物館などに出かけたことが「ある」（54.1％）は5割台半ばとなっており、「ない」（45.8％）を8.3ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

平成25年調査と比較して、「ある」はほぼ同程度の割合となっている。

【属性別比較】

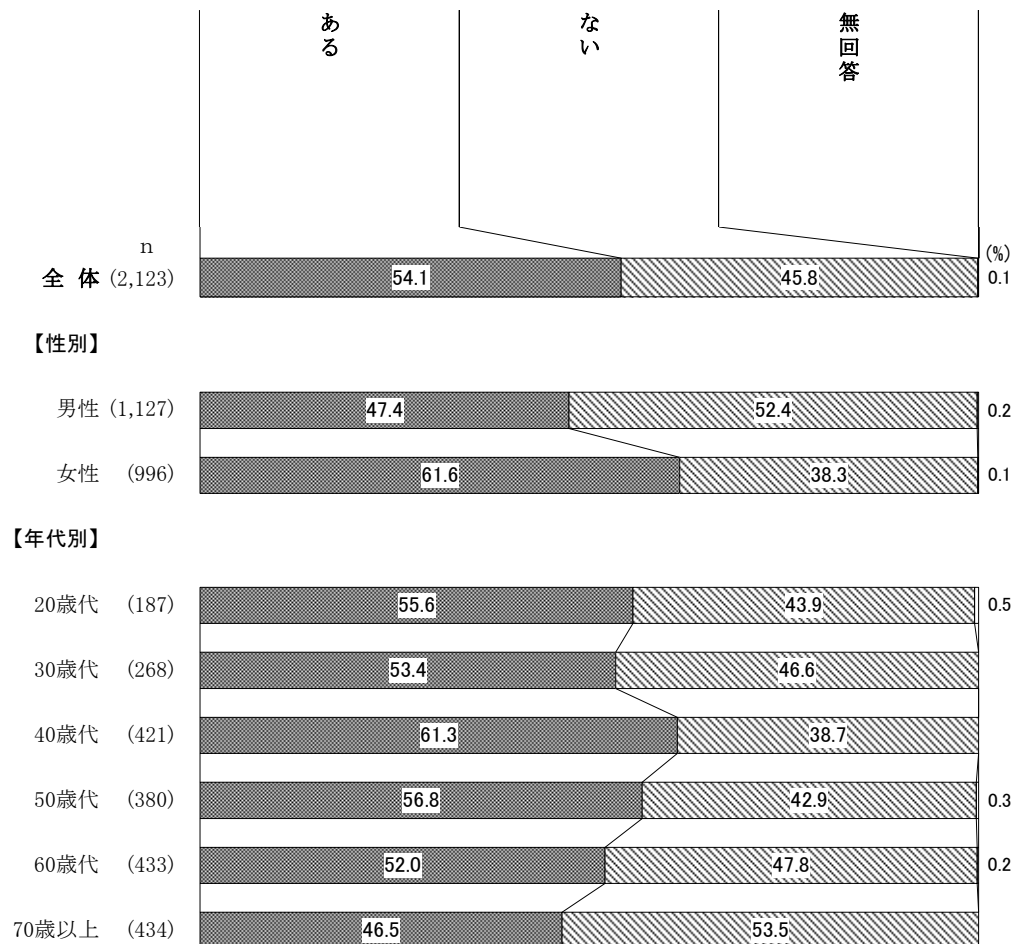
①性別

「ある」は女性（61.6%）が男性（47.4%）よりも14.2ポイント高くなっている。

②年代別

「ある」は40歳代（61.3%）で6割を超えて最も高くなっている。

○文化芸術活動の鑑賞・性別／年代別



③地域別

「ある」はさいたま地域（59.0％）で6割弱と最も高く、秩父地域（37.0％）では3割台後半と最も低くなっている。

④性・年代別

「ある」は女性の40歳代（72.5％）と50歳代（71.3％）で7割を超えて高くなっている。

⑤職業別

「ある」は雇用者（計）（56.1％）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「ある」は家族成長前期（64.4％）で最も高くなっている。

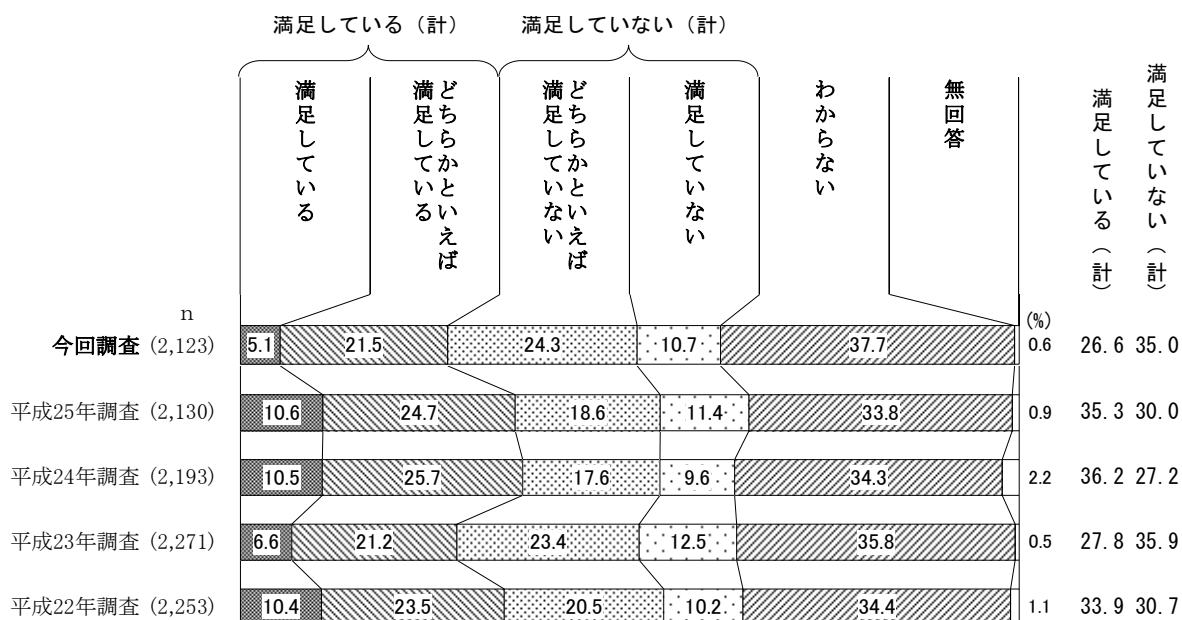
○文化芸術活動の鑑賞・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	ある	ない	無回答
	n			
全 体	2,123	54.1	45.8	0.1
地域別				
南部地域	224	56.3	43.8	－
南西部地域	187	55.6	44.4	－
東部地域	321	50.2	49.5	0.3
さいたま地域	378	59.0	41.0	－
県央地域	142	57.7	41.5	0.7
川越比企地域	243	50.6	49.0	0.4
西部地域	224	52.7	47.3	－
利根地域	223	52.9	47.1	－
北部地域	154	53.9	46.1	－
秩父地域	27	37.0	63.0	－
性・年代別				
男性・20歳代	102	48.0	51.0	1.0
30歳代	144	48.6	51.4	－
40歳代	214	50.5	49.5	－
50歳代	216	45.8	53.7	0.5
60歳代	220	44.1	55.9	－
70歳以上	231	48.1	51.9	－
女性・20歳代	85	64.7	35.3	－
30歳代	124	58.9	41.1	－
40歳代	207	72.5	27.5	－
50歳代	164	71.3	28.7	－
60歳代	213	60.1	39.4	0.5
70歳以上	203	44.8	55.2	－
職業別				
自営業・家族従業（計）	223	47.1	52.5	0.4
雇用者（計）	1,106	56.1	43.9	－
無職（計）	790	53.3	46.6	0.1
ライフステージ別				
独身期	236	58.1	41.5	0.4
家族形成期	154	50.6	49.4	－
家族成長前期	216	64.4	35.6	－
家族成長後期	196	60.2	39.3	0.5
家族成熟期	470	51.5	48.5	－
高齢期	528	52.8	47.2	－
その他	323	48.0	51.7	0.3

(4) 文化芸術活動の機会や環境の満足度

◇『満足している（計）』は26.6%、『満足していない（計）』は35.0%

問5（4）あなたは、日常生活の中で文化芸術を鑑賞したり、文化芸術活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。



日常生活の中での文化芸術活動の機会や環境の満足度は、「どちらかといえば満足していない」(24.3%)が2割台半ばと最も高くなっている。これに「満足していない」(10.7%)を合わせた『満足していない(計)』は35.0%となり、「満足している」(5.1%)と「どちらかといえば満足している」(21.5%)を合わせた『満足している(計)』(26.6%)との差は8.4ポイントとなっている。また、「わからない」(37.7%)も3割台半ばを超えて高くなっている。

【過去調査との比較】

平成25年調査と比較して、『満足している(計)』が8.7ポイント減少し、『満足していない(計)』が5.0ポイント増加している。

【属性別比較】

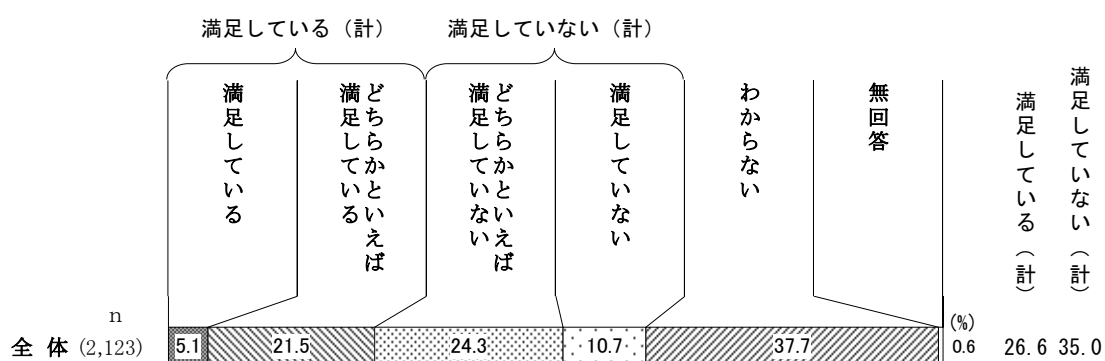
①性別

『満足している（計）』は女性（30.6%）が男性（23.2%）よりも7.4ポイント高くなっている。

②年代別

『満足している（計）』は20歳代（32.1%）で3割強と最も高くなっている。一方で、『満足していない（計）』は50歳代（41.4%）で4割を超えて最も高くなっている。

○文化芸術活動の機会や環境の満足度・性別／年代別



【性別】

男性	(1,127)	4.0	19.2	23.2	11.5	41.5	0.6	23.2	34.7
女性	(996)	6.4	24.2	25.5	9.8	33.4	0.6	30.6	35.3

【年代別】

20歳代	(187)	5.9	26.2	19.3	8.0	40.1	0.5	32.1	27.3
30歳代	(268)	4.5	19.4	26.9	7.1	41.8	0.4	23.9	34.0
40歳代	(421)	4.3	24.0	25.7	8.6	37.3	0.2	28.3	34.3
50歳代	(380)	4.2	18.9	30.3	11.1	35.0	0.5	23.1	41.4
60歳代	(433)	6.0	20.1	20.3	14.3	38.1	1.2	26.1	34.6
70歳以上	(434)	6.0	22.1	22.1	12.4	36.6	0.7	28.1	34.5

③地域別

『満足している（計）』は南部地域（33.5%）で最も高くなっている。一方、『満足していない（計）』は北部地域（40.9%）で4割を超えて最も高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は女性20歳代（36.5%）で最も高くなっている。一方、『満足していない（計）』は、男性50歳代（41.7%）で最も高くなっている。

⑤職業別

『満足していない（計）』は雇用者（計）（37.3%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は独身期（31.8%）で最も高くなっている。

○文化芸術活動の機会や環境の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば満足	満足していない	わからない	無回答	（%）	
								満足している（計）	満足していない（計）
全 体	2,123	5.1	21.5	24.3	10.7	37.7	0.6	26.6	35.0
地域別									
南部地域	224	6.7	26.8	21.9	12.1	31.7	0.9	33.5	34.0
南西部地域	187	4.3	20.3	28.9	10.7	34.8	1.1	24.6	39.6
東部地域	321	5.3	20.9	24.3	10.6	38.6	0.3	26.2	34.9
さいたま地域	378	4.8	22.8	20.6	9.5	42.3	-	27.6	30.1
県央地域	142	7.0	23.9	24.6	11.3	31.7	1.4	30.9	35.9
川越比企地域	243	4.1	19.3	24.7	11.1	40.3	0.4	23.4	35.8
西部地域	224	5.8	18.8	25.0	8.5	40.6	1.3	24.6	33.5
利根地域	223	4.9	17.9	25.1	11.2	40.4	0.4	22.8	36.3
北部地域	154	4.5	24.0	27.9	13.0	29.9	0.6	28.5	40.9
秩父地域	27	-	22.2	22.2	14.8	40.7	-	22.2	37.0
性・年代別									
男性・20歳代	102	5.9	22.5	17.6	8.8	44.1	1.0	28.4	26.4
30歳代	144	4.2	20.8	23.6	7.6	43.1	0.7	25.0	31.2
40歳代	214	2.3	22.0	22.0	8.4	45.3	-	24.3	30.4
50歳代	216	2.8	16.2	29.2	12.5	38.9	0.5	19.0	41.7
60歳代	220	5.0	16.4	17.7	15.5	44.5	0.9	21.4	33.2
70歳以上	231	4.8	19.5	26.0	13.4	35.5	0.9	24.3	39.4
女性・20歳代	85	5.9	30.6	21.2	7.1	35.3	-	36.5	28.3
30歳代	124	4.8	17.7	30.6	6.5	40.3	-	22.5	37.1
40歳代	207	6.3	26.1	29.5	8.7	29.0	0.5	32.4	38.2
50歳代	164	6.1	22.6	31.7	9.1	29.9	0.6	28.7	40.8
60歳代	213	7.0	23.9	23.0	13.1	31.5	1.4	30.9	36.1
70歳以上	203	7.4	25.1	17.7	11.3	37.9	0.5	32.5	29.0
職業別									
自営業・家族従業（計）	223	7.2	21.1	17.9	9.0	43.5	1.3	28.3	26.9
雇用者（計）	1,106	3.9	20.4	27.1	10.2	38.0	0.4	24.3	37.3
無職（計）	790	6.3	23.3	22.0	12.0	35.7	0.6	29.6	34.0
ライフステージ別									
独身期	236	6.8	25.0	20.3	8.5	39.0	0.4	31.8	28.8
家族形成期	154	2.6	23.4	24.7	5.8	42.9	0.6	26.0	30.5
家族成長前期	216	2.8	22.7	31.9	5.1	37.5	-	25.5	37.0
家族成長後期	196	4.6	22.4	26.0	9.2	37.2	0.5	27.0	35.2
家族成熟期	470	5.1	18.7	24.3	12.3	39.4	0.2	23.8	36.6
高齢期	528	6.6	22.9	21.8	11.7	36.4	0.6	29.5	33.5
その他	323	4.6	18.6	24.8	15.5	34.7	1.9	23.2	40.3

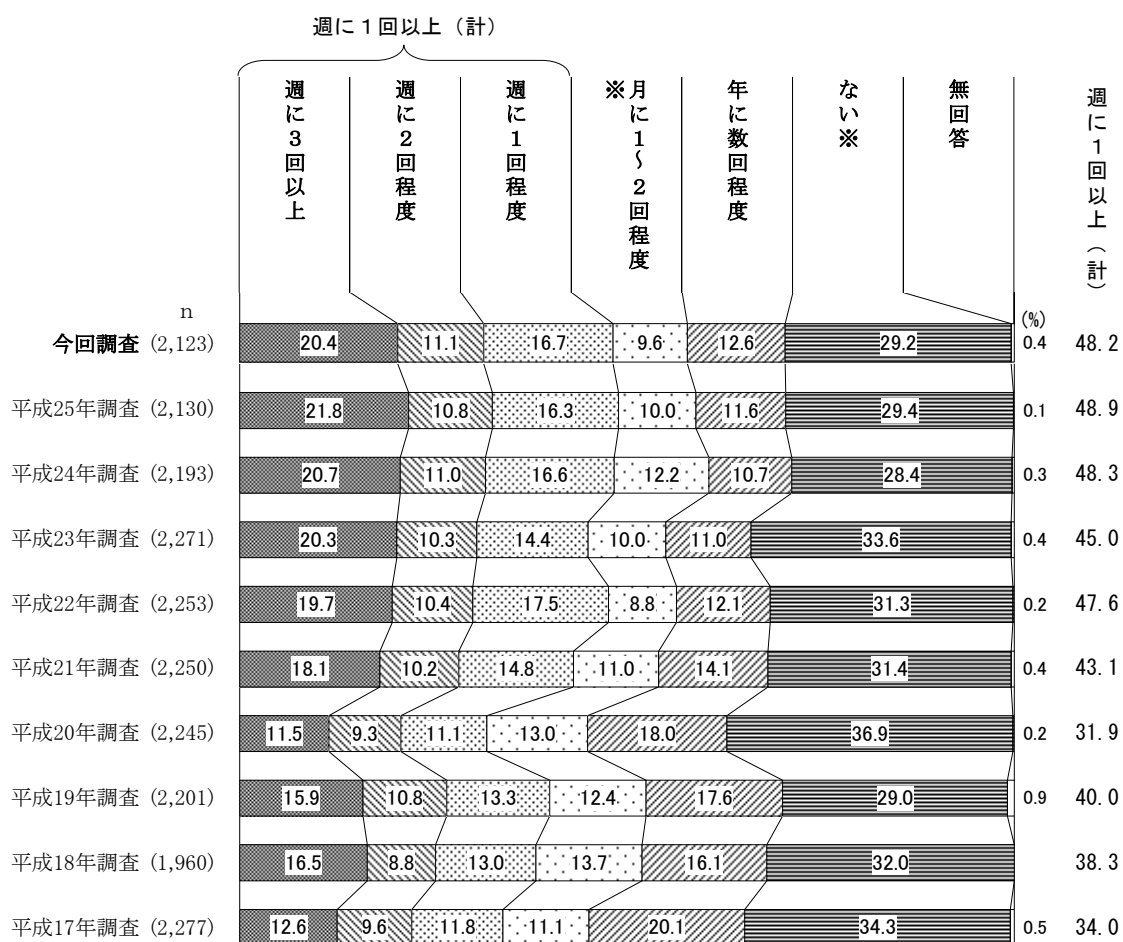
(5) スポーツをする機会

◇『週に1回以上（計）』は48.2%

問6 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動（※）をする機会がどのくらいありましたか。散歩やウォーキング、軽い体操、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かしたりすることなども含めます。

※ スポーツ・レクリエーションに含まれる活動

ラジオ体操、登山、ハイキング、水泳、ボウリング、筋力トレーニング、ジョギング、釣り、サイクリング、ゲートボール、フォークダンス、民謡踊りなど



※ 平成21年調査までの選択肢「月に1〜2回程度」は、「月に1〜3回程度」としていた。
また、平成24年調査までの選択肢「ない」は、「ない」と「わからない」の合計である。

過去1年間のスポーツをする機会は、「ない」（29.2%）が約3割と最も高く、次いで、「週に3回以上」（20.4%）、「週に1回程度」（16.7%）、「年に数回程度」（12.6%）などとなっている。また、『週に1回以上（計）』（「週に3回以上」（20.4%）、「週に2回程度」（11.1%）、「週に1回程度」（16.7%）の合計48.2%）は5割弱となっている。

【過去調査との比較】

『週に1回以上（計）』（48.2%）は平成25年調査とほぼ同じ割合で推移している。

【属性別比較】

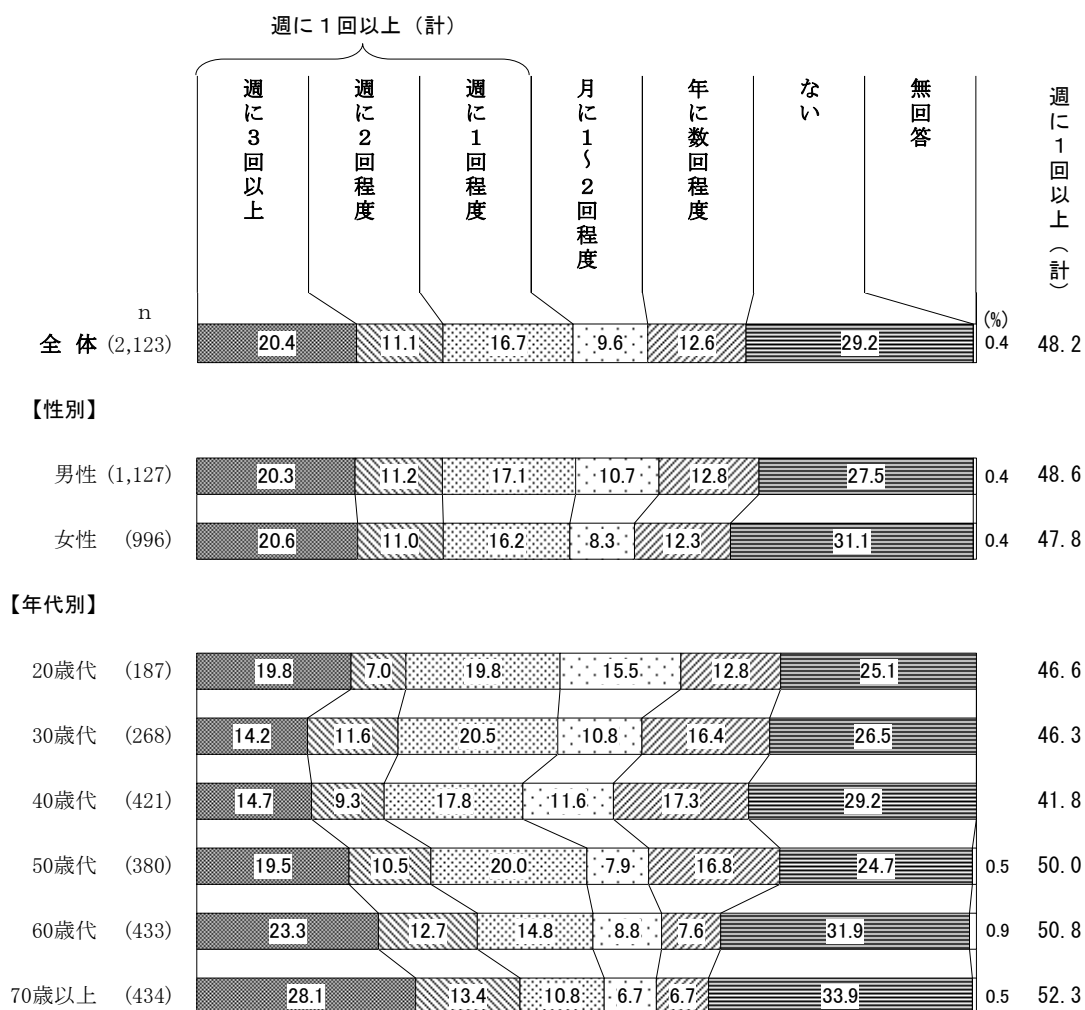
①性別

性別による大きな違いはみられない。

②年代別

『週に1回以上（計）』は70歳以上（52.3%）で最も高く、40歳代（41.8%）で最も低くなっている。

○スポーツをする機会・性別／年代別



③地域別

『週に1回以上（計）』は北部地域（55.8%）、秩父地域（55.5%）、県央地域（54.2%）が5割台半ばで高くなっている。一方、「ない」は東部地域（40.2%）が他の地域に比べて高くなっている。

④性・年代別

『週に1回以上（計）』は男性70歳以上（58.9%）で最も高くなっている。

⑤職業別

『週に1回以上（計）』は無職（計）（55.8%）が最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『週に1回以上（計）』は高齢期（54.3%）で最も高くなっている。

○スポーツをする機会・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

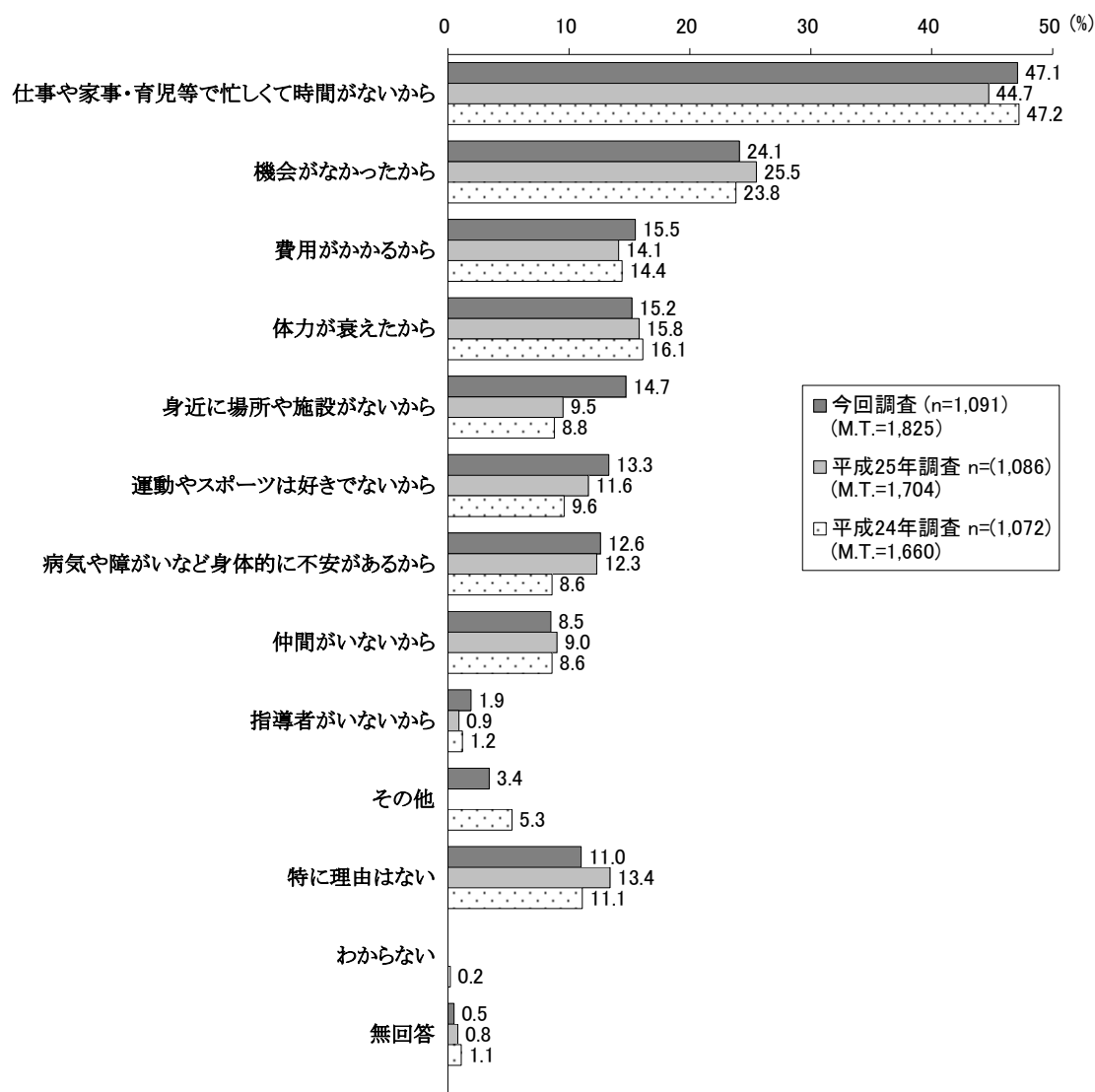
	調査数 n	週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	ない	無回答	(%) 週に1回以上（計）
全 体	2,123	20.4	11.1	16.7	9.6	12.6	29.2	0.4	48.2
地域別									
南部地域	224	20.1	11.6	20.5	8.9	11.6	27.2	—	52.2
南西部地域	187	17.6	13.4	16.0	11.8	16.0	25.1	—	47.0
東部地域	321	20.2	9.0	13.7	6.9	9.7	40.2	0.3	42.9
さいたま地域	378	25.7	10.1	16.7	10.1	9.3	27.8	0.5	52.5
県央地域	142	16.2	21.1	16.9	9.9	11.3	24.6	—	54.2
川越比企地域	243	16.9	9.5	20.2	8.6	11.5	32.5	0.8	46.6
西部地域	224	17.0	11.2	15.6	11.2	17.0	27.7	0.4	43.8
利根地域	223	20.2	9.9	12.1	12.1	17.9	27.4	0.4	42.2
北部地域	154	25.3	9.1	21.4	9.1	11.7	22.7	0.6	55.8
秩父地域	27	29.6	14.8	11.1	3.7	18.5	22.2	—	55.5
性・年代別									
男性・20歳代	102	20.6	6.9	19.6	17.6	10.8	24.5	—	47.1
30歳代	144	10.4	14.6	19.4	13.2	16.0	26.4	—	44.4
40歳代	214	17.8	7.5	19.2	11.7	16.4	27.6	—	44.5
50歳代	216	15.3	11.1	21.3	9.3	16.7	25.5	0.9	47.7
60歳代	220	22.3	10.9	13.2	10.9	9.5	32.7	0.5	46.4
70歳以上	231	31.6	14.7	12.6	6.5	7.8	26.4	0.4	58.9
女性・20歳代	85	18.8	7.1	20.0	12.9	15.3	25.9	—	45.9
30歳代	124	18.5	8.1	21.8	8.1	16.9	26.6	—	48.4
40歳代	207	11.6	11.1	16.4	11.6	18.4	30.9	—	39.1
50歳代	164	25.0	9.8	18.3	6.1	17.1	23.8	—	53.1
60歳代	213	24.4	14.6	16.4	6.6	5.6	31.0	1.4	55.4
70歳以上	203	24.1	11.8	8.9	6.9	5.4	42.4	0.5	44.8
職業別									
自営業・家族従業（計）	223	19.7	9.9	15.7	9.0	11.2	33.6	0.9	45.3
雇用者（計）	1,106	15.7	9.9	17.8	11.1	16.9	28.2	0.3	43.4
無職（計）	790	27.2	13.2	15.4	7.7	7.0	29.2	0.3	55.8
ライフステージ別									
独身期	236	17.4	10.2	18.2	13.6	10.6	30.1	—	45.8
家族形成期	154	14.3	10.4	18.8	13.6	16.9	26.0	—	43.5
家族成長前期	216	14.8	8.8	20.4	13.4	23.1	19.4	—	44.0
家族成長後期	196	17.9	9.2	26.5	8.7	16.3	20.9	0.5	53.6
家族成熟期	470	20.2	13.2	14.7	8.9	11.7	31.1	0.2	48.1
高齢期	528	26.5	14.0	13.8	7.8	7.6	29.7	0.6	54.3
その他	323	21.4	7.1	13.6	6.8	12.1	38.1	0.9	42.1

（５－１）スポーツをする機会がなかった理由

◇「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が47.1%

（問６で「月に１～２回程度」「年に数回程度」「ない」のいずれかを答えた方に）

問６－１ 週に１回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



※ 平成24年調査までは、「体力が衰えたから」は「年をとったから」、「病気や障がいなど身体的に不安があるから」は「体が弱いから」としていた。
また、平成24年調査までは「その他」と「わからない」を調査しており、今回調査では「その他」を調査した。

週に１回以上スポーツをする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」(47.1%) が最も高く、次いで、「機会がなかったから」(24.1%)、「費用がかかるから」(15.5%)、「体力が衰えたから」(15.2%)、「身近に場所や施設がないから」(14.7%) などとなっている。

【過去調査との比較】

「身近に場所や施設がないから」、「運動やスポーツは好きでないから」の割合がここ数年で増加傾向にある。

【属性別比較】

①地域別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は南西部地域（52.5%）、川越比企地域（51.6%）、西部地域（51.2%）で5割を超えて高くなっている。

②性別

「運動やスポーツは好きでないから」は女性（18.6%）が男性（8.5%）に比べて10.1ポイント高くなっている。

③年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は30歳代（66.0%）から40歳代（68.2%）で6割を超えて高くなっている。

④性・年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は女性40歳代（72.2%）で7割を超えて最も高くなっている。

⑤職業別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は雇用者（計）（62.5%）が6割を超えて最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は家族成長前期（81.8%）で最も高くなっている。

○スポーツをする機会がなかった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	し仕事や家事・育児等で忙 しくて時間が ないから	機会が なかったから	費用が かかるから	体力が 衰えたから	か身 近に場 所や施 設がな い	ない 運動 やス ポーツ は好き で	に病 気や障 がある から	仲間 がいな いから	指導 者がい ないから	その他	特に理 由はな い	(%) 無回答
全 体	1,091	47.1	24.1	15.5	15.2	14.7	13.3	12.6	8.5	1.9	3.4	11.0	0.5

地域別

南部地域	107	45.8	21.5	14.0	12.1	10.3	15.0	16.8	4.7	1.9	0.9	8.4	1.9
南西部地域	99	52.5	24.2	20.2	15.2	19.2	21.2	6.1	8.1	2.0	1.0	6.1	-
東部地域	182	43.4	20.9	11.5	11.0	14.3	13.7	14.8	8.2	1.1	4.4	11.5	0.5
さいたま地域	178	43.3	27.5	15.2	18.5	14.6	9.0	17.4	9.0	1.1	3.9	11.2	-
県央地域	65	49.2	10.8	20.0	15.4	10.8	15.4	18.5	12.3	7.7	4.6	9.2	-
川越比企地域	128	51.6	22.7	20.3	19.5	14.1	12.5	6.3	7.8	1.6	3.1	14.8	-
西部地域	125	51.2	29.6	17.6	12.8	14.4	14.4	6.4	11.2	2.4	3.2	8.8	1.6
利根地域	128	47.7	24.2	17.2	15.6	15.6	12.5	10.9	7.0	1.6	5.5	15.6	-
北部地域	67	43.3	29.9	4.5	19.4	17.9	7.5	17.9	9.0	1.5	1.5	9.0	1.5
秩父地域	12	41.7	41.7	-	8.3	25.0	16.7	8.3	16.7	-	8.3	16.7	-

性別

男性	575	47.1	25.4	14.3	14.4	16.9	8.5	11.7	9.6	1.9	1.7	12.7	0.7
女性	516	47.1	22.7	16.9	16.1	12.2	18.6	13.6	7.4	1.9	5.2	9.1	0.4

年代別

20歳代	100	58.0	28.0	12.0	8.0	16.0	20.0	1.0	10.0	4.0	6.0	7.0	1.0
30歳代	144	66.0	20.8	25.7	6.3	20.1	16.7	1.4	11.1	1.4	1.4	7.6	-
40歳代	245	68.2	27.3	20.8	6.9	12.7	13.1	6.1	6.5	0.8	3.3	8.6	0.8
50歳代	188	53.2	30.3	20.2	12.8	17.6	12.8	12.2	13.8	3.7	3.2	11.7	0.5
60歳代	209	36.4	23.4	9.6	18.2	12.9	13.4	16.3	5.7	1.4	3.3	15.3	-
70歳以上	205	8.8	15.6	5.4	34.1	11.7	8.3	30.2	6.3	1.5	3.9	13.2	1.0

性・年代別

男性・20歳代	54	57.4	25.9	3.7	3.7	13.0	16.7	1.9	7.4	1.9	5.6	5.6	-
30歳代	80	65.0	22.5	23.8	8.8	20.0	8.8	1.3	13.8	2.5	1.3	11.3	-
40歳代	119	63.9	28.6	16.0	6.7	14.3	9.2	4.2	7.6	0.8	0.8	10.9	1.7
50歳代	111	53.2	31.5	20.7	11.7	20.7	7.2	11.7	11.7	2.7	0.9	13.5	-
60歳代	117	35.9	22.2	11.1	21.4	17.1	7.7	17.1	6.0	0.9	0.9	17.1	-
70歳以上	94	11.7	20.2	6.4	29.8	14.9	5.3	28.7	11.7	3.2	3.2	13.8	2.1
女性・20歳代	46	58.7	30.4	21.7	13.0	19.6	23.9	-	13.0	6.5	6.5	8.7	2.2
30歳代	64	67.2	18.8	28.1	3.1	20.3	26.6	1.6	7.8	-	1.6	3.1	-
40歳代	126	72.2	26.2	25.4	7.1	11.1	16.7	7.9	5.6	0.8	5.6	6.3	-
50歳代	77	53.2	28.6	19.5	14.3	13.0	20.8	13.0	16.9	5.2	6.5	9.1	1.3
60歳代	92	37.0	25.0	7.6	14.1	7.6	20.7	15.2	5.4	2.2	6.5	13.0	-
70歳以上	111	6.3	11.7	4.5	37.8	9.0	10.8	31.5	1.8	-	4.5	12.6	-

職業別

自営業・家族従業（計）	120	45.0	14.2	15.0	10.8	15.0	10.0	9.2	10.0	2.5	4.2	20.8	-
雇用者（計）	622	62.5	29.3	18.6	10.9	16.1	13.0	6.3	8.7	1.8	1.9	7.7	0.6
無職（計）	347	20.2	18.4	10.1	24.5	12.1	14.4	25.1	7.8	2.0	5.8	13.5	0.6

ライフステージ別

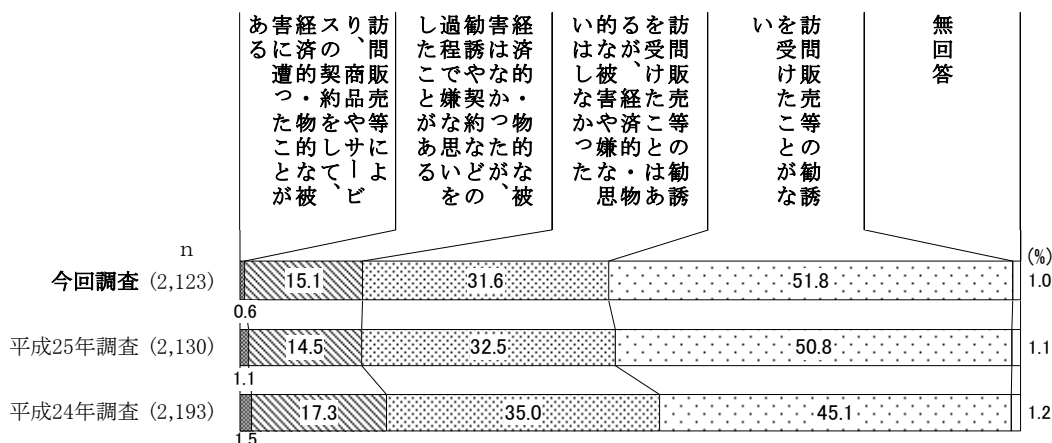
独身期	128	46.9	28.1	14.8	8.6	17.2	19.5	0.8	10.9	3.1	4.7	13.3	0.8
家族形成期	87	73.6	18.4	17.2	3.4	19.5	14.9	1.1	10.3	1.1	4.6	2.3	-
家族成長前期	121	81.8	22.3	28.1	5.8	11.6	9.1	2.5	9.1	0.8	1.7	5.8	0.8
家族成長後期	90	72.2	35.6	23.3	13.3	21.1	14.4	6.7	3.3	1.1	4.4	4.4	-
家族成熟期	243	44.4	21.4	16.9	12.8	12.8	9.9	17.3	9.9	2.9	5.3	15.6	0.4
高齢期	238	18.5	19.3	6.7	33.2	11.8	10.9	24.4	6.3	1.7	2.9	12.6	0.8
その他	184	40.2	29.3	12.5	12.5	15.8	17.9	14.1	9.2	1.6	0.5	12.0	0.5

（６－１）訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害

◇「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」が51.8%

問７ 消費生活についておたずねいたします。

（１）あなたはここ１年以内に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭ったことがありますか。



訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害は、「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」（51.8%）が5割強で最も高くなっている。訪問販売等を受けたことがある中では、「訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」（31.6%）が3割強、次いで、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」（15.1%）が1割台半ばとなっており、「訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある」（0.6%）は極めて低くなっている。

【過去調査との比較】

平成25年調査と比較して、「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は1.0ポイント増加している。

【属性別比較】

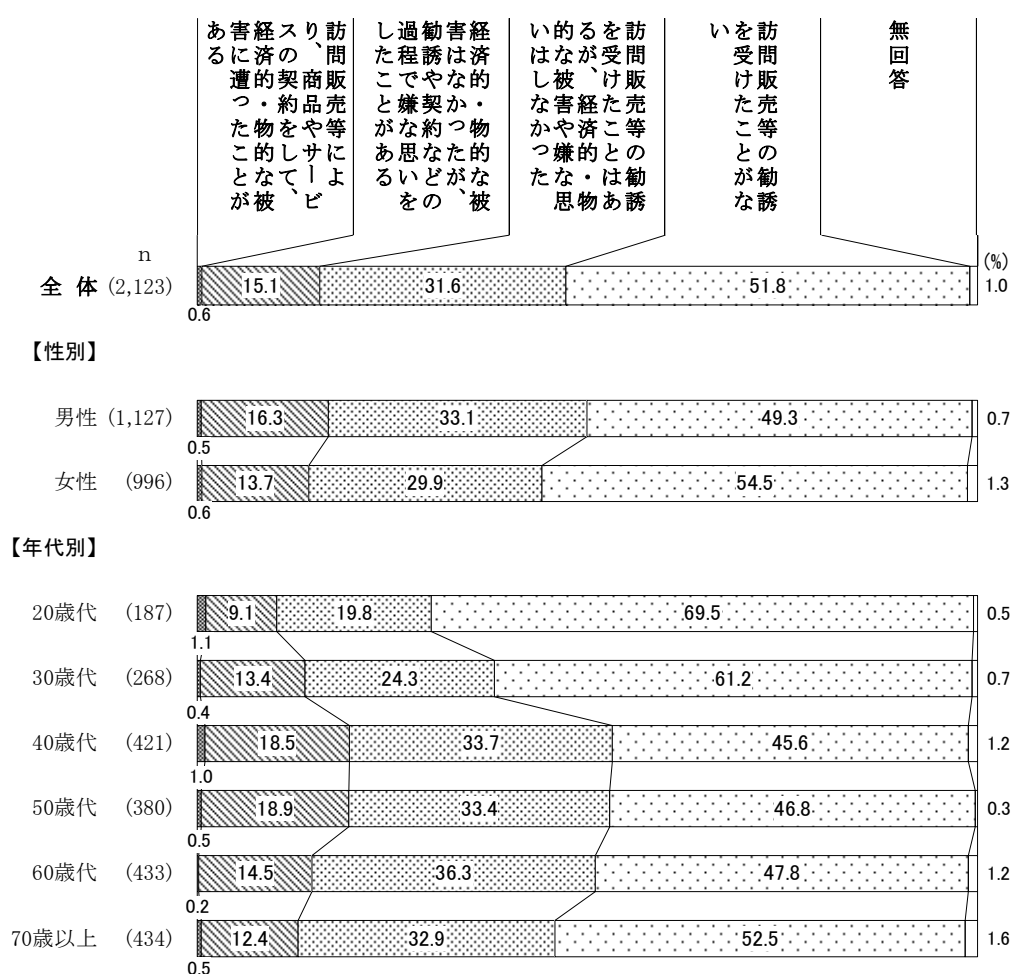
①性別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は男性（16.3%）のほうが女性（13.7%）よりも2.6ポイント高くなっている。

②年代別

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は20歳代（69.5%）で約7割と最も高くなっている。「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は40歳代（18.5%）、50歳代（18.9%）でやや高くなっている。

○訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害・性別／年代別



③地域別

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は南部地域（60.3％）で約6割と最も高くなっている。

④性・年代別

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は女性20歳代（70.6％）で約7割と最も高くなっている。

⑤職業別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は自営業・家族従業（計）（17.0％）と雇用者（計）（16.5％）でそれぞれ1割台半ばを超えてやや高くなっている。

⑥ライフステージ別

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は独身期（72.9％）で7割を超えて最も高くなっている。

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は家族成長後期（20.4％）が約2割と最も高くなっている。

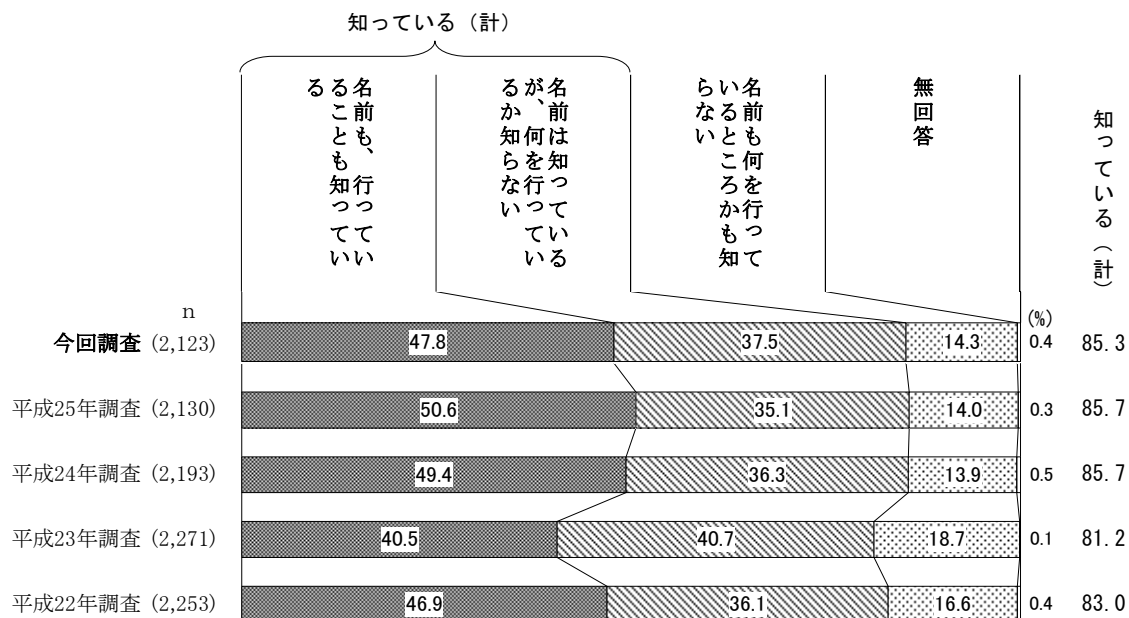
○訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	訪問販売等の勧誘を受けたことがない 被害に遭ったこと、経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある	訪問販売等の勧誘を受けたことがない 被害に遭ったこと、経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある	訪問販売等の勧誘を受けたことがない 被害に遭ったこと、経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある	訪問販売等の勧誘を受けたことがない 被害に遭ったこと、経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある	無回答
全 体	2,123	0.6	15.1	31.6	51.8	1.0
地域別						
南部地域	224	0.9	14.3	24.1	60.3	0.4
南西部地域	187	0.5	16.0	26.2	55.1	2.1
東部地域	321	－	12.8	29.3	57.3	0.6
さいたま地域	378	0.5	15.9	36.0	46.6	1.1
県央地域	142	0.7	12.7	46.5	39.4	0.7
川越比企地域	243	－	16.5	39.1	44.0	0.4
西部地域	224	1.3	12.5	25.0	59.8	1.3
利根地域	223	0.9	18.8	29.1	49.3	1.8
北部地域	154	0.6	16.2	27.3	55.2	0.6
秩父地域	27	－	14.8	51.9	33.3	－
性・年代別						
男性・20歳代	102	2.0	6.9	22.5	68.6	－
30歳代	144	0.7	10.4	22.9	66.0	－
40歳代	214	0.9	21.0	33.2	43.9	0.9
50歳代	216	0.5	19.4	37.5	42.1	0.5
60歳代	220	－	18.6	36.4	44.5	0.5
70歳以上	231	－	14.7	36.8	46.8	1.7
女性・20歳代	85	－	11.8	16.5	70.6	1.2
30歳代	124	－	16.9	25.8	55.6	1.6
40歳代	207	1.0	15.9	34.3	47.3	1.4
50歳代	164	0.6	18.3	28.0	53.0	－
60歳代	213	0.5	10.3	36.2	51.2	1.9
70歳以上	203	1.0	9.9	28.6	59.1	1.5
職業別						
自営業・家族従業（計）	223	0.4	17.0	27.4	52.9	2.2
雇用者（計）	1,106	0.6	16.5	31.3	51.3	0.4
無職（計）	790	0.5	12.7	33.0	52.4	1.4
ライフステージ別						
独身期	236	0.8	10.6	15.3	72.9	0.4
家族形成期	154	－	11.7	31.8	55.8	0.6
家族成長前期	216	0.9	18.5	33.8	44.4	2.3
家族成長後期	196	0.5	20.4	35.2	42.9	1.0
家族成熟期	470	－	16.8	36.8	45.7	0.6
高齢期	528	0.4	12.5	33.7	52.3	1.1
その他	323	1.5	16.1	28.8	52.6	0.9

（６－２）消費生活センターの認知度

◇『知っている（計）』が85.3%

問７（２）あなたは契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または消費生活相談窓口）を知っていますか。



消費生活センター（または消費生活相談窓口）の認知度は、「名前も、行っていることも知っている」が47.8%、これに「名前を知っているが、何を行っているか知らない」（37.5%）を合わせた『知っている（計）』は85.3%となっている。一方、「名前も何を行っているところかも知らない」は14.3%となっている。

【過去調査との比較】

『知っている（計）』は平成25年調査とほぼ同じ割合となっている。一方、「名前も何を行っているところかも知らない」も同調査とほぼ同じ割合となっている。

【属性別比較】

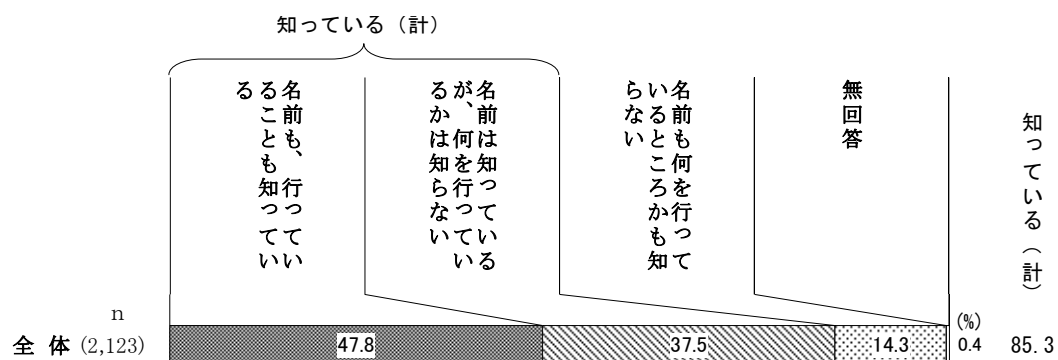
①性別

『知っている（計）』は性別による大きな違いはみられない。

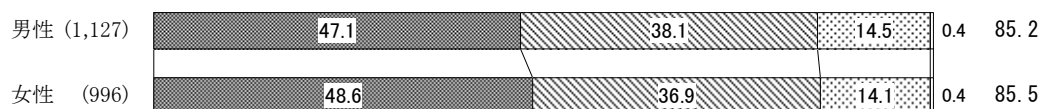
②年代別

『知っている（計）』は30歳代から60歳代で8割を超えて高く、50歳代（90.3%）では約9割と最も高くなっている。一方、「名前も何を行っているところかも知らない」は20歳代（29.9%）で最も高くなっている。

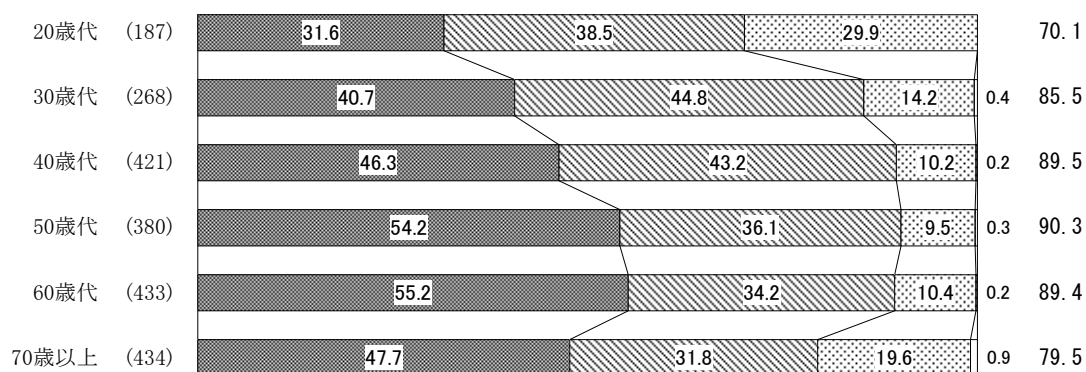
○消費生活センターの認知度・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『知っている（計）』は南西部地域（76.5％）を除いて8割を超えており、川越比企地域（88.5％）が最も高くなっている。

④性・年代別

『知っている（計）』は、男性は50歳代（90.3％）、女性は40歳代（92.3％）でそれぞれ最も高くなっている。一方、「名前も何を行っているところかも知らない」は男女とも20歳代（男性32.4％、女性27.1％）でそれぞれ最も高くなっている。

⑤職業別

『知っている（計）』はいずれの職業でも8割を超えており、雇用者（計）（87.4％）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『知っている（計）』は独身期を除いたライフステージで8割を超えており、家族成熟期（90.0％）で最も高くなっている。

○消費生活センターの認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

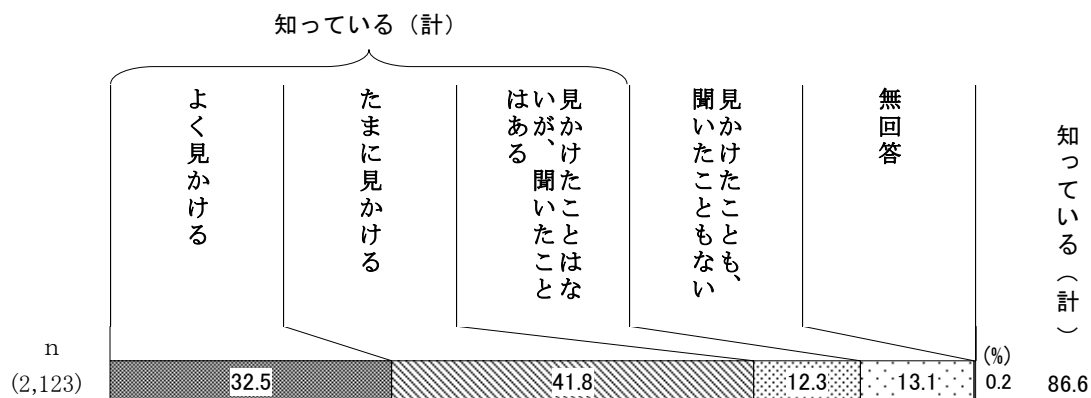
	調査数 n	名前も知って いる	名前も知って いるが、 知らない	名前も知って いるが、 知らない	無回答	(%) 知っている (計)
全 体	2,123	47.8	37.5	14.3	0.4	85.3
地域別						
南部地域	224	50.9	32.1	17.0	-	83.0
南西部地域	187	40.1	36.4	23.5	-	76.5
東部地域	321	46.7	37.1	15.9	0.3	83.8
さいたま地域	378	51.6	36.8	11.4	0.3	88.4
県央地域	142	49.3	38.7	12.0	-	88.0
川越比企地域	243	45.3	43.2	10.7	0.8	88.5
西部地域	224	48.7	39.3	12.1	-	88.0
利根地域	223	48.4	37.2	13.0	1.3	85.6
北部地域	154	48.1	35.7	15.6	0.6	83.8
秩父地域	27	37.0	48.1	14.8	-	85.1
性・年代別						
男性・20歳代	102	31.4	36.3	32.4	-	67.7
30歳代	144	43.1	41.0	16.0	-	84.1
40歳代	214	43.0	43.9	12.6	0.5	86.9
50歳代	216	51.4	38.9	9.3	0.5	90.3
60歳代	220	54.5	33.6	11.8	-	88.1
70歳以上	231	49.4	35.1	14.7	0.9	84.5
女性・20歳代	85	31.8	41.2	27.1	-	73.0
30歳代	124	37.9	49.2	12.1	0.8	87.1
40歳代	207	49.8	42.5	7.7	-	92.3
50歳代	164	57.9	32.3	9.8	-	90.2
60歳代	213	55.9	34.7	8.9	0.5	90.6
70歳以上	203	45.8	28.1	25.1	1.0	73.9
職業別						
自営業・家族従業（計）	223	50.2	33.6	15.2	0.9	83.8
雇用者（計）	1,106	47.0	40.4	12.3	0.3	87.4
無職（計）	790	48.1	34.8	16.7	0.4	82.9
ライフステージ別						
独身期	236	32.2	43.6	24.2	-	75.8
家族形成期	154	42.9	39.6	17.5	-	82.5
家族成長前期	216	44.4	41.7	13.4	0.5	86.1
家族成長後期	196	50.5	38.3	10.2	1.0	88.8
家族成熟期	470	52.6	37.4	10.0	-	90.0
高齢期	528	51.9	32.0	15.5	0.6	83.9
その他	323	48.6	38.1	12.7	0.6	86.7

(7-1)「わがまち防犯隊」の認知度

◇『知っている（計）』が86.6%

問8 防犯パトロール活動についておたずねいたします。

(1) 県内の各地域では、自主的に防犯パトロールや子どもの見守り活動などを行う自主防犯ボランティア団体（愛称「わがまち防犯隊」）が活動しています。あなたは、このような活動を見たり聞いたりしたことがありますか。



「わがまち防犯隊」の認知度は、「よく見かける」が32.5%「たまに見かける」が41.8%、「見かけたことはないが、聞いたことはある」が12.3%となっており、これらを合わせた『知っている（計）』は86.6%となっている。一方、「見かけたことも、聞いたこともない」は13.1%となっている。

【属性別比較】

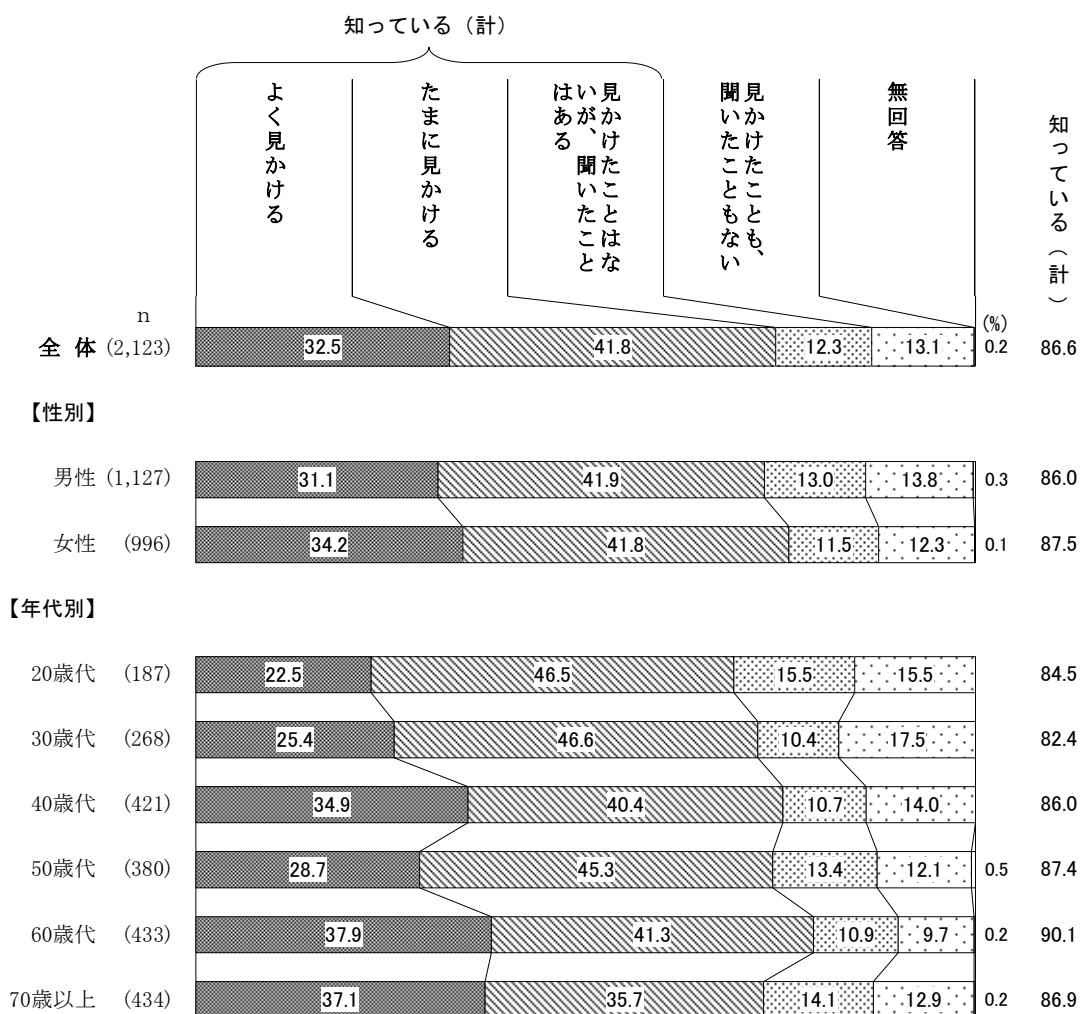
①性別

『知っている（計）』は性別による大きな違いはみられない。

②年代別

『知っている（計）』はいずれの年代でも8割を超え、60歳代（90.1%）で最も高くなっている。一方、「見かけたことも、聞いたこともない」は30歳代（17.5%）が最も高くなっている。

○「わがまち防犯隊」の認知度・性別／年代別



③地域別

『知っている（計）』は川越比企地域（92.2%）が9割を超えて最も高くなっている。

④性・年代別

「よく見かける」は男性70歳以上（43.7%）と女性40歳代（40.6%）が4割を超えてそれぞれ最も高くなっている。

⑤職業別

「よく見かける」は無職（計）（36.7%）が最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「よく見かける」は家族成長後期（42.3%）が最も高くなっている。

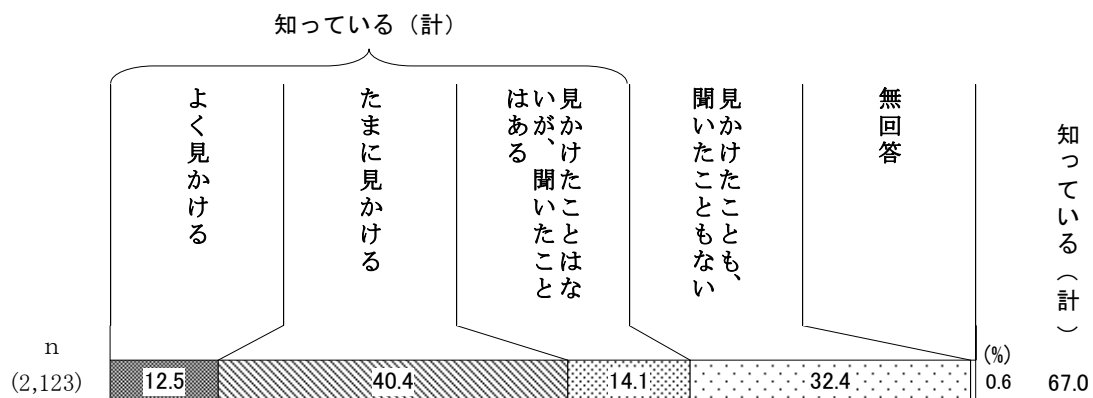
○「わがまち防犯隊」の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	よく見かける	たまに見かける	が見かけたことは無い	見かけたことも無い	無回答	(%) 知っている（計）
	n						
全 体	2, 123	32. 5	41. 8	12. 3	13. 1	0. 2	86. 6
地域別							
南部地域	224	29. 0	39. 3	15. 6	15. 6	0. 4	83. 9
南西部地域	187	24. 1	45. 5	11. 2	19. 3	—	80. 8
東部地域	321	28. 3	43. 9	13. 4	14. 3	—	85. 6
さいたま地域	378	34. 9	40. 2	11. 9	12. 7	0. 3	87. 0
県央地域	142	40. 1	36. 6	12. 0	11. 3	—	88. 7
川越比企地域	243	39. 9	42. 0	10. 3	7. 4	0. 4	92. 2
西部地域	224	35. 7	39. 7	12. 5	12. 1	—	87. 9
利根地域	223	30. 9	46. 6	10. 3	11. 7	0. 4	87. 8
北部地域	154	33. 8	41. 6	9. 7	14. 9	—	85. 1
秩父地域	27	11. 1	40. 7	33. 3	14. 8	—	85. 1
性・年代別							
男性・20歳代	102	21. 6	44. 1	18. 6	15. 7	—	84. 3
30歳代	144	17. 4	51. 4	13. 2	18. 1	—	82. 0
40歳代	214	29. 4	39. 3	12. 1	19. 2	—	80. 8
50歳代	216	27. 8	44. 4	14. 4	13. 0	0. 5	86. 6
60歳代	220	35. 9	44. 1	10. 0	9. 5	0. 5	90. 0
70歳以上	231	43. 7	32. 9	12. 6	10. 4	0. 4	89. 2
女性・20歳代	85	23. 5	49. 4	11. 8	15. 3	—	84. 7
30歳代	124	34. 7	41. 1	7. 3	16. 9	—	83. 1
40歳代	207	40. 6	41. 5	9. 2	8. 7	—	91. 3
50歳代	164	29. 9	46. 3	12. 2	11. 0	0. 6	88. 4
60歳代	213	39. 9	38. 5	11. 7	9. 9	—	90. 1
70歳以上	203	29. 6	38. 9	15. 8	15. 8	—	84. 3
職業別							
自営業・家族従業（計）	223	32. 3	43. 9	12. 1	11. 2	0. 4	88. 3
雇用者（計）	1, 106	29. 7	43. 8	12. 8	13. 7	—	86. 3
無職（計）	790	36. 7	38. 5	11. 5	12. 9	0. 4	86. 7
ライフステージ別							
独身期	236	20. 8	49. 2	14. 4	15. 7	—	84. 4
家族形成期	154	19. 5	44. 8	12. 3	23. 4	—	76. 6
家族成長前期	216	39. 8	38. 4	9. 3	12. 5	—	87. 5
家族成長後期	196	42. 3	40. 8	8. 2	8. 2	0. 5	91. 3
家族成熟期	470	33. 0	45. 3	11. 7	9. 8	0. 2	90. 0
高齢期	528	39. 0	35. 4	13. 4	11. 7	0. 4	87. 8
その他	323	25. 4	43. 3	14. 2	17. 0	—	82. 9

（７－２）「青パト」の認知度

◇『知っている（計）』が67.0%

問８（２）県内の各地域では、自主防犯ボランティア団体による青色防犯パトロール活動（青色回転灯を装備した車両による防犯パトロール活動：通称「青パト」）が行われています。あなたは、このような活動を見たり聞いたりしたことがありますか。



「青パト」の認知度は、「よく見かける」が12.5%、「たまに見かける」が40.4%、「見かけたことはないが、聞いたことはある」が14.1%となっており、これらを合わせた『知っている（計）』は67.0%となっている。一方、「見かけたこともない、聞いたこともない」は32.4%となっている。

【属性別比較】

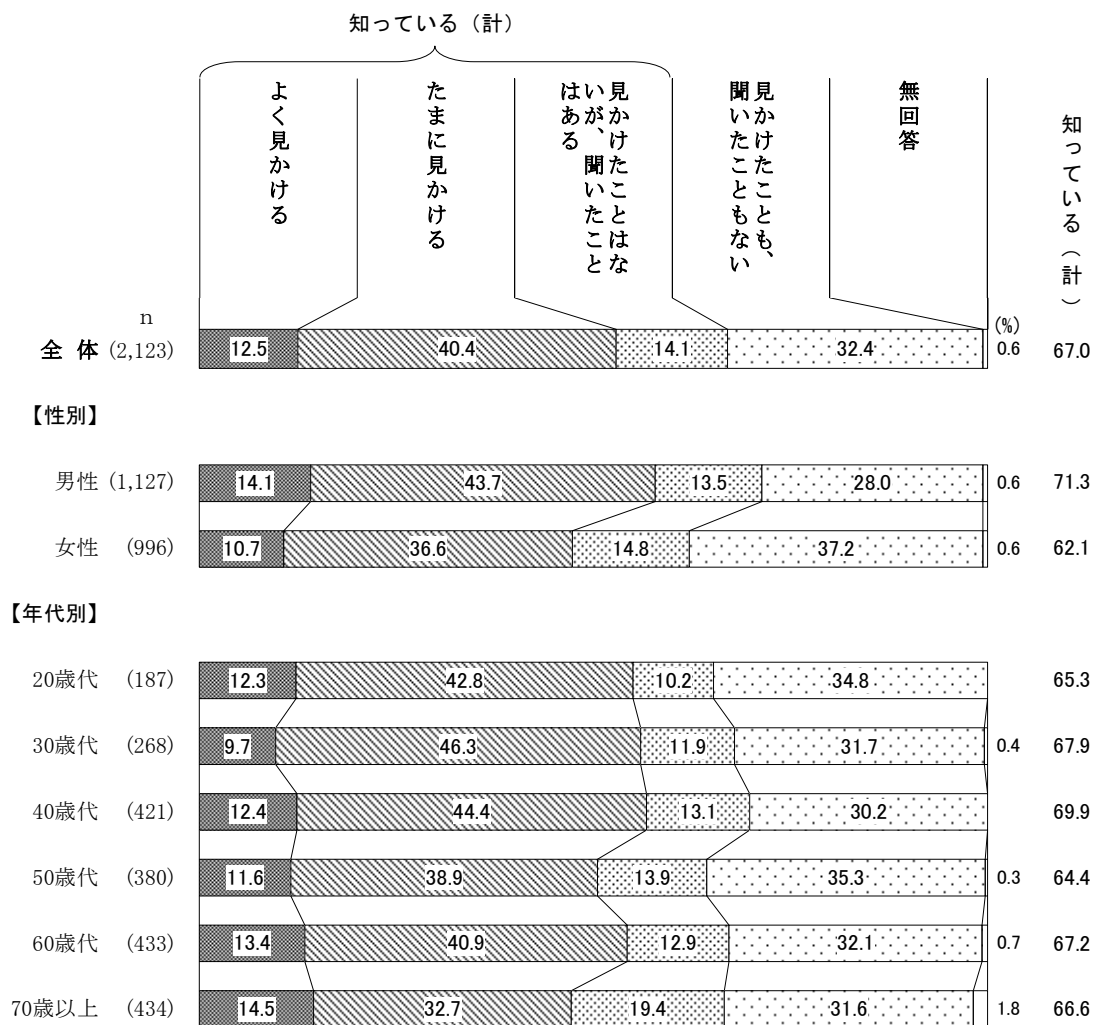
①性別

『知っている（計）』は男性（71.3%）が女性（62.1%）より9.2ポイント高くなっている。

②年代別

『知っている（計）』はいずれの年代でも6割を超え、40歳代（69.9%）が約7割と最も高くなっている。一方、「見かけたことも、聞いたこともない」は50歳代（35.3%）が最も高くなっている。

○「青パト」の認知度・性別／年代別



③地域別

「よく見かける」は南部地域（25.0%）が最も高くなっている。

④性・年代別

「よく見かける」は男性70歳以上（19.0%）が最も高くなっている。

⑤職業別

「よく見かける」は自営業・家族従業（計）（17.5%）が最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「よく見かける」は家族成長前期（14.4%）が最も高くなっている。

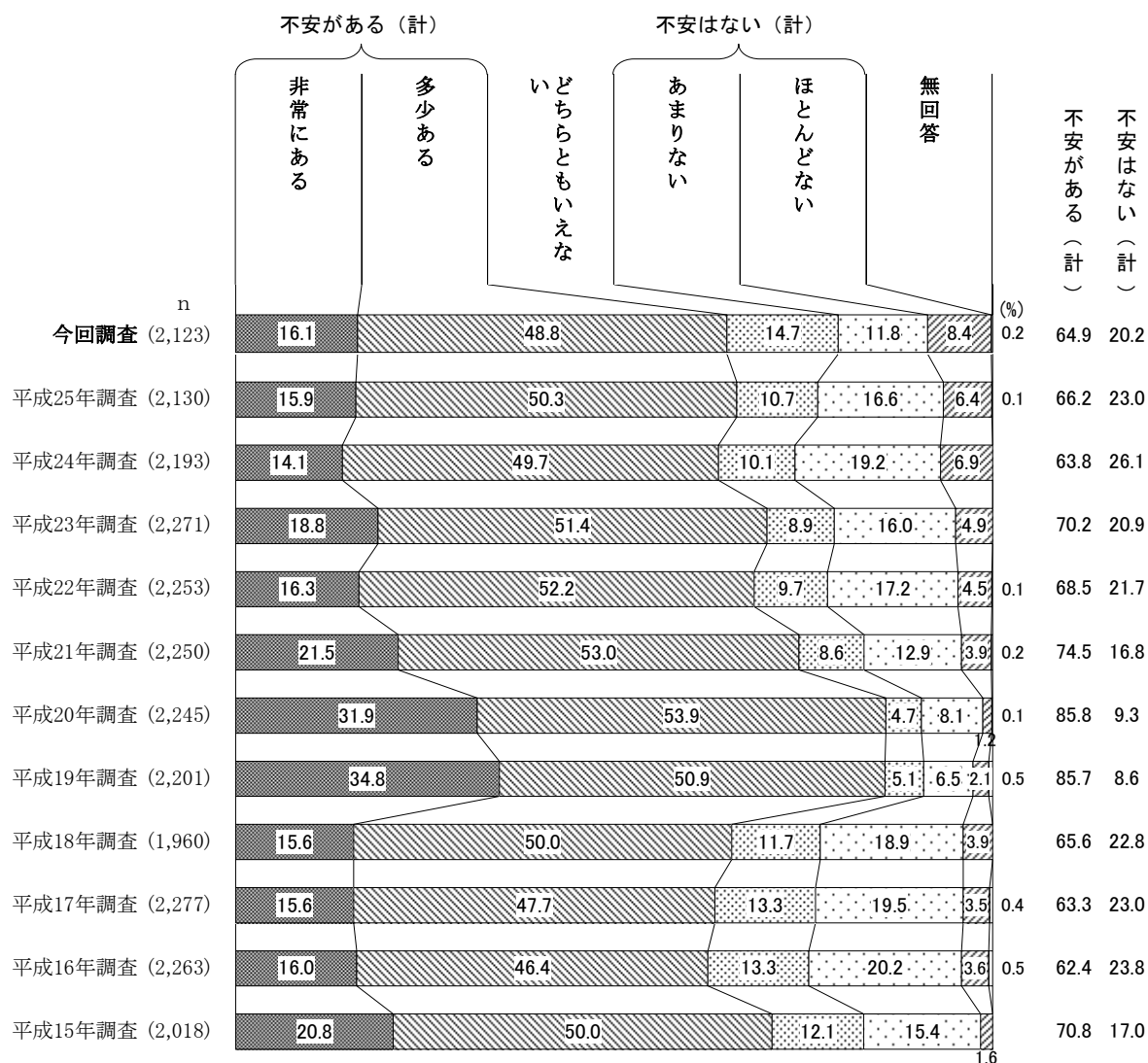
○「青パト」の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	よく見かける	たまに見かける	が見かけたことはある	見かけたこともない	無回答	(%) 知っている（計）
全 体	2, 123	12. 5	40. 4	14. 1	32. 4	0. 6	67. 0
地域別							
南部地域	224	25. 0	44. 2	8. 0	22. 8	－	77. 2
南西部地域	187	10. 7	45. 5	10. 7	32. 1	1. 1	66. 9
東部地域	321	14. 6	41. 7	16. 5	27. 1	－	72. 8
さいたま地域	378	9. 3	42. 1	17. 2	31. 0	0. 5	68. 6
県央地域	142	20. 4	43. 7	9. 9	25. 4	0. 7	74. 0
川越比企地域	243	13. 2	27. 2	14. 8	44. 0	0. 8	55. 2
西部地域	224	8. 5	40. 2	14. 3	36. 6	0. 4	63. 0
利根地域	223	7. 2	39. 5	13. 9	39. 5	－	60. 6
北部地域	154	7. 8	44. 8	17. 5	27. 3	2. 6	70. 1
秩父地域	27	－	22. 2	11. 1	63. 0	3. 7	33. 3
性・年代別							
男性・20歳代	102	10. 8	42. 2	12. 7	34. 3	－	65. 7
30歳代	144	9. 0	52. 1	8. 3	29. 9	0. 7	69. 4
40歳代	214	12. 1	49. 5	12. 1	26. 2	－	73. 7
50歳代	216	13. 0	43. 1	13. 9	29. 6	0. 5	70. 0
60歳代	220	16. 8	44. 5	12. 3	25. 0	1. 4	73. 6
70歳以上	231	19. 0	33. 8	19. 0	27. 3	0. 9	71. 8
女性・20歳代	85	14. 1	43. 5	7. 1	35. 3	－	64. 7
30歳代	124	10. 5	39. 5	16. 1	33. 9	－	66. 1
40歳代	207	12. 6	39. 1	14. 0	34. 3	－	65. 7
50歳代	164	9. 8	33. 5	14. 0	42. 7	－	57. 3
60歳代	213	9. 9	37. 1	13. 6	39. 4	－	60. 6
70歳以上	203	9. 4	31. 5	19. 7	36. 5	3. 0	60. 6
職業別							
自営業・家族従業（計）	223	17. 5	45. 7	11. 2	24. 7	0. 9	74. 4
雇用者（計）	1, 106	11. 0	42. 9	13. 0	32. 6	0. 4	66. 9
無職（計）	790	13. 3	35. 3	16. 3	34. 3	0. 8	64. 9
ライフステージ別							
独身期	236	10. 2	43. 6	12. 7	33. 1	0. 4	66. 5
家族形成期	154	13. 0	40. 3	10. 4	36. 4	－	63. 7
家族成長前期	216	14. 4	47. 7	11. 1	26. 9	－	73. 2
家族成長後期	196	12. 2	38. 3	15. 8	33. 2	0. 5	66. 3
家族成熟期	470	12. 3	43. 4	13. 8	30. 2	0. 2	69. 5
高齢期	528	14. 2	33. 9	17. 2	33. 5	1. 1	65. 3
その他	323	10. 5	40. 9	13. 0	34. 4	1. 2	64. 4

（８）食品の安全性に対する意識

◇『不安がある（計）』が64.9%

問９ 食品の安全性についておたずねいたします。あなたは、食品の安全性に不安がありますか。



食品の安全性に関して、不安が「多少ある」（48.8％）が約5割と最も高く、「非常にある」（16.1％）と合わせた『不安がある（計）』（64.9％）は6割台半ばとなっている。一方、不安が「ほとんどない」（8.4％）と「あまりない」（11.8％）を合わせた『不安はない（計）』（20.2％）は約2割となっている。

【過去調査との比較】

『不安がある（計）』の割合は、平成20年調査で8割台半ばと最も高くなり、その後は減少傾向にある。

【属性別比較】

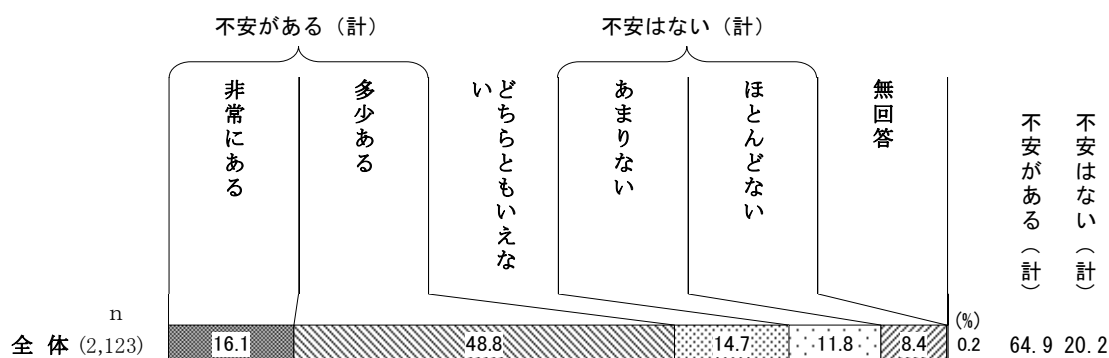
①性別

『不安がある（計）』は女性（72.3%）のほうが男性（58.3%）よりも14.0ポイント高くなっている。

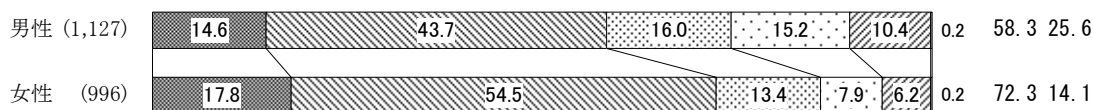
②年代別

『不安がある（計）』は60歳代（72.5%）で7割を超えて最も高くなっている。

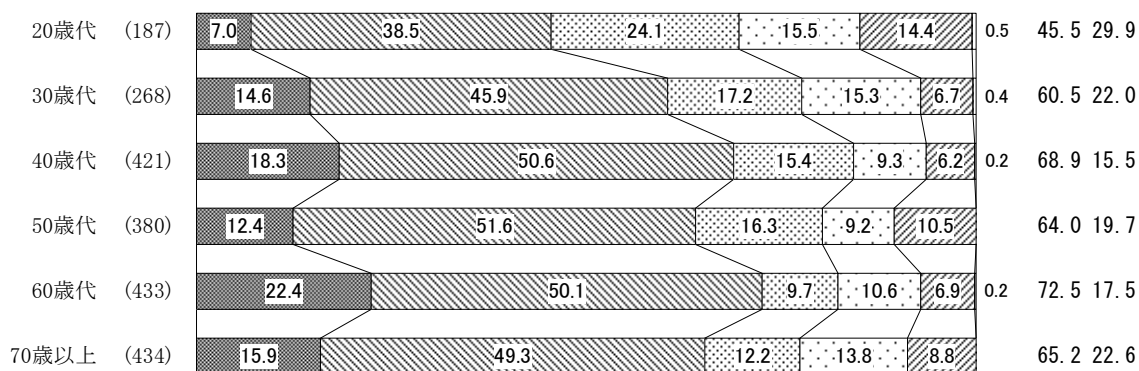
○食品の安全性に対する意識・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『不安がある（計）』は南西部地域（69.5％）で7割弱と最も高く、秩父地域（59.3％）で6割弱と最も低くなっている。

④性・年代別

『不安がある（計）』は女性60歳代（81.2％）で8割を超えて最も高くなっている。

⑤職業別

『不安がある（計）』は無職（計）（70.5％）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『不安がある（計）』は家族成長後期（71.9％）で最も高くなっている。

○食品の安全性に対する意識・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

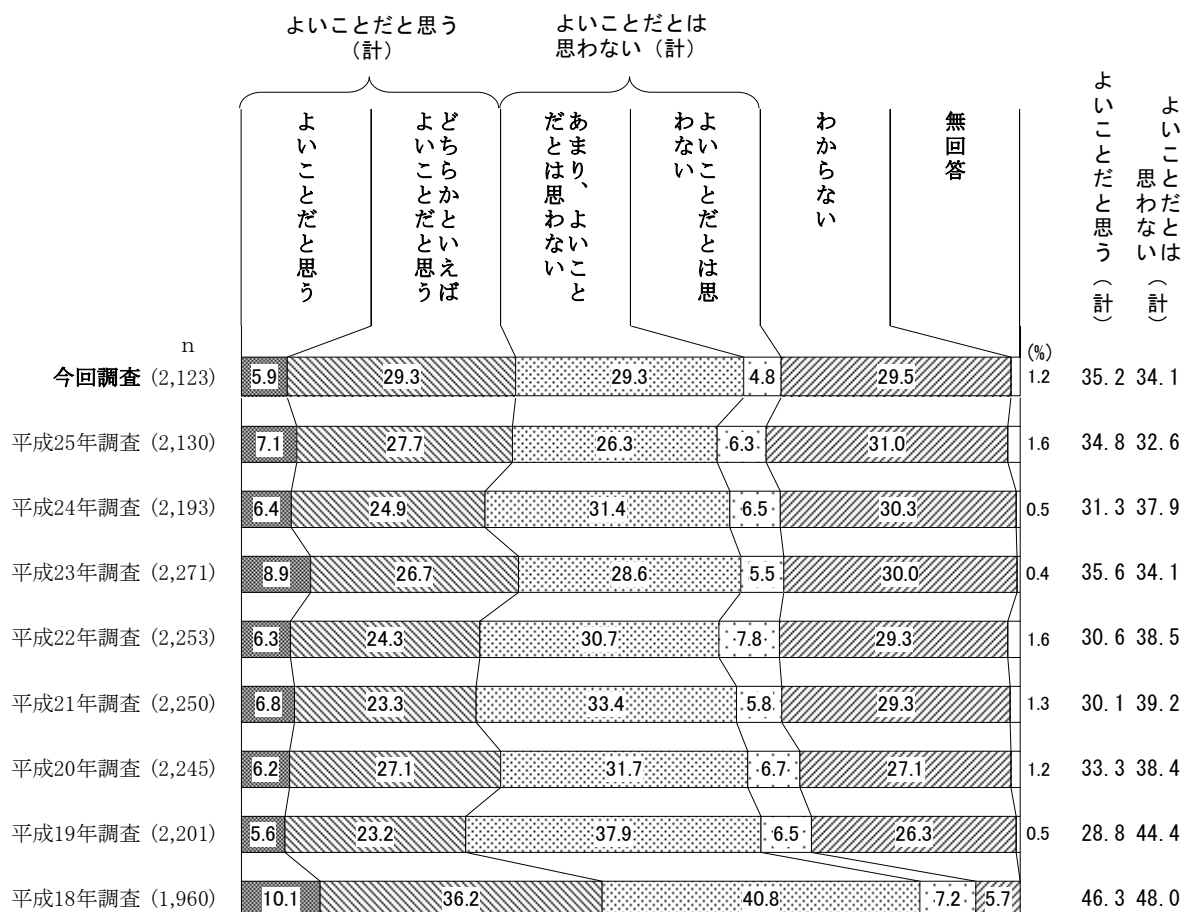
	調査数	非常に ある	多少 ある	どちらとも いえない	あまり ない	ほとん どない	無回 答	（％）	
	n							不安 がある （計）	不安 はない （計）
全 体	2,123	16.1	48.8	14.7	11.8	8.4	0.2	64.9	20.2
地域別									
南部地域	224	17.0	48.7	11.2	15.2	8.0	－	65.7	23.2
南西部地域	187	14.4	55.1	12.8	10.7	6.4	0.5	69.5	17.1
東部地域	321	13.4	48.6	17.8	13.4	6.5	0.3	62.0	19.9
さいたま地域	378	17.2	51.1	13.0	10.3	8.5	－	68.3	18.8
県央地域	142	18.3	45.8	16.9	9.9	8.5	0.7	64.1	18.4
川越比企地域	243	22.2	41.6	14.0	11.1	11.1	－	63.8	22.2
西部地域	224	14.7	46.0	18.8	11.6	8.9	－	60.7	20.5
利根地域	223	13.9	51.1	15.7	12.6	6.7	－	65.0	19.3
北部地域	154	14.9	50.0	14.3	11.7	8.4	0.6	64.9	20.1
秩父地域	27	7.4	51.9	3.7	3.7	33.3	－	59.3	37.0
性・年代別									
男性・20歳代	102	7.8	31.4	25.5	21.6	13.7	－	39.2	35.3
30歳代	144	13.2	43.1	18.8	16.0	8.3	0.7	56.3	24.3
40歳代	214	18.2	42.1	18.2	14.0	7.0	0.5	60.3	21.0
50歳代	216	11.6	43.1	16.2	13.9	15.3	－	54.7	29.2
60歳代	220	16.4	47.7	12.3	15.5	8.2	－	64.1	23.7
70歳以上	231	16.5	47.6	11.3	13.9	10.8	－	64.1	24.7
女性・20歳代	85	5.9	47.1	22.4	8.2	15.3	1.2	53.0	23.5
30歳代	124	16.1	49.2	15.3	14.5	4.8	－	65.3	19.3
40歳代	207	18.4	59.4	12.6	4.3	5.3	－	77.8	9.6
50歳代	164	13.4	62.8	16.5	3.0	4.3	－	76.2	7.3
60歳代	213	28.6	52.6	7.0	5.6	5.6	0.5	81.2	11.2
70歳以上	203	15.3	51.2	13.3	13.8	6.4	－	66.5	20.2
職業別									
自営業・家族従業（計）	223	15.7	43.5	15.2	15.7	9.9	－	59.2	25.6
雇用者（計）	1,106	14.8	47.3	17.1	11.4	9.0	0.4	62.1	20.4
無職（計）	790	18.1	52.4	11.4	11.0	7.1	－	70.5	18.1
ライフステージ別									
独身期	236	11.0	36.0	22.5	17.4	12.7	0.4	47.0	30.1
家族形成期	154	14.9	55.2	11.0	13.6	4.5	0.6	70.1	18.1
家族成長前期	216	16.2	47.7	20.4	9.3	6.0	0.5	63.9	15.3
家族成長後期	196	17.3	54.6	14.8	7.7	5.6	－	71.9	13.3
家族成熟期	470	16.4	51.3	13.4	10.0	8.7	0.2	67.7	18.7
高齢期	528	18.2	51.3	9.7	12.1	8.7	－	69.5	20.8
その他	323	15.8	44.3	17.3	13.0	9.6	－	60.1	22.6

（９）外国人増加に対する感想

◇『よいことだと思う（計）』35.2%、『よいことだとは思わない（計）』34.1%

問10 県内の外国人住民についておたずねいたします。

県内には、約12万人の外国人が住んでおり、今後も増えていくことが予想されています。
あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。



地域に外国人が増えていくことに関して、「どちらかといえばよいことだと思う」(29.3%)、「あまり、よいことだとは思わない」(29.3%) がそれぞれ3割弱と高くなっている。「どちらかといえばよいことだと思う」(29.3%) と「よいことだと思う」(5.9%) を合わせた『よいことだと思う(計)』は35.2%となっている。一方、「よいことだとは思わない」(4.8%) と「あまり、よいことだとは思わない」(29.3%) を合わせた『よいことだとは思わない(計)』は34.1%となっている。

【過去調査との比較】

平成25年調査よりも『よいことだとは思わない(計)』(34.1%) が1.5ポイント増加したが、『よいことだと思う(計)』(35.2%) の回答割合のほうが若干上回った。

【属性別比較】

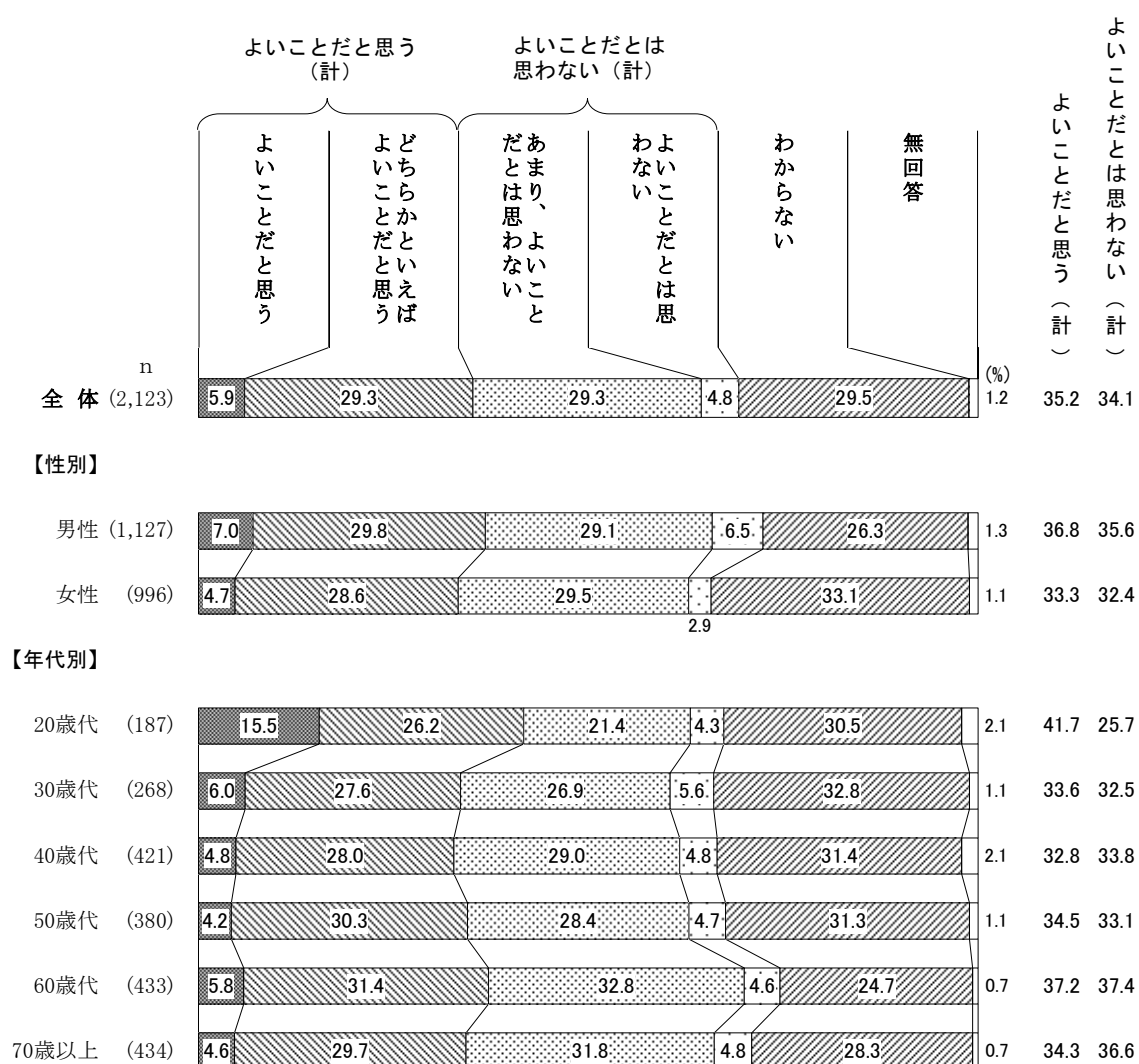
①性別

『よいことだと思う（計）』は男性（36.8%）のほうが女性（33.3%）よりも3.5ポイント高くなっている。

②年代別

『よいことだと思う（計）』は20歳代（41.7%）で最も高くなっている。

○外国人増加に対する感想・性別／年代別



③地域別

『よいことだと思う（計）』は秩父地域（55.5%）で5割を超えて最も高くなっている。

④性・年代別

『よいことだと思う（計）』は女性20歳代（49.4%）で約5割と最も高くなっている。

⑤職業別

無職（計）では、『よいことだとは思わない（計）』（36.1%）が『よいことだと思う（計）』（33.6%）を上回っている。

⑥ライフステージ別

『よいことだと思う（計）』は家族形成期（39.6%）で約4割と最も高くなっている。

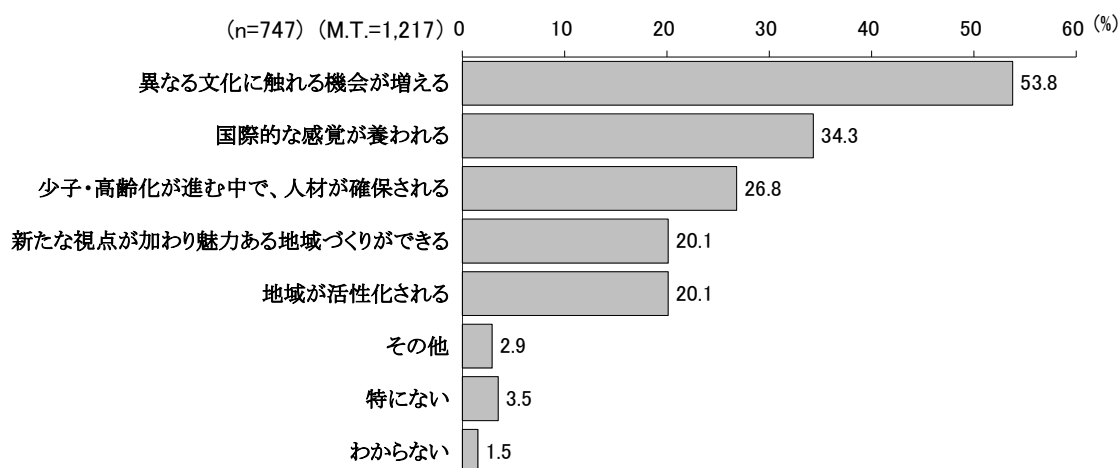
○外国人増加に対する感想・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	よいことだと思う	どちらかといえばよいことだと思う	あまり、よいことだとは思わない	よいことだとは思わない	わからない	無回答	（％）	
	n							よいことだと思う（計）	よいことだとは思わない（計）
全 体	2,123	5.9	29.3	29.3	4.8	29.5	1.2	35.2	34.1
地域別									
南部地域	224	4.0	29.9	38.8	7.6	19.6	—	33.9	46.4
南西部地域	187	5.9	27.3	27.3	5.3	32.6	1.6	33.2	32.6
東部地域	321	7.2	29.0	25.2	4.4	33.0	1.2	36.2	29.6
さいたま地域	378	5.0	29.6	26.7	4.8	32.5	1.3	34.6	31.5
県央地域	142	10.6	31.7	30.3	2.1	22.5	2.8	42.3	32.4
川越比企地域	243	4.5	26.7	26.3	5.8	36.2	0.4	31.2	32.1
西部地域	224	6.3	36.6	24.1	3.6	28.6	0.9	42.9	27.7
利根地域	223	4.0	26.5	33.2	4.9	29.1	2.2	30.5	38.1
北部地域	154	7.8	22.7	38.3	4.5	25.3	1.3	30.5	42.8
秩父地域	27	11.1	44.4	29.6	—	14.8	—	55.5	29.6
性・年代別									
男性・20歳代	102	13.7	21.6	18.6	4.9	38.2	2.9	35.3	23.5
30歳代	144	7.6	30.6	25.7	6.9	27.8	1.4	38.2	32.6
40歳代	214	5.1	28.0	30.8	7.0	26.6	2.3	33.1	37.8
50歳代	216	4.6	28.7	28.7	7.4	29.6	0.9	33.3	36.1
60歳代	220	7.7	31.8	33.6	5.0	21.4	0.5	39.5	38.6
70歳以上	231	6.9	33.8	30.3	6.9	21.2	0.9	40.7	37.2
女性・20歳代	85	17.6	31.8	24.7	3.5	21.2	1.2	49.4	28.2
30歳代	124	4.0	24.2	28.2	4.0	38.7	0.8	28.2	32.2
40歳代	207	4.3	28.0	27.1	2.4	36.2	1.9	32.3	29.5
50歳代	164	3.7	32.3	28.0	1.2	33.5	1.2	36.0	29.2
60歳代	213	3.8	31.0	31.9	4.2	28.2	0.9	34.8	36.1
70歳以上	203	2.0	25.1	33.5	2.5	36.5	0.5	27.1	36.0
職業別									
自営業・家族従業（計）	223	4.9	31.4	28.7	4.5	30.5	—	36.3	33.2
雇用者（計）	1,106	6.0	30.1	27.9	5.1	29.5	1.4	36.1	33.0
無職（計）	790	6.1	27.5	31.5	4.6	29.2	1.1	33.6	36.1
ライフステージ別									
独身期	236	13.6	23.3	22.9	4.2	34.7	1.3	36.9	27.1
家族形成期	154	7.8	31.8	27.9	5.8	24.0	2.6	39.6	33.7
家族成長前期	216	4.2	30.1	28.2	5.1	31.5	0.9	34.3	33.3
家族成長後期	196	5.6	30.6	24.0	4.1	33.7	2.0	36.2	28.1
家族成熟期	470	4.5	31.1	31.7	4.5	27.9	0.4	35.6	36.2
高齢期	528	4.7	29.2	33.0	4.4	28.0	0.8	33.9	37.4
その他	323	5.0	28.5	29.1	6.2	29.1	2.2	33.5	35.3

（９－１）外国人増加をよいことだと思う理由

◇「異なる文化に触れる機会が増える」が53.8%

（問10で「よいことだと思う」「どちらかといえばよいことだと思う」のいずれかを答えた方に）
問10－１ その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



外国人増加をよいことだと思う理由は、「異なる文化に触れる機会が増える」（53.8％）が最も高く、次いで、「国際的な感覚が養われる」（34.3％）、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」（26.8％）、「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」（20.1％）、「地域が活性化される」（20.1％）などとなっている。

【属性別比較】

①地域別

「異なる文化に触れる機会が増える」は西部地域（62.5％）で最も高くなっている。

②性別

「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」は男性（30.6％）が女性（22.0％）を大きく（8.6ポイント）上回っている。

③年代別

「異なる文化に触れる機会が増える」は30歳代（72.2％）で7割強と最も高くなっている。

④性・年代別

「異なる文化に触れる機会が増える」は男女とも30歳代（男性74.5％、女性68.6％）の割合が高く、特に男性30歳代で7割台半ばと最も高くなっている。また、「地域が活性化される」は男性では60歳代（27.6％）、女性では70歳以上（27.3％）でそれぞれ最も高くなっているが、一方で女性30歳代（8.6％）では最も低くなっている。

⑤職業別

「地域が活性化される」は無職（計）（23.8%）で2割強と最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「国際的な感覚が養われる」は、独身期から家族成長後期で3割台後半から4割台後半と、「異なる文化に触れる機会が増える」に次いで高いが、家族成熟期（30.5%）と高齢期（26.8%）においては、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」のほうが高くなっている。

○外国人増加をよいことだと思う理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

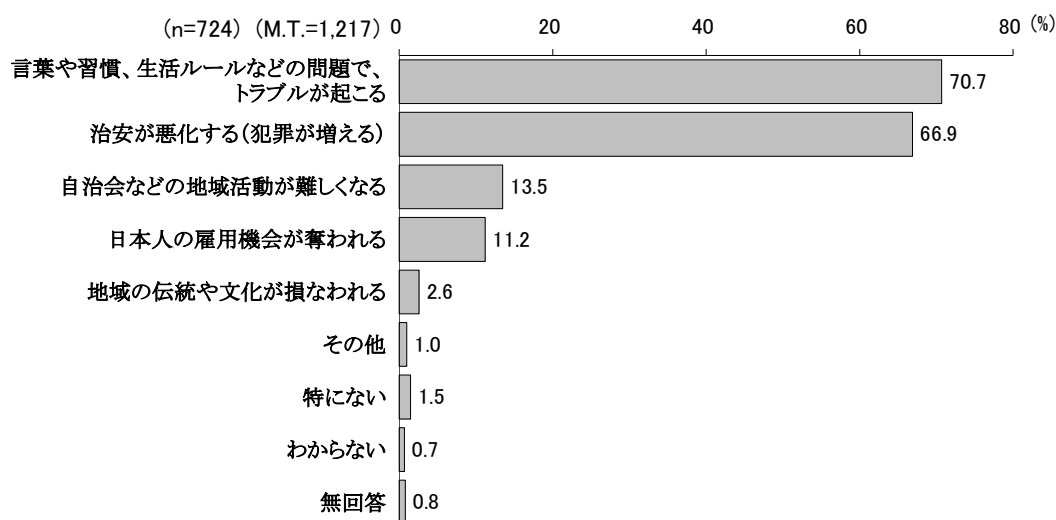
	調査数 n	異なる文化に触れる機会が増える	国際的な感覚が養われる	少子・高齢化が進む中で、人材が確保される	新たな視点があり、地域が活かされる	地域が活性化される	その他	特になし	わからない
全 体	747	53.8	34.3	26.8	20.1	20.1	2.9	3.5	1.5
地域別									
南部地域	76	47.4	36.8	32.9	19.7	27.6	2.6	2.6	2.6
南西部地域	62	51.6	29.0	30.6	25.8	22.6	1.6	4.8	-
東部地域	116	44.0	34.5	26.7	11.2	21.6	4.3	5.2	2.6
さいたま地域	131	54.2	30.5	30.5	19.8	16.8	3.8	3.8	-
県央地域	60	60.0	40.0	21.7	13.3	20.0	3.3	1.7	3.3
川越比企地域	76	51.3	27.6	25.0	25.0	23.7	1.3	3.9	2.6
西部地域	96	62.5	35.4	15.6	24.0	19.8	3.1	1.0	2.1
利根地域	68	58.8	51.5	27.9	20.6	13.2	-	1.5	-
北部地域	47	61.7	27.7	29.8	27.7	14.9	4.3	6.4	-
秩父地域	15	53.3	20.0	33.3	20.0	20.0	6.7	6.7	-
性別									
男性	415	52.0	34.5	30.6	19.3	20.0	2.4	2.7	1.7
女性	332	56.0	34.0	22.0	21.1	20.2	3.6	4.5	1.2
年代別									
20歳代	78	60.3	38.5	10.3	23.1	19.2	7.7	7.7	1.3
30歳代	90	72.2	42.2	17.8	16.7	14.4	-	5.6	-
40歳代	138	58.0	46.4	19.6	21.7	14.5	2.2	2.9	2.2
50歳代	131	58.8	35.9	26.7	23.7	21.4	3.8	1.5	-
60歳代	161	42.2	23.6	35.4	23.6	25.5	3.1	2.5	1.2
70歳以上	149	43.6	26.2	38.3	12.1	22.1	2.0	3.4	3.4
性・年代別									
男性・20歳代	36	63.9	30.6	8.3	27.8	13.9	11.1	2.8	2.8
30歳代	55	74.5	45.5	12.7	14.5	18.2	-	3.6	-
40歳代	71	57.7	50.7	19.7	25.4	14.1	1.4	1.4	1.4
50歳代	72	59.7	34.7	31.9	23.6	22.2	2.8	1.4	-
60歳代	87	37.9	23.0	40.2	19.5	27.6	2.3	2.3	1.1
70歳以上	94	37.2	27.7	47.9	10.6	19.1	1.1	4.3	4.3
女性・20歳代	42	57.1	45.2	11.9	19.0	23.8	4.8	11.9	-
30歳代	35	68.6	37.1	25.7	20.0	8.6	-	8.6	-
40歳代	67	58.2	41.8	19.4	17.9	14.9	3.0	4.5	3.0
50歳代	59	57.6	37.3	20.3	23.7	20.3	5.1	1.7	-
60歳代	74	47.3	24.3	29.7	28.4	23.0	4.1	2.7	1.4
70歳以上	55	54.5	23.6	21.8	14.5	27.3	3.6	1.8	1.8
職業別									
自営業・家族従業（計）	81	48.1	29.6	35.8	18.5	18.5	1.2	3.7	2.5
雇用者（計）	399	59.1	37.6	20.1	22.6	18.0	2.8	3.8	1.0
無職（計）	265	47.2	30.9	34.3	17.0	23.8	3.8	3.0	1.9
ライフステージ別									
独身期	87	63.2	37.9	12.6	24.1	14.9	5.7	9.2	1.1
家族形成期	61	63.9	44.3	19.7	24.6	18.0	1.6	3.3	-
家族成長前期	74	70.3	48.6	9.5	12.2	14.9	4.1	2.7	1.4
家族成長後期	71	66.2	39.4	23.9	18.3	11.3	2.8	1.4	2.8
家族成熟期	167	52.1	30.5	32.9	22.2	23.4	3.0	1.8	0.6
高齢期	179	43.6	26.8	34.1	16.2	22.9	3.4	2.8	3.4
その他	108	40.7	30.6	34.3	24.1	25.0	-	4.6	-

（９－２）外国人増加をよいことだと思わない理由

◇「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」70.7%と「治安が悪化する（犯罪が増える）」66.9%が突出

（問10で「あまり、よいことだとは思わない」「よいことだとは思わない」のいずれかを答えた方に）

問10－２ その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



外国人増加をよいことだと思わない理由は、「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」（70.7%）と「治安が悪化する（犯罪が増える）」（66.9%）が突出して高くなっている。次いで、「自治会などの地域活動が難しくなる」（13.5%）、「日本人の雇用機会が奪われる」（11.2%）、「地域の伝統や文化が損なわれる」（2.6%）などとなっている。

【属性別比較】

①地域別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は南西部地域（82.0%）で8割を超えて最も高くなっている。また、「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は南部地域（75.0%）、秩父地域（75.0%）、川越比企地域（74.4%）、さいたま地域（72.3%）、南西部地域（72.1%）、東部地域（71.6%）、北部地域（71.2%）で7割を超えて高くなっているが、西部地域（58.1%）では6割弱と最も低くなっている。

②性別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は男性（69.3%）のほうが女性（63.8%）より5.5ポイント高くなっている。

③年代別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は30歳代から50歳代で7割を超えて高くなっている。また、「地域の伝統や文化が損なわれる」は20歳代（6.3%）で最も高くなっている。

④性・年代別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は男女とも30歳代（男性78.7%、女性77.5%）で7割台後半とそれぞれ最も高い割合となっている。また、「日本人の雇用機会が奪われる」は男性20歳代（25.0%）で最も高くなっている。

⑤職業別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は自営業・家族従業（計）（73.0%）で最も高く、「治安が悪化する（犯罪が増える）」は雇用者（計）（71.0%）で7割を超えて最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は独身期から家族成長前期で7割を超えて高くなっている。「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は、家族成長後期から高齢期では「治安が悪化する（犯罪が増える）」より高くなっている。

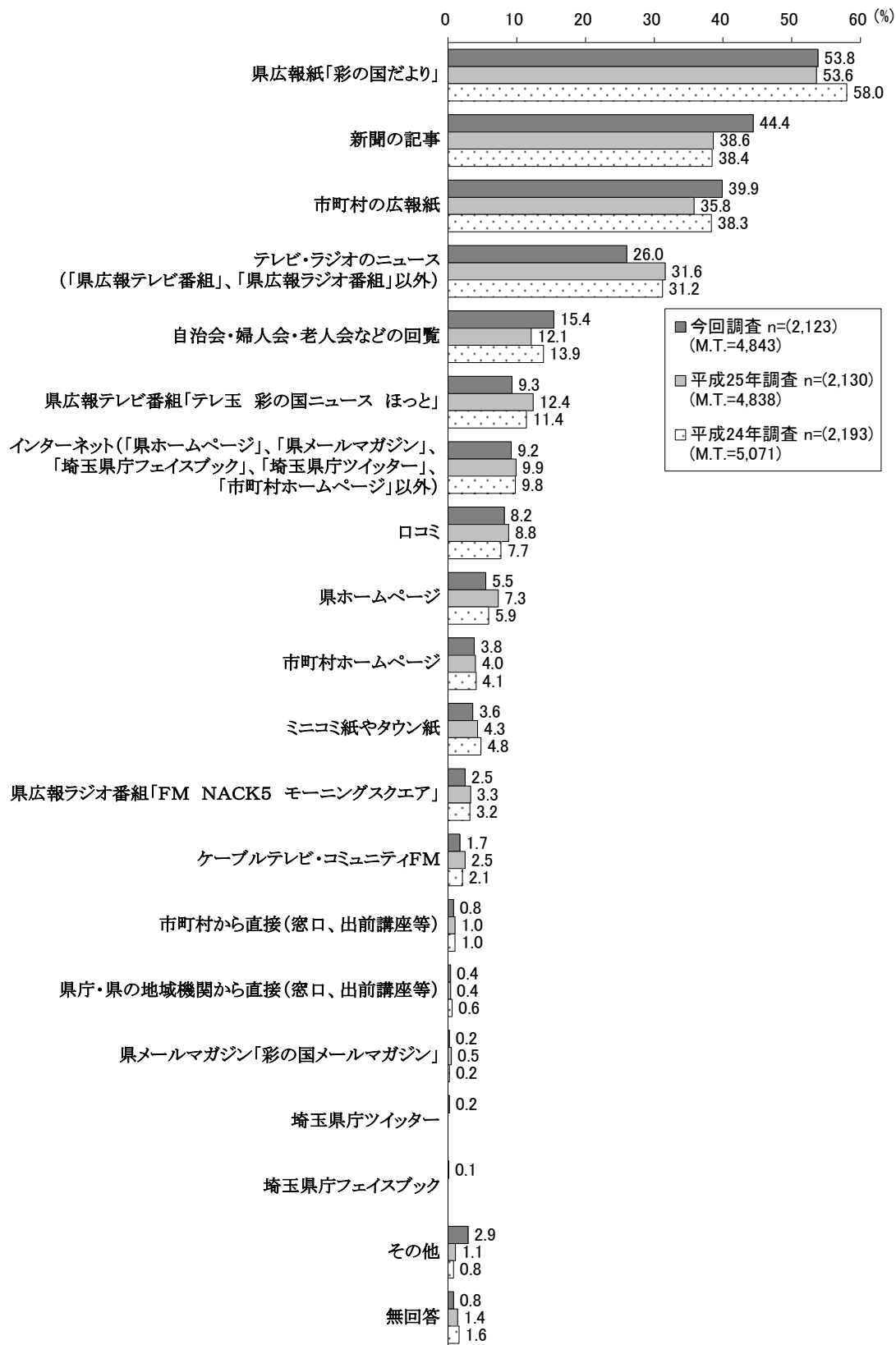
○外国人増加をよいことだと思わない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる	治安が悪化する（犯罪が増える）	自治会などの地域活動が難しくなる	日本人の雇用機会が奪われる	地域の伝統や文化が損なわれる	その他	特にな	わからない	(%) 無回答
全 体	724	70.7	66.9	13.5	11.2	2.6	1.0	1.5	0.7	0.8
地域別										
南部地域	104	75.0	71.2	12.5	5.8	1.9	-	3.8	1.9	1.0
南西部地域	61	72.1	82.0	9.8	8.2	3.3	-	-	-	-
東部地域	95	71.6	63.2	6.3	7.4	1.1	1.1	-	1.1	2.1
さいたま地域	119	72.3	61.3	12.6	10.1	3.4	-	2.5	-	-
県央地域	46	69.6	63.0	8.7	17.4	4.3	-	-	2.2	-
川越比企地域	78	74.4	65.4	16.7	19.2	2.6	1.3	-	-	1.3
西部地域	62	58.1	72.6	6.5	14.5	1.6	3.2	1.6	-	3.2
利根地域	85	67.1	67.1	22.4	14.1	3.5	2.4	2.4	1.2	-
北部地域	66	71.2	59.1	25.8	9.1	3.0	1.5	1.5	-	-
秩父地域	8	75.0	75.0	12.5	12.5	-	-	-	-	-
性別										
男性	401	71.8	69.3	13.2	9.2	3.5	0.2	1.2	0.7	1.2
女性	323	69.3	63.8	13.9	13.6	1.5	1.9	1.9	0.6	0.3
年代別										
20歳代	48	68.8	64.6	6.3	16.7	6.3	2.1	-	-	2.1
30歳代	87	74.7	78.2	11.5	14.9	2.3	-	-	-	-
40歳代	142	73.9	72.5	10.6	12.0	2.1	0.7	1.4	-	-
50歳代	126	73.8	65.9	15.9	8.7	3.2	1.6	0.8	-	0.8
60歳代	162	68.5	61.7	15.4	10.5	2.5	1.9	4.3	-	1.2
70歳以上	159	66.0	62.3	15.7	9.4	1.9	-	0.6	3.1	1.3
性・年代別										
男性・20歳代	24	62.5	58.3	12.5	25.0	4.2	-	-	-	4.2
30歳代	47	74.5	78.7	12.8	14.9	4.3	-	-	-	-
40歳代	81	74.1	74.1	7.4	6.2	2.5	-	1.2	-	-
50歳代	78	79.5	73.1	12.8	6.4	5.1	1.3	-	-	1.3
60歳代	85	72.9	65.9	16.5	10.6	3.5	-	3.5	-	1.2
70歳以上	86	62.8	62.8	16.3	5.8	2.3	-	1.2	3.5	2.3
女性・20歳代	24	75.0	70.8	-	8.3	8.3	4.2	-	-	-
30歳代	40	75.0	77.5	10.0	15.0	-	-	-	-	-
40歳代	61	73.8	70.5	14.8	19.7	1.6	1.6	1.6	-	-
50歳代	48	64.6	54.2	20.8	12.5	-	2.1	2.1	-	-
60歳代	77	63.6	57.1	14.3	10.4	1.3	3.9	5.2	-	1.3
70歳以上	73	69.9	61.6	15.1	13.7	1.4	-	-	2.7	-
職業別										
自営業・家族従業（計）	74	73.0	64.9	16.2	9.5	6.8	-	1.4	-	-
雇用者（計）	365	71.0	71.0	12.3	12.3	2.2	0.5	1.1	-	0.8
無職（計）	285	69.8	62.1	14.4	10.2	2.1	1.8	2.1	1.8	1.1
ライフステージ別										
独身期	64	70.3	73.4	7.8	17.2	3.1	1.6	-	-	1.6
家族形成期	52	73.1	75.0	7.7	11.5	3.8	-	-	-	-
家族成長前期	72	69.4	77.8	16.7	13.9	4.2	1.4	-	-	-
家族成長後期	55	76.4	63.6	7.3	9.1	3.6	-	3.6	-	-
家族成熟期	170	73.5	68.8	17.1	9.4	2.9	1.2	1.2	-	0.6
高齢期	197	62.4	56.9	18.8	11.7	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5
その他	114	78.1	68.4	6.1	8.8	1.8	-	1.8	1.8	0.9

(10) 埼玉県に関する情報の入手先

◇「県広報紙「彩の国だより」」が53.6%

問11 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。



※ 今回調査から「埼玉県庁ツイッター」「埼玉県庁フェイスブック」を追加した。

埼玉県に関する情報の入手先は、「県広報紙「彩の国だより」」（53.8%）が5割を超えて最も高く、次いで、「新聞の記事」（44.4%）が4割台半ば、「市町村の広報紙」（39.9%）が約4割である。以下、「テレビ・ラジオのニュース」（26.0%）、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」（15.4%）、「県広報テレビ番組「テレ玉 彩の国ニュース ほっと」」（9.3%）、「インターネット」（9.2%）と続いている。

【過去調査との比較】

平成25年調査と比較してみると、上位の「新聞の記事」と「市町村の広報紙」は、順位に変わりはないものの回答割合が増加しており、「新聞の記事」は5.8ポイント、「市町村の広報紙」は4.1ポイント増加している。

【属性別比較】

①地域別

「県広報紙「彩の国だより」」はさいたま地域（65.6%）で6割台半ばと、最も高い割合となっている。「新聞の記事」は利根地域（53.8%）、北部地域（52.6%）、川越比企地域（51.0%）が5割を超えて高くなっている。「市町村の広報紙」は秩父地域（55.6%）、北部地域（54.5%）が5割台半ばと高くなっている。

②性別

「県広報紙「彩の国だより」」は女性（59.0%）が男性（49.2%）よりも9.8ポイント高くなっている。一方、「新聞の記事」では男性（49.0%）が女性（39.3%）よりも9.7ポイント高くなっている。

③年代別

「県広報紙「彩の国だより」」、「新聞の記事」は50歳代以上の割合が高くなっている。「インターネット」、「ロコミ」、「県ホームページ」は年齢が低いほど割合が高い傾向になっている。

④性・年代別

「県広報紙「彩の国だより」」は男性20歳代（19.6%）で約2割と最も低く、女性60歳代（71.4%）で最も高くなっている。男性20歳代では「新聞の記事」（41.2%）、「テレビ・ラジオのニュース」（34.3%）の割合が高く、女性20歳代でも「テレビ・ラジオのニュース」（36.5%）が高い。「インターネット」は男性の20歳代（29.4%）と30歳代（23.6%）で2割を超えて高くなっている。

⑤職業別

「県広報紙「彩の国だより」」は無職（計）（62.7%）が6割強で最も高くなっている。また、「市町村の広報紙」は無職（計）（43.3%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「県広報紙「彩の国だより」」は家族成熟期（62.6%）から高齢期（68.0%）で6割を超えて高くなっており、「新聞の記事」は家族成長後期から高齢期で高くなっている。「テレビ・ラジオのニュース」は独身期（33.5%）で最も高く、「ロコミ」は独身期から家族成長後期で高くなっている。

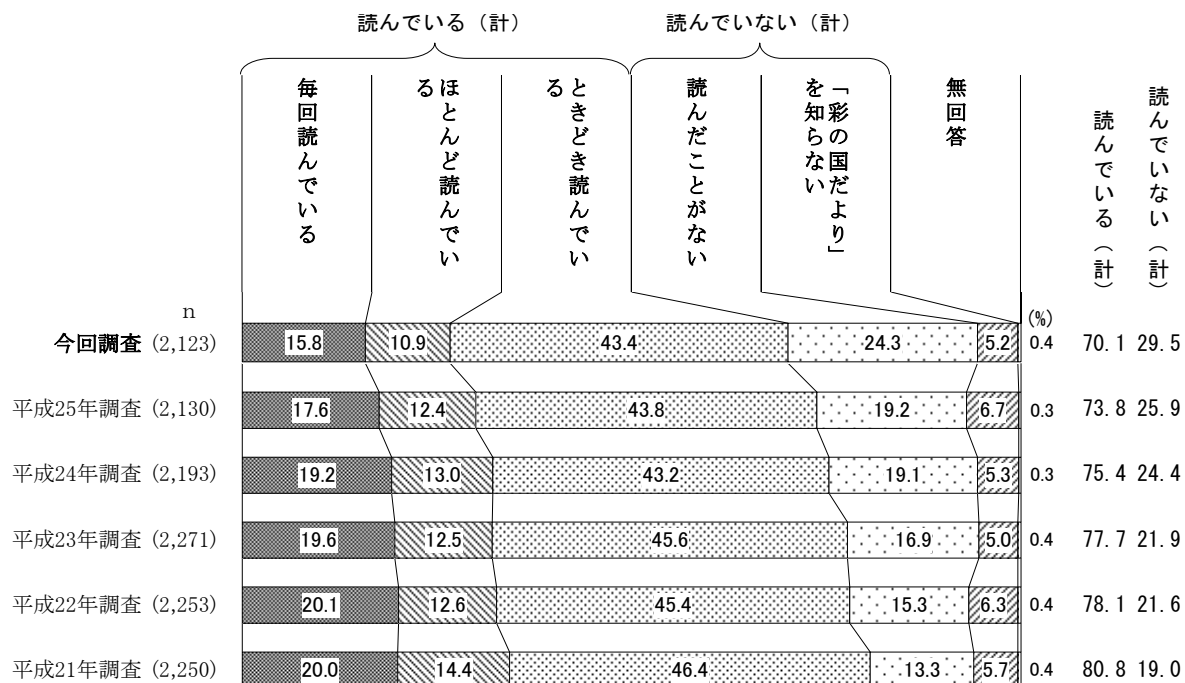
○埼玉県に関する情報の入手先・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

																						(%)
	調査数	県広報紙「彩の国だより」	新聞の記事	市町村の広報紙	テレビ・ラジオのニュース（「県広報テレビ番組」、「県広報ラジオ番組」以外）	自治会・婦人会・老人会などの回覧	県広報テレビ番組「テレ玉 彩の国ニュース ぽつと」	インターネット（「県ホームページ」、「県メールマガジン」、「埼玉県庁フェイスブック」、「県庁ツイッター」、「市町村ホームページ」以外）	口コミ	県ホームページ	市町村ホームページ	ミニコミ紙やタウン紙	県広報ラジオ番組「FM NACK5 モーニングスクエア」	ケーブルテレビ・コミュニティFM	市町村から直接（窓口、出前講座等）	県庁・県の地域機関から直接（窓口、出前講座等）	県メールマガジン「彩の国メールマガジン」	埼玉県庁ツイッター	埼玉県庁フェイスブック	その他	無回答	
全体	2,123	53.8	44.4	39.9	26.0	15.4	9.3	9.2	8.2	5.5	3.8	3.6	2.5	1.7	0.8	0.4	0.2	0.2	0.1	2.9	0.8	
地域別																						
南部地域	224	50.0	41.1	43.3	17.9	14.3	16.5	13.8	9.8	6.7	4.5	4.5	2.2	1.8	2.2	0.9	-	0.4	-	5.4	0.9	
南西部地域	187	46.5	40.6	38.5	30.5	10.7	3.7	12.3	10.7	7.0	7.0	3.2	2.1	3.2	1.1	-	-	-	-	1.6	1.1	
東部地域	321	54.5	34.9	34.3	25.9	15.6	9.7	9.7	9.3	3.4	2.5	4.7	1.2	1.2	0.3	-	-	0.3	-	4.0	-	
さいたま地域	378	65.6	43.7	33.3	24.6	21.4	8.2	6.1	7.9	6.1	2.9	7.4	1.3	1.9	0.3	0.3	0.3	0.3	-	1.9	0.5	
県央地域	142	54.2	48.6	35.9	28.2	12.0	8.5	9.9	10.6	2.8	4.9	4.2	5.6	2.8	-	1.4	0.7	0.7	0.7	1.4	3.5	
川越比企地域	243	50.2	51.0	44.9	27.6	15.2	9.5	6.6	8.2	7.0	2.9	0.4	3.3	0.8	0.4	-	-	-	-	1.6	-	
西部地域	224	47.8	41.5	35.3	26.8	12.9	7.1	12.1	7.6	6.7	2.2	2.2	4.0	3.1	1.8	1.3	0.9	-	0.4	3.6	0.4	
利根地域	223	49.3	53.8	46.6	27.8	11.7	11.7	10.3	6.7	3.1	4.9	1.3	2.2	-	0.4	-	0.4	-	0.4	4.5	1.8	
北部地域	154	57.8	52.6	54.5	27.9	20.8	7.8	4.5	3.9	5.2	4.5	1.9	3.2	1.9	0.6	0.6	-	0.6	-	1.3	1.3	
秩父地域	27	55.6	40.7	55.6	22.2	14.8	11.1	-	-	11.1	7.4	-	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-	
性別																						
男性	1,127	49.2	49.0	37.0	28.0	12.8	10.1	11.7	7.7	6.1	4.1	3.7	4.1	1.7	0.6	0.5	0.3	0.2	0.2	2.5	1.2	
女性	996	59.0	39.3	43.2	23.6	18.5	8.4	6.3	8.8	4.7	3.5	3.5	0.8	1.8	0.9	0.3	0.2	0.3	0.1	3.3	0.4	
年代別																						
20歳代	187	26.2	33.2	18.2	35.3	9.1	6.4	24.6	16.6	10.2	4.3	3.2	4.8	2.7	0.5	0.5	-	2.7	0.5	6.4	1.1	
30歳代	268	35.4	28.7	31.3	23.5	13.8	6.0	19.4	12.7	10.4	6.7	7.8	5.2	1.9	1.1	0.4	-	-	0.4	1.5	1.5	
40歳代	421	48.5	36.1	36.8	25.7	14.0	5.9	13.1	11.2	8.1	6.9	6.2	4.0	1.7	0.7	-	-	-	-	3.6	1.4	
50歳代	380	60.8	54.5	41.8	25.3	15.8	7.4	6.3	5.3	5.5	3.7	3.7	2.9	2.1	0.3	0.8	0.3	-	0.3	2.6	0.8	
60歳代	433	64.7	52.4	49.4	24.2	16.6	11.5	3.5	4.4	3.0	1.8	1.8	0.5	2.1	0.7	0.2	0.2	-	-	1.8	0.5	
70歳以上	434	65.2	50.2	46.3	26.0	19.1	15.4	0.7	5.5	0.2	0.9	0.5	0.2	0.7	1.2	0.7	0.7	-	-	2.8	0.2	
性・年代別																						
男性・20歳代	102	19.6	41.2	15.7	34.3	5.9	8.8	29.4	18.6	11.8	4.9	2.0	7.8	1.0	-	1.0	-	2.0	-	4.9	1.0	
30歳代	144	32.6	31.9	26.4	23.6	11.8	6.3	23.6	10.4	10.4	7.6	5.6	8.3	1.4	1.4	-	-	-	0.7	0.7	2.8	
40歳代	214	40.2	40.7	27.6	30.4	11.2	6.1	16.4	9.3	8.9	5.1	7.9	5.6	2.8	0.5	-	-	-	-	4.2	1.9	
50歳代	216	53.2	59.3	38.0	29.2	11.6	8.8	9.7	6.0	6.5	4.6	5.1	5.1	2.3	-	0.9	0.5	-	0.5	1.9	1.4	
60歳代	220	58.2	56.4	50.5	26.8	17.7	13.2	4.5	3.6	3.6	3.2	1.4	0.9	0.9	0.5	-	-	-	-	1.8	0.9	
70歳以上	231	68.4	54.1	48.1	26.0	14.3	15.2	0.9	5.2	0.4	0.9	0.4	0.4	1.3	1.3	1.3	0.9	-	-	2.2	-	
女性・20歳代	85	34.1	23.5	21.2	36.5	12.9	3.5	18.8	14.1	8.2	3.5	4.7	1.2	4.7	1.2	-	-	3.5	1.2	8.2	1.2	
30歳代	124	38.7	25.0	37.1	23.4	16.1	5.6	14.5	15.3	10.5	5.6	10.5	1.6	2.4	0.8	0.8	-	-	-	2.4	-	
40歳代	207	57.0	31.4	46.4	20.8	16.9	5.8	9.7	13.0	7.2	8.7	4.3	2.4	0.5	1.0	-	-	-	-	2.9	1.0	
50歳代	164	70.7	48.2	47.0	20.1	21.3	5.5	1.8	4.3	4.3	2.4	1.8	-	1.8	0.6	0.6	-	-	-	3.7	-	
60歳代	213	71.4	48.4	48.4	21.6	15.5	9.9	2.3	5.2	2.3	0.5	2.3	-	3.3	0.9	0.5	0.5	-	-	1.9	-	
70歳以上	203	61.6	45.8	44.3	26.1	24.6	15.8	0.5	5.9	-	1.0	0.5	-	-	1.0	-	0.5	-	-	3.4	0.5	
職業別																						
自営業・家族従業員（計）	223	53.4	44.4	39.5	23.8	18.8	12.6	10.8	9.0	4.5	2.7	4.0	2.7	2.7	0.4	1.3	-	-	-	2.7	0.4	
雇用者（計）	1,106	47.5	44.3	37.7	26.1	14.7	7.2	12.7	9.0	7.6	4.3	4.2	4.0	1.9	0.9	0.3	0.1	0.1	0.3	2.9	1.1	
無職（計）	790	62.7	44.7	43.3	26.3	15.4	11.4	3.9	7.0	2.8	3.4	2.7	0.5	1.3	0.6	0.4	0.5	0.5	-	2.9	0.6	
ライフステージ別																						
独身期	236	29.7	38.6	19.5	33.5	6.4	7.6	23.7	14.4	11.9	3.4	3.8	2.5	3.4	0.4	0.4	-	1.7	0.4	4.7	1.7	
家族形成期	154	32.5	23.4	31.2	24.7	16.2	2.6	18.2	13.0	9.1	9.7	8.4	7.1	0.6	1.9	-	-	0.6	0.6	4.5	0.6	
家族成長前期	216	44.4	28.2	41.2	22.7	16.2	5.1	14.4	12.0	9.3	8.3	7.9	6.9	1.9	0.9	0.5	-	-	-	0.5	1.9	
家族成長後期	196	55.1	50.0	39.8	24.0	17.9	8.2	11.7	12.8	10.2	3.6	4.6	1.5	1.5	-	-	0.5	-	0.5	2.0	-	
家族成熟期	470	62.6	52.6	47.4	23.2	16.0	9.6	4.9	5.1	3.2	3.0	2.1	1.5	1.5	0.9	0.2	-	-	-	2.3	0.9	
高齢期	528	68.0	48.9	46.6	26.9	17.2	13.4	1.3	4.9	0.9	0.8	0.6	0.4	1.3	1.1	0.8	0.6	-	-	2.5	0.2	
その他	323	51.1	47.1	36.2	26.9	16.1	10.2	8.4	6.2	4.3	4.6	5.0	3.1	2.2	-	0.6	0.3	-	-	4.3	1.1	

(11) 県広報紙「彩の国だより」の閲読状況

◇『読んでいる（計）』が70.1%

問12 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。



県広報紙「彩の国だより」の閲読状況は、「ときどき読んでいる」が43.4%で最も高く、これに「毎回読んでいる」(15.8%)と「ほとんど読んでいる」(10.9%)を合わせた『読んでいる(計)』は70.1%となっている。一方、「読んだことがない」(24.3%)と「「彩の国だより」を知らない」(5.2%)を合わせた『読んでいない(計)』は29.5%となっている。

【過去調査との比較】

『読んでいる(計)』は、平成21年調査と比較すると10.7ポイント減少している。

【属性別比較】

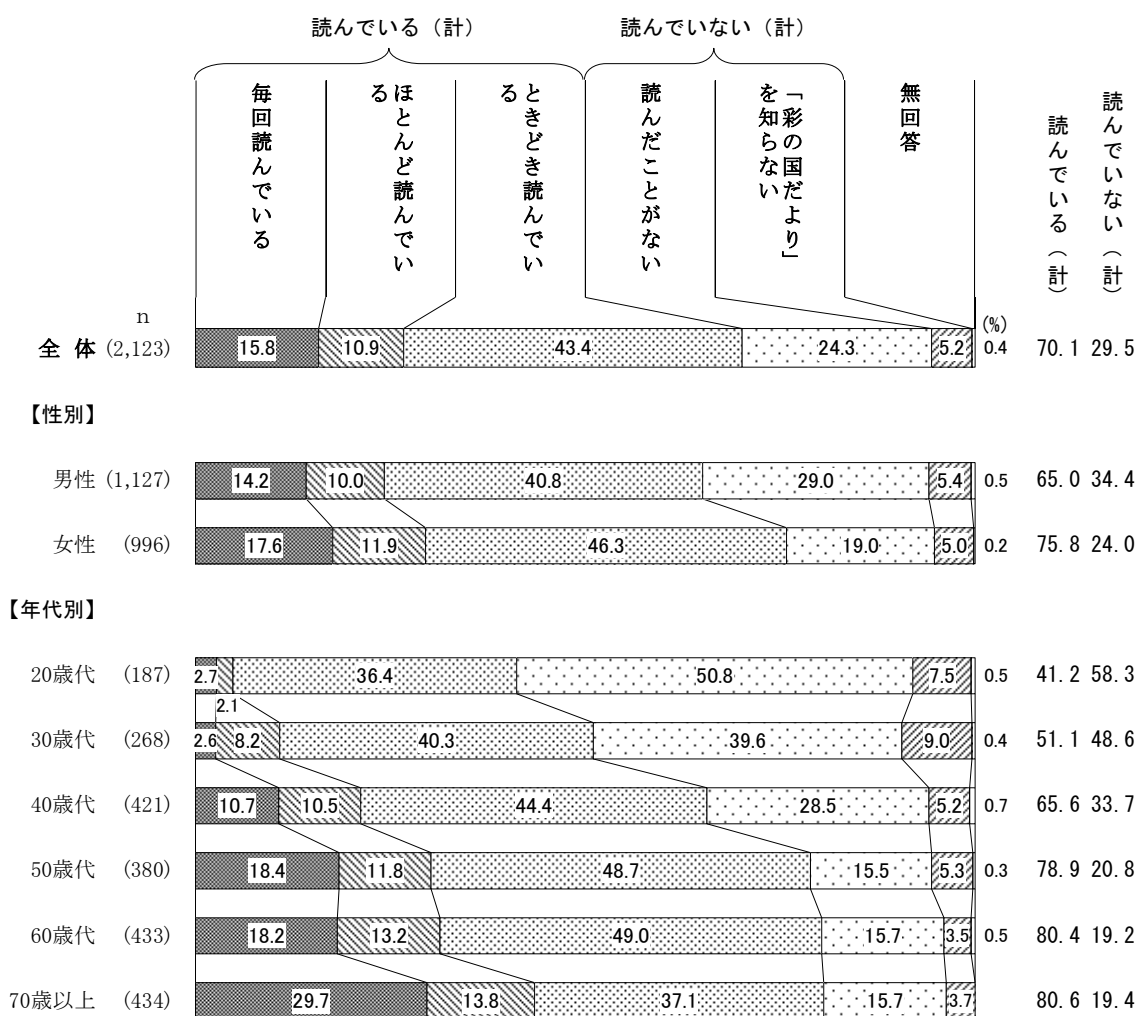
①性別

『読んでいる（計）』は女性（75.8%）が男性（65.0%）よりも10.8ポイント高くなっている。

②年代別

『読んでいる（計）』は年代が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、60歳代（80.4%）と70歳以上（80.6%）でそれぞれ8割を超えて高くなっている。

○県広報紙「彩の国だより」の閲読状況・性別／年代別



③地域別

さいたま地域では『読んでいる（計）』（80.1%）が8割と最も高くなっている。一方、『読んでいない（計）』の回答割合が最も高かったのは秩父地域（37.0%）で3割台後半となっている。

④性・年代別

『読んでいる（計）』は男性70歳以上（83.5%）、女性の50歳代（89.7%）と60歳代（85.0%）では8割を超えて高く、男性20歳代（33.4%）では3割強と最も低くなっている。

⑤職業別

『読んでいる（計）』は無職（計）（77.4%）が最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『読んでいる（計）』は、家族成長後期から高齢期で8割前後と高くなっている。

○県広報紙「彩の国だより」の閲読状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

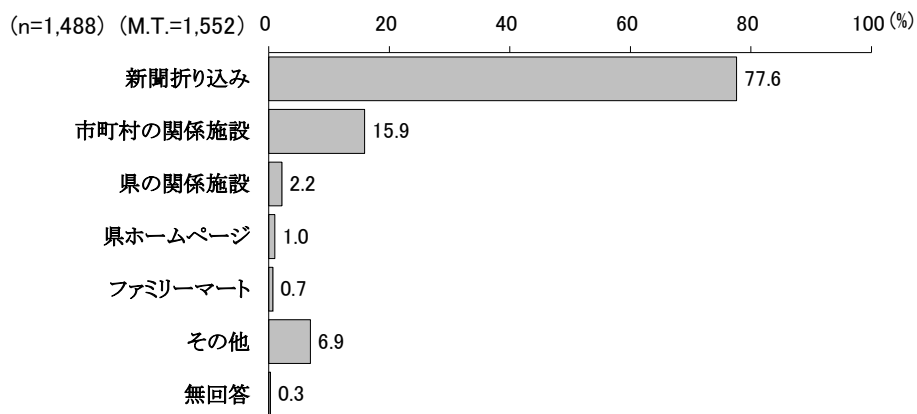
	調査数 n	毎回読んでいる	ほとんど読んでいる	ときどき読んでいる	読んだことがない	「彩の国だより」を知らない	無回答	(%)	
								読んでいる（計）	読んでいない（計）
全 体	2,123	15.8	10.9	43.4	24.3	5.2	0.4	70.1	29.5
地域別									
南部地域	224	17.4	6.7	41.5	25.0	8.9	0.4	65.6	33.9
南西部地域	187	6.4	13.4	45.5	25.1	9.6	-	65.3	34.7
東部地域	321	15.9	10.9	40.5	27.7	5.0	-	67.3	32.7
さいたま地域	378	19.0	13.0	48.1	16.9	2.6	0.3	80.1	19.5
県央地域	142	21.1	11.3	41.5	21.8	2.8	1.4	73.9	24.6
川越比企地域	243	15.6	12.8	41.6	23.9	5.8	0.4	70.0	29.7
西部地域	224	11.6	11.2	42.4	28.1	6.3	0.4	65.2	34.4
利根地域	223	12.1	8.5	46.6	27.4	4.9	0.4	67.2	32.3
北部地域	154	20.8	10.4	41.6	24.7	1.9	0.6	72.8	26.6
秩父地域	27	29.6	3.7	29.6	33.3	3.7	-	62.9	37.0
性・年代別									
男性・20歳代	102	1.0	1.0	31.4	61.8	4.9	-	33.4	66.7
30歳代	144	0.7	6.9	40.3	43.1	8.3	0.7	47.9	51.4
40歳代	214	9.3	9.3	36.0	39.3	5.1	0.9	54.6	44.4
50歳代	216	18.5	7.9	44.4	21.8	6.9	0.5	70.8	28.7
60歳代	220	13.6	14.1	48.2	19.5	3.6	0.9	75.9	23.1
70歳以上	231	29.4	14.7	39.4	12.1	4.3	-	83.5	16.4
女性・20歳代	85	4.7	3.5	42.4	37.6	10.6	1.2	50.6	48.2
30歳代	124	4.8	9.7	40.3	35.5	9.7	-	54.8	45.2
40歳代	207	12.1	11.6	53.1	17.4	5.3	0.5	76.8	22.7
50歳代	164	18.3	17.1	54.3	7.3	3.0	-	89.7	10.3
60歳代	213	23.0	12.2	49.8	11.7	3.3	-	85.0	15.0
70歳以上	203	30.0	12.8	34.5	19.7	3.0	-	77.3	22.7
職業別									
自営業・家族従業（計）	223	14.3	14.3	43.0	25.1	2.2	0.9	71.6	27.3
雇用者（計）	1,106	9.9	8.9	45.8	29.4	5.7	0.5	64.6	35.1
無職（計）	790	24.6	12.7	40.1	17.1	5.4	0.1	77.4	22.5
ライフステージ別									
独身期	236	2.5	3.0	35.6	50.8	7.6	0.4	41.1	58.4
家族形成期	154	3.2	7.8	39.6	37.7	11.7	-	50.6	49.4
家族成長前期	216	9.3	9.7	44.0	29.6	6.9	0.5	63.0	36.5
家族成長後期	196	10.2	13.8	55.6	15.3	3.6	1.5	79.6	18.9
家族成熟期	470	20.6	13.8	45.3	16.6	3.4	0.2	79.7	20.0
高齢期	528	26.7	13.6	41.7	13.6	4.4	-	82.0	18.0
その他	323	14.2	8.7	43.0	29.1	4.3	0.6	65.9	33.4

(11－1)「彩の国だより」の入手先

◇「新聞折り込み」が77.6%

(問12で「毎回読んでいる」「ほとんど読んでいる」「ときどき読んでいる」のいずれかを答え
た方に)

問12-1 どこで入手していますか。あてはまるものをすべて選んでください。



「彩の国だより」の入手先は、「新聞折り込み」(77.6%)が最も高く、次いで、「市町村の関係施設」(15.9%)、「県の関係施設」(2.2%)、「県ホームページ」(1.0%)、「ファミリーマート」(0.7%)などとなっている。

【属性別比較】

①地域別

「新聞折り込み」は秩父地域（88.2％）で最も高い割合となっている。「市町村の関係施設」は南部地域（25.2％）が2割台半ばで最も高くなっている。

②性別

「新聞折り込み」は女性（79.5％）が男性（75.6％）よりも3.9ポイント高くなっている。一方、「市町村の関係施設」は男性（18.0％）が女性（13.9％）よりも4.1ポイント高くなっている。

③年代別

「新聞折り込み」は50歳代以上の割合が8割前後と高くなっている。「市町村の関係施設」は70歳以上（18.6％）で2割弱と最も高くなっている。

④性・年代別

「新聞折り込み」は男性30歳代（56.5％）で5割台と最も低く、女性50歳代（83.0％）で最も高くなっている。「市町村の関係施設」は男性の30歳代（21.7％）と70歳以上（20.7％）で2割を超えて高くなっている。

⑤職業別

「新聞折り込み」は無職（計）（79.1％）が8割弱で最も高くなっている。「市町村の関係施設」は自営業・家族従業（計）（23.1％）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「新聞折り込み」は家族形成期（62.8％）で6割台と最も低く、家族成長後期から高齢期で8割前後と高くなっている。一方、「市町村の関係施設」は家族形成期（19.2％）で約2割と最も高くなっている。

○「彩の国だより」の入手先

・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

	調査数 n	新聞折り込み	市町村の関係施設	県 の関係施設	県 ホームページ	ファミリー マート	その他	無 回答
全 体	1,488	77.6	15.9	2.2	1.0	0.7	6.9	0.3
地域別								
南部地域	147	69.4	25.2	3.4	0.7	0.7	7.5	1.4
南西部地域	122	78.7	15.6	1.6	3.3	0.8	4.1	1.6
東部地域	216	73.1	17.6	3.2	0.5	0.9	8.3	－
さいたま地域	303	70.6	16.5	1.7	0.7	1.0	13.2	－
県央地域	105	81.9	14.3	1.0	－	1.0	2.9	－
川越比企地域	170	86.5	11.8	1.8	1.8	－	2.9	－
西部地域	146	80.1	12.3	2.7	0.7	0.7	6.2	－
利根地域	150	84.7	12.7	1.3	2.0	－	4.7	－
北部地域	112	82.1	16.1	2.7	－	0.9	4.5	－
秩父地域	17	88.2	17.6	5.9	－	－	－	－
性別								
男性	733	75.6	18.0	2.3	1.1	1.0	7.0	0.3
女性	755	79.5	13.9	2.1	0.9	0.4	6.9	0.3
年代別								
20歳代	77	74.0	10.4	2.6	1.3	2.6	10.4	－
30歳代	137	67.2	16.1	3.6	3.6	0.7	12.4	0.7
40歳代	276	74.6	14.9	2.2	0.7	1.1	8.7	0.4
50歳代	300	81.7	13.3	1.7	0.3	0.3	6.7	0.3
60歳代	348	80.2	17.5	2.0	0.9	0.6	4.6	－
70歳以上	350	78.6	18.6	2.3	0.9	0.3	5.1	0.3
性・年代別								
男性・20歳代	34	70.6	11.8	2.9	2.9	5.9	5.9	－
30歳代	69	56.5	21.7	2.9	5.8	1.4	14.5	1.4
40歳代	117	69.2	17.1	4.3	1.7	1.7	9.4	－
50歳代	153	80.4	15.0	2.0	－	－	7.8	－
60歳代	167	82.0	18.0	1.8	－	0.6	3.6	－
70歳以上	193	77.7	20.7	1.6	0.5	0.5	5.2	0.5
女性・20歳代	43	76.7	9.3	2.3	－	－	14.0	－
30歳代	68	77.9	10.3	4.4	1.5	－	10.3	－
40歳代	159	78.6	13.2	0.6	－	0.6	8.2	0.6
50歳代	147	83.0	11.6	1.4	0.7	0.7	5.4	0.7
60歳代	181	78.5	17.1	2.2	1.7	0.6	5.5	－
70歳以上	157	79.6	15.9	3.2	1.3	－	5.1	－
職業別								
自営業・家族従業（計）	160	73.1	23.1	2.5	0.6	－	6.3	1.3
雇用者（計）	713	77.3	14.3	2.2	1.0	1.3	7.7	0.1
無職（計）	611	79.1	15.7	2.1	1.1	0.2	6.2	0.2
ライフステージ別								
独身期	97	77.3	8.2	1.0	3.1	1.0	10.3	－
家族形成期	78	62.8	19.2	6.4	1.3	1.3	11.5	1.3
家族成長前期	136	72.8	11.0	1.5	2.2	1.5	13.2	－
家族成長後期	156	82.1	11.5	1.9	－	1.3	5.8	－
家族成熟期	375	79.7	17.3	2.1	0.5	0.3	5.6	0.5
高齢期	433	78.3	18.9	1.4	0.9	0.2	5.8	－
その他	213	77.5	16.0	3.8	0.9	0.9	5.2	0.5

3 県政への要望 (問13)

- 「県政への要望」は、昭和43年度の第1回県政世論調査から、おおむね継続して実施してきています。

平成16年度において社会状況等の変化を踏まえ、平成7年度から平成15年度まで継続していた選択肢を一部見直しました。

分析において、平成15年度以前の調査結果と比較する場合は、見直し前の対応する選択肢についての結果を使用しています。

3 県政への要望

◇「高齢者の福祉を充実する」(28.5%)が1位

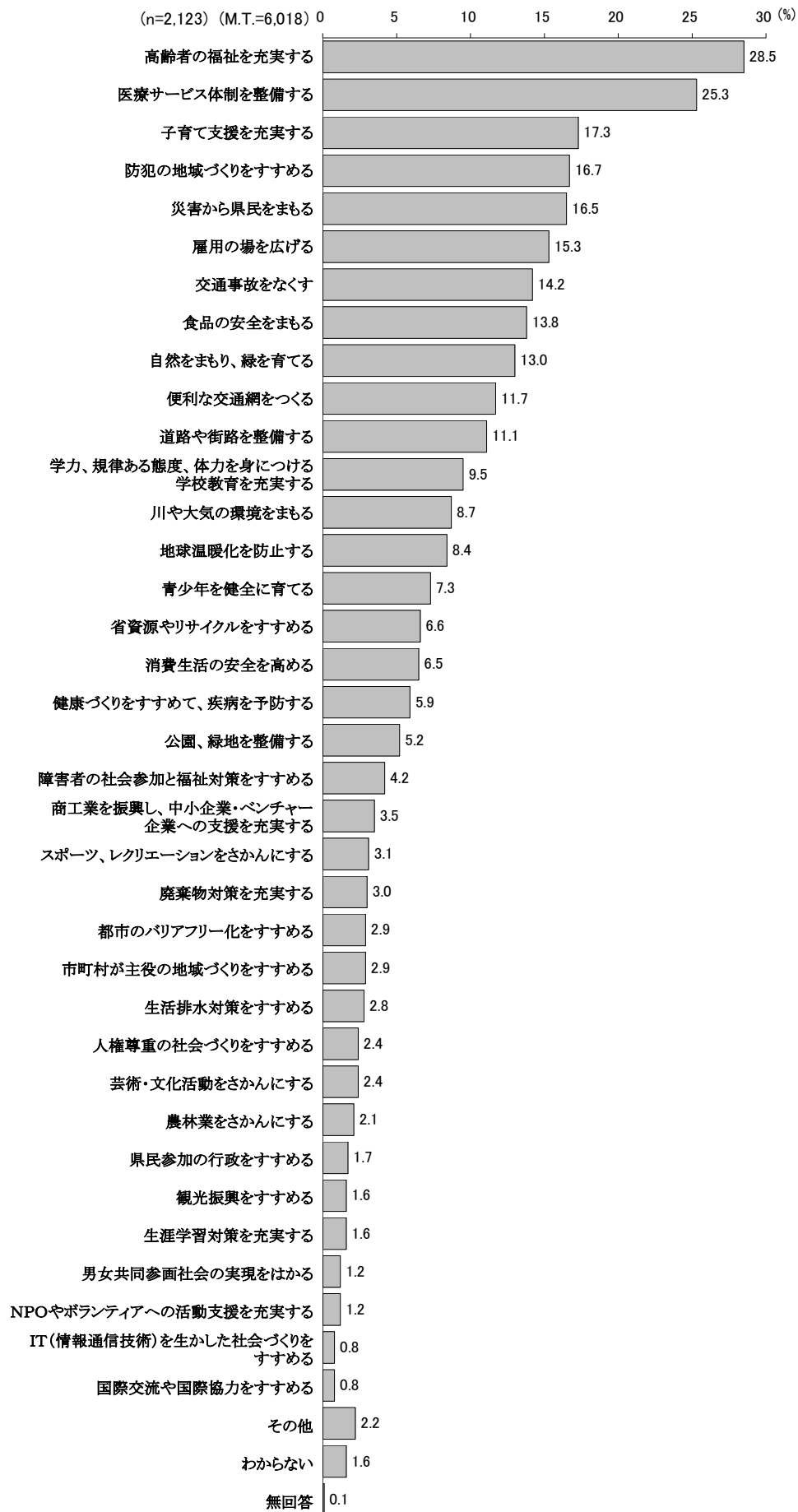
問13 埼玉県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

	今 回	平成25年調査		(増減差)
1位 高齢者の福祉を充実する	28.5%	26.2%	(1位)	2.3
2位 医療サービス体制を整備する	25.3	25.4	(2位)	△ 0.1
3位 子育て支援を充実する	17.3	20.0	(3位)	△ 2.7
4位 防犯の地域づくりをすすめる	16.7	16.9	(4位)	△ 0.2
5位 災害から県民をまもる	16.5	12.1	(8位)	4.4
6位 雇用の場を広げる	15.3	15.7	(5位)	△ 0.4
7位 交通事故をなくす	14.2	11.6	(9位)	2.6
8位 食品の安全をまもる	13.8	15.2	(6位)	△ 1.4
9位 自然をまもり、緑を育てる	13.0	15.0	(7位)	△ 2.0
10位 便利な交通網をつくる	11.7	9.2	(11位)	2.5

【過去調査との比較】

今回の上位10項目と前回の平成25年調査を比較すると、1位から4位の「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「子育て支援を充実する」、「防犯の地域づくりをすすめる」には順位の変化がない。前回8位の「災害から県民をまもる」は順位を上げて5位、前回9位の「交通事故をなくす」も順位を上げて7位となっている。

前回調査との増減をみると、「災害から県民をまもる」(4.4ポイント増)、「交通事故をなくす」(2.6ポイント増)、「便利な交通網をつくる」(2.5ポイント増)、「高齢者の福祉を充実する」(2.3ポイント増)などが増加している。一方で、「子育て支援を充実する」(2.7ポイント減)、「自然をまもり、緑を育てる」(2.0ポイント減)などは減少している。



【上位10項目の属性別比較】

□第1位／高齢者の福祉を充実する

地域別では南部地域（31.3%）で3割強と最も高く、県央地域と西部地域（ともに25.4%）で2割台半ばとやや低い。

市郡規模別では人口10万以上の市（29.1%）で3割弱と最も高くなっている。

性別では女性（29.8%）が男性（27.2%）より2.6ポイント高くなっている。

年代別では年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上（48.2%）では5割弱と最も高くなっている。

性・年代別でも同様に、男女とも年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられる。

職業別では無職（計）（38.0%）が4割弱と最も高くなっている。

ライフステージ別では家族成熟期（31.1%）から高齢期（46.6%）にかけて高くなっている。

□第2位／医療サービス体制を整備する

地域別では秩父地域（37.0%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

性・年代別では女性の40歳代（30.4%）と50歳代（31.1%）で3割を超えて高くなっている。

□第3位／子育て支援を充実する

地域別では南西部地域（12.3%）が1割強と最も低くなっている。

性・年代別では女性30歳代（52.4%）が5割を超えて最も高く、男性30歳代（32.6%）と女性20歳代（29.4%）でも3割前後と高くなっている。

ライフステージ別では家族形成期（54.5%）から家族成長前期（47.2%）にかけて突出して高くなっている。

□第4位／防犯の地域づくりをすすめる

地域別では南部地域（29.5%）が約3割と最も高く、秩父地域（3.7%）で1割未満と最も低くなっている。

性・年代別では男性40歳代（29.0%）で3割弱、女性の20歳代（25.9%）と40歳代（24.6%）で2割台半ばと比較的高くなっている。

ライフステージ別では家族形成期から家族成長後期にかけて2割を超えて高くなっている。

□第5位／災害から県民をまもる

地域別では南部地域（25.0%）が2割台半ばと最も高くなっている。

年代別では20歳代（20.9%）と50歳代（20.0%）で2割以上と高くなっている。

性・年代別では女性の20歳代（23.5%）と50歳代（23.2%）で2割を超えて高くなっている。

□第6位／雇用の場を広げる

地域別では秩父地域（22.2%）で2割強と最も高くなっている。

市郡規模別では人口10万未満の市（20.1%）と郡部（町村）（18.9%）で2割前後とやや高くなっている。

性・年代別では男性の20歳代（21.6%）と50歳代（23.6%）で2割を超えて高くなっている。

ライフステージ別では独身期（20.8%）、家族成長後期（20.9%）、家族成熟期（19.1%）が2割前後で高くなっている。

□第7位／交通事故をなくす

地域別では秩父地域（22.2％）で2割強と最も高くなっている。

性・年代別では男性の20歳代（20.6％）から30歳代（22.9％）にかけて2割を超えて高くなっている。

□第8位／食品の安全をまもる

性別では女性（16.9％）が男性（11.0％）を5.9ポイント上回っている。

性・年代別では女性50歳代以上で2割前後とやや高くなっている。

ライフステージ別では家族形成期（18.8％）で最も高くなっている。

□第9位／自然をまもり、緑を育てる

地域別では西部地域（19.2％）で2割弱と最も高くなっている。

性・年代別では男性の60歳代（16.4％）から70歳以上（18.6％）は比較的高いが、女性の40歳代（7.7％）から50歳代（8.5％）では1割未満と低くなっている。

□第10位／便利な交通網をつくる

地域別では秩父地域（25.9％）で2割台半ばと最も高く、南部地域（9.8％）、さいたま地域（7.9％）、北部地域（9.1％）で1割未満と低くなっている。

市郡規模別では、人口10万未満の市（15.0％）と郡部（町村）（15.1％）でそれぞれ15％程度とやや高くなっている。

年代別では20歳代（16.6％）で最も高くなっている。

ライフステージ別では独身期（17.8％）と家族成熟期（12.6％）で1割を超えてやや高くなっている。

○県政への要望・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

順位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	(%)
	調査数 n	高齢者の福祉を充実する	医療サービス体制を整備する	子育て支援を充実する	防犯の地域づくりをすすめる	災害から県民をまもる	雇用の場を広げる	交通事故をなくす	食品の安全をまもる	自然をまもり、緑を育てる	便利な交通網をつくる	道路や街路を整備する	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する	川や大気環境をまもる	地球温暖化を防止する	青少年を健全に育てる	省資源やリサイクルをすすめる	消費生活の安全を高める	健康づくりをすすめて、疾病を予防する	公園、緑地を整備する	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる	
全 体	2,123	28.5	25.3	17.3	16.7	16.5	15.3	14.2	13.8	13.0	11.7	11.1	9.5	8.7	8.4	7.3	6.6	6.5	5.9	5.2	4.2	
地域別																						
南部地域	224	31.3	20.5	17.0	29.5	25.0	18.3	15.6	12.5	10.3	9.8	5.8	7.6	10.3	6.3	8.5	4.9	7.1	5.4	5.4	4.9	
南西部地域	187	28.3	22.5	12.3	19.8	15.5	12.3	18.7	12.3	11.8	15.0	14.4	10.2	7.0	5.9	7.5	6.4	6.4	2.7	9.1	4.3	
東部地域	321	29.0	24.3	18.7	17.8	20.6	16.2	15.3	10.6	12.8	10.6	7.8	10.0	10.9	8.1	6.9	7.2	5.9	5.6	6.5	2.8	
さいたま地域	378	27.2	28.8	18.0	17.5	17.5	11.1	15.6	17.2	15.6	7.9	14.6	9.0	6.9	8.7	8.2	7.7	5.6	3.7	5.8	3.2	
県央地域	142	25.4	26.1	17.6	13.4	12.7	15.5	13.4	15.5	12.7	17.6	9.9	9.9	8.5	5.6	7.0	7.0	4.9	8.5	5.6	6.3	
川越比企地域	243	29.6	24.3	20.6	11.5	16.9	17.3	11.5	15.6	11.9	10.7	9.1	9.5	9.9	14.4	6.6	7.4	5.8	6.2	4.1	4.1	
西部地域	224	25.4	21.4	16.5	12.1	13.4	18.8	10.3	10.7	19.2	13.4	12.9	8.0	8.9	6.7	7.1	3.6	7.1	4.5	5.8	6.3	
利根地域	223	30.5	29.6	17.0	13.5	11.2	16.1	12.1	13.9	8.5	14.3	14.8	10.3	7.2	9.9	5.8	6.3	6.3	7.2	2.7	5.8	
北部地域	154	28.6	27.3	14.9	14.9	10.4	12.3	13.6	16.9	11.0	9.1	11.0	11.0	9.7	8.4	7.8	9.7	11.0	14.9	0.6	2.6	
秩父地域	27	29.6	37.0	18.5	3.7	14.8	22.2	22.2	3.7	14.8	25.9	3.7	14.8	3.7	7.4	3.7	-	3.7	3.7	-	-	
市郡規模別																						
人口10万以上の市	1,610	29.1	25.6	17.0	17.7	16.2	13.9	14.9	14.3	13.7	10.6	10.6	10.0	9.1	8.9	7.7	7.0	6.8	6.0	5.6	4.2	
人口10万未満の市	354	26.8	25.4	18.9	13.8	17.2	20.1	12.7	12.1	11.6	15.0	13.3	8.5	6.5	7.3	5.4	5.1	5.9	4.8	4.0	4.0	
郡部（町村）	159	25.2	22.0	17.0	12.6	18.2	18.9	10.7	11.3	8.8	15.1	11.9	6.3	10.1	6.3	6.9	6.3	3.8	8.2	3.8	5.0	
性別																						
男性	1,127	27.2	23.2	14.8	16.2	16.5	15.9	15.9	11.0	14.4	11.3	13.0	10.4	9.5	7.6	7.5	7.5	5.4	4.3	5.3	3.7	
女性	996	29.8	27.6	20.1	17.2	16.6	14.7	12.3	16.9	11.3	12.1	8.9	8.4	7.8	9.3	6.9	5.6	7.6	7.7	5.0	4.8	
年代別																						
20歳代	187	10.7	12.8	18.7	13.9	20.9	18.7	18.2	9.1	13.9	16.6	13.9	4.8	9.1	6.4	7.5	6.4	3.7	2.1	7.0	4.3	
30歳代	268	9.3	22.0	41.8	19.0	13.4	18.3	18.7	11.6	11.6	10.1	11.9	13.4	8.6	7.8	7.1	3.4	4.1	3.7	9.3	1.9	
40歳代	421	16.2	26.4	24.9	26.8	15.9	16.2	15.4	12.4	9.0	12.6	10.5	12.6	8.8	7.8	7.8	6.2	5.0	2.4	5.2	4.3	
50歳代	380	27.6	27.6	10.0	20.5	20.0	21.6	11.3	14.2	10.8	14.5	11.1	9.5	10.0	9.2	7.6	7.4	6.6	3.7	2.9	4.7	
60歳代	433	40.9	27.3	9.7	9.9	17.1	13.4	8.1	16.4	15.5	10.9	11.3	8.5	8.3	8.1	6.0	8.1	9.0	9.7	2.8	3.5	
70歳以上	434	48.2	27.6	8.1	9.9	13.6	7.6	17.3	15.4	16.6	8.1	9.9	6.9	7.8	9.9	7.6	6.9	7.8	10.6	6.2	6.0	
性・年代別																						
男性・20歳代	102	8.8	9.8	9.8	3.9	18.6	21.6	20.6	5.9	15.7	15.7	19.6	3.9	7.8	6.9	8.8	5.9	3.9	1.0	4.9	3.9	
30歳代	144	10.4	18.1	32.6	16.7	13.2	18.1	22.9	11.1	12.5	9.0	14.6	18.1	9.0	8.3	6.9	2.8	4.2	1.4	9.0	1.4	
40歳代	214	18.2	22.4	22.4	29.0	17.8	16.4	17.8	12.1	10.3	14.5	11.7	10.3	7.0	5.6	8.4	6.5	4.7	2.3	4.7	2.8	
50歳代	216	25.9	25.0	10.2	21.8	17.6	23.6	12.0	10.2	12.5	13.4	10.2	12.5	11.1	8.3	8.8	7.4	5.1	2.8	2.3	5.1	
60歳代	220	39.5	27.7	7.7	10.9	17.3	13.2	9.5	11.8	16.4	10.0	13.2	9.1	9.5	6.8	6.4	10.0	6.4	7.7	4.5	3.2	
70歳以上	231	43.7	27.3	10.0	9.5	14.7	6.9	17.3	12.1	18.6	6.9	13.0	7.8	11.3	9.5	6.5	9.5	6.9	7.8	7.4	5.2	
女性・20歳代	85	12.9	16.5	29.4	25.9	23.5	15.3	15.3	12.9	11.8	17.6	7.1	5.9	10.6	5.9	5.9	7.1	3.5	3.5	9.4	4.7	
30歳代	124	8.1	26.6	52.4	21.8	13.7	18.5	13.7	12.1	10.5	11.3	8.9	8.1	8.1	7.3	7.3	4.0	4.0	6.5	9.7	2.4	
40歳代	207	14.0	30.4	27.5	24.6	14.0	15.9	13.0	12.6	7.7	10.6	9.2	15.0	10.6	10.1	7.2	5.8	5.3	2.4	5.8	5.8	
50歳代	164	29.9	31.1	9.8	18.9	23.2	18.9	10.4	19.5	8.5	15.9	12.2	5.5	8.5	10.4	6.1	7.3	8.5	4.9	3.7	4.3	
60歳代	213	42.3	26.8	11.7	8.9	16.9	13.6	6.6	21.1	14.6	11.7	9.4	8.0	7.0	9.4	5.6	6.1	11.7	11.7	0.9	3.8	
70歳以上	203	53.2	28.1	5.9	10.3	12.3	8.4	17.2	19.2	14.3	9.4	6.4	5.9	3.9	10.3	8.9	3.9	8.9	13.8	4.9	6.9	
職業別																						
自営業・家族従業（計）	223	26.0	23.3	15.2	17.5	17.0	12.6	11.7	10.8	14.8	11.7	13.9	10.3	8.5	7.6	6.3	5.8	6.7	7.6	4.5	3.1	
雇用者（計）	1,106	22.2	24.5	20.3	19.0	16.2	19.0	15.2	11.2	11.9	13.6	11.8	10.7	9.7	8.5	7.7	6.5	4.8	4.1	5.2	3.7	
無職（計）	790	38.0	27.1	13.7	13.3	16.8	11.0	13.5	18.1	13.8	9.1	9.5	7.6	7.3	8.5	7.0	7.0	8.6	8.0	5.3	5.3	
ライフステージ別																						
独身期	236	10.6	15.7	12.3	15.3	18.6	20.8	19.1	7.2	13.1	17.8	14.0	5.9	10.2	7.2	8.5	6.4	3.8	3.0	5.1	3.8	
家族形成期	154	13.0	23.4	54.5	21.4	15.6	12.3	14.9	18.8	11.7	7.8	13.0	13.6	6.5	5.8	7.8	3.9	4.5	3.2	11.7	0.6	
家族成長前期	216	5.6	22.2	47.2	24.5	11.1	13.4	16.2	10.2	9.7	8.3	8.3	21.3	9.3	5.6	10.6	3.2	4.6	3.2	9.7	3.7	
家族成長後期	196	17.9	25.5	18.9	23.5	17.3	20.9	17.3	10.2	8.7	9.7	9.7	14.8	8.2	9.7	9.7	6.6	6.1	3.6	5.1	5.6	
家族成熟期	470	31.1	28.1	9.8	18.1	18.9	19.1	11.3	16.6	13.4	12.6	11.3	6.6	8.7	8.1	6.4	7.7	8.9	4.7	2.8	5.5	
高齢期	528	46.6	26.5	10.6	9.5	14.6	8.9	12.9	16.9	15.7	8.5	11.0	8.3	7.2	10.2	7.4	6.6	8.0	10.2	5.1	4.4	
その他	323	37.2	29.1	4.0	15.8	18.3	15.5	13.6	11.5	13.0	16.4	10.8	5.0	11.1	9.3	3.4	8.7	4.6	7.4	2.8	3.7	

(%)

順位		21	22	23	24	25	26	27		29	30	31	32	33	34	35	36			
	調査数	商業企業への支援を充実する	スポーツ、レクリエーションをさかにする	廃棄物対策を充実する	都市のバリアフリー化をすすめる	市町村が主役の地域づくりをすすめる	生活排水対策をすすめる	人権尊重の社会づくりをすすめる	芸術・文化活動をさかにする	農林業をさかにする	県民参加の行政をすすめる	観光振興をすすめる	生涯学習対策を充実する	男女共同参画社会の実現をはかる	NP Oやボランティアへの活動支援を充実する	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる	国際交流や国際協力をすすめる	その他	わからない	無回答
全 体	2,123	3.5	3.1	3.0	2.9	2.9	2.8	2.4	2.4	2.1	1.7	1.6	1.6	1.2	1.2	0.8	0.8	2.2	1.6	0.1

地域別

南部地域	224	3.6	3.1	1.8	3.1	2.2	3.6	1.3	2.7	1.3	2.2	0.4	0.4	1.8	1.8	1.3	0.9	3.1	-	-
南西部地域	187	3.7	4.3	2.1	4.8	1.1	1.1	1.6	1.6	1.1	3.7	1.6	3.7	1.6	1.6	1.1	1.1	2.7	0.5	-
東部地域	321	4.0	1.9	3.1	2.2	3.1	3.1	2.5	0.6	0.6	0.9	0.9	0.3	1.2	0.9	0.6	0.3	2.8	2.8	-
さいたま地域	378	1.9	4.0	1.9	4.2	1.3	2.1	1.9	3.2	2.6	1.3	2.1	1.9	1.1	1.1	1.1	0.3	3.2	1.3	-
県央地域	142	2.8	4.2	7.0	2.8	3.5	2.1	2.8	2.1	0.7	0.7	1.4	2.1	0.7	1.4	-	2.1	1.4	0.7	-
川越比企地域	243	4.5	2.9	2.9	2.5	4.1	3.7	1.6	3.3	1.6	1.6	1.2	1.2	2.9	0.8	0.8	0.4	-	0.4	-
西部地域	224	5.4	2.7	3.1	2.2	3.6	1.8	5.4	4.0	2.2	0.9	1.8	3.1	0.9	2.2	-	1.3	3.1	2.2	-
利根地域	223	3.1	2.7	2.2	2.7	3.1	2.7	2.2	2.7	3.6	1.3	2.7	0.9	0.4	0.4	1.8	1.8	1.3	2.7	0.9
北部地域	154	3.2	1.9	5.8	1.3	3.9	6.5	3.9	1.9	5.2	3.2	1.9	1.3	-	0.6	-	-	0.6	1.9	-
秩父地域	27	3.7	3.7	3.7	-	11.1	-	-	-	7.4	3.7	7.4	-	-	-	3.7	-	-	7.4	-

市郡規模別

人口10万以上の市	1,610	3.2	3.0	3.0	3.0	1.9	2.4	2.2	2.4	2.2	1.6	1.5	1.7	1.0	1.2	0.7	0.7	2.6	1.4	0.1
人口10万未満の市	354	4.0	3.1	2.5	3.1	5.6	4.0	3.7	3.1	2.0	1.7	2.3	0.6	1.7	0.8	1.1	1.1	0.8	2.3	0.3
郡部（町村）	159	6.3	3.8	3.8	1.3	6.3	5.0	1.9	1.9	1.9	3.1	1.9	1.9	2.5	1.3	1.9	1.3	0.6	1.9	-

性別

男性	1,127	4.8	4.0	4.1	2.3	3.5	3.5	2.7	2.1	2.3	2.0	1.9	1.1	1.1	1.4	1.3	0.8	2.5	1.6	0.2
女性	996	2.1	2.0	1.8	3.6	2.2	2.1	2.2	2.8	1.9	1.4	1.4	2.1	1.4	0.9	0.3	0.8	1.8	1.5	-

年代別

20歳代	187	7.0	8.0	3.7	3.2	4.3	2.1	2.1	5.3	2.7	2.7	2.7	1.1	2.7	0.5	2.7	2.7	0.5	3.7	-
30歳代	268	3.4	3.4	0.7	3.7	1.5	1.9	1.5	2.6	2.2	1.9	2.2	1.1	1.5	1.9	3.4	1.1	2.6	1.5	0.4
40歳代	421	5.5	3.6	1.7	2.6	1.7	3.3	1.2	1.7	2.1	1.7	2.1	1.4	1.4	0.2	0.5	0.7	3.3	1.9	-
50歳代	380	2.9	2.4	4.7	2.9	2.4	2.4	3.2	2.4	1.3	1.3	1.6	1.6	1.3	0.5	-	0.5	2.1	1.1	-
60歳代	433	3.0	2.1	4.4	3.5	4.6	2.8	3.9	2.8	2.8	2.1	1.8	1.8	0.5	2.1	0.5	0.7	2.3	0.5	0.2
70歳以上	434	1.4	1.8	2.5	2.1	3.0	3.7	2.3	1.6	1.8	1.2	0.2	1.8	0.9	1.6	-	0.2	1.4	1.8	-

性・年代別

男性・20歳代	102	8.8	9.8	2.9	4.9	6.9	3.9	2.0	2.9	2.9	3.9	2.9	2.0	3.9	1.0	4.9	1.0	1.0	4.9	-
30歳代	144	4.2	4.2	1.4	2.1	2.1	3.5	1.4	2.8	2.1	2.1	2.8	1.4	-	1.4	4.2	1.4	3.5	2.1	0.7
40歳代	214	7.0	3.7	1.9	2.3	2.8	4.7	1.9	0.5	1.9	1.4	2.8	0.9	0.5	-	0.9	0.9	1.9	2.3	-
50歳代	216	4.2	4.2	7.4	2.3	2.8	3.2	3.7	2.3	0.9	1.4	1.9	0.9	0.9	-	0.9	0.9	2.8	0.9	-
60歳代	220	5.0	3.2	5.5	1.8	3.2	2.3	4.1	3.2	3.6	2.7	1.8	0.5	0.9	2.7	0.9	0.5	3.2	0.5	0.5
70歳以上	231	1.7	2.2	3.9	1.7	4.3	3.5	2.2	1.7	2.6	1.3	-	1.3	1.3	2.2	-	0.4	2.2	0.9	-
女性・20歳代	85	4.7	5.9	4.7	1.2	1.2	-	2.4	8.2	2.4	1.2	2.4	-	1.2	-	-	4.7	-	2.4	-
30歳代	124	2.4	2.4	-	5.6	0.8	-	1.6	2.4	2.4	1.6	1.6	0.8	3.2	2.4	2.4	0.8	1.6	0.8	-
40歳代	207	3.9	3.4	1.4	2.9	0.5	1.9	0.5	2.9	2.4	1.9	1.4	1.9	2.4	0.5	-	0.5	4.8	1.4	-
50歳代	164	1.2	-	1.2	3.7	1.8	1.2	2.4	2.4	1.8	1.2	1.2	2.4	1.8	-	-	-	1.2	1.2	-
60歳代	213	0.9	0.9	3.3	5.2	6.1	3.3	3.8	2.3	1.9	1.4	1.9	3.3	-	1.4	-	0.9	1.4	0.5	-
70歳以上	203	1.0	1.5	1.0	2.5	1.5	3.9	2.5	1.5	1.0	1.0	0.5	2.5	0.5	1.0	-	-	0.5	3.0	-

職業別

自営業・家族従業（計）	223	8.1	2.2	5.8	4.0	4.0	3.1	0.4	4.5	4.0	0.4	1.8	1.8	-	1.8	-	-	0.9	2.7	-
雇用者（計）	1,106	4.2	3.9	2.8	2.7	2.3	2.9	2.4	2.0	2.1	2.2	1.9	1.4	1.5	1.1	1.4	0.8	2.5	1.3	0.2
無職（計）	790	1.4	2.2	2.4	2.9	3.4	2.7	3.2	2.5	1.6	1.3	1.3	1.6	1.1	1.1	0.4	1.0	2.0	1.6	-

ライフステージ別

独身期	236	5.9	6.8	3.0	5.5	4.2	3.0	2.5	6.4	2.5	2.1	3.0	1.3	2.5	0.8	4.7	1.7	1.3	3.4	-
家族形成期	154	3.2	1.9	1.9	1.9	1.3	0.6	1.3	0.6	1.9	1.9	1.9	1.3	0.6	1.3	0.6	1.9	1.9	0.6	-
家族成長前期	216	6.9	5.1	-	0.9	0.9	1.4	1.4	2.3	2.8	1.4	1.9	0.9	1.4	1.4	0.5	1.4	2.8	0.5	0.5
家族成長後期	196	3.6	5.6	3.1	2.6	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.0	2.0	2.0	-	0.5	-	3.1	2.0	-
家族成熟期	470	3.4	1.9	3.2	2.6	2.1	3.0	3.4	1.9	1.9	1.5	1.9	1.5	1.1	1.7	0.2	0.4	2.1	1.1	-
高齢期	528	1.3	1.9	3.2	2.8	4.4	4.0	2.8	1.7	1.9	1.9	0.9	1.7	0.8	1.7	0.2	0.4	1.9	1.3	-
その他	323	3.4	1.5	5.0	3.7	3.1	3.1	1.9	2.8	2.8	1.5	1.5	1.9	0.9	0.3	0.6	0.9	2.5	2.2	0.3

【平成22年以降の上位10項目の推移】

過去5年間の上位10項目の推移をみると、今回1位の「高齢者の福祉を充実する」（1位→1位→1位→1位→1位）と、2位の「医療サービス体制を整備する」（2位→2位→2位→2位→2位）は上位で固定している。3位の「子育て支援を充実する」（5位→8位→7位→3位→3位）は平成23年から平成24年は順位を下げていたが、平成25年から平成26年は上位を保っている。4位の「防犯の地域づくりをすすめる」（4位→5位→4位→4位→4位）はほぼ同じ順位を維持している。5位の「災害から県民をまもる」（11位以降→6位→6位→8位→5位）は前回より大きく順位を上げている。6位の「雇用の場を広げる」（6位→7位→5位→5位→6位）はほぼ同じ順位を維持している。7位の「交通事故をなくす」（9位→9位→9位→9位→7位）は平成22年から平成25年まで9位であったが、今回順位を上げている。8位の「食品の安全をまもる」（8位→3位→8位→6位→8位）は今回順位を下げている。9位の「自然をまもり、緑を育てる」（3位→4位→3位→7位→9位）は平成25年から順位が下がってきている。

順位	22年	23年	24年	25年	26年
1	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 26.0%	高齢者の福祉を充実する 26.4%	高齢者の福祉を充実する 26.2%	高齢者の福祉を充実する 28.5%
2	医療サービス体制を整備する 23.9%	医療サービス体制を整備する 24.3%	医療サービス体制を整備する 21.2%	医療サービス体制を整備する 25.4%	医療サービス体制を整備する 25.3%
3	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 22.3%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	子育て支援を充実する 20.0%	子育て支援を充実する 17.3%
4	防犯の地域づくりをすすめる 18.1%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	防犯の地域づくりをすすめる 17.6%	防犯の地域づくりをすすめる 16.9%	防犯の地域づくりをすすめる 16.7%
5	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 14.8%	雇用の場を広げる 17.3%	雇用の場を広げる 15.7%	災害から県民をまもる 16.5%
6	雇用の場を広げる 15.8%	災害から県民をまもる 14.7%	災害から県民をまもる 17.2%	食品の安全をまもる 15.2%	雇用の場を広げる 15.3%
7	地球温暖化を防止する 14.1%	雇用の場を広げる 14.7%	子育て支援を充実する 16.6%	自然をまもり、緑を育てる 15.0%	交通事故をなくす 14.2%
8	食品の安全をまもる 12.9%	子育て支援を充実する 14.1%	食品の安全をまもる 14.2%	災害から県民をまもる 12.1%	食品の安全をまもる 13.8%
9	交通事故をなくす 10.9%	交通事故をなくす 10.7%	交通事故をなくす 13.2%	交通事故をなくす 11.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.0%
10	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.1%	道路や街路を整備する 10.4%	地球温暖化を防止する 9.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.2%	便利な交通網をつくる 11.7%

【上位4項目の10年間の推移】

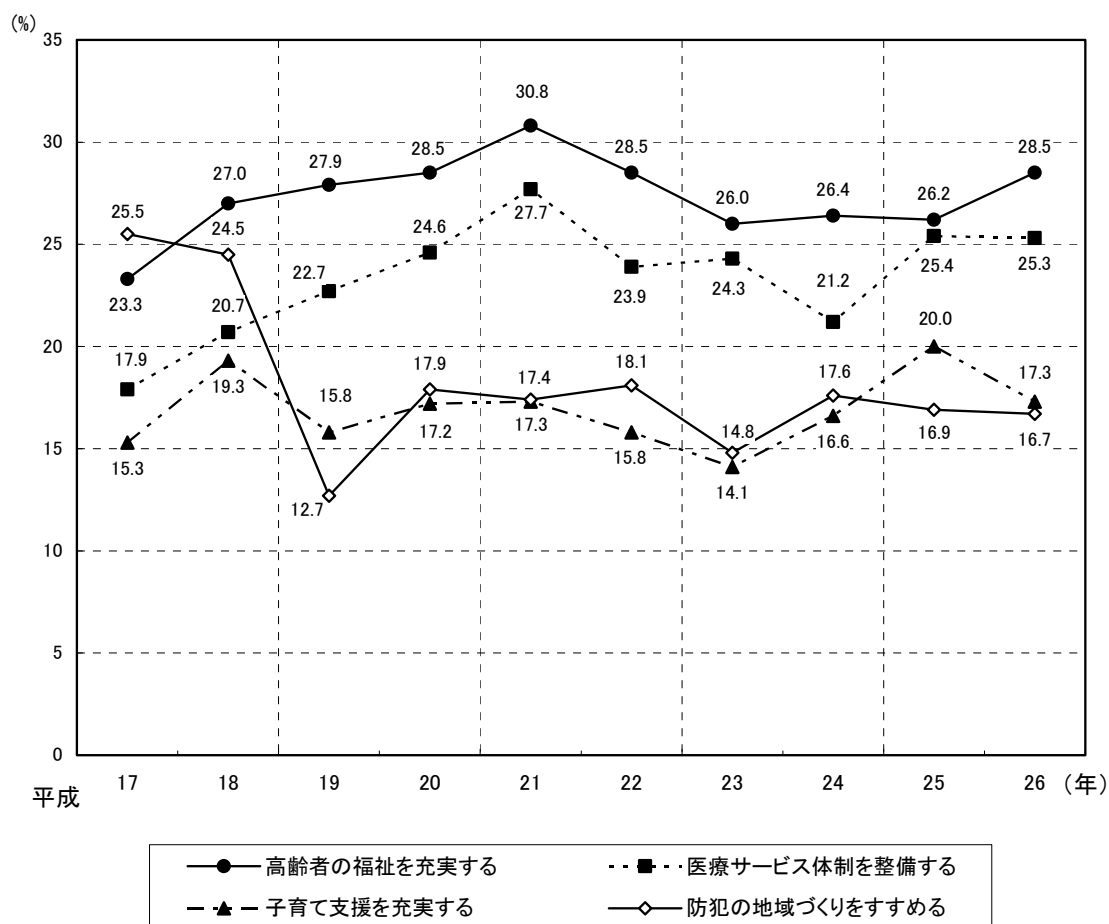
今回調査で上位となった「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「子育て支援を充実する」、「防犯の地域づくりをすすめる」の4項目について、平成17年以降の10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「高齢者の福祉を充実する」は平成21年に10年間で最高値を記録した以降は減少傾向に転じたが、平成23年から平成25年にかけて2割台半ばで推移し、今回はやや増加となった。

2位の「医療サービス体制を整備する」は平成22年から平成23年にかけて2割台半ば程度となり、平成24年には若干減少したが、平成25年以降は再び2割台半ばを維持している。

3位の「子育て支援を充実する」は、平成22年以降減少傾向となり、平成24年以降は増加傾向に転じたものの、今回は再び減少となった。

4位の「防犯の地域づくりをすすめる」は平成18年までは2割台半ばで推移したのちに、平成19年に大きく減少したものの、その後はおおむね15～20%の間で推移している。



【属性別の上位5項目】

■地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=224)	高齢者の福祉を 充実する 31.3%	防犯の地域づく りをすすめる 29.5%	災害から県民を まもる 25.0%	医療サービス体 制を整備する 20.5%	雇用の場を広げ る 18.3%
南西部地域 (n=187)	高齢者の福祉を 充実する 28.3%	医療サービス体 制を整備する 22.5%	防犯の地域づく りをすすめる 19.8%	交通事故をなく す 18.7%	災害から県民を まもる 15.5%
東部地域 (n=321)	高齢者の福祉を 充実する 29.0%	医療サービス体 制を整備する 24.3%	災害から県民を まもる 20.6%	子育て支援を充 実する 18.7%	防犯の地域づく りをすすめる 17.8%
さいたま地域 (n=378)	医療サービス体 制を整備する 28.8%	高齢者の福祉を 充実する 27.2%	子育て支援を充 実する 18.0%	災害から県民をまもる／防犯の地 域づくりをすすめる 17.5%	
県央地域 (n=142)	医療サービス体 制を整備する 26.1%	高齢者の福祉を 充実する 25.4%	便利な交通網をつくる／子育て支 援を充実する 17.6%		食品の安全をま もる／雇用の場 を広げる 15.5%
川越比企地域 (n=243)	高齢者の福祉を 充実する 29.6%	医療サービス体 制を整備する 24.3%	子育て支援を充 実する 20.6%	雇用の場を広げ る 17.3%	災害から県民を まもる 16.9%
西部地域 (n=224)	高齢者の福祉を 充実する 25.4%	医療サービス体 制を整備する 21.4%	自然をまもり、 緑を育てる 19.2%	雇用の場を広げ る 18.8%	子育て支援を充 実する 16.5%
利根地域 (n=223)	高齢者の福祉を 充実する 30.5%	医療サービス体 制を整備する 29.6%	子育て支援を充 実する 17.0%	雇用の場を広げ る 16.1%	道路や街路を整 備する 14.8%
北部地域 (n=154)	高齢者の福祉を 充実する 28.6%	医療サービス体 制を整備する 27.3%	食品の安全をま もる 16.9%	防犯の地域づくりをすすめる／子 育て支援を充実する／健康づくり をすすめて、疾病を予防する 14.9%	
秩父地域 (n=27)	医療サービス体 制を整備する 37.0%	高齢者の福祉を 充実する 29.6%	便利な交通網を つくる 25.9%	交通事故をなくす／雇用の場を広 げる 22.2%	

■市郡規模別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
人口10万以上の 市 (n=1,610)	高齢者の福祉を 充実する 29.1%	医療サービス体 制を整備する 25.6%	防犯の地域づく りをすすめる 17.7%	子育て支援を充 実する 17.0%	災害から県民を まもる 16.2%
人口10万未満の 市 (n=354)	高齢者の福祉を 充実する 26.8%	医療サービス体 制を整備する 25.4%	雇用の場を広げ る 20.1%	子育て支援を充 実する 18.9%	災害から県民を まもる 17.2%
郡部（町村） (n=159)	高齢者の福祉を 充実する 25.2%	医療サービス体 制を整備する 22.0%	雇用の場を広げ る 18.9%	災害から県民を まもる 18.2%	子育て支援を充 実する 17.0%

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=1,127)	高齢者の福祉を 充実する 27.2%	医療サービス体 制を整備する 23.2%	災害から県民を まもる 16.5%	防犯の地域づく りをすすめる 16.2%	交通事故をなく す／雇用の場を 広げる 15.9%
女性 (n=996)	高齢者の福祉を 充実する 29.8%	医療サービス体 制を整備する 27.6%	子育て支援を充 実する 20.1%	防犯の地域づく りをすすめる 17.2%	食品の安全をま もる 16.9%

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代 (n=187)	災害から県民を まもる 20.9%	子育て支援を充実する／雇用の場 を広げる 18.7%	交通事故をなく す 18.2%	便利な交通網を つくる 16.6%	
30歳代 (n=268)	子育て支援を充 実する 41.8%	医療サービス体 制を整備する 22.0%	防犯の地域づく りをすすめる 19.0%	交通事故をなく す 18.7%	雇用の場を広げ る 18.3%
40歳代 (n=421)	防犯の地域づく りをすすめる 26.8%	医療サービス体 制を整備する 26.4%	子育て支援を充 実する 24.9%	高齢者の福祉を充実する／雇用の 場を広げる 16.2%	
50歳代 (n=380)	高齢者の福祉を充実する／医療 サービス体制を整備する 27.6%	雇用の場を広げ る 21.6%	防犯の地域づく りをすすめる 20.5%	災害から県民を まもる 20.0%	
60歳代 (n=433)	高齢者の福祉を 充実する 40.9%	医療サービス体 制を整備する 27.3%	災害から県民を まもる 17.1%	食品の安全をま もる 16.4%	自然をまもり、 緑を育てる 15.5%
70歳以上 (n=434)	高齢者の福祉を 充実する 48.2%	医療サービス体 制を整備する 27.6%	交通事故をなく す 17.3%	自然をまもり、 緑を育てる 16.6%	食品の安全をま もる 15.4%

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性・20歳代 (n=102)	雇用の場を広げ る 21.6%	交通事故をなく す 20.6%	道路や街路を整 備する 19.6%	災害から県民を まもる 18.6%	自然をまもり、緑 を育てる／便利な 交通網をつくる 15.7%
30歳代 (n=144)	子育て支援を充 実する 32.6%	交通事故をなく す 22.9%	医療サービス体制を整備する／学力、規律ある態度、体力 を身につける学校教育を充実する／雇用の場を広げる 18.1%		
40歳代 (n=214)	防犯の地域づく りをすすめる 29.0%	子育て支援を充実する／医療サー ビス体制を整備する 22.4%	高齢者の福祉を 充実する 18.2%	交通事故をなく す／災害から県 民をまもる 17.8%	
50歳代 (n=216)	高齢者の福祉を 充実する 25.9%	医療サービス体 制を整備する 25.0%	雇用の場を広げ る 23.6%	防犯の地域づく りをすすめる 21.8%	災害から県民を まもる 17.6%
60歳代 (n=220)	高齢者の福祉を 充実する 39.5%	医療サービス体 制を整備する 27.7%	災害から県民を まもる 17.3%	自然をまもり、 緑を育てる 16.4%	道路や街路を整 備する／雇用の 場を広げる 13.2%
70歳以上 (n=231)	高齢者の福祉を 充実する 43.7%	医療サービス体 制を整備する 27.3%	自然をまもり、 緑を育てる 18.6%	交通事故をなく す 17.3%	災害から県民を まもる 14.7%
女性・20歳代 (n=85)	子育て支援を充 実する 29.4%	防犯の地域づく りをすすめる 25.9%	災害から県民を まもる 23.5%	便利な交通網を つくる 17.6%	医療サービス体 制を整備する 16.5%
30歳代 (n=124)	子育て支援を充 実する 52.4%	医療サービス体 制を整備する 26.6%	防犯の地域づく りをすすめる 21.8%	雇用の場を広げ る 18.5%	交通事故をなく す／災害から県 民をまもる 13.7%
40歳代 (n=207)	医療サービス体 制を整備する 30.4%	子育て支援を充 実する 27.5%	防犯の地域づく りをすすめる 24.6%	雇用の場を広げ る 15.9%	学力、規律ある 態度、体力を身 につける学校教 育を充実する 15.0%
50歳代 (n=164)	医療サービス体 制を整備する 31.1%	高齢者の福祉を 充実する 29.9%	災害から県民を まもる 23.2%	食品の安全をま もる 19.5%	防犯の地域づく りをすすめる／雇 用の場を広げる 18.9%
60歳代 (n=213)	高齢者の福祉を 充実する 42.3%	医療サービス体 制を整備する 26.8%	食品の安全をま もる 21.1%	災害から県民を まもる 16.9%	自然をまもり、 緑を育てる 14.6%
70歳以上 (n=203)	高齢者の福祉を 充実する 53.2%	医療サービス体 制を整備する 28.1%	食品の安全をま もる 19.2%	交通事故をなく す 17.2%	自然をまもり、 緑を育てる 14.3%

■ライフステージ別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
独身期 (n=236)	雇用の場を広げる 20.8%	交通事故をなくす 19.1%	災害から県民を まもる 18.6%	便利な交通網を つくる 17.8%	医療サービス体 制を整備する 15.7%
家族形成期 (n=154)	子育て支援を充 実する 54.5%	医療サービス体 制を整備する 23.4%	防犯の地域づく りをすすめる 21.4%	食品の安全をま もる 18.8%	災害から県民を まもる 15.6%
家族成長前期 (n=216)	子育て支援を充 実する 47.2%	防犯の地域づく りをすすめる 24.5%	医療サービス体 制を整備する 22.2%	学力、規律ある 態度、体力を身 につける学校教 育を充実する 21.3%	交通事故をなく す 16.2%
家族成長後期 (n=196)	医療サービス体 制を整備する 25.5%	防犯の地域づく りをすすめる 23.5%	雇用の場を広げ る 20.9%	子育て支援を充 実する 18.9%	高齢者の福祉を 充実する 17.9%
家族成熟期 (n=470)	高齢者の福祉を 充実する 31.1%	医療サービス体 制を整備する 28.1%	雇用の場を広げ る 19.1%	災害から県民を まもる 18.9%	防犯の地域づく りをすすめる 18.1%
高齢期 (n=528)	高齢者の福祉を 充実する 46.6%	医療サービス体 制を整備する 26.5%	食品の安全をま もる 16.9%	自然をまもり、 緑を育てる 15.7%	災害から県民を まもる 14.6%
その他 (n=323)	高齢者の福祉を 充実する 37.2%	医療サービス体 制を整備する 29.1%	災害から県民を まもる 18.3%	便利な交通網を つくる 16.4%	防犯の地域づく りをすすめる 15.8%

県政への要望10年間の推移(平成17年～平成26年)

	H17	H18	H19	H20	H21
1	防犯の地域づくりをすすめる 25.5%	高齢者の福祉を充実する 27.0%	高齢者の福祉を充実する 27.9%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 30.8%
2	高齢者の福祉を充実する 23.3%	防犯の地域づくりをすすめる 24.5%	医療サービス体制を整備する 22.7%	医療サービス体制を整備する 24.6%	医療サービス体制を整備する 27.7%
3	医療サービス体制を整備する 17.9%	医療サービス体制を整備する 20.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 20.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%
4	自然をまもり、緑を育てる 16.9%	自然をまもり、緑を育てる 20.4%	地球温暖化を防止する 20.5%	地球温暖化を防止する 20.0%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%
5	地球温暖化を防止する 16.0%	子育て支援を充実する 19.3%	食品の安全をまもる 17.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	子育て支援を充実する 17.3%
6	子育て支援を充実する 15.3%	災害から県民をまもる 13.1%	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	食品の安全をまもる 16.8%
7	青少年を健全に育てる 13.4%	交通事故をなくす 11.1%	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%	子育て支援を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 16.0%
8	雇用の場を広げる 11.7%	地球温暖化を防止する 10.8%	災害から県民をまもる 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.8%	雇用の場を広げる 12.7%
9	食品の安全をまもる 11.4%	雇用の場を広げる 9.7%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%	消費生活の安全を高める 10.3%	川や大気環境をまもる 9.6%
10	災害から県民をまもる 10.0%	道路や街路を整備する 9.2%	交通事故をなくす 9.9%	災害から県民をまもる 10.0%	災害から県民をまもる 9.4%
11	川や大気環境をまもる 9.4%	川や大気環境をまもる 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる 9.5%	省資源やリサイクルをすすめる 9.9%	省資源やリサイクルをすすめる 8.7%
12	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる 8.9%	川や大気環境をまもる 9.3%	雇用の場を広げる 9.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%
13	便利な交通網をつくる 8.5%	食品の安全をまもる/ 青少年を健全に育てる 8.6%	雇用の場を広げる 8.4%	青少年を健全に育てる 8.7%	消費生活の安全を高める 8.2%
14	省資源やリサイクルをすすめる 8.4%	青少年を健全に育てる 8.6%	道路や街路を整備する/ 便利な交通網をつくる 8.0%	便利な交通網をつくる 8.5%	便利な交通網をつくる 7.9%
15	交通事故をなくす/ 消費生活の安全をたかめる 8.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%	消費生活の安全を高める 7.2%	交通事故をなくす 8.3%	交通事故をなくす 7.7%
16	道路や街路を整備する 7.9%	便利な交通網をつくる 8.4%	消費生活の安全を高める 7.2%	川や大気環境をまもる 7.5%	道路や街路を整備する 6.8%
17	廃棄物対策を充実する 6.4%	廃棄物対策を充実する 7.8%	青少年を健全に育てる 7.1%	道路や街路を整備する 7.2%	青少年を健全に育てる 6.2%
18	公園、緑地を整備する 5.9%	公園、緑地を整備する/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 6.5%	公園、緑地を整備する 6.8%	公園、緑地を整備する 5.4%	公園、緑地を整備する 5.9%
19	公園、緑地を整備する 5.9%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 6.5%	廃棄物対策を充実する 5.5%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.8%	廃棄物対策を充実する 5.0%
20	都市のバリアフリー化をすすめる 4.6%	都市のバリアフリー化をすすめる 5.9%	健康づくりをすすめて疾病を予防する 4.6%	廃棄物対策を充実する 4.5%	農林業をさかんにする 3.9%
21	生活排水対策をすすめる 4.1%	健康づくりをすすめて疾病を予防する 5.6%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.5%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.7%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.8%
22	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて疾病を予防する 4.0%	消費生活の安全をたかめる 5.5%	都市のバリアフリー化をすすめる 4.4%	農林業をさかんにする 3.0%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.6%
23	健康づくりをすすめて疾病を予防する 4.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 4.2%	芸術・文化活動をさかんにする/ 生活排水対策をすすめる 2.4%	健康づくりをすすめて疾病を予防する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8%	健康づくりをすすめて疾病を予防する 3.3%
24	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.4%	生活排水対策をすすめる 3.8%	生活排水対策をすすめる 2.4%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%
25	県民参加の行政をすすめる 3.0%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ 芸術・文化活動をさかんにする 3.0%	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.9%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.7%
26	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.9%	芸術・文化活動をさかんにする 3.0%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.3%	県民参加の行政をすすめる/ スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.5%
27	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.8%	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.9%	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.3%	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.9%	芸術・文化活動をさかんにする 1.9%
28	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.5%	県民参加の行政をすすめる 2.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.8%
29	生涯学習対策を充実する 2.1%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.4%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	県民参加の行政をすすめる 1.7%
30	農林業をさかんにする 1.7%	生涯学習対策を充実する 2.3%	県民参加の行政をすすめる 1.8%	芸術・文化活動をさかんにする/ 生涯学習対策を充実する 1.6%	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 1.6%
31	芸術・文化活動をさかんにする 1.4%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 1.9%	農林業をさかんにする 1.4%	生涯学習対策を充実する 1.6%	生涯学習対策を充実する/ 男女共同参画社会の実現をはかる 1.3%
32	男女共同参画社会の実現をはかる/ NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる/ 農林業をさかんにする/ 国際交流や国際協力をすすめる 1.3%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.5%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.3%
33	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.2%	農林業をさかんにする/ 国際交流や国際協力をすすめる 1.3%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.1%	国際交流や国際協力をすすめる 1.2%	観光振興をすすめる 1.0%
34	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 1.3%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.9%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する/ 国際交流や国際協力をすすめる 0.8%
35	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.1%	観光振興をすすめる 0.7%	観光振興をすすめる 0.8%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%
36	観光振興をすすめる 0.4%	観光振興をすすめる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 0.6%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 0.4%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 0.7%

	H22	H23	H24	H25	H26
1	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 26.0%	高齢者の福祉を充実する 26.4%	高齢者の福祉を充実する 26.2%	高齢者の福祉を充実する 28.5%
2	医療サービス体制を整備する 23.9%	医療サービス体制を整備する 24.3%	医療サービス体制を整備する 21.2%	医療サービス体制を整備する 25.4%	医療サービス体制を整備する 25.3%
3	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 22.3%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	子育て支援を充実する 20.0%	子育て支援を充実する 17.3%
4	防犯の地域づくりをすすめる 18.1%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	防犯の地域づくりをすすめる 17.6%	防犯の地域づくりをすすめる 16.9%	防犯の地域づくりをすすめる 16.7%
5	子育て支援を充実する/ 雇用の場を広げる 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 14.8%	雇用の場を広げる 17.3%	雇用の場を広げる 15.7%	災害から県民をまもる 16.5%
6	雇用の場を広げる 15.8%	災害から県民をまもる/ 雇用の場を広げる 14.7%	災害から県民をまもる 17.2%	食品の安全をまもる 15.2%	雇用の場を広げる 15.3%
7	地球温暖化を防止する 14.1%	雇用の場を広げる 14.7%	子育て支援を充実する 16.6%	自然をまもり、緑を育てる 15.0%	交通事故をなくす 14.2%
8	食品の安全をまもる 12.9%	子育て支援を充実する 14.1%	食品の安全をまもる 14.2%	災害から県民をまもる 12.1%	食品の安全をまもる 13.8%
9	交通事故をなくす 10.9%	交通事故をなくす 10.7%	交通事故をなくす 13.2%	交通事故をなくす 11.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.0%
10	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.1%	道路や街路を整備する 10.4%	地球温暖化を防止する 9.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.2%	便利な交通網をつくる 11.7%
11	道路や街路を整備する 9.5%	地球温暖化を防止する 10.0%	道路や街路を整備する 8.4%	道路や街路を整備する/ 便利な交通網をつくる 9.2%	道路や街路を整備する 11.1%
12	省資源やリサイクルをすすめる 9.2%	便利な交通網をつくる 9.0%	便利な交通網をつくる 8.2%	便利な交通網をつくる 9.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.5%
13	災害から県民をまもる 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる 8.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.0%	川や大気の状態をまもる 8.6%	川や大気の状態をまもる 8.7%
14	公園、緑地を整備する 8.4%	川や大気の状態をまもる 8.6%	省資源やリサイクルをすすめる/ 青少年を健全に育てる 7.8%	地球温暖化を防止する 7.9%	地球温暖化を防止する 8.4%
15	青少年を健全に育てる 8.3%	消費生活の安全を高める 7.6%	青少年を健全に育てる 7.8%	青少年を健全に育てる 6.9%	青少年を健全に育てる 7.3%
16	廃棄物対策を充実する 8.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 7.4%	川や大気の状態をまもる 6.5%	省資源やリサイクルをすすめる 5.9%	省資源やリサイクルをすすめる 6.6%
17	川や大気の状態をまもる 7.4%	公園、緑地を整備する 7.3%	消費生活の安全を高める 6.0%	公園、緑地を整備する 5.8%	消費生活の安全を高める 6.5%
18	便利な交通網をつくる 6.4%	青少年を健全に育てる 5.7%	公園、緑地を整備する 5.3%	消費生活の安全を高める 5.1%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 5.9%
19	消費生活の安全を高める 6.0%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.9%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.7%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.8%	公園、緑地を整備する 5.2%
20	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.2%	廃棄物対策を充実する 3.7%	廃棄物対策を充実する 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.8%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.2%
21	都市のバリアフリー化をすすめる/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.6%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 3.5%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.1%	廃棄物対策を充実する/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.7%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.5%
22	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.6%	生活排水対策をすすめる 3.2%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.8%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.7%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 3.1%
23	生活排水対策をすすめる 3.3%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.1%	都市のバリアフリー化をすすめる/ 人権尊重の社会づくりをすすめる/ 農林業をさかんにする 2.7%	都市のバリアフリー化をすすめる/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	廃棄物対策を充実する 3.0%
24	生活排水対策をすすめる 3.3%	都市のバリアフリー化をすすめる/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 農林業をさかんにする 2.7%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	都市のバリアフリー化をすすめる 2.9%
25	農林業をさかんにする 3.1%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	農林業をさかんにする 2.7%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.3%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.9%
26	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%	生活排水対策をすすめる/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.5%	農林業をさかんにする 2.2%	生活排水対策をすすめる 2.8%
27	芸術・文化活動をさかんにする 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする 2.2%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.5%	芸術・文化活動をさかんにする 2.1%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.4%
28	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 1.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.2%	観光振興をすすめる 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする 2.4%
29	生涯学習対策を充実する/ 観光振興をすすめる 1.5%	農林業をさかんにする 1.8%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.2%	生活排水対策をすすめる/ 生涯学習対策を充実する/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	農林業をさかんにする 2.1%
30	観光振興をすすめる 1.5%	観光振興をすすめる 1.5%	観光振興をすすめる 2.1%	生涯学習対策を充実する/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	県民参加の行政をすすめる 1.7%
31	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.4%	県民参加の行政をすすめる 1.2%	県民参加の行政をすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	観光振興をすすめる 1.6%
32	県民参加の行政をすすめる 1.3%	NPOやボランティアへの活動支援を 充実する 1.1%	生涯学習対策を充実する 1.8%	県民参加の行政をすすめる 1.4%	生涯学習対策を充実する 1.6%
33	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.2%	IT(情報通信技術)を生かした社会づ くりをすすめる/ 生涯学習対策を充実する/ 国際交流や国際協力をすすめる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした社会づ くりをすすめる 1.1%	IT(情報通信技術)を生かした社会づ くりをすすめる 1.3%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%
34	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める/ 男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	生涯学習対策を充実する/ 国際交流や国際協力をすすめる 1.0%	NPOやボランティアへの活動支援を充 実する/ 国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	NPOやボランティアへの活動支援を充 実する 1.2%
35	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	国際交流や国際協力をすすめる 1.0%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	男女共同参画社会の実現をはかる/ NPOやボランティアへの活動支援を充 実する 0.8%	IT(情報通信技術)を生かした社会づ くりをすすめる 0.8%
36	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	男女共同参画社会の実現をはかる 0.5%	男女共同参画社会の実現をはかる 0.7%	NPOやボランティアへの活動支援を充 実する 0.8%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%

4 埼玉版ウーマノミクス
プロジェクト
(問14～問17)

4 埼玉版ウーマノミクスプロジェクト

埼玉県では現在、女性の活躍を進める「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を実施しています。

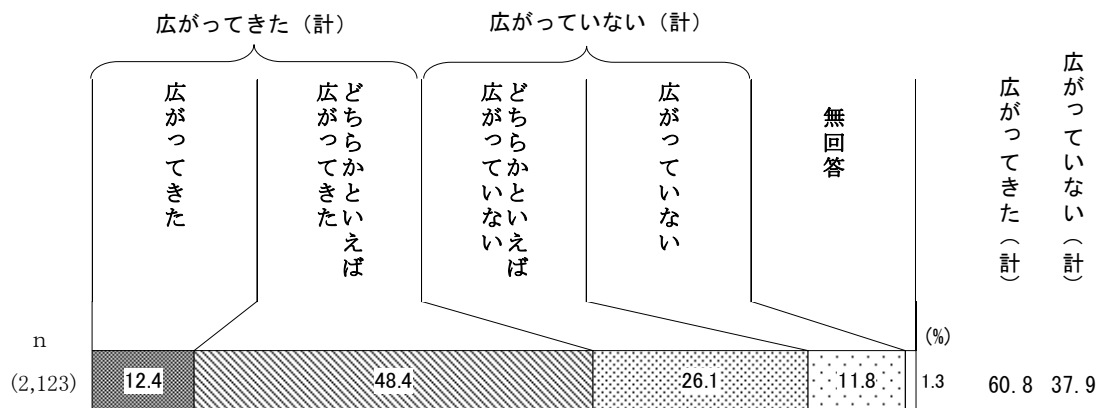
日本の生産年齢人口が減少する中、女性が就業や起業をし経済力が高まることで消費や投資の担い手となり、それにより地域経済が活性化し、更なる雇用の拡大につながるといった好循環を生み出すことを目指します。

※ウーマノミクスとは、ウーマン（Women：女性）＋エコノミクス（Economics：経済）の造語で、女性の活躍により経済活性化を図ろうという考え方です。

（１）女性の活躍を応援する風潮の広がり

◇『広がってきた（計）』60.8%、『広がっていない（計）』37.9%

問14 あなたは、ここ2～3年の間に女性の活躍を応援する風潮が社会に広がってきたと思いますか。



女性の活躍を応援する風潮は、『広がってきた（計）』が60.8%、『広がっていない（計）』が37.9%となっている。

【属性別比較】

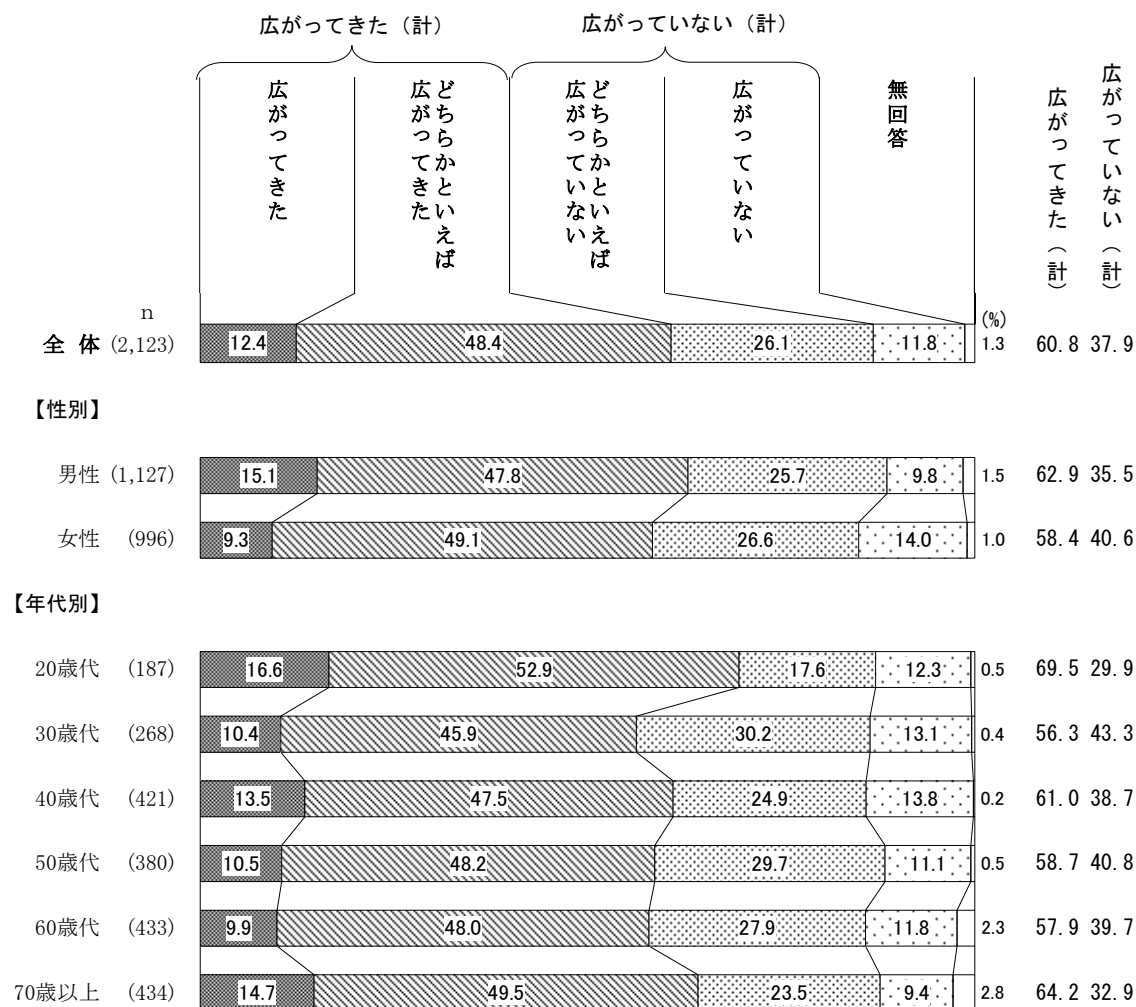
①性別

『広がってきた（計）』は男性（62.9%）が女性（58.4%）を4.5ポイント上回っている。

②年代別

『広がってきた（計）』は20歳代（69.5%）で最も高く約7割となっている。一方、『広がっていない（計）』は30歳代（43.3%）で最も高くなっている。

○女性の活躍を応援する風潮の広がり・性別／年代別



③地域別

『広がってきた (計)』は南西部地域 (69.5%) で約7割と最も高くなっている。一方、『広がっていない (計)』は県央地域 (47.9%) で最も高くなっている。

④性・年代別

『広がってきた (計)』は男性20歳代 (70.6%) で約7割と最も高くなっている。一方、『広がっていない (計)』は女性30歳代 (53.2%) で最も高くなっている。

⑤職業別

職業別による大きな違いはみられない。

⑥ライフステージ別

『広がってきた (計)』は家族形成期 (68.1%) で最も高くなっている。

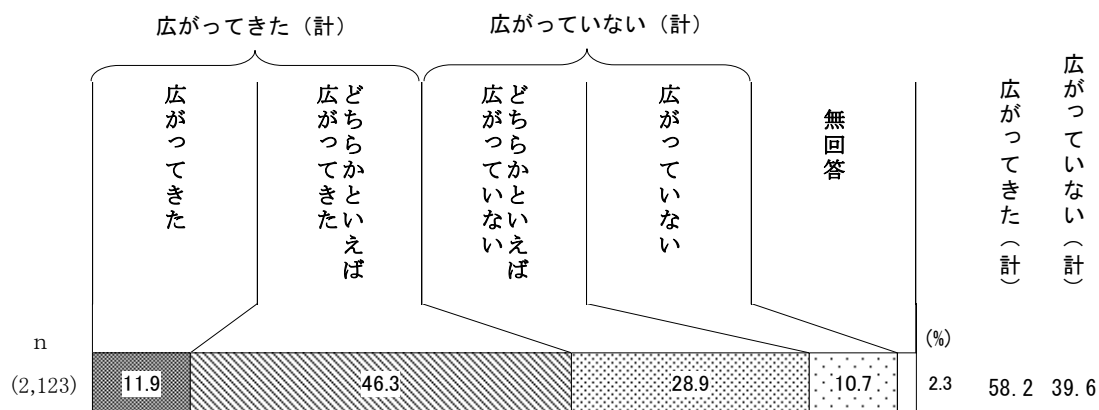
○女性の活躍を応援する風潮の広がり・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	広がってきた	どちらかといえば広がってきた	どちらかといえば広がっていない	広がっていない	無回答	(%)	
							広がってきた(計)	広がっていない(計)
全 体	2,123	12.4	48.4	26.1	11.8	1.3	60.8	37.9
地域別								
南部地域	224	13.8	48.2	27.7	10.3	—	62.0	38.0
南西部地域	187	12.8	56.7	18.2	11.8	0.5	69.5	30.0
東部地域	321	11.5	46.7	24.3	15.6	1.9	58.2	39.9
さいたま地域	378	14.3	49.5	24.6	9.0	2.6	63.8	33.6
県央地域	142	10.6	40.8	32.4	15.5	0.7	51.4	47.9
川越比企地域	243	13.2	48.1	26.7	11.5	0.4	61.3	38.2
西部地域	224	12.9	48.2	26.3	11.2	1.3	61.1	37.5
利根地域	223	9.4	47.5	31.4	9.9	1.8	56.9	41.3
北部地域	154	11.7	48.7	27.3	11.7	0.6	60.4	39.0
秩父地域	27	7.4	48.1	22.2	22.2	—	55.5	44.4
性・年代別								
男性・20歳代	102	25.5	45.1	18.6	10.8	—	70.6	29.4
30歳代	144	15.3	49.3	23.6	11.1	0.7	64.6	34.7
40歳代	214	19.6	44.9	24.8	10.3	0.5	64.5	35.1
50歳代	216	11.6	50.5	28.7	8.8	0.5	62.1	37.5
60歳代	220	9.5	49.5	26.4	10.9	3.6	59.0	37.3
70歳以上	231	14.7	46.8	27.7	8.2	2.6	61.5	35.9
女性・20歳代	85	5.9	62.4	16.5	14.1	1.2	68.3	30.6
30歳代	124	4.8	41.9	37.9	15.3	—	46.7	53.2
40歳代	207	7.2	50.2	25.1	17.4	—	57.4	42.5
50歳代	164	9.1	45.1	31.1	14.0	0.6	54.2	45.1
60歳代	213	10.3	46.5	29.6	12.7	0.9	56.8	42.3
70歳以上	203	14.8	52.7	18.7	10.8	3.0	67.5	29.5
職業別								
自営業・家族従業(計)	223	14.3	45.7	25.6	12.6	1.8	60.0	38.2
雇用者(計)	1,106	12.9	48.4	26.0	12.2	0.5	61.3	38.2
無職(計)	790	10.9	49.4	26.5	11.0	2.3	60.3	37.5
ライフステージ別								
独身期	236	15.7	49.6	22.5	11.9	0.4	65.3	34.4
家族形成期	154	11.0	57.1	22.7	9.1	—	68.1	31.8
家族成長前期	216	10.6	46.3	24.1	18.5	0.5	56.9	42.6
家族成長後期	196	12.2	44.9	34.2	8.2	0.5	57.1	42.4
家族成熟期	470	11.1	47.9	27.0	13.4	0.6	59.0	40.4
高齢期	528	13.4	49.6	24.1	10.2	2.7	63.0	34.3
その他	323	12.1	45.8	29.1	10.8	2.2	57.9	39.9

(2) 女性の活躍する場の広がり

◇『広がってきた（計）』58.2%、『広がっていない（計）』39.6%

問15 あなたは、ここ2～3年の間に仕事や消費などの経済活動において、女性が活躍する場が広がってきたと思いますか。



女性の活躍する場は、『広がってきた（計）』が58.2%、『広がっていない（計）』が39.6%となっている。

【属性別比較】

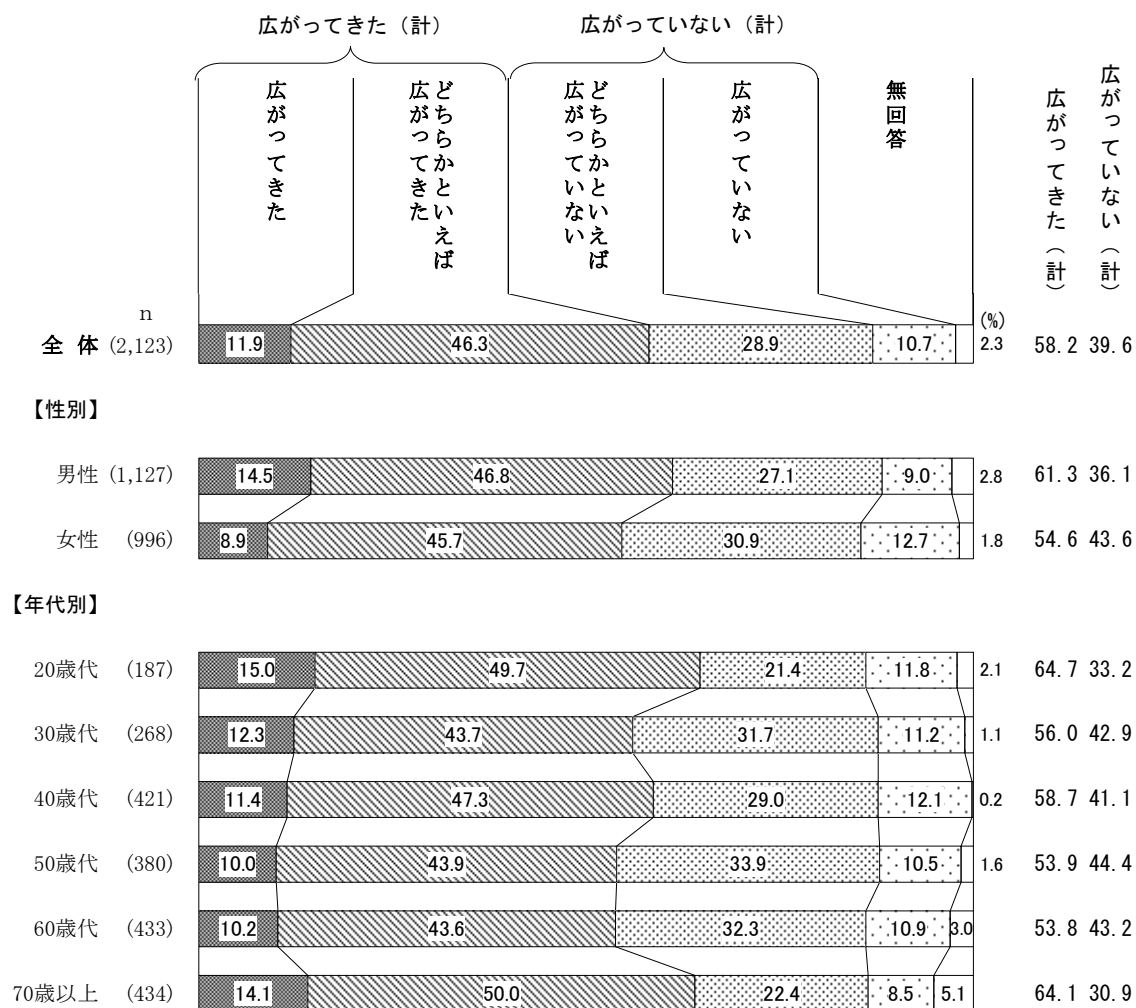
①性別

『広がってきた（計）』は男性（61.3%）が女性（54.6%）よりも6.7ポイント高くなっている。

②年代別

『広がってきた（計）』は20歳代（64.7%）で最も高くなっている。

○女性の活躍する場の広がり・性別／年代別



③地域別

『広がってきた (計)』は南西部地域 (68.4%) で最も高くなっている。一方、『広がっていない (計)』は秩父地域 (51.8%) で最も高くなっている。

④性・年代別

『広がってきた (計)』は男性20歳代 (67.6%) で最も高くなっている。一方、『広がっていない (計)』は女性30歳代 (54.0%) で最も高くなっている。

⑤職業別

職業別による大きな違いはみられない。

⑥ライフステージ別

『広がってきた (計)』は独身期 (64.0%) で最も高くなっている。

○女性の活躍する場の広がり・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

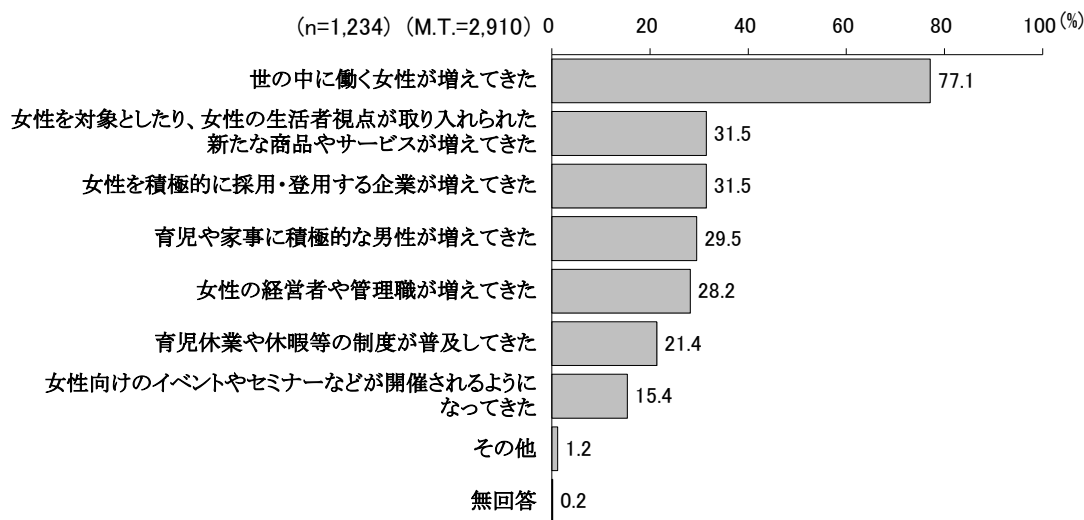
	調査数 n	広がってきた	どちらかといえば広がってきた	どちらかといえば広がっていない	広がっていない	無回答	広がってきた(計)	広がっていない(計)
全 体	2,123	11.9	46.3	28.9	10.7	2.3	58.2	39.6
地域別								
南部地域	224	11.6	40.6	35.3	12.1	0.4	52.2	47.4
南西部地域	187	12.3	56.1	21.4	8.0	2.1	68.4	29.4
東部地域	321	11.8	45.8	26.5	13.4	2.5	57.6	39.9
さいたま地域	378	14.0	47.4	27.5	7.7	3.4	61.4	35.2
県央地域	142	9.9	46.5	31.7	10.6	1.4	56.4	42.3
川越比企地域	243	12.8	45.7	29.2	11.5	0.8	58.5	40.7
西部地域	224	10.7	45.5	29.5	10.7	3.6	56.2	40.2
利根地域	223	9.9	47.5	31.4	8.5	2.7	57.4	39.9
北部地域	154	12.3	42.2	29.2	13.6	2.6	54.5	42.8
秩父地域	27	7.4	37.0	29.6	22.2	3.7	44.4	51.8
性・年代別								
男性・20歳代	102	22.5	45.1	21.6	7.8	2.9	67.6	29.4
30歳代	144	17.4	47.9	24.3	9.0	1.4	65.3	33.3
40歳代	214	15.9	46.7	27.6	9.3	0.5	62.6	36.9
50歳代	216	11.1	45.4	32.9	9.3	1.4	56.5	42.2
60歳代	220	10.0	45.9	29.5	10.0	4.5	55.9	39.5
70歳以上	231	15.2	48.9	22.9	7.8	5.2	64.1	30.7
女性・20歳代	85	5.9	55.3	21.2	16.5	1.2	61.2	37.7
30歳代	124	6.5	38.7	40.3	13.7	0.8	45.2	54.0
40歳代	207	6.8	47.8	30.4	15.0	-	54.6	45.4
50歳代	164	8.5	42.1	35.4	12.2	1.8	50.6	47.6
60歳代	213	10.3	41.3	35.2	11.7	1.4	51.6	46.9
70歳以上	203	12.8	51.2	21.7	9.4	4.9	64.0	31.1
職業別								
自営業・家族従業(計)	223	15.2	42.6	26.5	12.1	3.6	57.8	38.6
雇用者(計)	1,106	11.8	46.9	29.0	10.9	1.3	58.7	39.9
無職(計)	790	10.9	46.6	29.4	10.0	3.2	57.5	39.4
ライフステージ別								
独身期	236	14.4	49.6	22.9	11.0	2.1	64.0	33.9
家族形成期	154	12.3	49.4	27.9	10.4	-	61.7	38.3
家族成長前期	216	11.6	44.0	30.1	13.4	0.9	55.6	43.5
家族成長後期	196	11.2	48.0	32.7	7.7	0.5	59.2	40.4
家族成熟期	470	10.6	45.5	31.1	11.3	1.5	56.1	42.4
高齢期	528	13.4	46.8	26.1	9.5	4.2	60.2	35.6
その他	323	9.6	43.0	31.9	11.8	3.7	52.6	43.7

（３）女性が活躍する場が広がってきたと思う理由

◇「世の中に働く女性が増えてきた」77.1%

（問15で「広がってきた」「どちらかといえば広がってきた」のいずれかを答えた方に）

問15-1 あなたが、経済活動の分野で女性が活躍する場が広がってきたと思うのは、どういったことからですか。次の中から3つまで選んでください。



女性が活躍する場が広がってきたと思う理由は、「世の中に働く女性が増えてきた」（77.1%）が最も高くなっている。

【属性別比較】

①地域別

「女性を対象としたり、女性の生活者視点を取り入れられた新たな商品やサービスが増えてきた」は南部地域（42.7%）で最も高くなっている。

②性別

「女性を対象としたり、女性の生活者視点を取り入れられた新たな商品やサービスが増えてきた」は女性（35.8%）が男性（28.1%）を7.7ポイント上回っている。一方、「女性を積極的に採用・登用する企業が増えてきた」は男性（36.7%）が女性（25.0%）を11.7ポイント上回っている。

③年代別

「女性を対象としたり、女性の生活者視点を取り入れられた新たな商品やサービスが増えてきた」の割合は年代が下がるにつれて増加傾向にあり、20歳代（38.0%）で最も高くなっている。

④性・年代別

「女性を対象としたり、女性の生活者視点が入り入れられた新たな商品やサービスが増えてきた」は女性20歳代（53.8%）で最も高くなっている。

⑤職業別

「育児休業や休暇等の制度が普及してきた」は雇用者（計）（25.8%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「育児休業や休暇等の制度が普及してきた」は家族形成期（31.6%）で最も高くなっている。

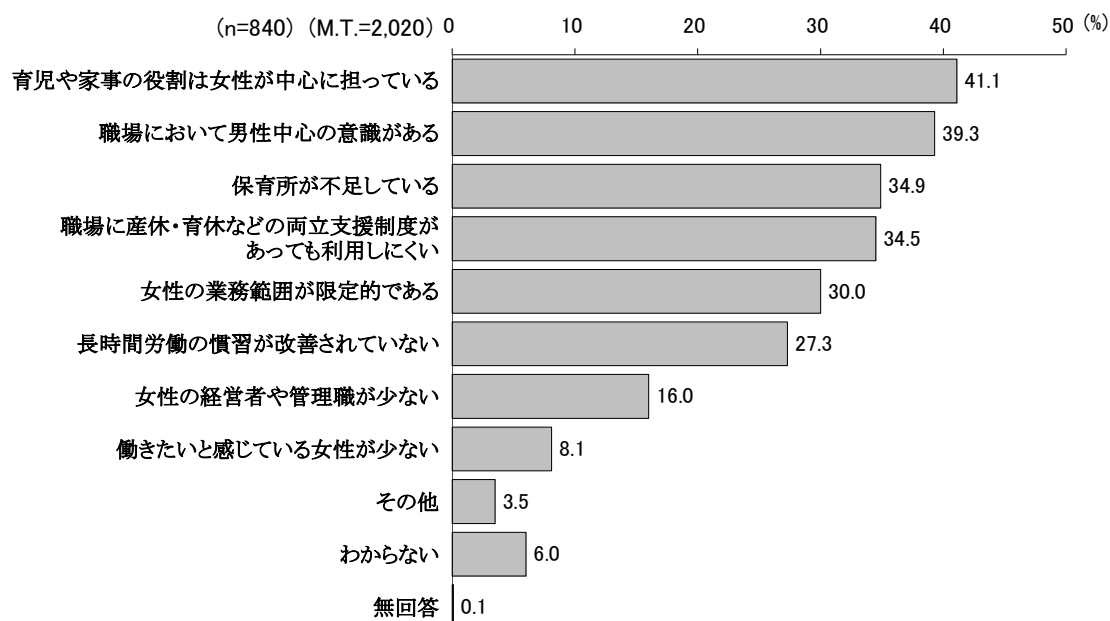
○女性が活躍する場が広がってきたと思う理由・地域別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

	調査数	世の中に働く女性が増えた	女性をターゲットとしたサービスが増えた	女性が積極的に採用・登用する企業が増えた	育児や家事に積極的な男性が増えた	女性の経営者や管理職が増えた	育児休業や休暇等の制度が普及した	女性向けのイベントやセミナーなどが開催されるようになった	その他	(%) 無回答
全体	1,234	77.1	31.5	31.5	29.5	28.2	21.4	15.4	1.2	0.2
地域別										
南部地域	117	70.9	42.7	37.6	32.5	36.8	23.1	15.4	1.7	0.9
南西部地域	128	71.1	29.7	28.1	26.6	34.4	19.5	15.6	1.6	1.6
東部地域	185	80.0	29.2	32.4	24.9	23.8	18.4	11.9	-	-
さいたま地域	232	74.6	32.3	29.7	33.2	30.2	24.6	15.9	0.9	-
県央地域	80	78.8	33.8	28.8	35.0	25.0	20.0	21.3	1.3	-
川越比企地域	142	81.7	24.6	35.9	20.4	21.8	24.6	17.6	1.4	-
西部地域	126	81.7	27.8	29.4	28.6	29.4	18.3	10.3	2.4	-
利根地域	128	76.6	33.6	25.0	35.9	27.3	18.0	18.0	2.3	-
北部地域	84	78.6	35.7	38.1	28.6	26.2	21.4	14.3	-	-
秩父地域	12	83.3	16.7	41.7	50.0	16.7	50.0	25.0	-	-
性別										
男性	690	76.5	28.1	36.7	25.7	30.0	21.3	14.2	1.6	0.1
女性	544	77.8	35.8	25.0	34.4	25.9	21.5	16.9	0.7	0.4
年代別										
20歳代	121	80.2	38.0	37.2	19.8	25.6	19.8	17.4	-	-
30歳代	150	74.7	36.7	27.3	24.0	30.0	22.0	15.3	1.3	-
40歳代	247	75.3	35.2	24.3	29.6	34.0	20.6	15.4	0.8	-
50歳代	205	74.1	35.1	35.6	33.2	28.8	29.3	14.6	1.0	-
60歳代	233	75.1	30.9	29.6	34.8	28.3	20.2	15.0	2.1	0.4
70歳以上	278	82.4	20.5	36.3	29.5	22.7	17.6	15.5	1.4	0.7
性・年代別										
男性・20歳代	69	81.2	26.1	44.9	20.3	26.1	14.5	15.9	-	-
30歳代	94	73.4	29.8	36.2	21.3	34.0	20.2	16.0	1.1	-
40歳代	134	75.4	32.1	29.1	20.1	37.3	25.4	15.7	0.7	-
50歳代	122	75.4	32.8	43.4	28.7	27.0	27.0	13.1	0.8	-
60歳代	123	72.4	27.6	30.1	30.9	31.7	19.5	12.2	4.1	0.8
70歳以上	148	81.8	20.9	39.9	29.1	23.6	18.2	13.5	2.0	-
女性・20歳代	52	78.8	53.8	26.9	19.2	25.0	26.9	19.2	-	-
30歳代	56	76.8	48.2	12.5	28.6	23.2	25.0	14.3	1.8	-
40歳代	113	75.2	38.9	18.6	40.7	30.1	15.0	15.0	0.9	-
50歳代	83	72.3	38.6	24.1	39.8	31.3	32.5	16.9	1.2	-
60歳代	110	78.2	34.5	29.1	39.1	24.5	20.9	18.2	-	-
70歳以上	130	83.1	20.0	32.3	30.0	21.5	16.9	17.7	0.8	1.5
職業別										
自営業・家族従業（計）	129	77.5	34.1	27.9	27.1	30.2	11.6	17.8	3.1	-
雇用者（計）	650	76.0	32.3	32.3	28.6	31.5	25.8	14.3	1.1	-
無職（計）	454	78.4	29.7	31.5	31.3	22.7	17.8	16.3	0.9	0.7
ライフステージ別										
独身期	151	80.1	36.4	34.4	16.6	28.5	16.6	18.5	0.7	-
家族形成期	95	72.6	38.9	28.4	30.5	29.5	31.6	10.5	1.1	-
家族成長前期	120	75.8	35.8	29.2	28.3	23.3	19.2	14.2	-	-
家族成長後期	116	71.6	30.2	22.4	33.6	32.8	25.0	16.4	3.4	-
家族成熟期	264	75.8	31.1	31.8	34.5	29.9	26.1	15.5	1.9	-
高齢期	318	81.8	23.9	35.5	31.1	23.6	18.2	17.3	1.3	0.3
その他	170	74.7	35.9	30.6	27.6	33.5	17.6	11.8	-	1.2

（４）女性が活躍する場が広がっていないと思う理由

◇「育児や家事の役割は女性が中心に担っている」41.1%

（問15で「どちらかといえば広がっていない」「広がっていない」のいずれかを答えた方に）
問15-2 あなたが、経済活動の分野で女性が活躍する場が広がっていないと思うのは、なぜですか。次の中から3つまで選んでください。



女性が活躍する場が広がっていないと思う理由は、「育児や家事の役割は女性が中心に担っている」（41.1%）が最も高く、次いで「職場において男性中心の意識がある」（39.3%）、「保育所が不足している」（34.9%）、「職場に産休・育休などの両立支援制度があっても利用しにくい」（34.5%）などとなっている。

【属性別比較】

①地域別

女性が活躍する場が広がっていないと思う理由は、地域により多少ばらつきがみられる。

②性別

「育児や家事の役割は女性が中心に担っている」は女性（51.2%）が男性（30.3%）を20.9ポイント上回っている。

③年代別

「保育所が不足している」は30歳代（43.5%）で最も高くなっている。

④性・年代別

「職場に産休・育休などの両立支援制度があっても利用しにくい」は女性20歳代（50.0%）で最も高くなっている。

⑤職業別

「育児や家事の役割は女性が中心に担っている」は無職（計）（47.3%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「職場に産休・育休などの両立支援制度があっても利用しにくい」は家族形成期（52.5%）で最も高くなっている。

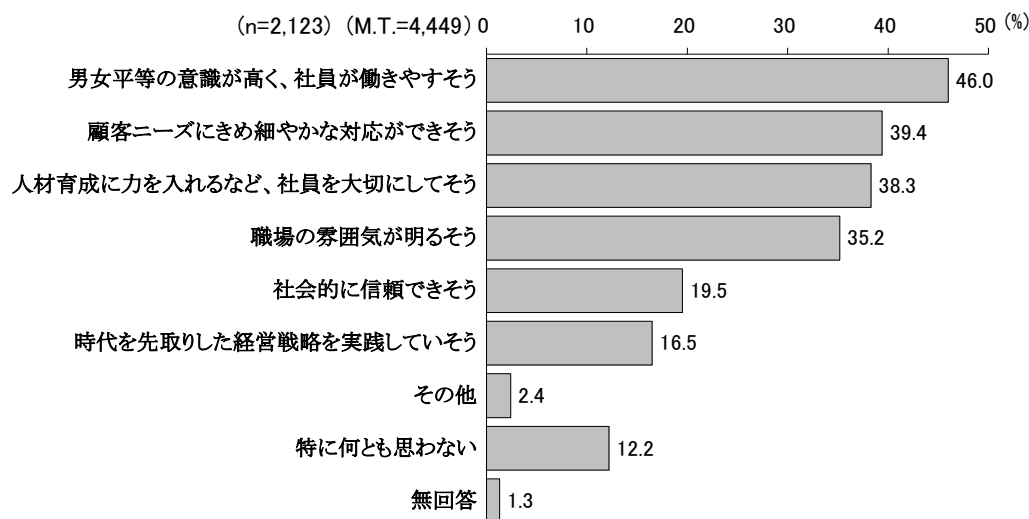
○女性が活躍する場が広がっていないと思う理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	子育て が中心に 家事の 役割を 担っている 女性	職場に おいて 男性 中心	保育 所が 不足 している	職場に 産休・ 育休 などの 両立 支援 制度が あっても 利用し にくい	女性の 業務 範囲が 限定 である	長時間 労働の 慣習が 改 善され ていない	女性の 経営者 や管理 職が 少ない	働きたい と感じ ていない 女性	その他	わからない	無 回答
全 体	840	41.1	39.3	34.9	34.5	30.0	27.3	16.0	8.1	3.5	6.0	0.1
地域別												
南部地域	106	43.4	44.3	40.6	29.2	33.0	31.1	16.0	5.7	1.9	5.7	-
南西部地域	55	30.9	34.5	47.3	30.9	23.6	30.9	18.2	12.7	9.1	5.5	-
東部地域	128	36.7	34.4	37.5	40.6	28.1	23.4	10.2	6.3	3.9	6.3	-
さいたま地域	133	42.1	36.1	40.6	27.8	32.3	27.8	14.3	8.3	4.5	6.8	-
県央地域	60	38.3	35.0	40.0	35.0	35.0	18.3	18.3	5.0	6.7	6.7	-
川越比企地域	99	41.4	35.4	29.3	37.4	26.3	25.3	23.2	9.1	1.0	6.1	-
西部地域	90	38.9	43.3	34.4	42.2	25.6	27.8	11.1	8.9	4.4	3.3	1.1
利根地域	89	48.3	51.7	19.1	28.1	33.7	34.8	19.1	7.9	1.1	3.4	-
北部地域	66	47.0	43.9	24.2	43.9	31.8	27.3	21.2	6.1	1.5	6.1	-
秩父地域	14	42.9	14.3	35.7	21.4	28.6	14.3	-	35.7	-	28.6	-
性別												
男性	406	30.3	41.9	33.7	34.5	36.0	26.4	17.7	8.4	3.4	6.9	-
女性	434	51.2	36.9	35.9	34.6	24.4	28.1	14.3	7.8	3.5	5.1	0.2
年代別												
20歳代	62	29.0	43.5	27.4	40.3	16.1	27.4	21.0	12.9	6.5	14.5	-
30歳代	115	46.1	27.8	43.5	42.6	26.1	27.8	13.9	5.2	4.3	5.2	-
40歳代	173	43.9	35.8	28.3	34.7	29.5	30.1	16.2	8.1	4.6	4.6	-
50歳代	169	41.4	46.2	33.1	32.5	32.0	27.8	20.7	7.1	2.4	2.4	-
60歳代	187	37.4	44.9	38.0	33.2	33.2	28.3	15.5	8.0	3.2	3.7	-
70歳以上	134	43.3	35.1	37.3	29.1	33.6	20.9	9.7	9.7	1.5	11.9	0.7
性・年代別												
男性・20歳代	30	23.3	43.3	33.3	30.0	23.3	26.7	16.7	10.0	6.7	16.7	-
30歳代	48	31.3	33.3	43.8	43.8	29.2	29.2	14.6	4.2	6.3	8.3	-
40歳代	79	25.3	38.0	26.6	38.0	41.8	26.6	17.7	6.3	5.1	6.3	-
50歳代	91	31.9	47.3	29.7	34.1	38.5	27.5	19.8	11.0	3.3	1.1	-
60歳代	87	26.4	43.7	39.1	32.2	34.5	27.6	24.1	9.2	2.3	6.9	-
70歳以上	71	40.8	42.3	33.8	29.6	38.0	21.1	9.9	8.5	-	9.9	-
女性・20歳代	32	34.4	43.8	21.9	50.0	9.4	28.1	25.0	15.6	6.3	12.5	-
30歳代	67	56.7	23.9	43.3	41.8	23.9	26.9	13.4	6.0	3.0	3.0	-
40歳代	94	59.6	34.0	29.8	31.9	19.1	33.0	14.9	9.6	4.3	3.2	-
50歳代	78	52.6	44.9	37.2	30.8	24.4	28.2	21.8	2.6	1.3	3.8	-
60歳代	100	47.0	46.0	37.0	34.0	32.0	29.0	8.0	7.0	4.0	1.0	-
70歳以上	63	46.0	27.0	41.3	28.6	28.6	20.6	9.5	11.1	3.2	14.3	1.6
職業別												
自営業・家族従業（計）	86	39.5	38.4	37.2	22.1	29.1	24.4	8.1	10.5	4.7	10.5	-
雇用者（計）	442	37.1	39.8	31.9	37.1	30.8	30.5	19.2	6.8	4.1	4.8	-
無職（計）	311	47.3	38.9	38.6	34.4	29.3	23.5	13.2	9.3	2.3	6.4	0.3
ライフステージ別												
独身期	80	35.0	42.5	27.5	33.8	22.5	21.3	17.5	10.0	6.3	13.8	-
家族形成期	59	35.6	33.9	42.4	52.5	22.0	35.6	22.0	5.1	5.1	3.4	-
家族成長前期	94	54.3	21.3	46.8	47.9	22.3	33.0	13.8	8.5	3.2	2.1	-
家族成長後期	79	46.8	44.3	29.1	34.2	25.3	26.6	19.0	10.1	1.3	3.8	-
家族成熟期	199	38.2	45.7	32.2	32.7	30.2	26.1	16.6	7.0	2.0	4.0	0.5
高齢期	188	46.3	36.2	41.5	29.8	31.9	24.5	9.0	8.5	2.7	9.0	-
その他	141	31.9	44.0	26.2	27.7	42.6	29.1	20.6	7.8	5.7	5.0	-

（５）女性の活躍推進に取り組んでいる企業のイメージ

◇「男女平等の意識が高く、社員が働きやすそう」46.0%

問16 あなたは、女性の活躍推進に取り組んでいる企業をどのように思いますか。次の中から3つまで選んでください。



女性の活躍推進に取り組んでいる企業のイメージは、「男女平等の意識が高く、社員が働きやすそう」（46.0%）が最も高く、次いで「顧客ニーズにきめ細やかな対応ができそう」（39.4%）、「人材育成に力を入れるなど、社員を大切にそう」（38.3%）、「職場の雰囲気が明るそう」（35.2%）などとなっている。

【属性別比較】

①地域別

「男女平等の意識が高く、社員が働きやすそう」は北部地域（54.5%）で最も高くなっている。

②性別

「職場の雰囲気が明るそう」は男性（40.6%）が女性（29.1%）を11.5ポイント上回っている。

③年代別

「顧客ニーズにきめ細やかな対応ができそう」、「人材育成に力を入れるなど、社員を大切にそう」は50歳代と60歳代で4割を超えて高くなっている。

④性・年代別

「男女平等の意識が高く、社員が働きやすそう」は女性の20歳代（54.1%）と30歳代（50.0%）で5割以上と高くなっている。

⑤職業別

「顧客ニーズにきめ細やかな対応ができそう」は自営業・家族従業（計）（45.3%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「男女平等の意識が高く、社員が働きやすそう」は家族形成期（51.9%）で5割を超えて最も高くなっている。

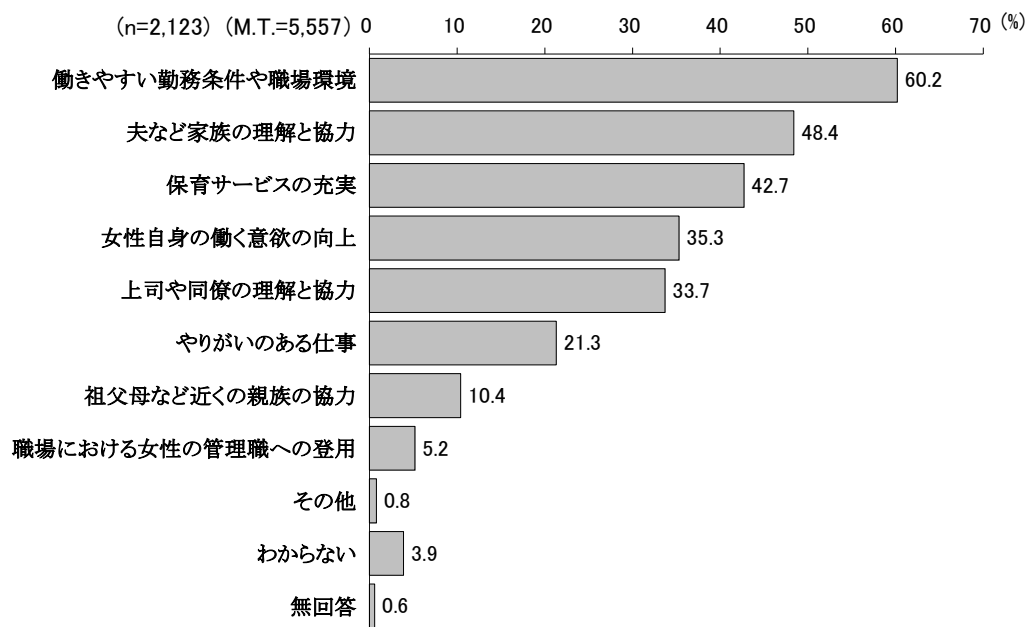
○女性の活躍推進に取り組んでいる企業のイメージ・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	働く男女 の平等が 意識が 高そう	顧客 ニーズに きめ細 やか	人材育 成に力 を入 れ	職場 の雰囲 気が 明る い	社会的 に信頼 でき そう	戦時 代を先 取りし た経営 を実 践して いる	その他	特に何 とも思 わない	無回 答
	n									(%)
全 体	2,123	46.0	39.4	38.3	35.2	19.5	16.5	2.4	12.2	1.3
地域別										
南部地域	224	48.7	44.6	42.4	36.2	26.8	21.9	1.3	7.6	0.9
南西部地域	187	44.4	39.6	36.9	29.4	15.0	18.2	3.7	15.0	1.1
東部地域	321	43.6	34.6	32.1	36.4	14.6	14.0	2.8	16.8	0.9
さいたま地域	378	45.2	41.3	38.1	35.4	19.0	15.3	2.6	10.8	2.6
県央地域	142	47.2	41.5	32.4	36.6	19.0	13.4	1.4	12.7	1.4
川越比企地域	243	42.8	37.9	39.9	28.8	25.9	14.8	2.1	13.2	0.8
西部地域	224	45.5	38.8	38.8	38.4	21.4	17.0	2.7	9.4	0.9
利根地域	223	47.1	39.9	39.0	34.1	12.6	19.7	3.1	13.5	0.9
北部地域	154	54.5	39.0	46.8	42.9	22.7	15.6	0.6	9.1	1.3
秩父地域	27	40.7	33.3	48.1	40.7	18.5	14.8	3.7	18.5	-
性別										
男性	1,127	44.8	39.5	34.1	40.6	19.2	14.1	2.3	13.8	1.5
女性	996	47.3	39.4	43.1	29.1	19.8	19.3	2.5	10.4	1.0
年代別										
20歳代	187	49.7	39.6	37.4	37.4	18.2	12.3	1.6	11.8	-
30歳代	268	45.9	36.2	36.9	36.9	15.7	11.9	3.0	15.3	1.5
40歳代	421	41.8	39.0	36.1	32.8	17.3	14.5	1.4	15.0	0.7
50歳代	380	49.2	43.4	40.5	30.5	17.6	21.6	1.6	11.1	0.5
60歳代	433	48.5	43.6	41.6	36.3	22.6	19.6	2.8	8.1	1.2
70歳以上	434	43.1	34.1	36.4	38.7	22.8	15.7	3.7	13.1	3.0
性・年代別										
男性・20歳代	102	46.1	37.3	31.4	45.1	16.7	4.9	2.9	17.6	-
30歳代	144	42.4	34.7	31.9	40.3	14.6	9.7	4.2	18.1	2.1
40歳代	214	39.7	37.9	32.2	39.7	19.2	10.3	-	15.4	1.4
50歳代	216	49.5	42.6	35.6	35.2	16.7	19.9	0.5	15.3	0.5
60歳代	220	47.7	43.6	37.7	42.7	21.4	16.4	3.2	9.5	1.8
70歳以上	231	43.3	38.1	33.3	42.9	23.4	16.9	3.9	10.8	2.6
女性・20歳代	85	54.1	42.4	44.7	28.2	20.0	21.2	-	4.7	-
30歳代	124	50.0	37.9	42.7	33.1	16.9	14.5	1.6	12.1	0.8
40歳代	207	44.0	40.1	40.1	25.6	15.5	18.8	2.9	14.5	-
50歳代	164	48.8	44.5	47.0	24.4	18.9	23.8	3.0	5.5	0.6
60歳代	213	49.3	43.7	45.5	29.6	23.9	23.0	2.3	6.6	0.5
70歳以上	203	42.9	29.6	39.9	34.0	22.2	14.3	3.4	15.8	3.4
職業別										
自営業・家族従業（計）	223	44.8	45.3	33.2	35.9	19.3	13.9	1.3	15.2	1.3
雇用者（計）	1,106	47.7	39.3	39.2	37.2	18.1	15.6	2.3	12.1	0.6
無職（計）	790	43.9	38.0	38.6	32.4	21.3	18.6	2.8	11.6	2.0
ライフステージ別										
独身期	236	46.2	35.6	35.6	36.4	15.3	9.3	2.1	16.5	-
家族形成期	154	51.9	39.6	37.7	30.5	20.1	18.2	2.6	11.7	1.9
家族成長前期	216	44.9	42.1	36.6	36.6	17.6	15.3	1.4	11.1	0.5
家族成長後期	196	41.8	39.3	45.9	35.2	16.3	11.7	2.0	11.7	1.0
家族成熟期	470	47.7	44.7	41.3	38.3	19.6	19.1	1.9	10.0	1.1
高齢期	528	45.5	37.5	37.3	36.0	23.3	17.4	4.0	11.2	2.1
その他	323	44.6	35.9	34.4	30.0	18.9	19.5	1.5	15.5	1.5

（６）女性がいきいきと働くために必要なこと

◇「働きやすい勤務条件や職場環境」60.2%

問17 あなたは、女性がいきいきと働くために必要なことは何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



女性がいきいきと働くために必要なことは、「働きやすい勤務条件や職場環境」（60.2%）が6割と最も高くなっている。

【属性別比較】

①地域別

「働きやすい勤務条件や職場環境」は南部地域（67.4%）で最も高くなっている。

②性別

「夫など家族の理解と協力」は女性（56.3%）が男性（41.3%）を15.0ポイント上回っている。

③年代別

「保育サービスの充実」は30歳代（58.2%）で最も高くなっている。

④性・年代別

「働きやすい勤務条件や職場環境」は女性20歳代（76.5%）で7割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤職業別

「働きやすい勤務条件や職場環境」は雇用者（計）（66.2%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「保育サービスの充実」は家族形成期（64.9%）で最も高くなっている。

○女性がいきいきと働くために必要なこと・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	働きやすい勤務条件や職場環境	夫など家族の理解と協力	保育サービスの充実	向女性自身の働く意欲の向上	上司や同僚の理解と協力	やりがいのある仕事	祖父母など近くの親族の協力	職場における女性の管理職への登用	その他	わからない	無回答
全 体	2,123	60.2	48.4	42.7	35.3	33.7	21.3	10.4	5.2	0.8	3.9	0.6
地域別												
南部地域	224	67.4	49.6	53.1	30.8	35.7	20.5	10.3	4.5	1.3	2.2	-
南西部地域	187	58.3	44.9	42.2	38.5	47.1	19.8	5.9	6.4	0.5	2.7	-
東部地域	321	64.2	50.5	38.0	37.7	29.6	16.8	10.0	4.0	0.9	5.0	-
さいたま地域	378	59.3	48.4	41.8	34.7	31.7	25.9	9.3	5.8	1.6	2.9	1.6
県央地域	142	59.9	54.2	43.0	31.7	32.4	19.0	12.0	4.2	0.7	3.5	-
川越比企地域	243	54.7	40.3	42.0	36.6	30.5	27.6	10.3	6.6	0.4	4.9	0.4
西部地域	224	62.1	48.2	43.3	32.6	29.9	25.9	8.9	5.4	0.9	1.3	0.4
利根地域	223	57.4	50.2	41.3	38.1	35.9	16.6	8.1	4.5	-	6.3	0.9
北部地域	154	55.8	51.3	40.9	39.0	39.6	15.6	22.1	4.5	-	4.5	1.3
株父地域	27	59.3	48.1	48.1	18.5	14.8	18.5	18.5	7.4	-	14.8	-
性別												
男性	1,127	56.5	41.3	44.5	38.2	32.4	18.5	10.8	6.1	1.0	5.1	0.8
女性	996	64.3	56.3	40.7	32.1	35.1	24.6	9.8	4.1	0.6	2.4	0.3
年代別												
20歳代	187	67.4	39.6	49.7	31.0	43.9	16.0	5.9	5.9	0.5	5.9	-
30歳代	268	61.6	50.0	58.2	25.0	38.8	16.0	11.6	4.9	0.4	2.2	-
40歳代	421	65.3	47.7	40.6	32.1	38.5	18.1	9.3	4.0	1.4	2.1	0.5
50歳代	380	63.4	50.5	40.8	35.0	32.9	24.2	8.2	5.8	0.8	4.2	0.3
60歳代	433	62.8	48.3	40.0	38.1	30.0	27.0	10.2	5.8	0.7	2.5	0.7
70歳以上	434	45.6	50.0	36.4	44.2	25.8	21.9	14.7	5.1	0.7	6.7	1.4
性・年代別												
男性・20歳代	102	59.8	37.3	49.0	29.4	44.1	14.7	4.9	7.8	-	7.8	-
30歳代	144	54.2	40.3	61.8	29.9	37.5	13.2	11.1	4.9	0.7	4.2	-
40歳代	214	60.3	33.6	42.5	35.5	35.5	14.5	9.3	5.1	2.3	3.3	0.9
50歳代	216	60.6	42.1	39.4	38.9	33.8	20.8	8.8	6.0	0.9	6.5	0.5
60歳代	220	59.5	44.5	41.8	42.3	27.3	24.1	10.5	8.2	0.9	3.2	1.4
70歳以上	231	46.3	47.2	40.7	45.0	24.7	19.5	16.9	5.2	0.4	6.9	1.3
女性・20歳代	85	76.5	42.4	50.6	32.9	43.5	17.6	7.1	3.5	1.2	3.5	-
30歳代	124	70.2	61.3	54.0	19.4	40.3	19.4	12.1	4.8	-	-	-
40歳代	207	70.5	62.3	38.6	28.5	41.5	21.7	9.2	2.9	0.5	1.0	-
50歳代	164	67.1	61.6	42.7	29.9	31.7	28.7	7.3	5.5	0.6	1.2	-
60歳代	213	66.2	52.1	38.0	33.8	32.9	30.0	9.9	3.3	0.5	1.9	-
70歳以上	203	44.8	53.2	31.5	43.3	27.1	24.6	12.3	4.9	1.0	6.4	1.5
職業別												
自営業・家族従業（計）	223	47.5	53.4	41.7	37.2	25.6	19.7	15.7	6.7	-	5.4	1.3
雇用者（計）	1,106	66.2	44.3	44.2	34.2	38.4	21.6	8.8	4.8	0.8	2.9	0.2
無職（計）	790	55.2	52.9	40.8	36.5	29.5	21.4	11.1	5.3	1.0	4.7	0.9
ライフステージ別												
独身期	236	62.7	36.0	47.9	32.6	43.2	18.6	7.6	6.4	0.4	6.8	-
家族形成期	154	65.6	53.9	64.9	22.7	38.3	13.0	9.1	4.5	0.6	0.6	-
家族成長前期	216	65.3	54.2	53.2	23.6	38.9	16.2	13.9	3.7	1.4	1.4	-
家族成長後期	196	61.7	55.6	33.2	34.7	38.3	21.4	9.7	4.1	1.0	2.0	1.0
家族成熟期	470	66.4	51.5	40.6	38.5	32.6	18.9	8.7	5.7	0.4	3.0	0.4
高齢期	528	48.5	51.1	38.6	40.0	27.5	24.8	14.2	5.5	0.9	5.1	0.9
その他	323	61.3	37.5	36.5	39.3	30.0	28.5	7.1	5.0	0.9	5.3	0.9

5 治水対策

(問18～問23)

5 治水対策

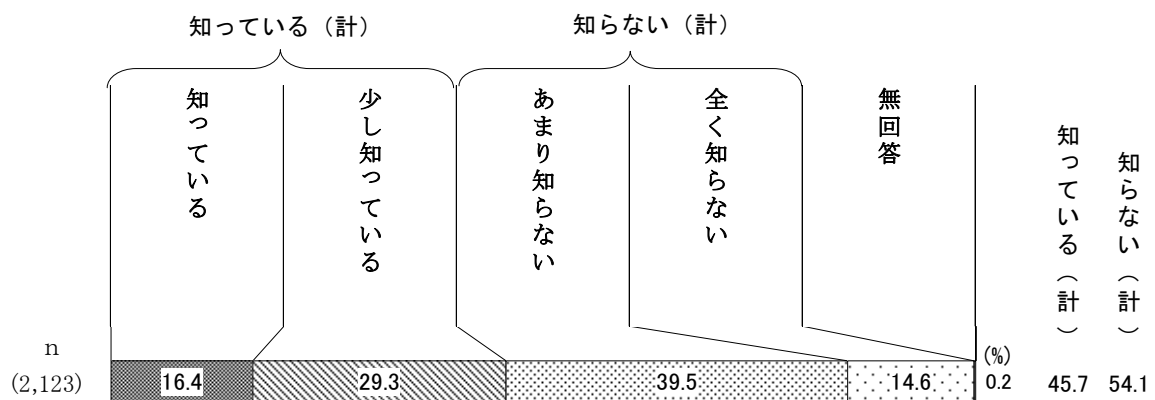
(1) 埼玉県内の水害発生状況の認知度

◇『知っている（計）』は45.7%

埼玉県では、河川整備などの進展に伴い、川から水があふれるような浸水被害は大きく減少しました。

一方で、もともと土地が低く水がはけにくい地域では、平均すると県内で毎年 1,000 棟を超える浸水被害が現在でも発生しています。

問18 あなたは、このような埼玉県内の水害発生状況をご存じですか。



埼玉県内の水害発生状況の認知度は、『知っている（計）』が45.7%、『知らない（計）』が54.1%となっている。

【属性別比較】

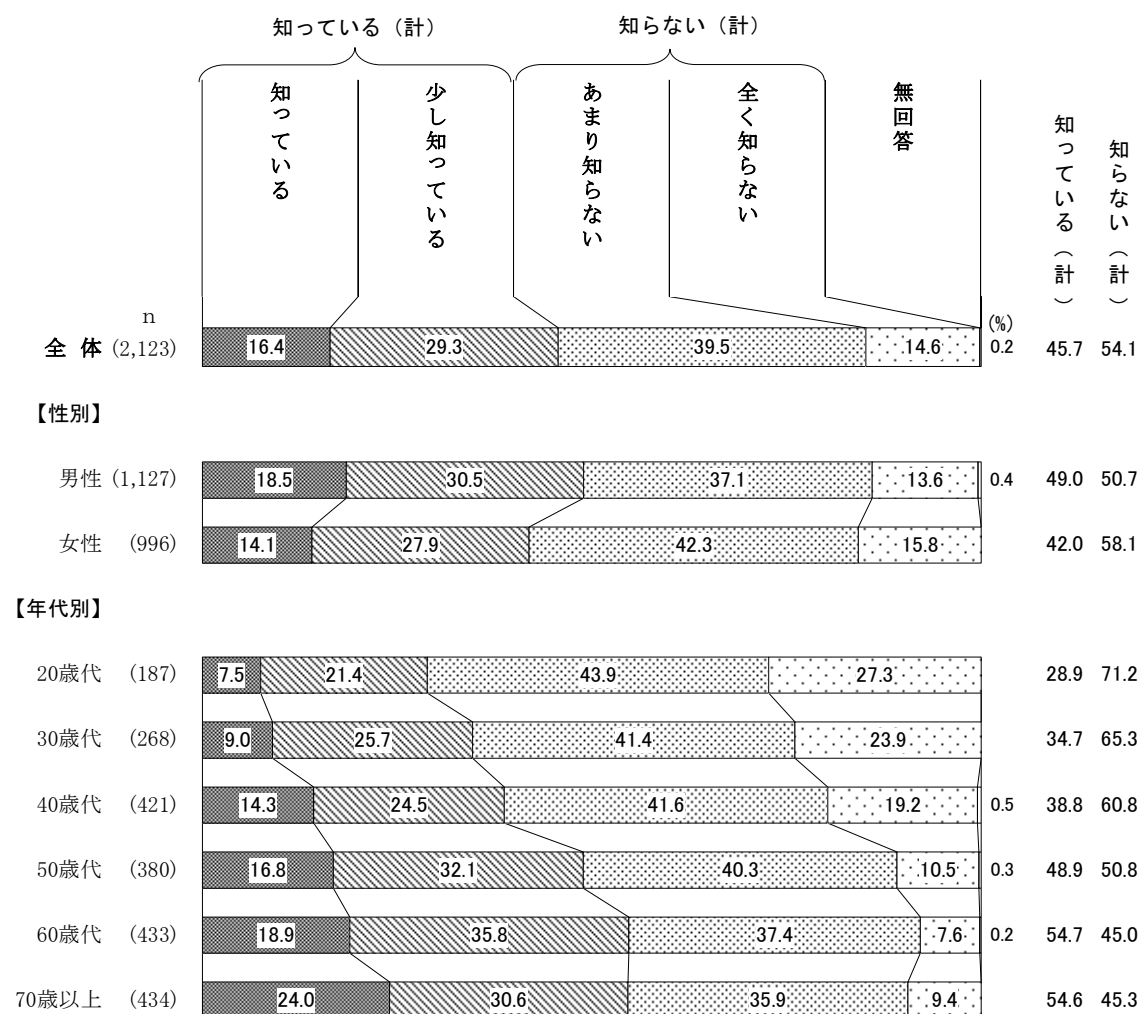
①性別

『知っている（計）』は男性（49.0%）が女性（42.0%）をやや上回っている。

②年代別

『知っている（計）』は年代が下がるにつれて割合が低くなる傾向にあり、20歳代（28.9%）では3割弱と最も低くなっている。

○埼玉県内の水害発生状況の認知度・性別／年代別



③地域別

『知っている (計)』は東部地域 (53.3%) と川越比企地域 (51.1%) で5割を超えて高くなっている。一方、『知らない (計)』は西部地域 (70.6%) と秩父地域 (70.4%) で約7割と高くなっている。

④性・年代別

『知っている (計)』は男女とも年代が下がるにつれて回答割合が低くなる傾向にあり、女性20歳代 (25.9%) で2割台半ばと最も低くなっている。

⑤職業別

『知っている (計)』は自営業・家族従業 (計) (52.9%) で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『知っている (計)』は家族成熟期 (53.4%) から高齢期 (53.4%) にかけて回答割合が高くなっている。

○埼玉県内の水害発生状況の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

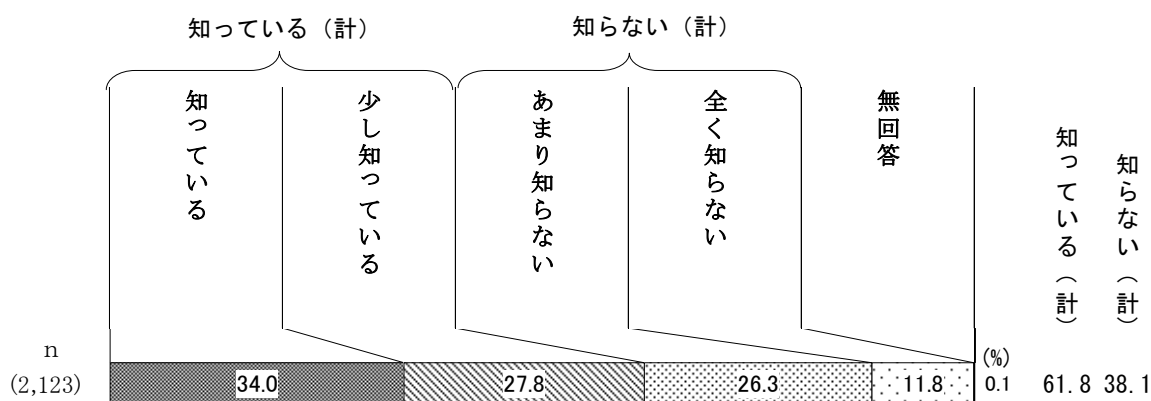
	調査数 n	知っている	少し知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	知っている (計)	知らない (計)
全 体	2,123	16.4	29.3	39.5	14.6	0.2	45.7	54.1
地域別								
南部地域	224	15.2	32.1	35.3	17.4	-	47.3	52.7
南西部地域	187	9.6	29.9	36.4	24.1	-	39.5	60.5
東部地域	321	23.1	30.2	34.9	11.5	0.3	53.3	46.4
さいたま地域	378	15.9	32.5	40.5	11.1	-	48.4	51.6
県央地域	142	16.9	26.8	40.8	15.5	-	43.7	56.3
川越比企地域	243	20.6	30.5	36.6	11.9	0.4	51.1	48.5
西部地域	224	10.3	19.2	51.8	18.8	-	29.5	70.6
利根地域	223	15.7	34.1	38.1	12.1	-	49.8	50.2
北部地域	154	16.2	26.0	42.2	14.3	1.3	42.2	56.5
秩父地域	27	18.5	11.1	51.9	18.5	-	29.6	70.4
性・年代別								
男性・20歳代	102	10.8	20.6	41.2	27.5	-	31.4	68.7
30歳代	144	11.1	26.4	38.9	23.6	-	37.5	62.5
40歳代	214	15.9	22.9	39.3	21.0	0.9	38.8	60.3
50歳代	216	17.1	38.0	36.1	8.3	0.5	55.1	44.4
60歳代	220	20.0	35.9	37.3	6.4	0.5	55.9	43.7
70歳以上	231	28.6	32.5	32.9	6.1	-	61.1	39.0
女性・20歳代	85	3.5	22.4	47.1	27.1	-	25.9	74.2
30歳代	124	6.5	25.0	44.4	24.2	-	31.5	68.6
40歳代	207	12.6	26.1	44.0	17.4	-	38.7	61.4
50歳代	164	16.5	24.4	45.7	13.4	-	40.9	59.1
60歳代	213	17.8	35.7	37.6	8.9	-	53.5	46.5
70歳以上	203	18.7	28.6	39.4	13.3	-	47.3	52.7
職業別								
自営業・家族従業（計）	223	19.7	33.2	34.1	11.7	1.3	52.9	45.8
雇用者（計）	1,106	14.2	27.9	41.1	16.6	0.1	42.1	57.7
無職（計）	790	18.5	30.0	39.0	12.5	-	48.5	51.5
ライフステージ別								
独身期	236	9.3	22.0	43.6	25.0	-	31.3	68.6
家族形成期	154	8.4	24.0	37.0	30.5	-	32.4	67.5
家族成長前期	216	8.8	24.5	47.2	19.4	-	33.3	66.6
家族成長後期	196	14.3	31.6	41.3	11.7	1.0	45.9	53.0
家族成熟期	470	18.5	34.9	37.7	8.9	-	53.4	46.6
高齢期	528	22.5	30.9	36.7	9.7	0.2	53.4	46.4
その他	323	18.6	28.2	38.7	14.2	0.3	46.8	52.9

（２）田畑や森林による保水・遊水機能の認知度

◇『知っている（計）』は61.8%

田畑や森林は、雨水を一時的に貯留したり、地下に浸透させる機能（保水・遊水機能といいます。）を有しており、これにより河川への流出を抑制し、浸水被害の軽減に役立っています。

問19 あなたは、このような機能をご存じですか。



田畑や森林による保水・遊水機能の認知度は、『知っている（計）』が61.8%、『知らない（計）』が38.1%となっている。

【属性別比較】

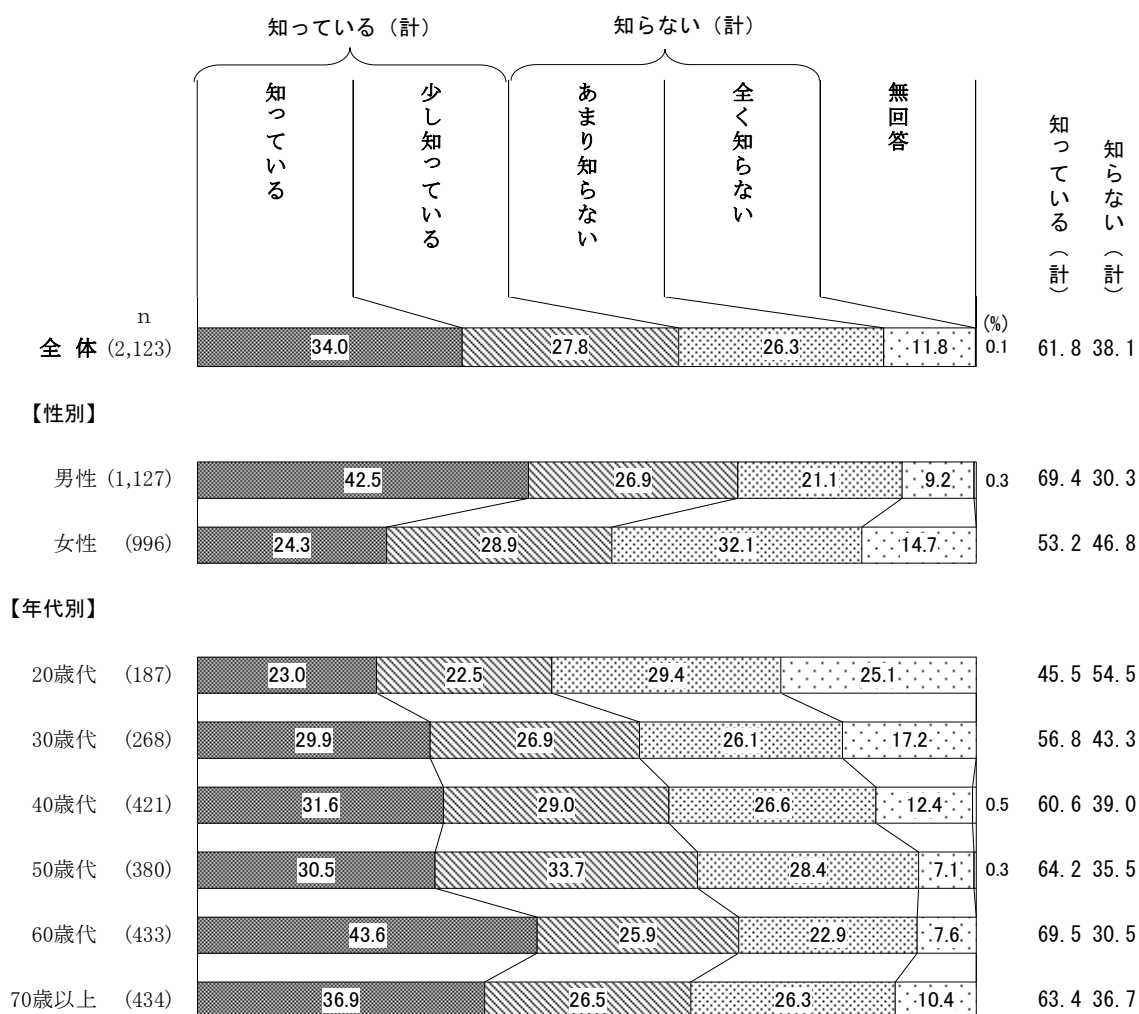
①性別

『知っている（計）』は男性（69.4%）が女性（53.2%）を大きく上回っている。

②年代別

『知っている（計）』は60歳代（69.5%）で約7割と最も高くなっている。

○田畑や森林による保水・遊水機能の認知度・性別／年代別



③地域別

『知っている (計)』はさいたま地域 (70.1%) で最も高くなっている。

④性・年代別

『知っている (計)』は男性の50歳代 (72.2%)、60歳代 (76.8%)、70歳以上 (77.1%) で7割台と高くなっている。

⑤職業別

『知っている (計)』は自営業・家族従業 (計) (66.8%) で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『知っている (計)』は家族成熟期 (67.4%) で最も高くなっている。

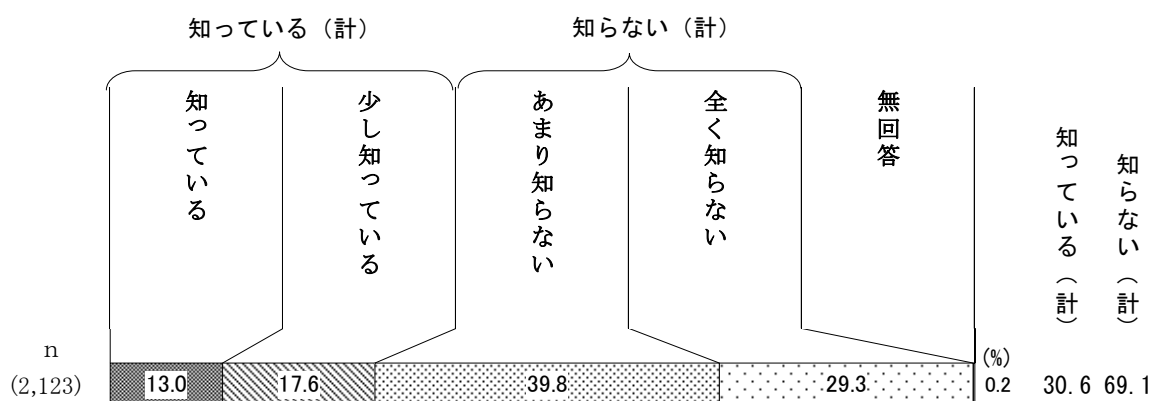
○田畑や森林による保水・遊水機能の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	知っている	少し知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	(%)	
							知っている (計)	知らない (計)
全 体	2,123	34.0	27.8	26.3	11.8	0.1	61.8	38.1
地域別								
南部地域	224	29.9	27.7	29.5	12.9	-	57.6	42.4
南西部地域	187	29.4	28.3	26.2	16.0	-	57.7	42.2
東部地域	321	33.3	29.6	25.5	11.5	-	62.9	37.0
さいたま地域	378	41.8	28.3	21.7	8.2	-	70.1	29.9
県央地域	142	33.1	26.8	27.5	12.7	-	59.9	40.2
川越比企地域	243	35.0	24.7	28.0	11.9	0.4	59.7	39.9
西部地域	224	29.5	25.0	29.9	15.6	-	54.5	45.5
利根地域	223	30.9	29.6	29.1	10.3	-	60.5	39.4
北部地域	154	35.7	31.8	20.8	10.4	1.3	67.5	31.2
秩父地域	27	44.4	18.5	29.6	7.4	-	62.9	37.0
性・年代別								
男性・20歳代	102	29.4	19.6	27.5	23.5	-	49.0	51.0
30歳代	144	36.1	27.1	20.1	16.7	-	63.2	36.8
40歳代	214	41.1	23.4	22.4	12.1	0.9	64.5	34.5
50歳代	216	36.6	35.6	24.1	3.2	0.5	72.2	27.3
60歳代	220	54.1	22.7	17.7	5.5	-	76.8	23.2
70歳以上	231	48.1	29.0	18.2	4.8	-	77.1	23.0
女性・20歳代	85	15.3	25.9	31.8	27.1	-	41.2	58.9
30歳代	124	22.6	26.6	33.1	17.7	-	49.2	50.8
40歳代	207	21.7	34.8	30.9	12.6	-	56.5	43.5
50歳代	164	22.6	31.1	34.1	12.2	-	53.7	46.3
60歳代	213	32.9	29.1	28.2	9.9	-	62.0	38.1
70歳以上	203	24.1	23.6	35.5	16.7	-	47.7	52.2
職業別								
自営業・家族従業（計）	223	37.7	29.1	23.8	8.5	0.9	66.8	32.3
雇用者（計）	1,106	33.3	28.6	25.9	12.1	0.1	61.9	38.0
無職（計）	790	33.8	26.5	27.6	12.2	-	60.3	39.8
ライフステージ別								
独身期	236	28.0	24.2	27.1	20.8	-	52.2	47.9
家族形成期	154	28.6	20.1	29.2	22.1	-	48.7	51.3
家族成長前期	216	25.5	32.9	26.9	14.8	-	58.4	41.7
家族成長後期	196	30.6	30.1	29.6	8.7	1.0	60.7	38.3
家族成熟期	470	38.3	29.1	24.0	8.5	-	67.4	32.5
高齢期	528	39.8	25.4	25.4	9.5	-	65.2	34.9
その他	323	32.8	31.6	26.6	8.7	0.3	64.4	35.3

（３）「埼玉県雨水流出抑制施設の設置等に関する条例」の認知度

◇『知っている（計）』 30.6%

問20 埼玉県では治水対策として雨水の流出を増加させるような開発行為等（田畑や森林の宅地化など）に対して、雨水の流出量を抑制する施設（調整池、浸透マスなど）の設置を条例で義務づけています。あなたは、このことをご存じですか。



「埼玉県雨水流出抑制施設の設置等に関する条例」の認知度は、『知っている（計）』が30.6%、『知らない（計）』が69.1%となっている。

【属性別比較】

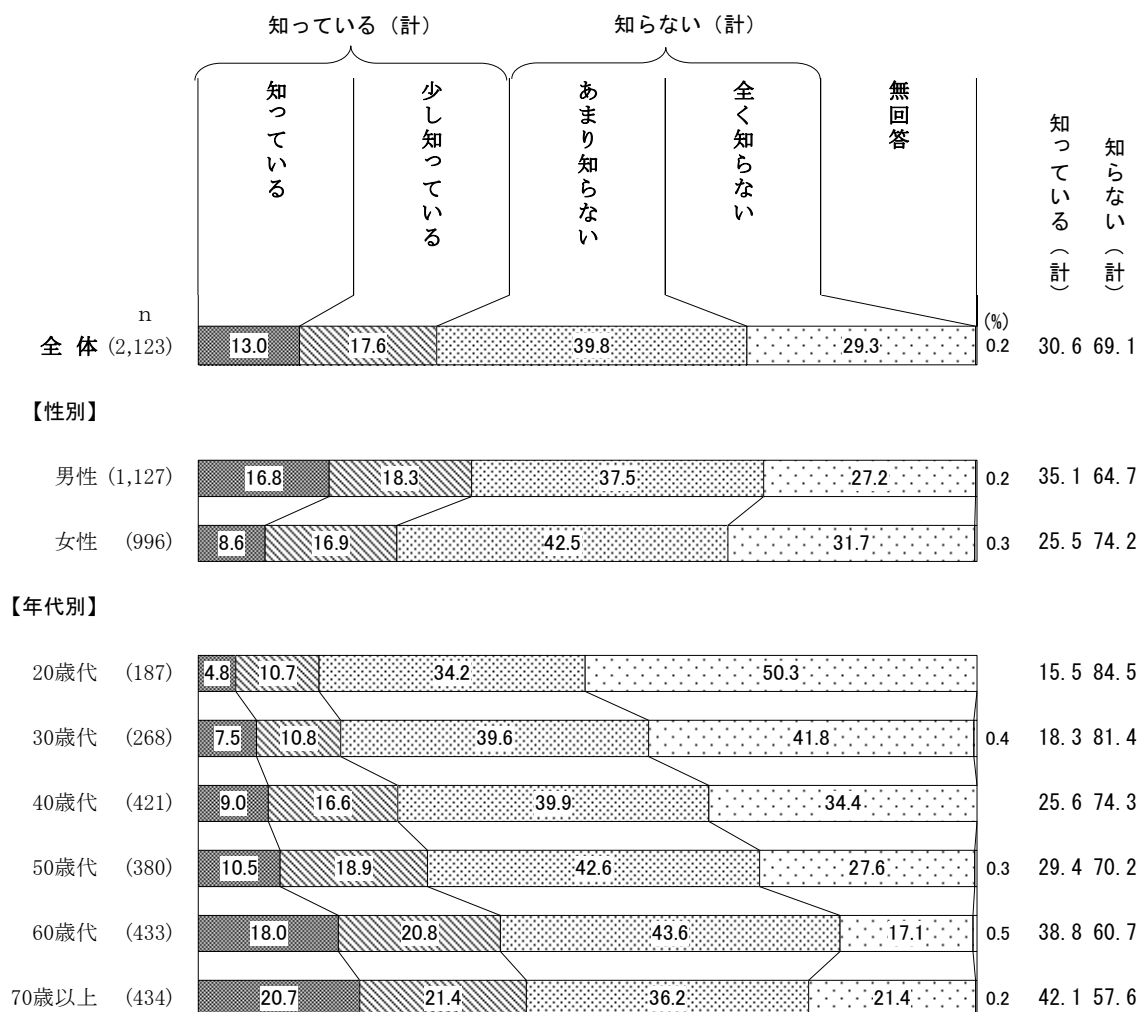
①性別

『知っている（計）』は男性（35.1%）が女性（25.5%）をやや上回っている。

②年代別

『知っている（計）』は年代が下がるにつれて割合が低くなる傾向にあり、20歳代（15.5%）と30歳代（18.3%）で1割台後半と低くなっている。

○「埼玉県雨水流出抑制施設の設置等に関する条例」の認知度・性別／年代別



③地域別

『知らない (計)』は秩父地域 (88.9%) で9割弱と最も高くなっている。

④性・年代別

『知っている (計)』は男性70歳以上 (51.5%) で最も高くなっている。

⑤職業別

『知っている (計)』は自営業・家族従業 (計) (35.8%) で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『知っている (計)』は高齢期 (42.5%) で最も高くなっている。

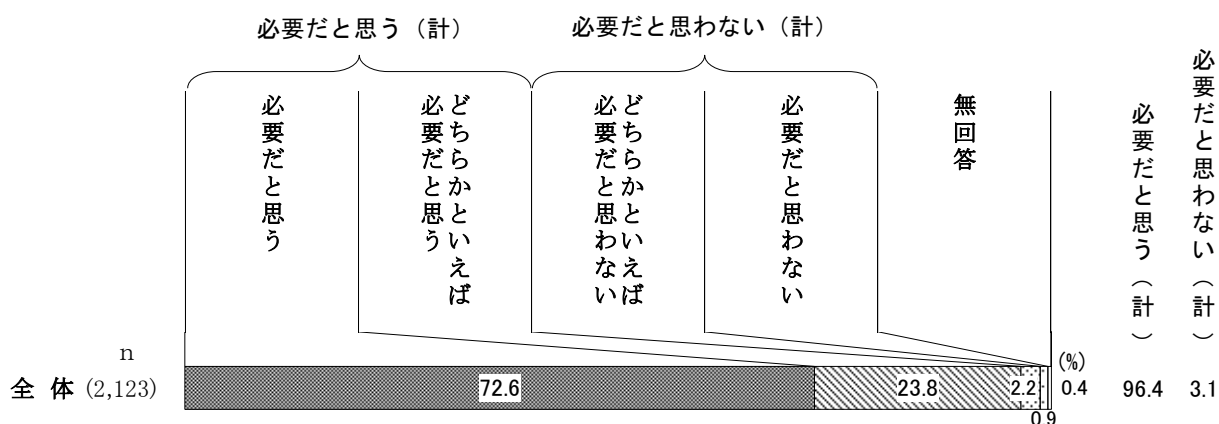
○「埼玉県雨水流出抑制施設の設置等に関する条例」の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	知っている	少し知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	(%)	
	n						知っている (計)	知らない (計)
全 体	2,123	13.0	17.6	39.8	29.3	0.2	30.6	69.1
地域別								
南部地域	224	10.3	15.6	40.2	33.9	-	25.9	74.1
南西部地域	187	7.5	16.0	36.4	39.0	1.1	23.5	75.4
東部地域	321	15.3	19.3	41.1	24.3	-	34.6	65.4
さいたま地域	378	14.0	21.4	38.9	25.7	-	35.4	64.6
県央地域	142	19.0	17.6	35.2	28.2	-	36.6	63.4
川越比企地域	243	17.3	16.9	38.7	27.2	-	34.2	65.9
西部地域	224	8.5	16.5	38.8	36.2	-	25.0	75.0
利根地域	223	10.3	16.1	45.7	27.4	0.4	26.4	73.1
北部地域	154	14.3	17.5	40.3	26.6	1.3	31.8	66.9
秩父地域	27	11.1	-	51.9	37.0	-	11.1	88.9
性・年代別								
男性・20歳代	102	7.8	6.9	42.2	43.1	-	14.7	85.3
30歳代	144	10.4	11.1	38.2	39.6	0.7	21.5	77.8
40歳代	214	12.1	15.0	36.9	36.0	-	27.1	72.9
50歳代	216	13.4	22.7	39.4	24.5	-	36.1	63.9
60歳代	220	21.4	21.4	40.0	17.3	-	42.8	57.3
70歳以上	231	27.7	23.8	31.6	16.5	0.4	51.5	48.1
女性・20歳代	85	1.2	15.3	24.7	58.8	-	16.5	83.5
30歳代	124	4.0	10.5	41.1	44.4	-	14.5	85.5
40歳代	207	5.8	18.4	43.0	32.9	-	24.2	75.9
50歳代	164	6.7	14.0	47.0	31.7	0.6	20.7	78.7
60歳代	213	14.6	20.2	47.4	16.9	0.9	34.8	64.3
70歳以上	203	12.8	18.7	41.4	27.1	-	31.5	68.5
職業別								
自営業・家族従業（計）	223	18.8	17.0	41.3	22.4	0.4	35.8	63.7
雇用者（計）	1,106	11.0	17.5	38.4	32.9	0.2	28.5	71.3
無職（計）	790	13.9	17.8	41.5	26.5	0.3	31.7	68.0
ライフステージ別								
独身期	236	5.1	10.6	35.6	48.7	-	15.7	84.3
家族形成期	154	7.1	12.3	31.2	48.7	0.6	19.4	79.9
家族成長前期	216	7.9	13.9	44.0	34.3	-	21.8	78.3
家族成長後期	196	9.2	19.9	42.3	28.6	-	29.1	70.9
家族成熟期	470	17.2	20.4	39.1	23.0	0.2	37.6	62.1
高齢期	528	20.3	22.2	38.6	18.4	0.6	42.5	57.0
その他	323	9.0	14.9	45.8	30.3	-	23.9	76.1

（４）土地が低く水がはけにくい地域での浸水被害対策の必要性

◇『必要だと思う（計）』96.4%

問21 埼玉県土地が低く水がはけにくい地域では、現在でもしばしば浸水被害が発生しています。あなたは、このような地域の浸水被害の軽減に向けて対策を講じていくことについてどう思いますか。



土地が低く水がはけにくい地域での浸水被害対策は、『必要だと思う（計）』が96.4%、『必要だと思わない（計）』が3.1%となっている。

【属性別比較】

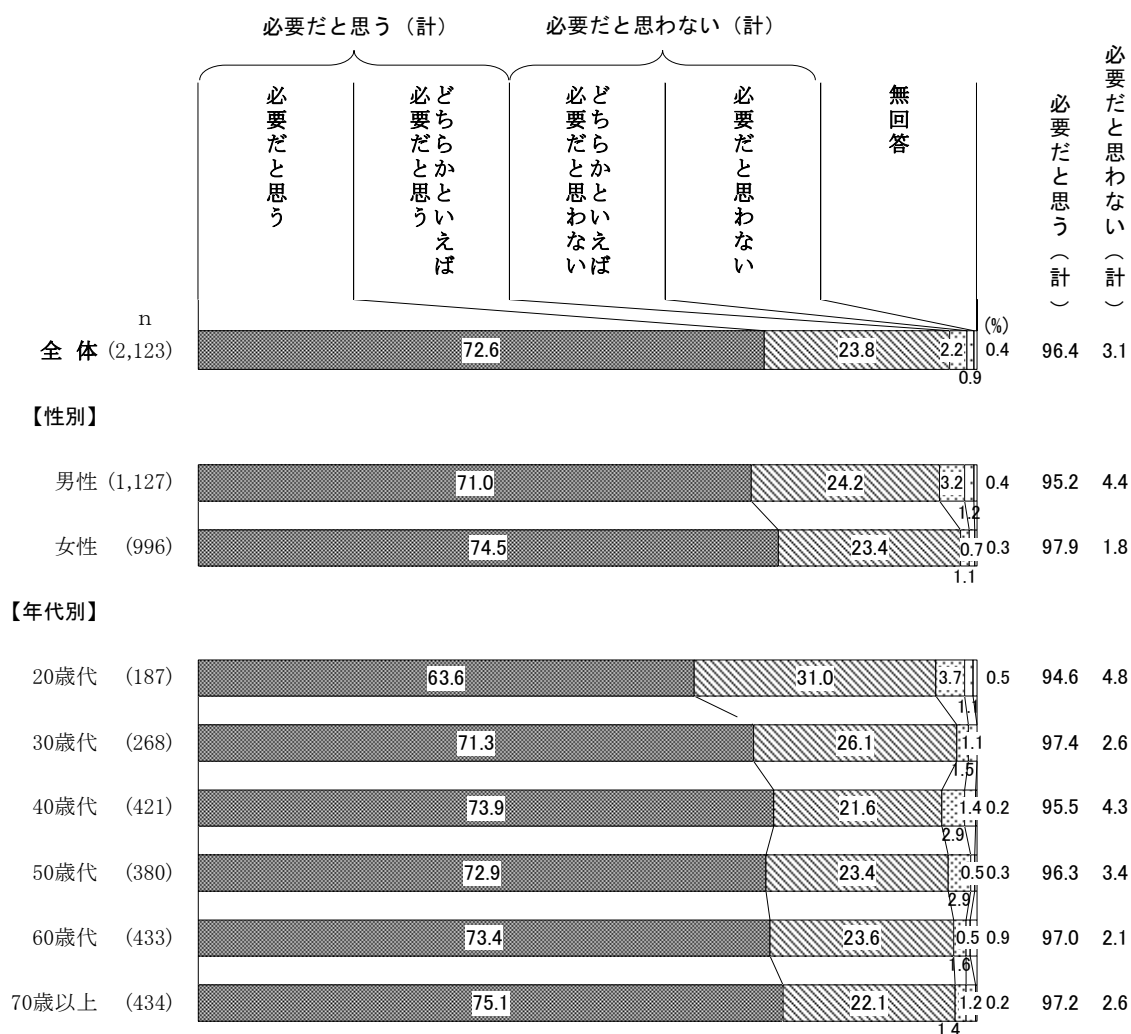
①性別

『必要だと思う（計）』は性別による大きな違いはみられない。

②年代別

「必要だと思う」は20歳代（63.6%）で他の年代と比べてやや低くなっている。

○土地が低く水がはけにくい地域での浸水被害対策の必要性・性別／年代別



③地域別

『必要だと思う (計)』は南部地域 (99.2%) でほぼ10割と最も高くなっている。

④性・年代別

『必要だと思う (計)』は女性50歳代 (99.4%) でほぼ10割と最も高くなっている。

⑤職業別

職業別による大きな違いみられない。

⑥ライフステージ別

『必要だと思う (計)』は家族形成期 (98.0%) で最も高くなっている。

○土地が低く水がはけにくい地域での浸水被害対策の必要性・地域別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	必要だ と思う	どちら かとい えば必 要だ と思う	ど ち ら か い え ば 必 要 だ と 思 わ な い	必要 だ と 思 わ な い	無 回 答	(%)	
							必要 だ と 思 う (計)	必要 だ と 思 わ な い (計)
全 体	2,123	72.6	23.8	2.2	0.9	0.4	96.4	3.1
地域別								
南部地域	224	74.6	24.6	0.4	0.4	—	99.2	0.8
南西部地域	187	62.0	32.6	3.7	0.5	1.1	94.6	4.2
東部地域	321	76.9	20.9	1.9	0.3	—	97.8	2.2
さいたま地域	378	75.7	20.4	3.2	0.5	0.3	96.1	3.7
県央地域	142	71.8	25.4	1.4	1.4	—	97.2	2.8
川越比企地域	243	77.0	20.2	2.9	—	—	97.2	2.9
西部地域	224	70.1	25.9	1.8	1.8	0.4	96.0	3.6
利根地域	223	70.4	25.6	1.3	1.8	0.9	96.0	3.1
北部地域	154	68.8	24.7	1.9	3.2	1.3	93.5	5.1
秩父地域	27	63.0	29.6	7.4	—	—	92.6	7.4
性・年代別								
男性・20歳代	102	62.7	30.4	3.9	2.0	1.0	93.1	5.9
30歳代	144	70.1	26.4	2.1	1.4	—	96.5	3.5
40歳代	214	68.2	25.7	3.7	1.9	0.5	93.9	5.6
50歳代	216	71.3	22.7	5.1	0.9	—	94.0	6.0
60歳代	220	72.7	23.2	2.7	0.5	0.9	95.9	3.2
70歳以上	231	75.8	21.2	1.7	0.9	0.4	97.0	2.6
女性・20歳代	85	64.7	31.8	3.5	—	—	96.5	3.5
30歳代	124	72.6	25.8	0.8	0.8	—	98.4	1.6
40歳代	207	79.7	17.4	1.9	1.0	—	97.1	2.9
50歳代	164	75.0	24.4	—	—	0.6	99.4	—
60歳代	213	74.2	23.9	0.5	0.5	0.9	98.1	1.0
70歳以上	203	74.4	23.2	1.0	1.5	—	97.6	2.5
職業別								
自営業・家族従業（計）	223	69.5	26.0	2.7	1.3	0.4	95.5	4.0
雇用者（計）	1,106	72.2	24.2	2.4	0.9	0.3	96.4	3.3
無職（計）	790	74.2	22.7	1.8	0.9	0.5	96.9	2.7
ライフステージ別								
独身期	236	65.7	29.2	3.8	1.3	—	94.9	5.1
家族形成期	154	71.4	26.6	0.6	0.6	0.6	98.0	1.2
家族成長前期	216	74.1	22.7	1.9	1.4	—	96.8	3.3
家族成長後期	196	69.4	25.5	4.6	0.5	—	94.9	5.1
家族成熟期	470	73.4	23.4	2.1	0.6	0.4	96.8	2.7
高齢期	528	76.1	21.2	1.1	0.8	0.8	97.3	1.9
その他	323	72.4	23.2	2.5	1.5	0.3	95.6	4.0

◇『必要だと思う（計）』 97.2%

必要だと思う (計)	必要だと思わない (計)
必要だと思う	必要だと思わない
どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない
必要だと思わない	必要だと思わない
無回答	無回答
必要だと思う (計)	必要だと思わない (計)

n (2,123)

(%)

69.4 27.8 1.6 0.5

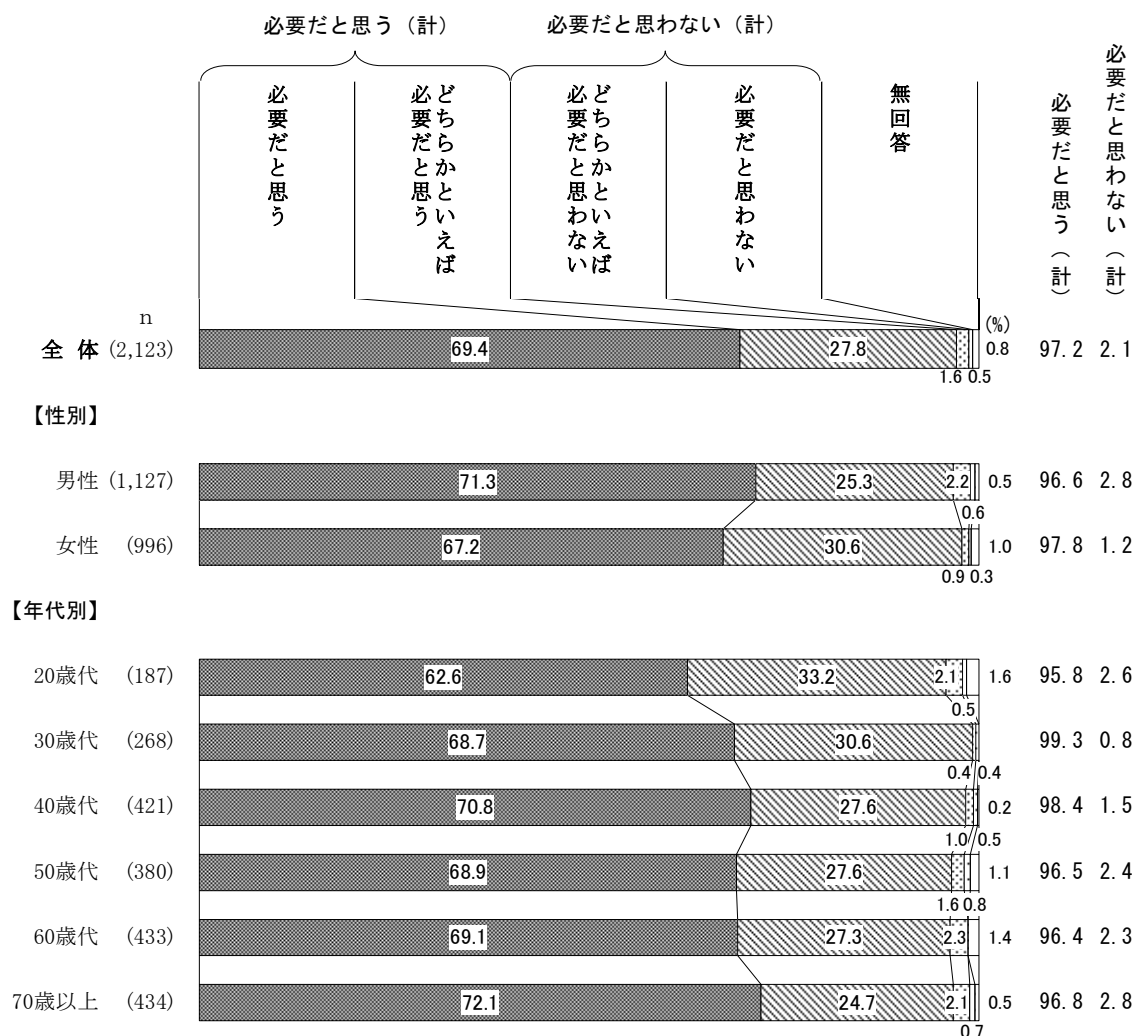
97.2 2.1

【屬性別比較】

『必要だと思う（計）』は性別による大きな違いはみられない。

『必要だと思う（計）』は30歳代（99.3%）でほぼ10割と最も高くなっている。

○保水・遊水機能を有する田畑や森林等の保全の必要性・性別／年代別



③地域別

『必要だと思う (計)』はいずれの地域でも9割台後半となっている。

④性・年代別

『必要だと思う (計)』は男性30歳代で100.0%となっている。

⑤職業別

『必要だと思う (計)』はいずれの職業でも9割台後半となっている。

⑥ライフステージ別

『必要だと思う (計)』はいずれのライフステージでも9割台後半となっている。

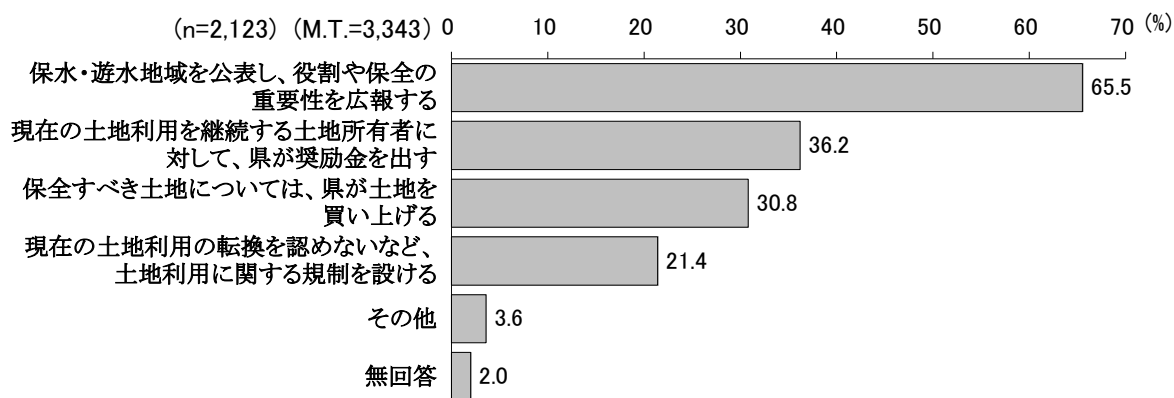
○保水・遊水機能を有する田畑や森林等の保全の必要性・地域別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数 n	必要だ と思う	どちら かとい えば必 要だ と思う	ど ち ら か と い え ば 必 要 だ と思 わ な い	必要 だと思 わな い	無回 答	必要だと思わない(計)	
全 体	2,123	69.4	27.8	1.6	0.5	0.8	97.2	2.1
地域別								
南部地域	224	73.2	24.6	0.9	0.4	0.9	97.8	1.3
南西部地域	187	64.2	32.1	1.6	0.5	1.6	96.3	2.1
東部地域	321	68.8	27.7	2.5	0.3	0.6	96.5	2.8
さいたま地域	378	72.0	25.9	1.3	0.3	0.5	97.9	1.6
県央地域	142	71.1	26.1	0.7	1.4	0.7	97.2	2.1
川越比企地域	243	75.3	21.8	2.1	0.4	0.4	97.1	2.5
西部地域	224	69.2	28.1	2.2	-	0.4	97.3	2.2
利根地域	223	63.2	35.0	0.9	0.4	0.4	98.2	1.3
北部地域	154	63.0	32.5	1.3	1.3	1.9	95.5	2.6
秩父地域	27	70.4	25.9	3.7	-	-	96.3	3.7
性・年代別								
男性・20歳代	102	62.7	33.3	2.0	1.0	1.0	96.0	3.0
30歳代	144	72.2	27.8	-	-	-	100.0	-
40歳代	214	70.6	27.1	0.9	0.9	0.5	97.7	1.8
50歳代	216	70.8	24.5	2.3	1.4	0.9	95.3	3.7
60歳代	220	70.5	24.5	4.5	-	0.5	95.0	4.5
70歳以上	231	76.6	19.9	2.6	0.4	0.4	96.5	3.0
女性・20歳代	85	62.4	32.9	2.4	-	2.4	95.3	2.4
30歳代	124	64.5	33.9	0.8	0.8	-	98.4	1.6
40歳代	207	71.0	28.0	1.0	-	-	99.0	1.0
50歳代	164	66.5	31.7	0.6	-	1.2	98.2	0.6
60歳代	213	67.6	30.0	-	-	2.3	97.6	-
70歳以上	203	67.0	30.0	1.5	1.0	0.5	97.0	2.5
職業別								
自営業・家族従業（計）	223	67.3	29.1	2.2	0.4	0.9	96.4	2.6
雇用者（計）	1,106	69.6	28.0	1.1	0.5	0.8	97.6	1.6
無職（計）	790	69.6	27.2	2.2	0.4	0.6	96.8	2.6
ライフステージ別								
独身期	236	65.7	31.4	1.7	0.4	0.8	97.1	2.1
家族形成期	154	67.5	30.5	0.6	-	1.3	98.0	0.6
家族成長前期	216	67.1	31.0	1.4	0.5	-	98.1	1.9
家族成長後期	196	72.4	24.5	2.0	0.5	0.5	96.9	2.5
家族成熟期	470	69.8	26.8	1.9	0.4	1.1	96.6	2.3
高齢期	528	71.0	25.8	1.9	0.4	0.9	96.8	2.3
その他	323	69.3	28.5	0.9	0.9	0.3	97.8	1.8

（６）保水・遊水地域を保全するために必要な方策

◇「保水・遊水地域を公表し、役割や保全の重要性を広報する」65.5%

問23 保水・遊水機能を将来にわたって確保すべき土地（保水・遊水地域）はその多くが田畑や森林として利用されています。このような土地を将来にわたって保全していくためには、あなたはどのような方策が必要だと考えますか。あてはまるものをすべて選んでください。



保水・遊水地域を保全するために必要な方策は、「保水・遊水地域を公表し、役割や保全の重要性を広報する」（65.5%）が最も高く、次いで「現在の土地利用を継続する土地所有者に対して、県が奨励金を出す」（36.2%）、「保全すべき土地については、県が土地を買い上げる」（30.8%）、「現在の土地利用の転換を認めないなど、土地利用に関する規制を設ける」（21.4%）などとなっている。

【属性別比較】

①地域別

「保水・遊水地域を公表し、役割や保全の重要性を広報する」は川越比企地域（72.0%）で最も高くなっている。

②性別

性別による大きな違いはみられない。

③年代別

「保水・遊水地域を公表し、役割や保全の重要性を広報する」は60歳代（69.7%）で最も高くなっている。

④性・年代別

「保水・遊水地域を公表し、役割や保全の重要性を広報する」は女性50歳代（74.4%）で最も高くなっている。

⑤職業別

職業別による大きな違いはみられない。

⑥ライフステージ別

「保水・遊水地域を公表し、役割や保全の重要性を広報する」は独身期（56.8%）で他に比べて低くなっている。

○保水・遊水地域を保全するために必要な方策・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	を、保 広、水 報、役 す、割 す、や 水、保 地、全 域、の 重、公 要、表 性	県、土 が、地 奨、所 励、土 金、地 を、者 出、利 す、用 に、を 対、し し、継 続、す	現、全 在、土 る、地 は、の 保、土 全、地 す、土 が、き 土、地 地、を を、地 買、に い、上 い、い げ、て	に、認 関、め す、な る、い 土、土 規、規 な、な 地、地 制、利 を、用 設、土 け、の る、地 換、換 用、用	そ の 他	無 回 答 (%)
全 体	2,123	65.5	36.2	30.8	21.4	3.6	2.0
地域別							
南部地域	224	68.3	45.1	29.9	19.6	2.2	0.9
南西部地域	187	66.3	27.3	28.9	27.3	0.5	4.3
東部地域	321	66.0	36.8	24.0	19.6	5.9	0.9
さいたま地域	378	59.8	34.9	38.4	25.4	4.5	1.9
県央地域	142	60.6	35.2	34.5	14.1	4.2	0.7
川越比企地域	243	72.0	32.9	28.4	20.2	0.8	1.2
西部地域	224	60.3	42.4	33.5	21.9	4.5	2.2
利根地域	223	70.9	30.9	32.3	17.9	2.7	4.0
北部地域	154	66.9	42.9	24.0	26.0	3.9	3.2
秩父地域	27	66.7	25.9	29.6	7.4	18.5	-
性別							
男性	1,127	63.7	36.0	31.6	25.2	3.5	1.9
女性	996	67.5	36.4	29.8	17.1	3.8	2.2
年代別							
20歳代	187	58.3	41.7	21.4	15.5	5.9	2.7
30歳代	268	63.8	40.3	32.8	19.4	1.9	1.5
40歳代	421	64.4	38.2	34.7	22.1	2.4	1.7
50歳代	380	66.1	37.4	30.3	24.2	1.6	2.1
60歳代	433	69.7	35.6	31.4	21.2	4.6	1.8
70歳以上	434	65.9	29.0	29.5	22.1	5.8	2.5
性・年代別							
男性・20歳代	102	55.9	41.2	22.5	16.7	4.9	2.9
30歳代	144	65.3	41.0	31.9	20.8	3.5	1.4
40歳代	214	58.9	38.8	34.1	25.7	1.4	2.8
50歳代	216	59.7	35.6	32.9	27.8	1.9	1.9
60歳代	220	68.2	35.9	31.4	26.8	5.0	1.4
70歳以上	231	70.1	28.6	32.0	27.3	4.8	1.3
女性・20歳代	85	61.2	42.4	20.0	14.1	7.1	2.4
30歳代	124	62.1	39.5	33.9	17.7	-	1.6
40歳代	207	70.0	37.7	35.3	18.4	3.4	0.5
50歳代	164	74.4	39.6	26.8	19.5	1.2	2.4
60歳代	213	71.4	35.2	31.5	15.5	4.2	2.3
70歳以上	203	61.1	29.6	26.6	16.3	6.9	3.9
職業別							
自営業・家族従業（計）	223	61.4	35.0	34.1	17.5	4.5	3.6
雇用者（計）	1,106	66.0	38.2	31.6	22.9	2.4	1.9
無職（計）	790	65.9	33.9	28.7	20.4	5.1	1.8
ライフステージ別							
独身期	236	56.8	44.1	26.7	17.4	4.2	1.7
家族形成期	154	68.2	35.1	29.2	21.4	1.9	4.5
家族成長前期	216	64.4	37.0	32.4	18.1	1.9	0.9
家族成長後期	196	64.8	41.3	35.2	20.9	1.0	1.5
家族成熟期	470	67.4	34.9	30.4	21.9	3.0	2.8
高齢期	528	68.8	32.2	28.8	20.8	5.9	1.1
その他	323	63.5	35.9	34.4	26.9	4.0	2.5

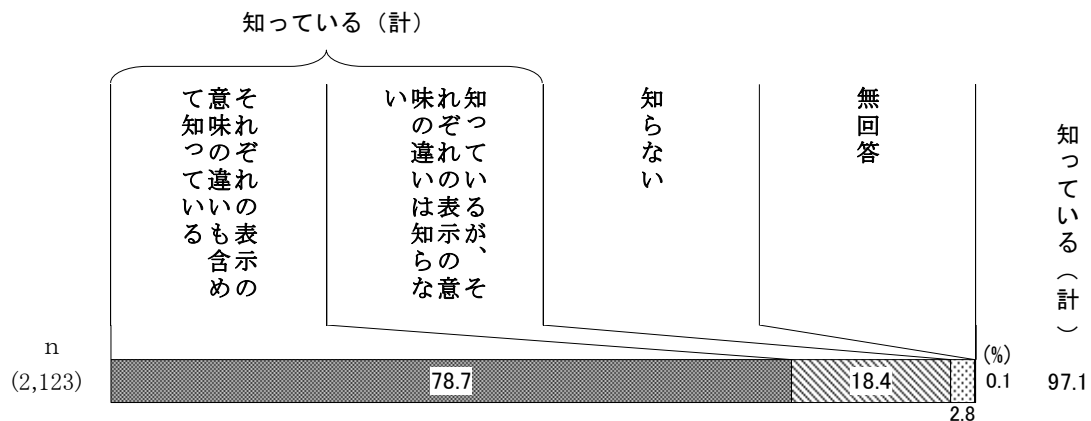
6 食品ロスの削減 (問24～問30)

6 食品ロスの削減

(1)「消費期限」と「賞味期限」の認知度

◇『知っている（計）』は97.1%

問24 あなたは、食品の表示期限には「消費期限」と「賞味期限」の2種類があることをご存じですか。



「消費期限」と「賞味期限」の認知度は、『知っている（計）』が97.1%となっている。

【属性別比較】

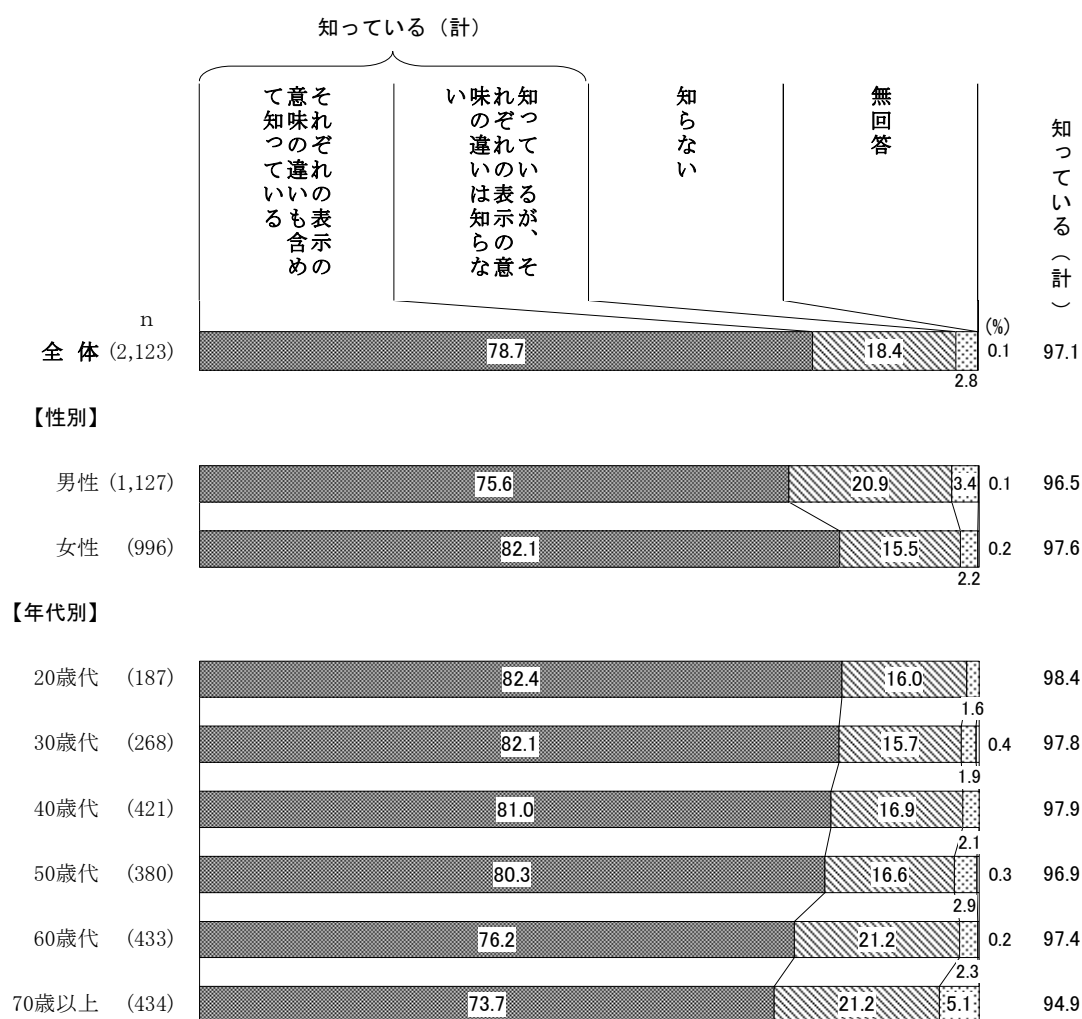
①性別

性別による大きな違いはみられない。

②年代別

「それぞれの表示の意味の違いも含めて知っている」は年代が下がるにつれて割合が高くなる傾向にあり、20歳代（82.4%）で最も高くなっている。

○「消費期限」と「賞味期限」の認知度・性別／年代別



③地域別

「知らない」は秩父地域（7.4%）で他に比べて若干高くなっている。

④性・年代別

「それぞれの表示の意味の違いも含めて知っている」は女性20歳代（91.8%）で9割を超えて最も高くなっている。

⑤職業別

「それぞれの表示の意味の違いも含めて知っている」は自営業・家族従業（計）（71.7%）で他に比べて低くなっている。

⑥ライフステージ別

「それぞれの表示の意味の違いも含めて知っている」は家族形成期（86.4%）で最も高くなっている。

○「消費期限」と「賞味期限」の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

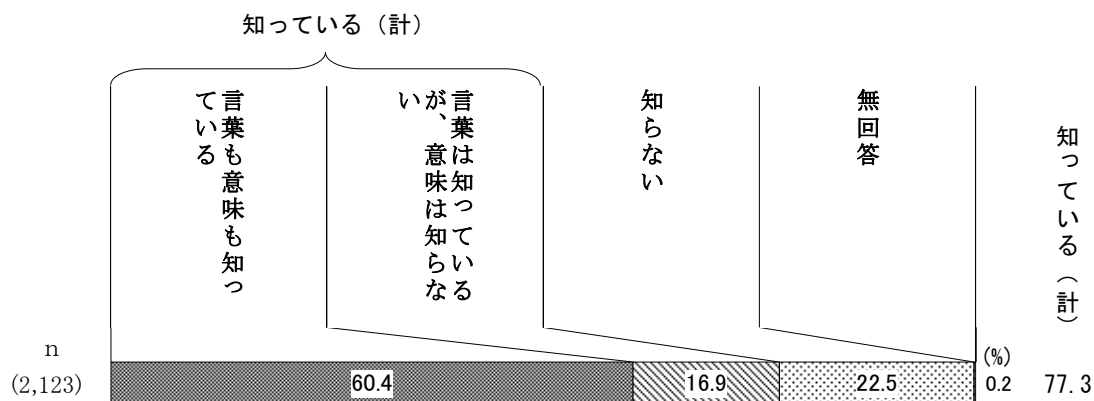
	調査数 n	いのそ る違れ もれ 含め て表 示知 つ意 味	はれの知 知の表 ら示の ない意 味の それ いぞ	知 ら な い	無 回 答	(%) 知 っ て い る (計)
全 体	2,123	78.7	18.4	2.8	0.1	97.1
地域別						
南部地域	224	80.4	15.6	4.0	-	96.0
南西部地域	187	75.9	19.8	4.3	-	95.7
東部地域	321	77.3	20.6	2.2	-	97.9
さいたま地域	378	77.0	20.9	2.1	-	97.9
県央地域	142	81.7	14.1	4.2	-	95.8
川越比企地域	243	80.2	16.9	2.5	0.4	97.1
西部地域	224	80.8	17.0	1.8	0.4	97.8
利根地域	223	78.5	19.7	1.8	-	98.2
北部地域	154	79.9	15.6	3.9	0.6	95.5
秩父地域	27	70.4	22.2	7.4	-	92.6
性・年代別						
男性・20歳代	102	74.5	22.5	2.9	-	97.0
30歳代	144	80.6	16.7	2.8	-	97.3
40歳代	214	76.2	20.6	3.3	-	96.8
50歳代	216	75.9	20.4	3.2	0.5	96.3
60歳代	220	70.5	25.9	3.6	-	96.4
70歳以上	231	77.1	19.0	3.9	-	96.1
女性・20歳代	85	91.8	8.2	-	-	100.0
30歳代	124	83.9	14.5	0.8	0.8	98.4
40歳代	207	86.0	13.0	1.0	-	99.0
50歳代	164	86.0	11.6	2.4	-	97.6
60歳代	213	82.2	16.4	0.9	0.5	98.6
70歳以上	203	70.0	23.6	6.4	-	93.6
職業別						
自営業・家族従業（計）	223	71.7	23.3	4.0	0.9	95.0
雇用者（計）	1,106	79.8	18.0	2.2	-	97.8
無職（計）	790	78.9	17.6	3.4	0.1	96.5
ライフステージ別						
独身期	236	80.9	16.1	2.5	0.4	97.0
家族形成期	154	86.4	13.0	0.6	-	99.4
家族成長前期	216	77.8	20.8	1.4	-	98.6
家族成長後期	196	83.7	12.8	3.1	0.5	96.5
家族成熟期	470	80.0	17.2	2.8	-	97.2
高齢期	528	76.1	19.9	3.8	0.2	96.0
その他	323	73.1	23.5	3.4	-	96.6

(2)「食品ロス」の認知度

◇『知っている（計）』は77.3%

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられている食べ物のことであり、賞味期限切れで捨てられてしまった食品や、食べ残しなどをいいます。

問25 あなたは、「食品ロス」という言葉とその意味をご存じですか。



「食品ロス」の認知度は、『知っている（計）』が77.3%となっている。

【属性別比較】

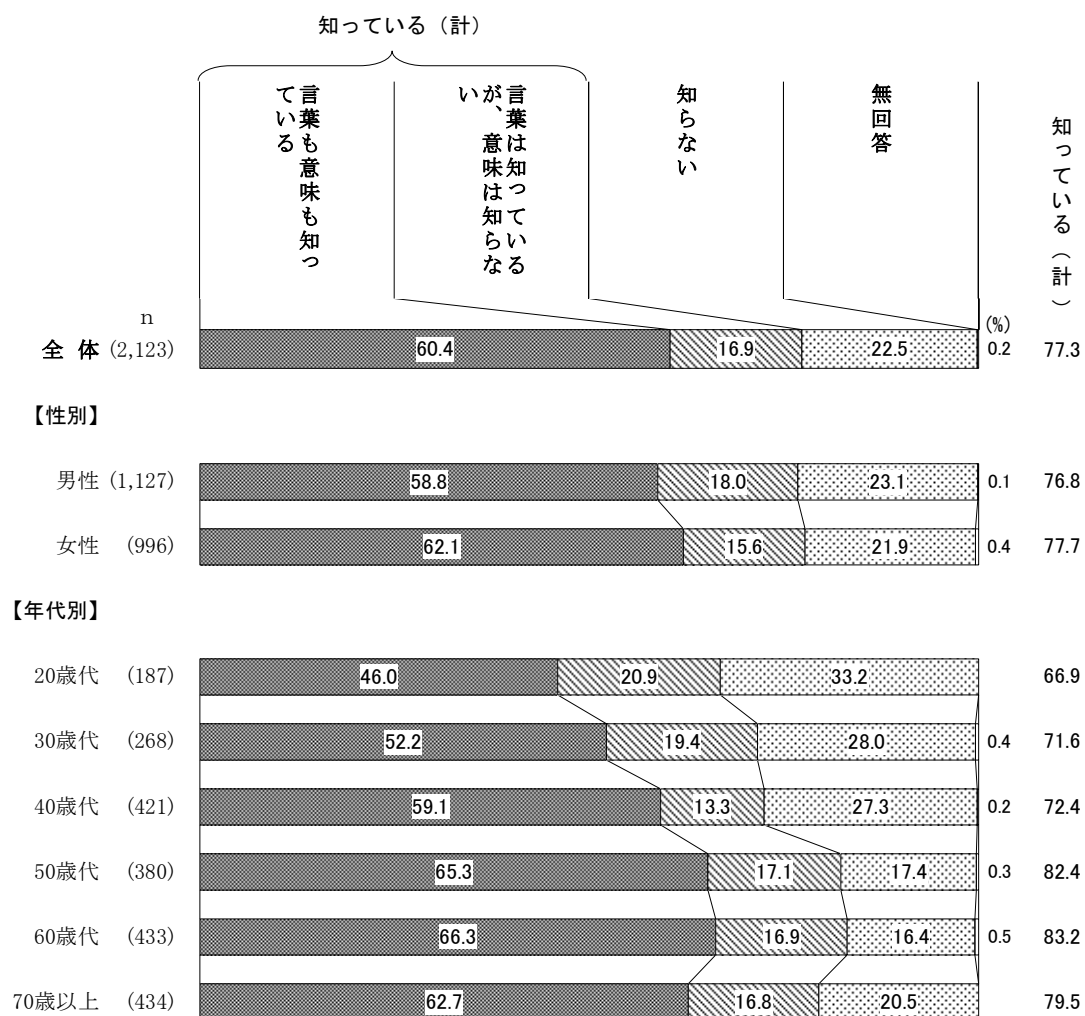
①性別

性別による大きな違いはみられない。

②年代別

「言葉も意味も知っている」は60歳代（66.3%）で最も高くなっている。

○「食品ロス」の認知度・性別／年代別



③地域別

『知っている（計）』は秩父地域（88.9%）で最も高くなっている。

④性・年代別

「言葉も意味も知っている」は女性50歳代（72.6%）で最も高くなっている。

⑤職業別

職業別による大きな違いはみられない。

⑥ライフステージ別

『知っている（計）』は家族成熟期（82.9%）で最も高くなっている。

○「食品ロス」の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

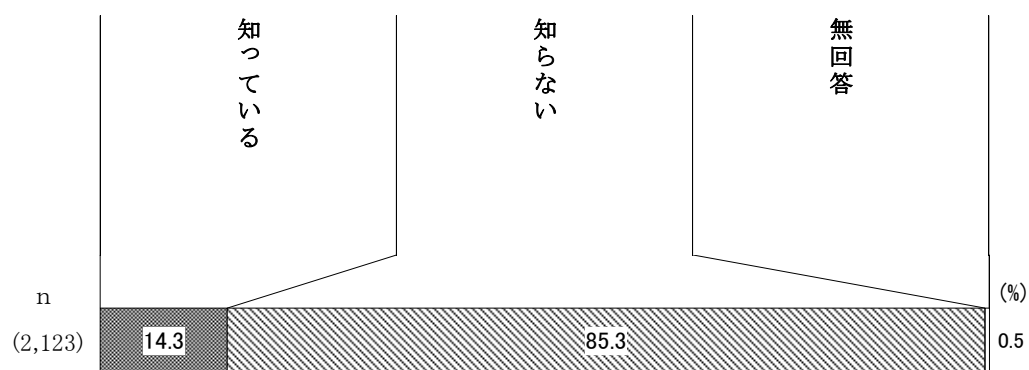
	調査数 n	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味は知らない	知らない	無回答	(%) 知っている(計)
全 体	2,123	60.4	16.9	22.5	0.2	77.3
地域別						
南部地域	224	58.0	17.9	24.1	—	75.9
南西部地域	187	52.9	20.3	26.7	—	73.2
東部地域	321	56.4	15.9	27.7	—	72.3
さいたま地域	378	64.0	15.3	20.6	—	79.3
県央地域	142	66.2	14.8	19.0	—	81.0
川越比企地域	243	65.0	16.5	18.1	0.4	81.5
西部地域	224	62.9	16.1	20.1	0.9	79.0
利根地域	223	52.5	18.4	29.1	—	70.9
北部地域	154	67.5	16.2	14.9	1.3	83.7
秩父地域	27	59.3	29.6	11.1	—	88.9
性・年代別						
男性・20歳代	102	43.1	19.6	37.3	—	62.7
30歳代	144	53.5	17.4	29.2	—	70.9
40歳代	214	55.1	15.4	29.4	—	70.5
50歳代	216	59.7	21.3	18.5	0.5	81.0
60歳代	220	61.4	20.5	18.2	—	81.9
70歳以上	231	69.3	14.7	16.0	—	84.0
女性・20歳代	85	49.4	22.4	28.2	—	71.8
30歳代	124	50.8	21.8	26.6	0.8	72.6
40歳代	207	63.3	11.1	25.1	0.5	74.4
50歳代	164	72.6	11.6	15.9	—	84.2
60歳代	213	71.4	13.1	14.6	0.9	84.5
70歳以上	203	55.2	19.2	25.6	—	74.4
職業別						
自営業・家族従業(計)	223	60.5	15.2	23.3	0.9	75.7
雇用者(計)	1,106	58.6	17.2	24.1	0.1	75.8
無職(計)	790	62.7	17.0	20.1	0.3	79.7
ライフステージ別						
独身期	236	48.3	18.2	33.1	0.4	66.5
家族形成期	154	56.5	19.5	24.0	—	76.0
家族成長前期	216	51.9	19.0	29.2	—	70.9
家族成長後期	196	63.3	14.3	21.9	0.5	77.6
家族成熟期	470	67.4	15.5	17.0	—	82.9
高齢期	528	64.0	16.7	18.9	0.4	80.7
その他	323	58.8	17.0	23.8	0.3	75.8

（３）日本で１年間に発生する食品ロスの量の認知度

◇「知っている」14.3%、「知らない」85.3%

日本では、年間約1,700万トンの食品廃棄物が排出されています。このうち「食品ロス」は、年間約500～800万トン含まれると推計されています（平成22年度推計）。

問26 あなたは、日本で１年間に発生する食品ロスの量をご存じですか。



日本で１年間に発生する食品ロスの量の認知度は、「知っている」が14.3%、「知らない」が85.3%となっている。

【属性別比較】

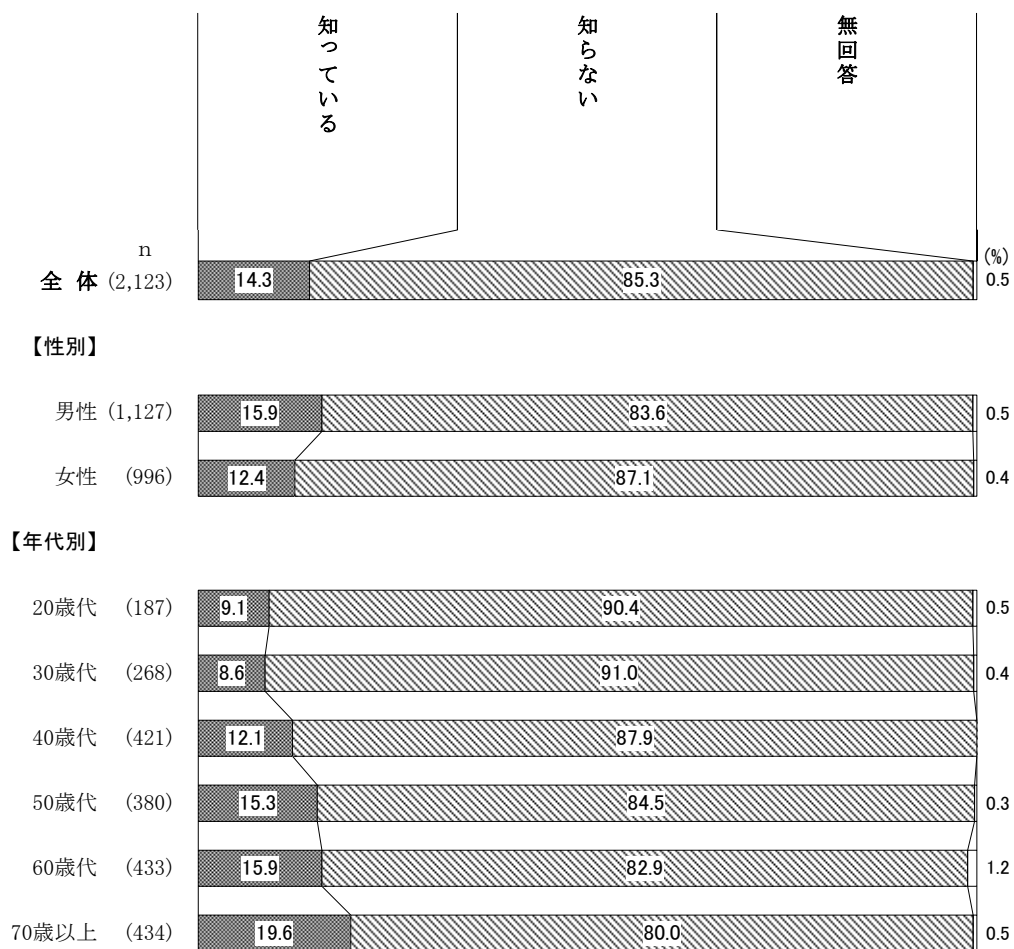
①性別

「知っている」は男性（15.9%）のほうが女性（12.4%）より3.5ポイント上回っている。

②年代別

「知っている」は年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向にあり、70歳以上（19.6%）で約2割となっている。

○日本で1年間に発生する食品ロスの量の認知度・性別／年代別



③地域別

「知っている」は川越比企地域（19.3％）で最も高くなっている。

④性・年代別

「知っている」は男性70歳以上（21.6％）で最も高くなっている。

⑤職業別

「知っている」自営業・家族従業（計）（18.4％）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「知っている」は高齢期（18.8％）で最も高くなっている。

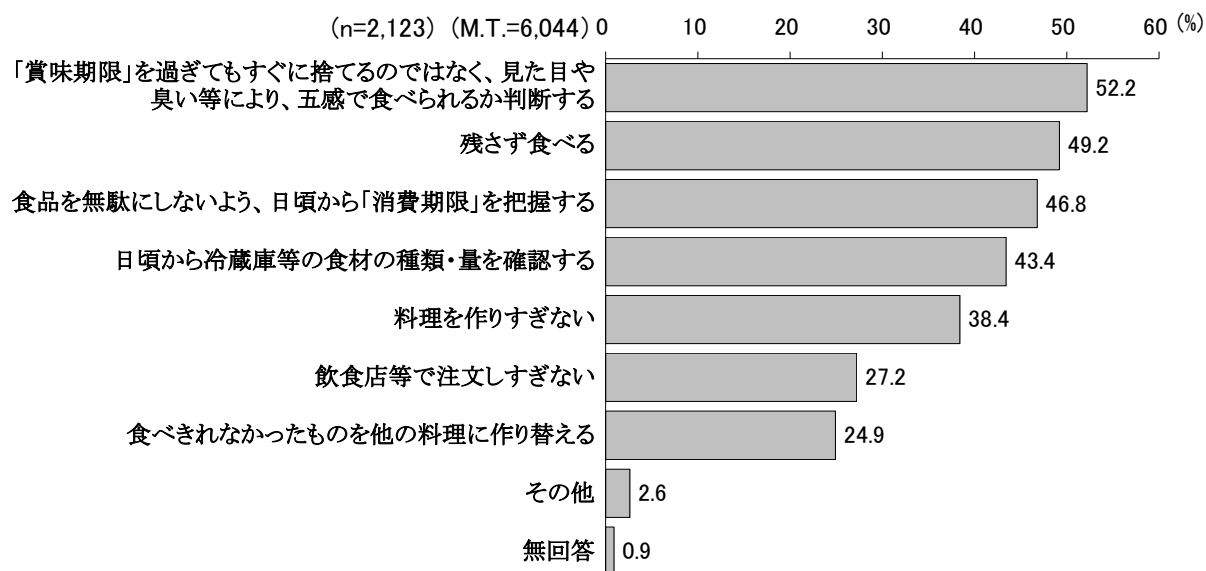
○日本で1年間に発生する食品ロスの量の認知度・地域別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	知っている	知らない	無回答
	n			
全 体	2,123	14.3	85.3	0.5
地域別				
南部地域	224	14.3	85.3	0.4
南西部地域	187	11.8	87.2	1.1
東部地域	321	13.4	86.3	0.3
さいたま地域	378	16.9	82.5	0.5
県央地域	142	14.8	85.2	—
川越比企地域	243	19.3	79.8	0.8
西部地域	224	9.4	90.6	—
利根地域	223	12.1	87.4	0.4
北部地域	154	14.3	85.1	0.6
秩父地域	27	14.8	85.2	—
性・年代別				
男性・20歳代	102	10.8	89.2	—
30歳代	144	9.0	91.0	—
40歳代	214	13.1	86.9	—
50歳代	216	18.1	81.5	0.5
60歳代	220	17.3	81.4	1.4
70歳以上	231	21.6	77.5	0.9
女性・20歳代	85	7.1	91.8	1.2
30歳代	124	8.1	91.1	0.8
40歳代	207	11.1	88.9	—
50歳代	164	11.6	88.4	—
60歳代	213	14.6	84.5	0.9
70歳以上	203	17.2	82.8	—
職業別				
自営業・家族従業（計）	223	18.4	80.7	0.9
雇用者（計）	1,106	12.7	87.0	0.3
無職（計）	790	15.2	84.2	0.6
ライフステージ別				
独身期	236	9.3	90.7	—
家族形成期	154	9.7	89.6	0.6
家族成長前期	216	8.8	90.7	0.5
家族成長後期	196	10.2	89.3	0.5
家族成熟期	470	17.2	82.6	0.2
高齢期	528	18.8	80.5	0.8
その他	323	14.6	84.8	0.6

（４）食品ロスの削減のために取り組んでいること

◇「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、見た目や臭い等により、五感で食べられるか判断する」が52.2%

問27 あなたは、食品ロスの削減のために取り組んでいることがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



食品ロスの削減のために取り組んでいることは、「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、見た目や臭い等により、五感で食べられるか判断する」(52.2%) が最も高く、次いで「残さず食べる」(49.2%)、「食品を無駄にしないよう、日頃から「消費期限」を把握する」(46.8%)、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量を確認する」(43.4%)、「料理を作りすぎない」(38.4%) などとなっている。

【属性別比較】

①地域別

「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、見た目や臭い等により、五感で食べられるか判断する」は秩父地域（70.4%）で最も高くなっている。

②性別

「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、見た目や臭い等により、五感で食べられるか判断する」は女性（58.2%）のほうが、男性（46.9%）より11.3ポイント上回っている。

③年代別

「残さず食べる」は20歳代（66.3%）で最も高くなっている。

④性・年代別

「残さず食べる」は女性20歳代（68.2%）で最も高くなっている。

⑤職業別

「食品を無駄にしないよう、日頃から「消費期限」を把握する」は無職（計）（53.5%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「料理を作りすぎない」は高齢期（51.3%）が最も高くなっている。

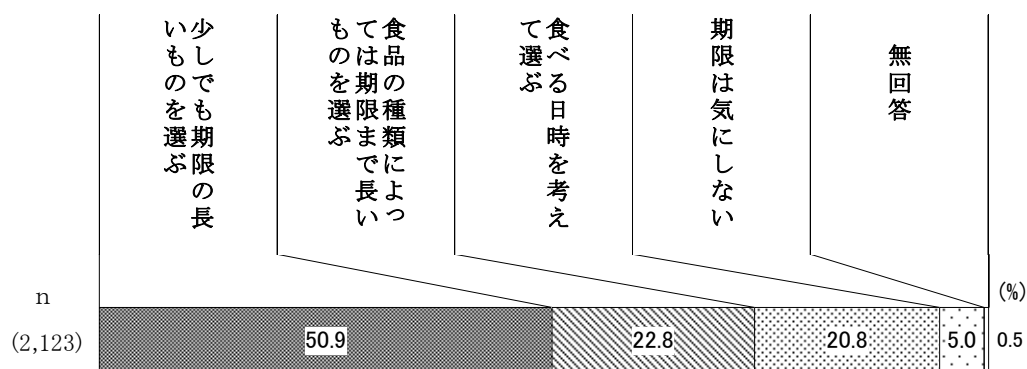
○食品ロスの削減のために取り組んでいること・地域別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

	調査数	「賞味期限」を過ぎてもすぐ捨てる、五感で食べられ目や臭い等により判断する	残さず食べる	「食品を無駄にしないよう、日頃から消費期限」を把握する	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量を確認する	料理を作りすぎない	飲食店等で注文しすぎない	食べきれなかったものを他の料理に作り替える	その他	(%) 無回答
全 体	2,123	52.2	49.2	46.8	43.4	38.4	27.2	24.9	2.6	0.9
地域別										
南部地域	224	49.6	54.5	48.7	46.4	38.8	28.1	25.9	2.7	0.9
南西部地域	187	53.5	54.5	43.3	48.7	40.1	24.1	21.4	3.2	0.5
東部地域	321	45.2	48.3	48.0	42.7	33.6	27.1	23.1	2.8	0.3
さいたま地域	378	55.0	49.7	50.0	46.3	38.1	28.8	26.2	2.9	0.5
県央地域	142	43.0	50.7	42.3	38.0	37.3	27.5	27.5	2.1	0.7
川越比企地域	243	50.6	41.2	53.5	46.1	46.5	31.3	26.7	0.4	0.8
西部地域	224	53.6	50.4	43.8	36.6	31.3	24.1	25.4	3.6	2.2
利根地域	223	61.4	45.7	40.4	43.0	33.6	26.0	23.8	2.2	0.9
北部地域	154	54.5	49.4	46.8	38.3	48.7	25.3	25.3	2.6	1.9
秩父地域	27	70.4	51.9	37.0	44.4	59.3	29.6	14.8	7.4	-
性別										
男性	1,127	46.9	53.0	43.0	35.3	33.8	25.7	19.1	2.7	1.3
女性	996	58.2	44.9	51.0	52.6	43.7	28.9	31.4	2.5	0.4
年代別										
20歳代	187	48.1	66.3	32.6	29.4	28.3	35.3	16.0	2.7	1.1
30歳代	268	48.9	60.4	37.3	43.7	34.3	31.3	22.4	2.2	1.1
40歳代	421	55.6	56.3	47.0	40.4	30.2	30.9	28.0	3.1	1.0
50歳代	380	52.4	49.7	49.7	44.2	36.1	26.8	27.9	1.8	1.3
60歳代	433	55.2	36.7	50.3	48.3	41.3	22.2	24.2	2.1	1.2
70歳以上	434	49.5	39.9	52.3	46.8	52.5	23.0	25.1	3.5	-
性・年代別										
男性・20歳代	102	38.2	64.7	26.5	23.5	28.4	27.5	12.7	2.9	2.0
30歳代	144	39.6	62.5	34.7	34.7	30.6	29.9	19.4	2.1	2.1
40歳代	214	50.0	57.9	45.3	30.4	24.3	31.8	19.6	3.7	1.4
50歳代	216	50.5	58.3	42.6	34.3	31.0	24.1	23.6	0.5	1.9
60歳代	220	49.1	39.1	45.0	40.0	34.1	20.9	15.9	3.2	1.4
70歳以上	231	46.8	45.5	51.9	42.0	49.4	22.9	19.9	3.5	-
女性・20歳代	85	60.0	68.2	40.0	36.5	28.2	44.7	20.0	2.4	-
30歳代	124	59.7	58.1	40.3	54.0	38.7	33.1	25.8	2.4	-
40歳代	207	61.4	54.6	48.8	50.7	36.2	30.0	36.7	2.4	0.5
50歳代	164	54.9	38.4	59.1	57.3	42.7	30.5	33.5	3.7	0.6
60歳代	213	61.5	34.3	55.9	56.8	48.8	23.5	32.9	0.9	0.9
70歳以上	203	52.7	33.5	52.7	52.2	56.2	23.2	31.0	3.4	-
職業別										
自営業・家族従業（計）	223	54.3	44.4	43.5	31.8	35.4	25.1	26.9	1.3	2.2
雇用者（計）	1,106	53.0	54.4	42.7	41.3	33.4	29.6	23.1	2.5	0.9
無職（計）	790	50.5	43.3	53.5	49.7	46.3	24.4	26.7	2.9	0.4
ライフステージ別										
独身期	236	48.3	63.6	35.6	26.7	29.2	34.7	17.8	2.5	1.7
家族形成期	154	49.4	61.7	44.2	48.1	31.2	30.5	18.8	2.6	1.3
家族成長前期	216	53.2	62.5	36.1	37.5	27.3	29.2	29.6	1.4	0.5
家族成長後期	196	58.2	56.1	48.5	41.3	36.2	30.1	23.0	2.0	0.5
家族成熟期	470	50.6	41.1	49.8	44.3	38.5	26.2	24.5	3.2	0.6
高齢期	528	52.3	40.2	53.8	49.8	51.3	22.3	28.4	3.2	0.2
その他	323	54.2	46.1	46.4	47.1	36.2	26.6	25.7	1.9	2.2

（５）賞味期限・消費期限の考慮の程度

◇「少しでも期限の長いものを選ぶ」が50.9%

問28 あなたは、スーパーなどで買い物をするとき、賞味期限・消費期限をどの程度考慮して食品を選びますか。（期限間近などの理由で値引きされた食品を買う場合を除く。）



賞味期限・消費期限の考慮の程度は、「少しでも期限の長いものを選ぶ」（50.9%）が5割を超えて最も高くなっている。

【属性別比較】

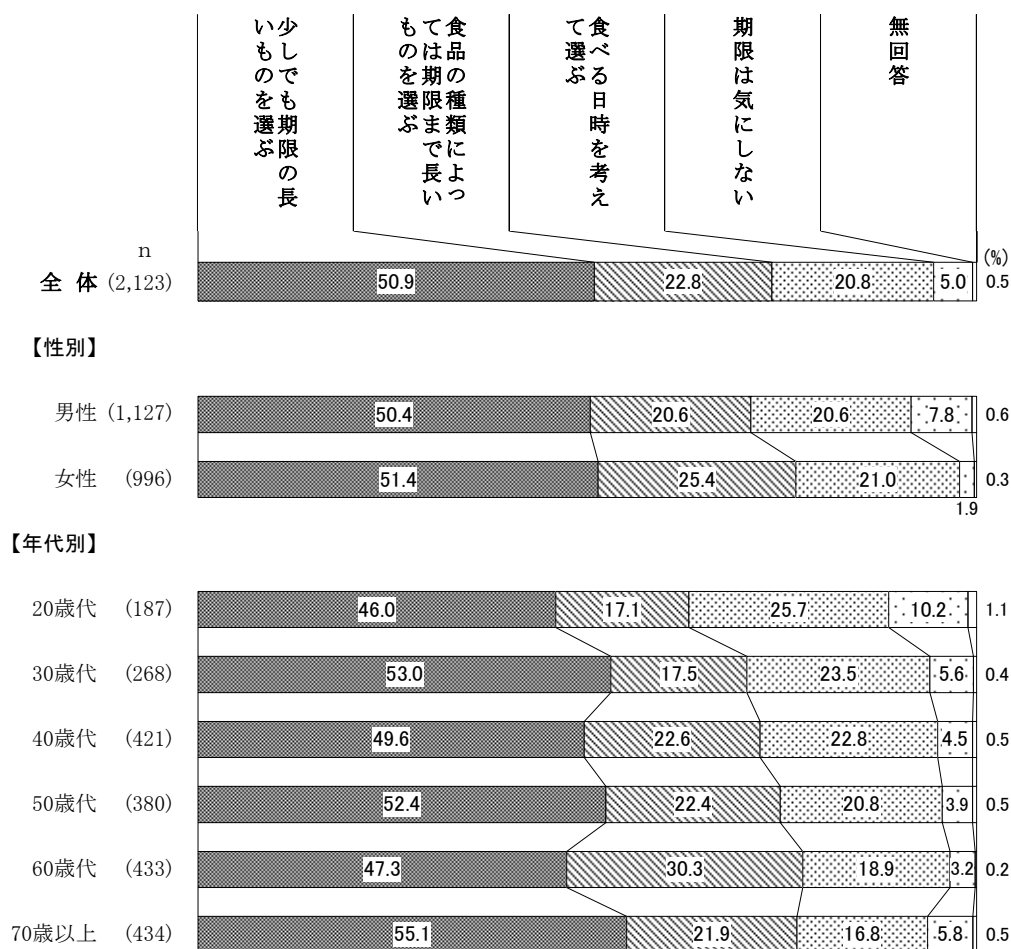
①性別

「食品の種類によっては期限まで長いものを選ぶ」は女性（25.4%）のほうが男性（20.6%）より4.8ポイント上回っている。

②年代別

「食品の種類によっては期限まで長いものを選ぶ」は60歳代（30.3%）で最も高くなっている。

○賞味期限・消費期限の考慮の程度・性別／年代別



③地域別

いずれの地域でも「少しでも期限の長いものを選ぶ」が最も高い割合となっており、特に北部地域（61.7%）では他の地域と比較して最も高くなっている。また、「食べる日時を考えて選ぶ」は南部地域（25.0%）と西部地域（24.6%）で2割台半ばと高くなっている。

④性・年代別

男女を通じたいずれの年代でも「少しでも期限の長いものを選ぶ」が最も高い割合となっており、特に女性70歳以上（56.7%）で最も高くなっている。「食品の種類によっては期限まで長いものを選ぶ」は女性の60歳代（33.8%）で他の年代より高くなっている。また「食べる日時を考えて選ぶ」は男女ともに年代が高くなるほど低くなる傾向がみられる。

⑤職業別

「少しでも期限の長いものを選ぶ」は雇用者（計）（51.8%）と無職（計）（50.6%）で5割を超えて高くなっている。

⑥ライフステージ別

いずれのライフステージでも「少しでも期限の長いものを選ぶ」が最も高い割合となっており、特に家族成長後期（53.1%）や高齢期（53.6%）で高くなっている。「食べる日時を考えて選ぶ」はライフステージが進むほど低くなる傾向にある。また、独身期では、「少しでも期限の長いものを選ぶ」と「食品の種類によっては期限まで長いものを選ぶ」は各ライフステージの中で最も低く、その一方で「期限は気にしない」はこのライフステージのみ1割を超えて最も高くなっている。

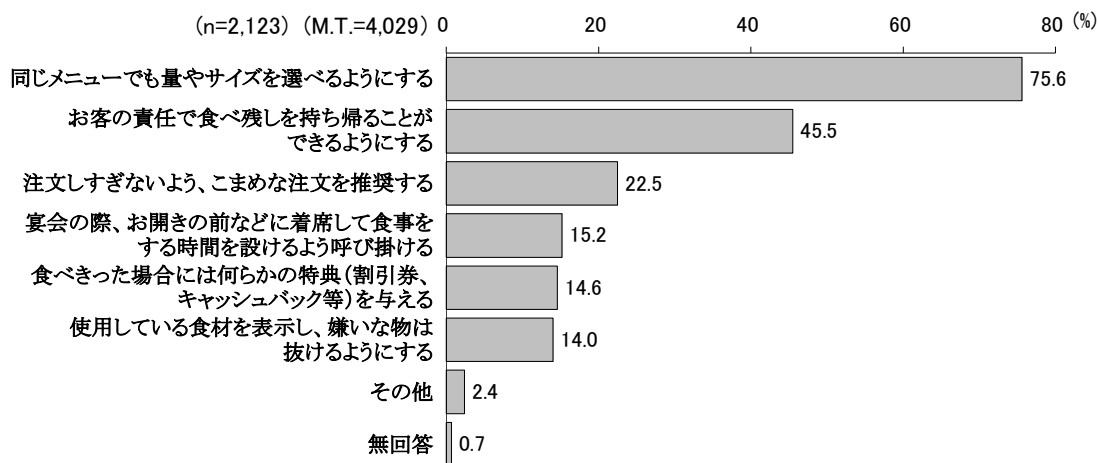
○賞味期限・消費期限の考慮の程度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	の少しでも期限の長いものを選ぶ	ぶ期食品の種類の長いものつては	ぶ食べる日時を考えて選ぶ	期限は気にしない	無回答
	n					
全 体	2, 123	50.9	22.8	20.8	5.0	0.5
地域別						
南部地域	224	48.2	24.1	25.0	2.7	—
南西部地域	187	46.0	23.5	23.5	5.3	1.6
東部地域	321	50.8	23.4	20.2	5.3	0.3
さいたま地域	378	49.5	23.8	20.1	6.3	0.3
県央地域	142	54.2	23.2	18.3	3.5	0.7
川越比企地域	243	53.9	23.9	18.1	3.7	0.4
西部地域	224	44.2	24.1	24.6	6.3	0.9
利根地域	223	53.8	19.7	19.3	7.2	—
北部地域	154	61.7	15.6	18.2	3.9	0.6
秩父地域	27	51.9	33.3	14.8	—	—
性・年代別						
男性・20歳代	102	43.1	10.8	27.5	16.7	2.0
30歳代	144	52.8	14.6	22.2	9.7	0.7
40歳代	214	49.1	22.4	21.5	6.1	0.9
50歳代	216	51.9	19.0	22.2	6.5	0.5
60歳代	220	48.6	26.8	19.1	5.5	—
70歳以上	231	53.7	22.5	15.6	7.8	0.4
女性・20歳代	85	49.4	24.7	23.5	2.4	—
30歳代	124	53.2	21.0	25.0	0.8	—
40歳代	207	50.2	22.7	24.2	2.9	—
50歳代	164	53.0	26.8	18.9	0.6	0.6
60歳代	213	46.0	33.8	18.8	0.9	0.5
70歳以上	203	56.7	21.2	18.2	3.4	0.5
職業別						
自営業・家族従業（計）	223	47.1	22.9	21.1	8.5	0.4
雇用者（計）	1, 106	51.8	21.4	21.8	4.4	0.5
無職（計）	790	50.6	24.8	19.2	4.9	0.4
ライフステージ別						
独身期	236	47.0	16.1	25.4	11.0	0.4
家族形成期	154	51.9	20.8	23.4	2.6	1.3
家族成長前期	216	50.9	21.3	23.1	4.2	0.5
家族成長後期	196	53.1	24.5	20.4	1.5	0.5
家族成熟期	470	49.6	25.5	19.8	5.1	—
高齢期	528	53.6	24.8	16.9	4.2	0.6
その他	323	49.2	21.7	22.6	5.9	0.6

（６）外食における食品ロス削減のために効果的だと思うこと

◇「同じメニューでも量やサイズを選べるようにする」が75.6%

問29 あなたは、外食における食品ロスを削減するため、お店がお客様に対してどのようなことをすれば効果的だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



「同じメニューでも量やサイズを選べるようにする」(75.6%) が最も高く、次いで、「お客様の責任で食べ残しを持ち帰ることができるようにする」(45.5%)、「注文しすぎないように、こまめな注文を推奨する」(22.5%) などとなっている。

【属性別比較】

①地域別

「同じメニューでも量やサイズを選べるようにする」は北部地域(81.8%)で最も高くなっている。

②性別

「同じメニューでも量やサイズを選べるようにする」は女性(80.1%)が男性(71.6%)を8.5ポイント上回っている。

③年代別

「注文しすぎないように、こまめな注文を推奨する」は70歳以上(38.2%)で最も高くなっている。

④性・年代別

「同じメニューでも量やサイズを選べるようにする」は女性50歳代(90.9%)で最も高くなっている。

⑤職業別

「同じメニューでも量やサイズを選べるようにする」は雇用者（計）（78.2%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「注文しすぎないように、こまめな注文を推奨する」は高齢期（37.7%）で最も高くなっている。

○外食における食品ロス削減のために効果的だと思うこと・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

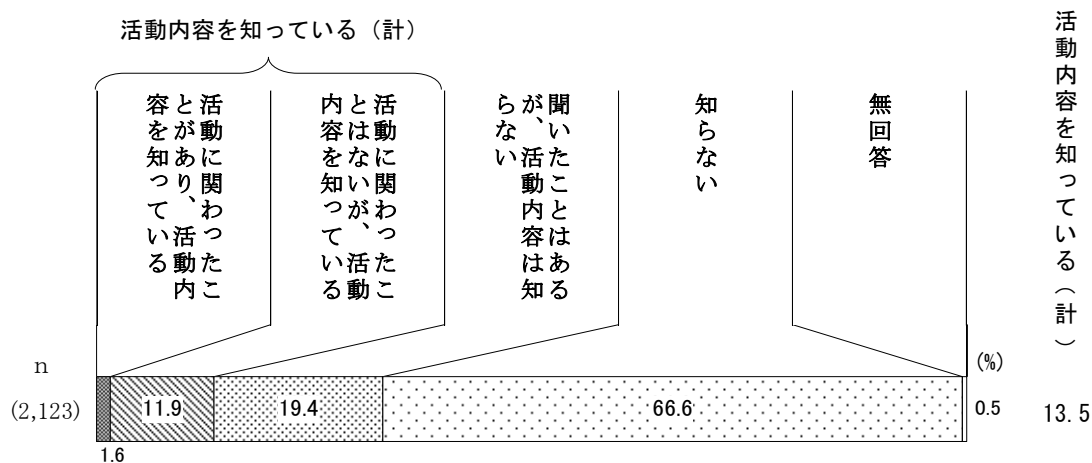
	調査数	を同じメニューでも量やサイズを選べるようにする	お客の責任で食べ残しを帰ることを残しを帰る	注文しすぎないように、こまめな注文を推奨する	着席して食事をする時間を設けるように呼び掛ける	宴会の際、お開きの前などに席を呼ぶ	特典（割引券、キヤッシュバック等）を与える	食べきった場合には何らかの食料品を寄付する	嫌いな物は抜けるように表示する	使用している食材を、他のメニューに転用する	その他	無回答
	n											(%)
全 体	2,123	75.6	45.5	22.5	15.2	14.6	14.0	2.4	0.7			
地域別												
南部地域	224	78.1	49.1	19.2	16.5	14.7	16.1	1.8	—			
南西部地域	187	78.1	46.0	20.3	13.4	12.8	16.6	0.5	0.5			
東部地域	321	69.5	48.0	24.6	15.3	15.0	12.5	2.2	0.3			
さいたま地域	378	76.2	45.5	23.5	18.3	13.5	15.6	4.2	0.8			
県央地域	142	78.2	47.9	18.3	16.9	13.4	16.9	1.4	—			
川越比企地域	243	75.3	36.2	25.5	14.0	15.2	15.2	0.4	0.8			
西部地域	224	72.8	48.2	21.4	11.6	16.1	8.5	3.6	1.8			
利根地域	223	76.7	49.3	15.7	13.5	12.6	13.5	3.6	1.3			
北部地域	154	81.8	34.4	31.8	16.9	19.5	12.3	2.6	0.6			
秩父地域	27	70.4	59.3	29.6	11.1	14.8	7.4	3.7	—			
性別												
男性	1,127	71.6	42.4	23.2	15.4	16.5	13.4	2.5	1.2			
女性	996	80.1	48.9	21.6	15.0	12.4	14.7	2.4	0.2			
年代別												
20歳代	187	78.1	51.9	11.2	13.4	21.9	17.6	1.6	0.5			
30歳代	268	76.1	50.7	17.5	11.2	18.3	19.4	2.2	1.1			
40歳代	421	74.1	51.1	12.6	14.5	17.8	15.7	3.3	0.5			
50歳代	380	80.3	43.2	16.3	16.6	16.3	14.7	1.6	1.3			
60歳代	433	75.8	43.6	29.6	18.7	9.5	10.4	2.5	0.2			
70歳以上	434	71.4	37.8	38.2	14.5	9.7	10.4	2.8	0.7			
性・年代別												
男性・20歳代	102	76.5	44.1	11.8	11.8	22.5	14.7	1.0	1.0			
30歳代	144	72.2	47.2	18.8	10.4	18.8	18.1	2.8	2.1			
40歳代	214	69.2	44.9	13.1	15.4	21.0	14.5	3.7	0.9			
50歳代	216	72.2	40.3	16.7	14.4	19.0	15.3	1.9	1.9			
60歳代	220	72.3	42.3	30.9	21.4	10.9	10.9	3.2	0.5			
70歳以上	231	70.1	38.5	39.4	15.6	11.3	9.5	1.7	0.9			
女性・20歳代	85	80.0	61.2	10.6	15.3	21.2	21.2	2.4	—			
30歳代	124	80.6	54.8	16.1	12.1	17.7	21.0	1.6	—			
40歳代	207	79.2	57.5	12.1	13.5	14.5	16.9	2.9	—			
50歳代	164	90.9	47.0	15.9	19.5	12.8	14.0	1.2	0.6			
60歳代	213	79.3	45.1	28.2	16.0	8.0	9.9	1.9	—			
70歳以上	203	72.9	36.9	36.9	13.3	7.9	11.3	3.9	0.5			
職業別												
自営業・家族従業（計）	223	67.7	48.4	21.5	20.6	12.6	11.7	1.3	0.4			
雇用者（計）	1,106	78.2	47.2	18.2	14.8	17.1	15.3	2.3	1.0			
無職（計）	790	74.3	42.2	28.7	14.2	11.8	12.9	2.9	0.4			
ライフステージ別												
独身期	236	74.6	51.3	15.3	13.6	18.2	18.6	2.1	0.8			
家族形成期	154	75.3	52.6	13.6	10.4	18.8	16.9	2.6	1.3			
家族成長前期	216	76.9	51.9	12.5	12.0	22.7	18.5	0.9	0.5			
家族成長後期	196	75.5	45.4	13.8	17.3	14.3	13.8	2.6	1.0			
家族成熟期	470	80.6	43.4	21.1	16.0	13.8	11.3	2.1	0.6			
高齢期	528	74.6	39.2	37.7	17.2	9.3	11.9	2.3	0.2			
その他	323	70.0	46.7	21.1	15.2	14.6	13.6	4.3	1.2			

（７）フードバンクの活動の認知度

◇「知らない」が66.6%

食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無償で提供する「フードバンク」と呼ばれる団体・活動があります。

問30 あなたは、フードバンクの活動についてご存じですか。



フードバンクの活動の認知度は、「知らない」（66.6%）が最も高くなっている。

【属性別比較】

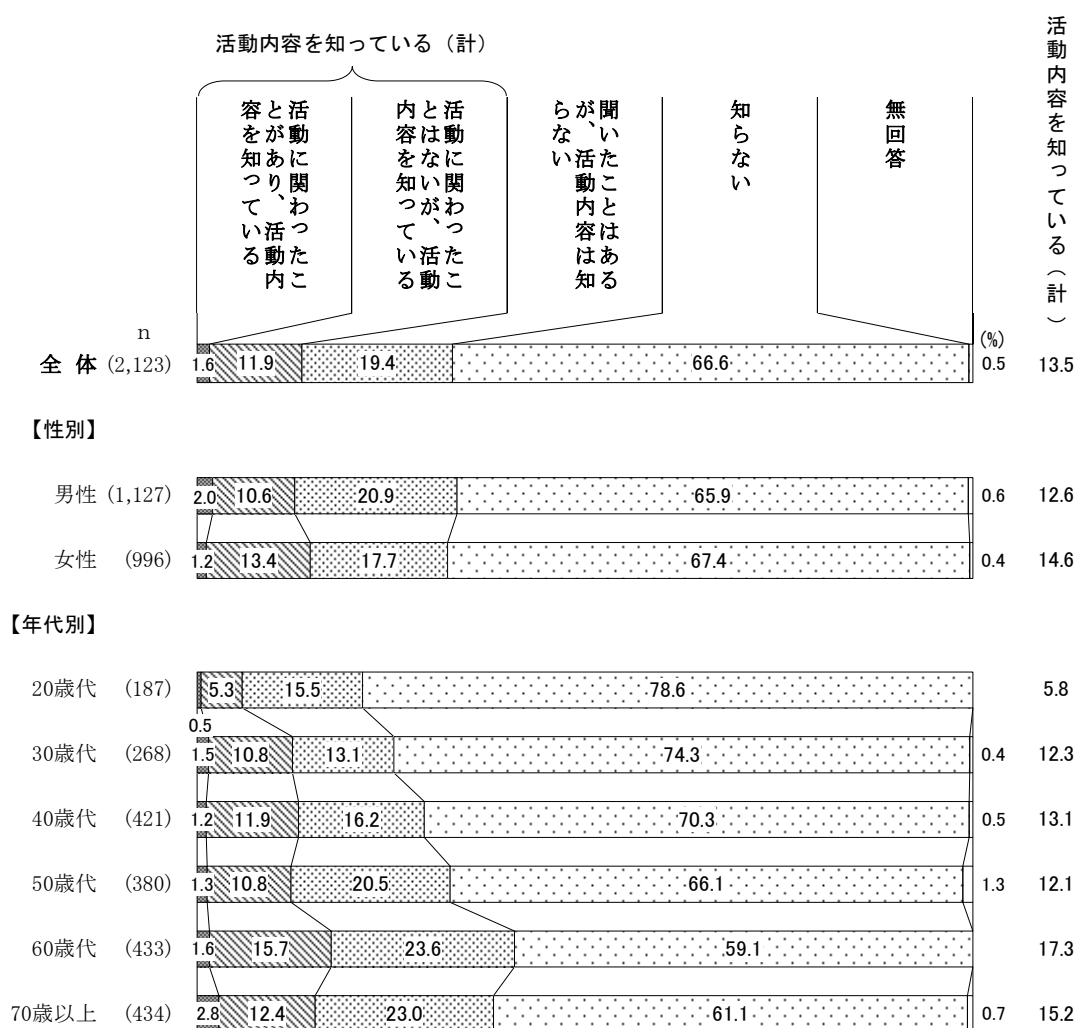
①性別

性別による大きな違いはみられない。

②年代別

『活動内容を知っている（計）』は60歳代（17.3%）で最も高くなっている。

○フードバンクの活動の認知度・性別／年代別



③地域別

「知らない」は秩父地域（74.1%）で最も高くなっている。

④性・年代別

「活動に関わったことはないが、活動内容を知っている」は女性60歳代（18.3%）で最も高くなっている。

⑤職業別

「活動に関わったことはないが、活動内容を知っている」は無職（計）（14.6%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「聞いたことはあるが、活動内容は知らない」は高齢期（23.7%）で最も高くなっている。

○フードバンクの活動の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	活動内容に関わったことがある	活動に関わったことはない	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答	(%) 活動内容を知っている(計)
	n						
全 体	2,123	1.6	11.9	19.4	66.6	0.5	13.5
地域別							
南部地域	224	2.2	11.6	20.5	65.6	—	13.8
南西部地域	187	—	11.8	19.3	67.4	1.6	11.8
東部地域	321	2.8	11.5	17.8	67.9	—	14.3
さいたま地域	378	0.8	14.6	22.2	62.2	0.3	15.4
県央地域	142	2.1	6.3	23.9	67.6	—	8.4
川越比企地域	243	2.5	11.9	21.4	63.4	0.8	14.4
西部地域	224	1.3	12.5	16.1	68.8	1.3	13.8
利根地域	223	0.9	12.1	16.1	70.0	0.9	13.0
北部地域	154	1.9	11.7	16.2	70.1	—	13.6
秩父地域	27	—	3.7	22.2	74.1	—	3.7
性・年代別							
男性・20歳代	102	1.0	3.9	19.6	75.5	—	4.9
30歳代	144	0.7	11.1	10.4	77.1	0.7	11.8
40歳代	214	1.9	9.8	15.9	72.0	0.5	11.7
50歳代	216	1.4	9.3	22.2	65.7	1.4	10.7
60歳代	220	2.3	13.2	25.0	59.5	—	15.5
70歳以上	231	3.5	12.6	27.7	55.4	0.9	16.1
女性・20歳代	85	—	7.1	10.6	82.4	—	7.1
30歳代	124	2.4	10.5	16.1	71.0	—	12.9
40歳代	207	0.5	14.0	16.4	68.6	0.5	14.5
50歳代	164	1.2	12.8	18.3	66.5	1.2	14.0
60歳代	213	0.9	18.3	22.1	58.7	—	19.2
70歳以上	203	2.0	12.3	17.7	67.5	0.5	14.3
職業別							
自営業・家族従業（計）	223	2.2	10.3	24.7	61.4	1.3	12.5
雇用者（計）	1,106	1.2	10.3	17.7	70.3	0.5	11.5
無職（計）	790	2.0	14.6	20.0	63.2	0.3	16.6
ライフステージ別							
独身期	236	0.4	7.2	15.7	76.7	—	7.6
家族形成期	154	2.6	10.4	14.9	71.4	0.6	13.0
家族成長前期	216	0.9	7.9	16.2	74.5	0.5	8.8
家族成長後期	196	—	9.7	13.8	75.5	1.0	9.7
家族成熟期	470	2.1	13.4	20.6	63.4	0.4	15.5
高齢期	528	2.7	13.8	23.7	59.7	0.2	16.5
その他	323	0.9	14.6	21.1	62.2	1.2	15.5

Ⅲ 調査票・単純集計結果

埼玉県政世論調査

(平成26年7月)

調査実施主体 埼玉県

【担当 県民生活部 広聴広報課】

【048(830)2850】

調査実施機関

株式会社 サーベイリサーチセンター

東京都荒川区西日暮里2-40-10

0120(227)244(フリーダイヤル)

I 生活意識

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。

0.8 楽になった	28.4 少し苦しくなった	46.2 変わらない
3.7 少し楽になった	18.5 苦しくなった	2.4 わからない
		0.1 無回答



(問1で「少し苦しくなった」「苦しくなった」のいずれかを答えた方に)

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 55.3 賃金などの収入が増えない、または減った
- 14.4 失業、退職、病気などで働き手が減った
- 3.7 事業などの経費が増えた
- 41.5 家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた
- 19.0 教育費が増えた
- 18.8 家や自動車、家電などの支出が増えた
- 44.6 税金や保険料などの支払いが増えた
- 12.4 結婚、出産、病気など特別な出費が増えた
- 8.5 金利が低い
- 8.2 その他 ()
- 0.7 特になし
- 0.4 わからない
- 0.3 無回答

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。

0.1 上の上	25.1 中の上	13.3 下の上	19.3 わからない
1.0 上の下	36.0 中の下	4.9 下の下	0.2 無回答

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。

2.1 大変満足している	39.3 やや不満である	7.1 わからない
42.1 まあ満足している	9.0 大変不満である	0.4 無回答

問4 あなたは、日ごろの生活の中で今お住まいの地域について、どのように感じていますか。(1)から(22)のそれぞれについて、そう思うものをお選びください。

	だ ま つ と 思 う と う そ う	思 ま あ う そ う だ と	わ あ ま り な い そ う 思	思 ま つ わ な い と う そ う	わ か ら な い	無 回 答
(1) 街の中や住まいのまわりに緑が多い	14.0	51.5	27.4	5.6	0.8	0.6
(2) 住んでいる地域の空気、川などがきれい で公害の心配がない	6.4	41.4	38.2	10.0	3.5	0.5
(3) 災害が少なく、安心である	16.2	59.0	18.0	3.6	2.5	0.7
(4) 交通事故の心配がなく、安全に生活 できる	3.9	33.4	46.3	13.2	2.8	0.5
(5) 犯罪におびやかされることなく生活 ができる	4.2	47.8	33.7	9.2	4.4	0.7
(6) 道路・下水道が整っている	11.2	51.9	23.7	9.7	2.6	0.8
(7) 公園・遊び場・集会場などの施設が 身近に整っている	10.1	45.9	30.1	10.8	2.7	0.4
(8) 鉄道など交通網が整っている	13.4	50.1	23.5	11.1	1.1	0.8
(9) 住まいの近くに商店などが多く、日 常生活に便利である	14.3	41.1	28.2	15.3	0.5	0.6
(10) 医院・病院が身近にあり、病気にな っても心配がない	10.6	46.3	30.9	10.1	1.4	0.7
(11) 休日・夜間・急病時などの医療体制 が整っている	5.4	33.8	37.0	14.7	8.5	0.6
(12) 体の不自由な人、高齢者のための 福祉施設サービスが整っている	2.4	24.9	39.8	10.9	21.5	0.4
(13) 生活必需品の価格が安定していて、 生活しやすい	2.9	45.5	36.6	9.7	4.6	0.7
(14) 住まいの近くに学校・教育施設が 整っている	11.5	55.1	22.6	5.2	5.0	0.6
(15) スポーツ・レクリエーション活動の ための施設や機会が豊富にある	3.3	25.9	43.7	14.7	12.0	0.4
(16) 一流の文化・芸術に直接触れること のできるような施設や機会が整っている	1.3	13.0	43.9	27.1	14.2	0.5
(17) 身近な場所で文化・芸術活動を行う 機会や場所が多い	1.3	13.2	44.0	24.8	15.8	0.8
(18) 身近に良い職場があり、そこで働く ことができる	2.2	16.1	36.2	25.2	19.0	1.4
(19) 仕事を紹介する施設や、職業訓練を 受けることができる施設が整っている	0.9	10.1	36.4	24.4	27.2	0.9
(20) 地域単位でコミュニティ活動を行う ための機会や場所がある	2.5	33.0	31.6	10.5	22.0	0.5
(21) 行政に住民の意思・要望が十分に 生かされている	0.5	12.3	43.1	21.5	21.8	0.8
(22) 今住んでいるところは全体として 住みよいところだと思う	6.9	65.2	20.8	4.5	2.2	0.4

Ⅱ 日常生活

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

- (1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など）やPTA活動、子ども会活動、学校応援団（読み聞かせボランティアなど）、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、みどりと川の再生活動など、地域活動やNPO・ボランティア活動に参加したことがありますか。

41.5 ある

58.4 ない

0.1 無回答

↓
(問5(1)で「ない」と答えた方に)

- (1) - 1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

37.7 仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない

20.4 興味がない

12.0 団体・活動についての情報が得られない

9.6 その他 ()

24.4 参加するきっかけが得られない

10.9 特にない

8.8 参加したいと思う団体や活動がない

2.4 わからない

2.7 無回答

- (2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を行ったことがありますか。

※文化芸術活動とは、以下のような分野での活動です。

- ・音楽（クラシック、ロック、ポピュラー、コーラス、演歌など）
- ・美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）
- ・写真（ポートレート、風景、スナップ写真など）
- ・文芸（小説、詩、俳句、短歌など）
- ・生活文化（書道、華道、盆栽など）
- ・国民娯楽（囲碁、将棋など）
- ・舞踊（バレエ、ダンスなど）
- ・伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、和太鼓、箏曲、神楽、獅子舞など）
- ・演劇（現代劇、ミュージカルなど）
- ・演芸（落語、漫談、漫才など）
- ・映画・漫画・アニメ・コンピューターグラフィックス

25.9 ある

73.2 ない

0.9 無回答

- (3) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を鑑賞するためにホール・劇場、映画館、美術館、博物館などに出かけたことがありますか。

54.1 ある

45.8 ない

0.1 無回答

- (4) あなたは、日常生活の中で文化芸術を鑑賞したり、文化芸術活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。

5.1 満足している

24.3 どちらかといえば満足していない

37.7 わからない

21.5 どちらかといえば満足している

10.7 満足していない

0.6 無回答

問6 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動（※）をする機会がどのくらいありましたか。散歩やウォーキング、軽い体操、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かしたりすることなども含めます。

※スポーツ・レクリエーションに含まれる活動

ラジオ体操、登山、ハイキング、水泳、ボウリング、筋力トレーニング、ジョギング、釣り、サイクリング、ゲートボール、フォークダンス、民謡踊りなど

20.4 週に3回以上	9.6 月に1～2回程度	0.4 無回答
11.1 週に2回程度	12.6 年に数回程度	
16.7 週に1回程度	29.2 ない	▶ (問6－1へ)

(問6で「月に1～2回程度」「年に数回程度」「ない」のいずれかを答えた方に)

問6－1 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

13.3 運動やスポーツは好きでないから	12.6 病気や障がいなど身体的に不安があるから
47.1 仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから	1.9 指導者がいないから
8.5 仲間がいないから	24.1 機会がなかったから
15.2 体力が衰えたから	3.4 その他 ()
15.5 費用がかかるから	11.0 特に理由はない
14.7 身近に場所や施設がないから	0.5 無回答

問7 消費生活についておたずねいたします。

(1) あなたはここ1年以内に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭ったことがありますか。

0.6 訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある
15.1 経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある
31.6 訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった
51.8 訪問販売等の勧誘を受けたことがない
1.0 無回答

(2) あなたは契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または消費生活相談窓口）を知っていますか。

47.8 名前も、行っていることも知っている
37.5 名前は知っているが、何を行っているかは知らない
14.3 名前も何を行っているところかも知らない
0.4 無回答

問8 防犯パトロール活動についておたずねいたします。

- (1) 県内の各地域では、自主的に防犯パトロールや子どもの見守り活動などを行う自主防犯ボランティア団体（愛称「わがまち防犯隊」）が活動しています。あなたは、このような活動を見たり聞いたりしたことがありますか。

32.5	よく見かける	12.3	見かけたことはないが、聞いたことはある
41.8	たまに見かける	13.1	見かけたことも、聞いたこともない
		0.2	無回答

- (2) 県内の各地域では、自主防犯ボランティア団体による青色防犯パトロール活動（青色回転灯を装備した車両による防犯パトロール活動：通称「青パト」）が行われています。あなたは、このような活動を見たり聞いたりしたことがありますか。

12.5	よく見かける	14.1	見かけたことはないが、聞いたことはある
40.4	たまに見かける	32.4	見かけたことも、聞いたこともない
		0.6	無回答

問9 食品の安全性についておたずねいたします。あなたは、食品の安全性に不安がありますか。

16.1	非常にある	14.7	どちらともいえない	8.4	ほとんどない
48.8	多少ある	11.8	あまりない	0.2	無回答

問10 県内の外国人住民についておたずねいたします。県内には、約12万人の外国人が住んでおり、今後も増えていくことが予想されています。あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。

5.9	よいことだと思う	29.3	あまり、よいことだとは思わない
29.3	どちらかといえばよいことだと思う	4.8	よいことだとは思わない
		29.5	わからない
		1.2	無回答

（問10で「よいことだと思う」「どちらかといえばよいことだと思う」のいずれかを答えた方に）

問10-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

53.8	異なる文化に触れる機会が増える	20.1	地域が活性化される
26.8	少子・高齢化が進む中で、人材が確保される	2.9	その他（ ）
20.1	新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる	3.5	特にない
34.3	国際的な感覚が養われる	1.5	わからない

（問10で「あまり、よいことだとは思わない」「よいことだとは思わない」のいずれかを答えた方に）

問10-2 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

70.7	言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる	66.9	治安が悪化する（犯罪が増える）
13.5	自治会などの地域活動が難しくなる	1.0	その他（ ）
2.6	地域の伝統や文化が損なわれる	1.5	特にない
11.2	日本人の雇用機会が奪われる	0.7	わからない
		0.8	無回答

問11 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。

53.8 県広報紙「彩の国だより」	44.4 新聞の記事
9.3 県広報テレビ番組「テレ玉 彩の国 ニュース ほっと」(土曜 9:00~9:30)	26.0 テレビ・ラジオのニュース (2、3以外)
2.5 県広報ラジオ番組「FM NACK5 モーニ ングスクエア」(月~金 8:15~8:25)	3.6 ミニコミ紙やタウン紙
5.5 県ホームページ	1.7 ケーブルテレビ・コミュニティFM
0.2 県メールマガジン「彩の国メールマガジン」	9.2 インターネット (4~7、9以外)
0.1 埼玉県庁フェイスブック	0.4 県庁・県の地域機関から直接 (窓口、出前講座等)
0.2 埼玉県庁ツイッター	0.8 市町村から直接 (窓口、出前講座等)
39.9 市町村の広報紙	15.4 自治会・婦人会・老人会などの回覧
3.8 市町村ホームページ	8.2 口コミ
	2.9 その他 ()
	0.8 無回答

問12 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。

15.8 毎回読んでいる	24.3 読んだことがない
10.9 ほとんど読んでいる	5.2 「彩の国だより」を知らない
43.4 ときどき読んでいる	0.4 無回答

▼
(問12で「毎回読んでいる」「ほとんど読んでいる」「ときどき読んでいる」のいずれかを答えた方に)

問12-1 どこで入手していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

77.6 新聞折り込み	0.7 ファミリーマート
2.2 県の関係施設	1.0 県ホームページ
15.9 市町村の関係施設	6.9 その他 ()
	0.3 無回答

Ⅲ 県政への要望

問13 埼玉県行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 6.6 省資源やリサイクルをすすめる | 13.8 食品の安全をまもる |
| 8.4 地球温暖化を防止する | 1.2 男女共同参画社会の実現をはかる |
| 13.0 自然をまもり、緑を育てる | 2.4 人権尊重の社会づくりをすすめる |
| 8.7 川や大気環境をまもる | 1.6 生涯学習対策を充実する |
| 3.0 廃棄物対策を充実する | 9.5 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する |
| 14.2 交通事故をなくす | 7.3 青少年を健全に育てる |
| 16.5 災害から県民をまもる | 2.1 農林業をさかんにする |
| 6.5 消費生活の安全を高める | 1.6 観光振興をすすめる |
| 16.7 防犯の地域づくりをすすめる | 3.5 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する |
| 11.1 道路や街路を整備する | 15.3 雇用の場を広げる |
| 2.8 生活排水対策をすすめる | 2.9 市町村が主役の地域づくりをすすめる |
| 5.2 公園、緑地を整備する | 1.7 県民参加の行政をすすめる |
| 11.7 便利な交通網をつくる | 1.2 NPOやボランティアへの活動支援を充実する |
| 2.9 都市のバリアフリー化をすすめる | 2.4 芸術・文化活動をさかんにする |
| 0.8 IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる | 3.1 スポーツ、レクリエーションをさかんにする |
| 28.5 高齢者の福祉を充実する | 0.8 国際交流や国際協力をすすめる |
| 4.2 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる | 2.2 その他 |
| 17.3 子育て支援を充実する | () |
| 25.3 医療サービス体制を整備する | 1.6 わからない |
| 5.9 健康づくりをすすめて、疾病を予防する | 0.1 無回答 |

Ⅳ 埼玉版ウーマノミクスプロジェクトについて

埼玉県では現在、女性の活躍を進める「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を実施しています。

日本の生産年齢人口が減少している中、女性が就業や起業をすることで、消費や投資の担い手となり、それにより地域経済が活性化し、更なる雇用の拡大につながるといった好循環を生み出すことを目指します。

※ウーマノミクスとは、ウーマン（Women：女性）＋エコノミクス（Economics：経済）の造語で、女性の活躍により経済活性化を図ろうという考え方です。

問14 あなたは、ここ2～3年の間に女性の活躍を応援する風潮が社会に広がってきたと思いますか。

12.4 広がってきた	26.1 どちらかといえば広がっていない
48.4 どちらかといえば広がってきた	11.8 広がっていない
	1.3 無回答

問15 あなたは、ここ2～3年の間に仕事や消費などの経済活動において、女性が活躍する場が広がってきたと思いますか。

11.9 広がってきた	28.9 どちらかといえば広がっていない
46.3 どちらかといえば広がってきた	10.7 広がっていない
	2.3 無回答

▶ (問15で「広がってきた」「どちらかといえば広がってきた」のいずれかを答えた方に)

問15-1 あなたが、経済活動の分野で女性が活躍する場が広がってきたと思うのは、どういったことからですか。次の中から3つまで選んでください。

77.1 世の中に働く女性が増えてきた	31.5 女性を積極的に採用・登用する企業が増えてきた
15.4 女性向けのイベントやセミナーなどが開催されるようになってきた	28.2 女性の経営者や管理職が増えてきた
31.5 女性を対象としたり、女性の生活者視点が入り入れられた新たな商品やサービスが増えてきた	21.4 育児休業や休暇等の制度が普及してきた
29.5 育児や家事に積極的な男性が増えてきた	1.2 その他 ()
	0.2 無回答

(問15で「どちらかといえば広がっていない」「広がっていない」のいずれかを答えた方に)◀

問15-2 あなたが、経済活動の分野で女性が活躍する場が広がっていないと思うのは、なぜですか。次の中から3つまで選んでください。

34.5 職場に産休・育休などの両立支援制度があっても利用しにくい	30.0 女性の業務範囲が限定的である
34.9 保育所が不足している	16.0 女性の経営者や管理職が少ない
39.3 職場において男性中心の意識がある	41.1 育児や家事の役割は女性が中心に担っている
8.1 働きたいと感じている女性が少ない	3.5 その他 ()
27.3 長時間労働の慣習が改善されていない	6.0 わからない
	0.1 無回答

問16 あなたは、女性の活躍推進に取り組んでいる企業をどのように思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 39.4 顧客ニーズにきめ細やかな対応ができそう | 35.2 職場の雰囲気が明るそう |
| 19.5 社会的に信頼できそう | 16.5 時代を先取りした経営戦略を実践していそう |
| 46.0 男女平等の意識が高く、社員が働きやすそう | 2.4 その他（ ） |
| 38.3 人材育成に力を入れるなど、社員を大切にしているそう | 12.2 特に何とも思わない |
| | 1.3 無回答 |

問17 あなたは、女性がいきいきと働くために必要なことは何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 35.3 女性自身の働く意欲の向上 | 21.3 やりがいのある仕事 |
| 48.4 夫など家族の理解と協力 | 33.7 上司や同僚の理解と協力 |
| 10.4 祖父母など近くの親族の協力 | 5.2 職場における女性の管理職への登用 |
| 42.7 保育サービスの充実 | 0.8 その他（ ） |
| 60.2 働きやすい勤務条件や職場環境 | 3.9 わからない |
| | 0.6 無回答 |

V 治水対策について

埼玉県では、河川整備などの進展に伴い、川から水があふれるような浸水被害は大きく減少しました。

一方で、もともと土地が低く水がはけにくい地域では、平均すると県内で毎年 1,000 棟を超える浸水被害が現在でも発生しています。

問18 あなたは、このような埼玉県内の水害発生状況をご存じですか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 16.4 知っている | 39.5 あまり知らない |
| 29.3 少し知っている | 14.6 全く知らない |
| | 0.2 無回答 |

田畑や森林は、雨水を一時的に貯留したり、地下に浸透させる機能（保水・遊水機能といいます。）を有しており、これにより河川への流出を抑制し、浸水被害の軽減に役立っています。

問19 あなたは、このような機能をご存じですか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 34.0 知っている | 26.3 あまり知らない |
| 27.8 少し知っている | 11.8 全く知らない |
| | 0.1 無回答 |

問20 埼玉県では治水対策として雨水の流出を増加させるような開発行為等（田畑や森林の宅地化など）に対して、雨水の流出量を抑制する施設（調整池、浸透マスなど）の設置を条例で義務づけています。あなたは、このことをご存じですか。

13.0 知っている	39.8 あまり知らない
17.6 少し知っている	29.3 全く知らない
	0.2 無回答

問21 埼玉県の土地が低く水がはけにくい地域では、現在でもしばしば浸水被害が発生しています。あなたは、このような地域の浸水被害の軽減に向けて対策を講じていくことについてどう思いますか。

72.6 必要だと思う	2.2 どちらかといえば必要だと思わない
23.8 どちらかといえば必要だと思う	0.9 必要だと思わない
	0.4 無回答

問22 あなたは、治水対策として保水・遊水機能を有する田畑や森林などを埼玉県内において保全していくことについてどう思いますか。

69.4 必要だと思う	1.6 どちらかといえば必要だと思わない
27.8 どちらかといえば必要だと思う	0.5 必要だと思わない
	0.8 無回答

問23 保水・遊水機能を将来にわたって確保すべき土地（保水・遊水地域）はその多くが田畑や森林として利用されています。このような土地を将来にわたって保全していくためには、あなたはどのような方策が必要だと考えますか。あてはまるものをすべて選んでください。

65.5 保水・遊水地域を公表し、役割や保全の重要性を広報する
36.2 現在の土地利用を継続する土地所有者に対して、県が奨励金を出す （浸水による作物被害が生じた場合における補償金の支給を含む）
30.8 保全すべき土地については、県が土地を買い上げる
21.4 現在の土地利用の転換を認めないなど、土地利用に関する規制を設ける
3.6 その他（ ）
2.0 無回答

VI 食品ロスの削減について

問24 あなたは、食品の表示期限には「消費期限」と「賞味期限」の2種類があることをご存じですか。

78.7	それぞれの表示の意味の違いも含めて知っている。	2.8	知らない
18.4	知っているが、それぞれの表示の意味の違いは知らない。	0.1	無回答

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられている食べ物のことであり、賞味期限切れで捨てられてしまった食品や、食べ残しなどをいいます。

問25 あなたは、「食品ロス」という言葉とその意味をご存じですか。

60.4	言葉も意味も知っている	22.5	知らない
16.9	言葉は知っているが、意味は知らない	0.2	無回答

日本では、年間約1,700万トンの食品廃棄物が排出されています。このうち「食品ロス」は、年間約500～800万トン含まれると推計されています（平成22年度推計）。

問26 あなたは、日本で1年間に発生する食品ロスの量をご存じですか。

14.3	知っている	85.3	知らない	0.5	無回答
------	-------	------	------	-----	-----

問27 あなたは、食品ロスの削減のために取り組んでいることがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

38.4	料理を作りすぎない	46.8	食品を無駄にしないよう、日頃から「消費期限」を把握する
27.2	飲食店等で注文しすぎない		
43.4	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量を確認する	52.2	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、見た目や臭い等により、五感で食べられるか判断する
49.2	残さず食べる		
24.9	食べきれなかったものを他の料理に作り替える	2.6	その他（ ）
		0.9	無回答

問28 あなたは、スーパーなどで買い物をするとき、賞味期限・消費期限をどの程度考慮して食品を選びますか。（期限間近などの理由で値引きされた食品を買う場合を除く。）

50.9	少しでも期限の長いものを選ぶ	20.8	食べる日時を考えて選ぶ
22.8	食品の種類によっては期限まで長いものを選ぶ	5.0	期限は気にしない
		0.5	無回答

問29 あなたは、外食における食品ロスを削減するため、お店がお客に対してどのようなことをすれば効果的だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 75.6 同じメニューでも量やサイズを選べるようにする
- 45.5 お客の責任で食べ残しを持ち帰ることができるようにする
- 14.0 使用している食材を表示し、嫌いな物は抜けるようにする
- 22.5 注文しすぎないように、こまめな注文を推奨する
- 14.6 食べきった場合には何らかの特典（割引券、キャッシュバック等）を与える
- 15.2 宴会の際、お開きの前などに着席して食事をする時間を設けるよう呼び掛ける
- 2.4 その他（)
- 0.7 無回答

食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無償で提供する「フードバンク」と呼ばれる団体・活動があります。

問30 あなたは、フードバンクの活動についてご存じですか。

- 1.6 活動に関わったことがあり、活動内容を知っている
- 11.9 活動に関わったことはないが、活動内容を知っている
- 19.4 聞いたことはあるが、活動内容は知らない
- 66.6 知らない
- 0.5 無回答

VII フェースシート

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、統計解析に必要な事項を少し伺わせてください。

F 1 【性別】

53.1 男 性	46.9 女 性
----------	----------

F 2 【年齢】あなたのお年は満でいくつですか。

4.2 20～24歳	7.5 35～39歳	8.6 50～54歳	9.7 65～69歳
4.6 25～29歳	9.2 40～44歳	9.3 55～59歳	20.4 70歳以上
5.1 30～34歳	10.6 45～49歳	10.7 60～64歳	

F 3 【職業】あなたのお仕事は何ですか。

8.4 自営業主	18.8 無職の主婦・主夫
2.1 家族従業（家業手伝い）	1.6 学生
37.3 勤め（全日）	16.7 その他の無職（年金、配当、仕送りなどで暮らしている人。無職の人）
14.8 勤め（パートタイム）	0.2 無回答

▶（F 3で「自営業主」「家族従業（家業手伝い）」のいずれかを答えた方に）

F 3－1 あなたの仕事の内容は何ですか。

9.9 農林漁業	11.7 自由業（開業医、弁護士、芸術家など）
78.0 商工・サービス業	0.4 無回答

▶（F 3で「勤め（全日）」「勤め（パートタイム）」のいずれかを答えた方に）

F 3－2 あなたの働き方は何ですか。

59.9 正社員、正規職員	0.6 無回答
39.5 非正社員（派遣、契約、嘱託、パート・アルバイトなど）	

▶（F 3で「勤め（全日）」「勤め（パートタイム）」のいずれかを答えた方に）

F 3－3 あなたの仕事の内容は何ですか。

7.6 経営・管理職（民間会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上）	
21.0 専門・技術職（教員、勤務医、看護師、技術者、研究員など）	
23.1 事務職（事務員、オペレーターなど）	
20.9 生産工程・労務職（工場などの生産工程従事者、大工、土木作業員など）	
23.2 販売・サービス職（販売員、理美容師、調理師など）	
3.1 その他（	）
1.1 無回答	

F 4 【県内居住年数】あなたは、埼玉県にお住まいになって何年になりますか。

0.7	1年未満	4.4	5年～10年未満	19.0	20年～30年未満
2.2	1年～3年未満	5.4	10年～15年未満	60.3	30年以上
1.6	3年～5年未満	6.1	15年～20年未満	0.3	無回答

F 5 【出生地】あなたは、埼玉県のお生まれですか。

44.1	はい（埼玉県）	55.8	いいえ（埼玉県外）	0.1	無回答
------	---------	------	-----------	-----	-----

（F 5で「いいえ」と答えた方に）

F 5－1 あなたの出身県（または出身国）はどちらですか。

（都道府県名または出身国名）

（調査員記入欄）

F 6 【家族人数】いま一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。

7.8	1人	26.3	3人	9.8	5人	1.8	7人以上
29.3	2人	21.4	4人	3.5	6人	0.2	無回答

F 7 【結婚】あなたは結婚していますか。

19.5	未婚 ⇒（F 8へ）	69.9	既婚・有配偶	10.2	既婚・離死別	0.5	無回答
------	------------	------	--------	------	--------	-----	-----

（F 7で「既婚・有配偶」「既婚・離死別」のいずれかを答えた方に）

F 7－1 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

20.0	1人	18.0	3人	0.6	5人以上	9.1	いない
50.6	2人	1.6	4人			0.1	無回答

（F 7－1で「1人」～「5人以上」のいずれかを答えた方に）

F 7－1－1 お子さんはそれぞれどんな段階ですか。

8.4	0～3歳	2.1	短大生・専門学校生
6.0	4歳以上で小学校入学前	8.8	大学生・大学院生
14.8	小学生	36.3	学校教育終了・未婚
9.9	中学生	44.0	学校教育終了・既婚
9.9	高校生	1.2	その他（
		0.5	無回答

F 8 【家族形態】 お宅の家族形態は、このように分けるとどれにあたりますか。

7.9 単身	56.6	二世世代世帯（親と子）	1.4	その他（
22.3 夫婦のみ	11.4	三世世代世帯（親と子と孫）	0.4	無回答

F 9 【居住形態】 お宅のお住まいはこの中のどれにあたりますか。

70.2 持家（一戸建）	4.7	UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート
11.6 持家（分譲マンションなど集合住宅）		
11.1 民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）	2.0	社宅・公務員住宅など給与住宅
	0.1	住み込み、寮、寄宿舍など
	0.1	その他（
	0.2	無回答

長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。

（参考）都道府県コード一覧

都道府県コード	都道府県名称
01	北海道
02	青森県
03	岩手県
04	宮城県
05	秋田県
06	山形県
07	福島県
08	茨城県
09	栃木県
10	群馬県

都道府県コード	都道府県名称
11	埼玉県
12	千葉県
13	東京都
14	神奈川県
15	新潟県
16	富山県
17	石川県
18	福井県
19	山梨県
20	長野県

都道府県コード	都道府県名称
21	岐阜県
22	静岡県
23	愛知県
24	三重県
25	滋賀県
26	京都府
27	大阪府
28	兵庫県
29	奈良県
30	和歌山県

都道府県コード	都道府県名称
31	鳥取県
32	島根県
33	岡山県
34	広島県
35	山口県
36	徳島県
37	香川県
38	愛媛県
39	高知県
40	福岡県

都道府県コード	都道府県名称
41	佐賀県
42	長崎県
43	熊本県
44	大分県
45	宮崎県
46	鹿児島県
47	沖縄県
48	海外
99	不明

(参考資料)

世論調査実施状況

- 本県では、昭和43年度から世論調査を実施しており、今回が50回目となります。参考資料に、過去の調査実施状況をまとめました。

世論調査実施状況

(参考資料)

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和43年度	8月16日～9月2日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和44年度	7月15日～31日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和45年度	9月20日～10月10日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11月9日～24日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和46年度	9月20日～10月3日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11月26日～12月9日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和47年度	10月26日～11月4日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和48年度	11月14日～26日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ごみ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和49年度	8月15日～27日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和50年度	8月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ごみ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3月9日～18日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和51年度	7月20日～31日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和52年度	6月15日～30日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和53年度	7月14日～26日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和54年度	7月10日～26日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和55年度	7月25日～8月11日	老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和56年度	7月25日～8月14日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和57年度	7月23日～8月12日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和58年度	7月20日～8月14日	21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和59年度	7月20日～8月12日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和60年度	7月18日～8月11日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和61年度	7月9日～8月14日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%
23	昭和62年度	6月1日～30日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%
24	昭和63年度	7月1日～31日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6月23日～7月23日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロシウム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
26	平成2年度	7月4日～29日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%
27	平成3年度	7月5日～8月4日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%
28	平成4年度	6月26日～7月26日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報の保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成5年度	7月9日～8月4日	新しいくにつくり、人と環境にやさしいリサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%
30	平成6年度	7月8日～8月10日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
31	平成7年度	7月1日～31日	21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成8年度	7月10日～8月11日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成9年度	8月16日～9月15日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成10年度	7月10日～8月9日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成11年度	7月9日～8月8日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成12年度	7月8日～8月7日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成13年度	6月30日～7月30日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成14年度	7月6日～8月5日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成15年度	7月15日～8月5日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成16年度	7月13日～8月10日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成17年度	7月2日～8月1日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成18年度	7月8日～8月14日	生活意識、日常生活、生活規範とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成19年度	7月13日～8月6日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%
44	平成20年度	7月11日～8月8日	生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.8%
45	平成21年度	7月10日～8月3日	生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.0%
46	平成22年度	7月9日～8月2日	生活意識、日常生活、消費生活、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.1%
47	平成23年度	7月8日～8月1日	生活意識、日常生活、住みよさ、自転車利用、生涯学習、買い物弱者、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.7%
48	平成24年度	7月6日～29日	生活意識、日常生活、定住意向、健康長寿埼玉、震災前後における省エネ・創エネに関する意識と行動の変化、県教育行政、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.1%
49	平成25年度	7月5日～28日	生活意識、日常生活、個人情報の保護と活用、埼玉県ホームページの利用状況、生涯学習、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.0%
50	平成26年度	7月4日～27日	生活意識、日常生活、住みよさ、埼玉版ウーマノミクスプロジェクト、治水対策、食品ロスの削減、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.8%

本報告書の調査データを引用された場合は、
掲載資料 1 部を下記の担当課へ送付願います。

平成26年度

埼玉県政世論調査

平成26年11月発行

埼玉県県民生活部広聴広報課

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1



埼玉県のマスコット「コバトン」